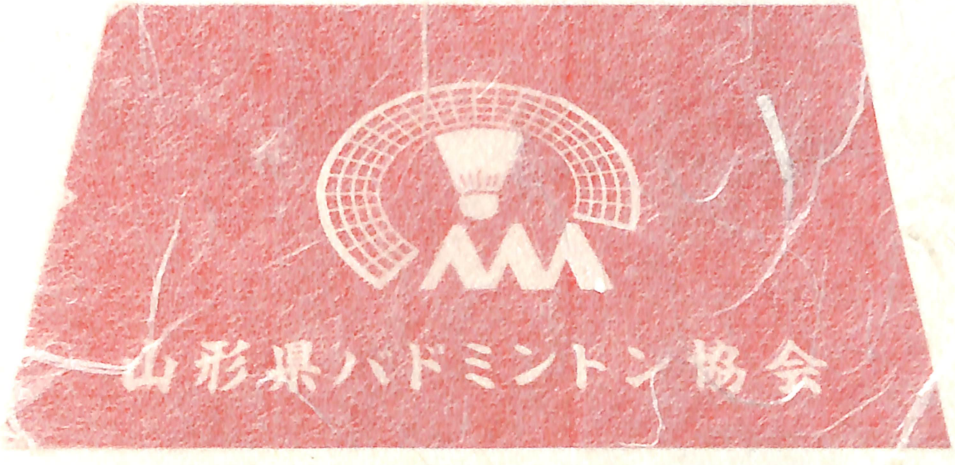
山形県バドミントン協会史

山形県バドミントン協会

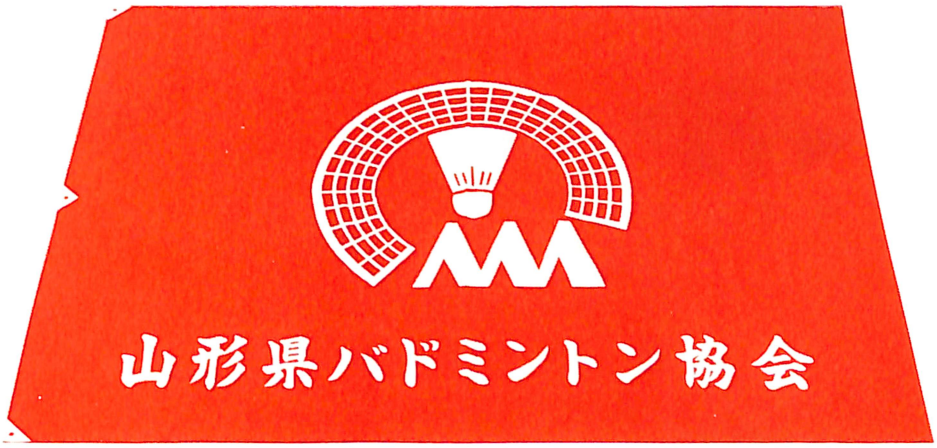
山　形　県

県旗会旗

バドミントン協会史



県　協　会　旗



歴　代　会　長



安　達　良　助



茂　木　勝太郎



小　関　三　郎



押　切　朝　吉



鈴　木　伝四郎

歴　代　理　事　長



小　関　三　郎



松　田　嘉　雄



熊　谷　重四郎



板　垣　隆　房

巻　頭　言



前山形県バドミントン協会
会長　鈴　木　伝四郎

このたび，山形県バドミントン協会創設30周年を記念し，私達の念願でありました「協会史」が編纂刊行されました。先ずもって皆様と共に心からお喜び申し上げます。

当協会は私達の先輩諸氏が戦後の混乱期に色々な困難を克服して創設され，以来歴代会長及び諸役員，先生方が国民体位向上という大きな使命を担い団結を強め，強固な組織をもってバドミントンの普及と発展に並々ならぬ努力を傾けられて参りました。誌面をもって心よりお礼を申し上げます。私達はその間の歴史的な30年の歩みを次代の人達のためにも後世に伝え残しておくことは，われわれに課せられた使命とも考え刊行いたしました。

この30年を大きく分けてみますと協会創設の昭和25年から30年前半は，創設期とすれば昭和30年後半から40年代は“47インターハイ”を中心とした黄金時代を経，その後現在まで全国のリーダー県として各種の全国大会や国際舞台でも大活躍。幾多の名選手を輩出いたしました。

一方では一般，高校生の強化は勿論，底辺拡大及び普及努力のおかげで，ママさんクラブ，職場，各地区のクラブ，中学生，少年団等の組織も拡大強化され，確固たる協会に成長することができました。

当協会の30年の歴史は栄光の足跡ともいえましょう。なお，昭和67年の「べにばな国体」は，県，県議会，スポーツ団体を中心に県民あげて誘致したおかげで，56年１月19日，盛岡市で開催されました東北６県体協会長会議で最終決定したものです。

55年国体の本県天皇杯は40位という不成績，又ミニ国体では最下位となり，県スポーツ界全体のレベルアップと共に常に得点源であったバドミントンの一層の強化が必要と考えます。

今後の課題としては，

1．　底辺の拡大とジュニアの養成

2．　指導者の育成と確保

の２点が挙げられると思います。記念すべき30年誌発刊を期に，今後の当協会のあり方を原点から見つめなおし“今までやって来たから”からを脱皮し“これから何をすべきか”を真剣に考え当協会の発展を期したいと思います。

最後に編集に当って下さいました実行委員の皆様には毎日が多忙に拘わらず，一致協力，数々の苦難をのり越えて，ここに立派に「協会史」を完成して頂きました。その努力と熱意に対し深甚なる感謝の意を表するものであります。

本誌こそ次代を担う若人諸君の貴重な道しるべとなり，そしてよき史籍ともなることを確信いたします。皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げ発刊のことばといたします。

発刊に寄せて



(財)日本バドミントン協会
会長　桜　内　義　雄

山形県バドミントン協会が，創立30周年を記念して，こゝに記念誌の刊行をみるに至りましたことは，まことに喜ばしい限りで，日本バドミントン協会を代表して，心からお慶び申し上げます。

日本のバドミントンが戦後の細かな基盤からスタートして，国際的にはユーバー杯の4回優勝をはじめとする数々の国際競技大会における輝しい戦績，国内に在っては，全日本総合を中心とした各種国内大会における大きな成果等，内外に亘っての今日のめざましい発展を見るに至ったことは，偏えに各県協会の揺ぎない基盤に支えられてのことでありましょう。

このように，日本バドミントン協会の業績が，全国の各地域の力の集績によって形成されている様に，山形県バドミントン協会の今日の姿は，この30余年の歴史の中にあって，役員として，選手と　て，また愛好者として，県内の多くの方々のそれぞれの有形無形の努力，協力により築きあげられたものと云えましょう。そしてその30余年の歴史に，いろいろな形で関与された方々により綴られた本誌は，山形県バドミントン協会の回顧録と共に，将来へ向けての一層の飛躍への貴重な資料ともなることでありましょう。

私は，これまでに本競技の普及発展に尽くされた多くの県内バドミントン関係各位の積極的な熱意と多大の努力に対し，深甚の敬意を表しますと共に，皆様方の，ますますのご繁栄，ご多幸を衷心より祈念いたします。

発刊に寄せて



(財)山形県体育協会
会長　板　垣　清一郎

山形県バドミントン協会が創立し，このたびめでたく30周年を迎え，これを機会に記念誌を発刊されますことは誠に慶賀の至りであります。

待望久しかった昭和67年山形国体が内定し，各競技団体が一丸となり新たな気持で万全の体制を組み67年に向かおうとしている時期に，このような事業を組まれますことは非常に時宜を得た意義深いものと思います。

戦後，数多くの競技団体が結成され，多くの人々にスポーツが愛好されております。

スポーツが人々の体位を向上させ，かつ，たくましい精神力を培い，健全な社会生活の育成に大きな役割を果たしてきたことは周知の通りであります。

バドミントンは昭和初期に日本に移入し，本県には戦後間もなく導入されたと聞いております。

これまで本県からは，日本を代表する数多くの選手を輩出し，バドミントン王国山形としての名声を築きあげられ，これと相まって組織も年々充実してまいりましたことは喜びにたえません。

今日に至るまでに並々ならぬご努力と，惜みない情熱をそそがれました協会の幹部の方々をはじめ，関係各位に深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

これを機会にバドミントン協会が今後益々の隆盛を極めることを祈念して発刊によせることばとします。

祝　　辞



青森県バドミントン協会
会長　清　藤　六　郎

刻み込まれた樹木の年輪によって，その年その年の過去の天候と豊作の良否を知ることが出来ると或る学者がのべています。今，山形県バドミントン協会が偉大な足蹟，『30の年輪』をかみしめようとされています。

東北の雄，山形県バドミントン協会の年輪はまさに密度高く，何物にもおかされることなく順調な天候に恵まれた樹木の年輪の如く，他県の追従を許さぬ木目細かな確たるものであると共に，栄光に輝く歴史の数々が刻まれた尊い年輪でございます。

此の度貴協会が成長の一区切り，協会創立30周年を迎えられましたことを東北の同友として心からお祝いを申し上げます。

男子は山形県，女子は宮城県と私たちがバドミントン競技の師と仰いでその教えを仰いだ時，高度の技術をおしみなく与えられ，東北六県の先導者として斯界に君臨されたのであります。

東北を制する者は全国を制すると言われました此の競技に於いて，常に厳しい研鑽は過去に数知れね名選手を世に送り，自他共に許す山形県バドミントン協会のゆるぎない今日を築き上げられました幾多先輩諸兄，協会役員の方々の御労苦とその勇気に対しまして心からの賛辞をおくるものでございます。

30年間種々御指導をいただきました青森県バドミントン協会も貴県に対する恩返しにと鋭意努力を重ね，国体，東北ミニ国体等各種大会にやっと貴県協会に並ぶ事が出来るようになりました事，一重に変らぬ友情とこゝに厚く御礼申し上げます。

又部谷光延と共にお祝いの言葉を貴協会にお送り出来る喜びを光栄と致します。偉大なる30の年輪，自から振り返えりつつ，次の飛躍の為，東北バドミントン界，日本バドミントン界発展の為，さらに寄与されますことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

祝　　辞

岩手県バドミントン協会
会長　山　本　祐二郎

貴，山形県バドミントン協会は昭和24年創立以来ここに30周年を迎えられ，その間本邦バドミントン競技界に幾多の輝かしい業績を足跡されたことに心から感謝を捧げ敬意を表します。

東北のバドミントン競技は永い伝統に培われ，今や全国的に高い水準にありますことご同慶にたえない所であります。今日のこの隆盛に指導的役わりを果された貴協会の献身的ご努力に衷心より敬意を表する次第であります。

私は東北総合体育大会バドミントン競技大会には毎年出席させていただいておりますが，貴協会は高校男女に断全強く，特に第30回新庄大会では少年男女が完勝されました。私は思いました。「高校生に優秀な体力，技力のあるということは，貴協会がその底辺たる中学生の質量の増強に努力されている結果であり，このことがまた山形県バドミントン競技の向上に連鎖しているのであろう」と。

私はバドミントン競技は未経験者であり，また会長を拝命してから10年余の経過しかありませんので，的確かどうかわかりませんが，次のように考えます。「私は色々のスポーツに関係してまいりましたが，如何なるスポーツにも共通していえることは，真に技に強くなるためには練習に練習そして練習の積み重ねであるということです。スランプの脱却には積極的な練習しかないという巨人の王選手はバッターボックスに立つと，投られるボールが大きく且つ停止して見えるという。バドミントン競技でも血のにじむような練習の結果が，シャトルが大きく且つ目前で停止して見えるのではなかろうか」と。

貴協会の創立30年記念誌に一文を草して祝意を表します。おめでとうございます。

貴山形県のバドミントン協会の今後愈々，東北バドミントン競技界のリーダーとして，発展されますよう念じてやみません。

目　次

巻頭言……前山形県バドミントン協会長　鈴　木　伝四郎…… 3
発刊に寄せて……(財)日本バドミントン協会長　桜　内　義　雄…… 4
発刊に寄せて……(財) 山形県体育協会長　板　垣　清一郎…… 5
祝　辞……青森県バドミントン協会長　清　藤　六　郎…… 6
祝　辞……岩手県バドミントン協会長　山　本　祐二郎…… 7
目　次…… 8
第1章　協会のあゆみ
1　山形県バドミントンのあゆみ…… 13
(1) 昭和23年～昭和27年…… 13
(2) 昭和28年～昭和32年…… 13
(3) 昭和33年～昭和36年…… 14
(4) 昭和37年～昭和40年…… 15
(5) 昭和41年～昭和43年…… 16
(6) 昭和44年～昭和46年…… 17
(7) 昭和47年～昭和48年…… 18
(8) 昭和49年～昭和51年…… 18
(9) 昭和52年～昭和53年…… 19
2　山形県高体連バドミントン部のあゆみ…… 21
第2章　思い出の記
1　思　い　出　の　記…… 25

(1) 私とバドミントン30年……渋　谷　吉　章（酒田バドミントン協会）……25
(2) バドミントンと私……田　中　稔　一（鶴岡バドミントン協会）……26
(3) バドミントンと私……伊　藤　　勉（置賜バドミントン協会長）……26
(4) バドミントンの思い出……伊　藤(渡会)輝　子（千葉）……27
(5) 思い出の記……小　関　恵　子（山形）……28
(6) バドミントンと私……柿　崎(神部)登喜子（新庄）……29
(7) 私が高校生の頃……佐　藤(沢内)照　子（新庄）……30
(8) 30年前のこと……風　間　孝　男（鶴岡）……31
(9) 大会に参加しての思い出……平　林(成沢)佳　子（鶴岡）……31
(10) バドミントンとの出会い……鈴　木　常　治（寒河江）……32
(11) インターハイの思い出……早　坂　周　助（山形県協会）……33
(12) 昭和33年の想い出……金　森　義　弘（山形県協会）……34
(13) 高校時代の思い出……太　田　　章（東京）……35
(14) 山南バドミントン部と私……服　部　倉　太（元山南顧問）……35
(15) バドミントンで思うこと……山　口　良　典（山形県協会）……37
(16) バドミントンの思い出……木　村(菅藤)洋子（東京）……37
(17) インターハイの思い出……富　樫　亮　一（千葉）……38
(18) 私があゆんだバドミントン……鈴　木　健　二（東京）……38
(19) 大会に参加しての思い出……柴　崎(佐藤)弘子（新庄）……39
(20) 思い出……柿　崎　厚　子（新庄）……40
(21) 思い出……沢　沢　利　一（山形）……40
(22) 私とバドミントン……阿　保　(斉藤)郁　子（山形）……41
(23) 大会の思い出……渡　辺　(叶内)瑠美子（横浜）……42

(24) 私とバドミントン……金子　司（酒田）……42
(25) 私とバドミントン……木村（船越）節子（埼玉）……43
(26) 大会に参加しての思い出……佐藤（今野）洋子（鶴岡）……44
(27) バドミントンとの出会い……石川綾生（鶴岡）……44
(28) 私とバドミントン……田所光男（仙台）……45
(29) 私とバドミントン……三浦　享（酒田）……46
(30) 48年沖縄特別国体に参加して……吉住　彰（鶴岡）……47
(31) バドミントンの思い出……橋本則之（山形）……47
(32) 我がバドミントン……佐藤重好（置賜）……48
(33) インカレの思い出……米山孝二（札幌）……49
(34) バドミントン11年の思い出……加藤信之（山形）……49
(35) バドミントンの思い出……佐藤友美（山形）……50
(36) 大学時代の思い出……沢内真由美（新庄）……51
(37) 私とバドミントン……佐藤礼子（酒田）……52
(38) 初めての国際試合……東海林文子（山形）……52
(39) バドミントンの思い出（私の十代の人生）…近藤恵美子（新庄）……53
(40) 東北大会の思い出……田澤幸雄（鶴岡）……54
(41) 大会をふりかえって……岡田久子（新庄）……55
(42) 大会の思い出……佐藤栄美子（山形）……56
(43) 全国大会に出場して……小野恵美子（鶴岡）……57
(44) 全国大会に参加して……武田美子（山形）
木口万由美（山形）……58

2　バドミントン指導の記
(1) 昭和30年度インターハイのこと……深瀬長太郎（山形県協会）……59
(2) 鶴岡インターハイの思い出（昭和38年）……清原順良（元城北女子高顧問）……59
(3) 私のバドミントン競技を返り見て……佐藤幸吉（最北地区協会長）……60
(4) バドミントンを指導して……鹿野昭男（米沢工業高顧問）……61
(5) 中学生の指導にあたって……佐藤　実（鶴岡一中顧問）……62
(6) 中学生を指導して……杉山孝栄（元山形四中顧問）……63
(7) 私とバドミントン……秋庭一生（鶴岡市役所）……64
(8) バドミントンを指導して……真室順一（新庄南高顧問）……65
(9) 楽しむバドミントンを目指して……高橋喜久雄（新庄最北精密）……65
(10) 羽根打ちからバドミントンへ……佐々木健夫（酒田）……65
(11) 私とバドミントン（座談会）……置賜バドミントン協会……66

3　特別寄稿
(1) 創草期の想い出……小関三郎（元県協会長）……69
(2) 本県バドミントン創草期の歩み……小関三郎（　〃　）……70
(3) 本県バドミントン協会発足当時の想い出……小柴悦三（酒田地区バドミントン協会）……71
(4) 山形にバドミントンが入ってきた頃のこと…宇留野勝夫（山形市）……72
(5) 頭から出来た協会……宮川　清（鶴岡地区協会）……73
(6) 鶴岡の部創立の頃の思い出……秋保親文（鶴岡市）……73
(7) 米沢バドミントン協会誕生の頃……片野　広（元置賜地区協会長）……75
(8) 協会創立30周年に寄せて……伊藤　勉（置賜地区協会長）……75
(9) 47インターハイの開催にあたって……黒坂　厳（新庄市）……76
(10) 山形地区大会の現状……遠藤宏一（山形県協会）……77
(11) 監督25年……桔梗喜一（日大山形高顧問）……78
(12) ユーバー杯大会に出場して……味蓼（高橋）とも子（神奈川県）……85

(13) 天童ファミリーバドミントンクラブ7年の歩みを語る（座談会）…… 86
(14) 社会人クラブで活動して……中　川　善　雄（ゴールドクラブ）…… 87
(15) 私とバドミントン……長　岡　ひろ子（いづみや）…… 87
(16) 山形県体育館スポーツ講座より「ママさんバドミントンを指導して」
渋　谷　忠　雄（山形県体育館）…… 88
第3章　栄光の記録
1　山形県中学校総合大育体会…… 93
2　山形県高等学校総合体育大会…… 95
3　山形県高等学校定時制総合体育大会…… 97
4　山形県総合体育大会…… 98
5　山形県総合選手権大会……105
6　東北高等学校選手権大会……106
7　全国高等学校総合体育大会……107
8　国民体育大会出場の記録……108
第4章　協会記録
1　山形県バドミントン協会規約……115
2　山形県バドミントン協会役員名薄……117
3　各地区バドミントン協会役員名薄……119
(1)　山形地区……119
(2)　新庄地区……121
(3)　置賜地区……121
(4)　鶴岡地区……123
(5)　酒田地区……125
4　山形県バドミントン協会30周年記念事業の概要……126
(1)　式　典……126
(2)　あいさつ……山形県バドミントン協会長（鈴木伝四郎）……127
(3)　あいさつ　日本バドミントン協会長（本田弘敏）……129
(4)　受賞者一覧……130
(5)　日本リーグ山形大会を終って（郷野隆弘）……131
(6)　記念事業（スナップ集）……132
5　日本バドミントン協会公認審判員名簿……134
6　日本バドミントン協会公認指導員名薄……136
あ　と　が　き……137
「協会史」協賛各社一覧

第 1 章

協会のあゆみ

1　山形県バドミントンのあゆみ

(1)　昭和23年～昭和27年

昭和23年（1948）

—・—　バドミントン山形に流行，愛好会結成さる。
—・—　第1回全日本総合バドミントン選手権大会が東京において開催さる。

昭和24年（1949）

4・—　山形県バドミントン協会誕生す。
4・1　新庄地区バドミントン協会設立。
4・24　バドミントン講習会開催（於山形一中講堂）
中央講師　岡　淳一，相馬万吉の両氏を招く。
8・22　山形バドミントン協会結成記念大会。（山形）
10・16　宮城・山形県対抗親睦バドミントン大会開催。
10・30～11・30　第4回国民体育大会の公開種目にバドミントンが加わる。（於　東京）
11・19　山形市内高校バドミントン第1回選手権大会（山大小講堂　参加男56名，女15名）。
11・18～19　金井杯争奪第1回鶴岡地区社会人バドミントン大会。（鶴岡二中）
12・10　村山地区職場対抗バドミントン大会。（山形四小）

昭和25年2月

2・—　山形県高等学校体育連盟と改称する。置賜・村山・最北の地区大会が開催される。
4・—　米沢市バドミントン協会設立。
7・1～2　第2回　山形市
少年複　1.渋江・伊藤組　2.杉沢・大泉組
〃　単1.五十嵐国夫
青年女子複1.西田・鈴木組
〃　単　1.鈴木八重子
壮年単　2.小関三郎
混合複　1.五十嵐・西田組
9・16～17　第1回山形県高等学校総合体育大会（山形市）総合優勝男子山形東・女子山形北　陸上・野球・卓球・バスケット・バレー・サッカー・バドミントン・ソフトボール・ラグビー・相撲・水泳（スキーは県総体で総合スキー大会として実施）。
9・—　山形県高等学校総合体育大会を，国民体育大会県予選会を兼ねて開催する。
10・28～11・1　第5回国民体育大会にバドミントンが正式種目となる。
11・24～25　第1回全日本学生バドミントン選手権大会開催さる。（於　横浜市）　男子個人戦
—・—　東北大会としてバドミントン・ラグビー・軟式野球。

昭和26年（1951）

4・—　高体連に5専門部新設（バドミントン・柔道・山岳・ラグビー・ハンドボール）。
7・6～8　第3回　弘前市
少年複　1.門脇・高橋組　2.伊東・大泉組
〃　単　1.門脇武雄
青年男子複　2.五十嵐・杉沢組
青年女子複　1.神部・佐藤組
〃　単　1.神部登喜子
9・—　山形県高等学校総合体育大会に定時制の部を設ける。

昭和27年（1952）

6・20～22　第4回　仙台市
少女複　1.斎藤・鈴木組
〃　単　2.五十嵐弘子
7・19～20　バドミントン審判員認定会（山四小）。
8・17　第3回山形地区勤労者バドミントン選手権大会。
9・7　東北バドミントン大会（山形市）。
10・19～23　第7回国民体育大会のバドミントン高校女子が準優勝を飾る。（於　仙台市）
11・9　第1回西置賜バドミントン大会。
11・12　山形県中学校体育連盟協議会を，山形県中学校体育連盟と改称。

(2)　昭和28年～昭和32年

昭和28年（1953）

1・11　名士天狗バドミントン大会。（鶴岡市公民館，主催　鶴岡バドミントン協会）
6・7～8　第5回　盛岡市
ナ　　シ（2位以内）
8・8　第4回全国高校バドミントン選手権大会を山形市で開催する。

昭和29年（1954）

9・—　第1回山形県高等学校定時制総合体育大会を国

体予選会から切り離し，独立して山形市で開催する。

10・24～25　第6回　福島市
ナ　　シ（2位以内）

11・7　第1回山形市スポーツバッヂテスト。（霞城内各グラウンドにおいて，野球・バレー・テニス・自転車・卓球・バドミントン・バスケット・体操3・陸上・蹴球・水泳）

昭和30年（1955）

6・—　県高等学校総合体育大会を国体予選会から切り離し，独立して山形市で開催する。

7・8～10　第7回　秋田市
高校男子単　1.生田仁紀
成年複　2.渋谷・吉田組
壮年複　1.渡辺・渥美組

—・—　第6回全国高等学校バドミントン選手権大会において山形商業高校が第3位に入賞。（於神戸市）

昭和31年（1956）

8・10　全国高校バドミントン選手権大会で板垣隆房（山商）シングルスに優勝，ダブルスでも板垣隆房・山岸重孝組3位に入賞す。（於　仙台市）

8・12　第1回庄内地区バドミントン大会（酒三中）。

9・20～23　第8回　鶴岡市
高校男子複　1.板垣・山岸組
〃　単　1.　板垣隆房　2.山岸重孝
成年複　1.渋谷・吉田組　2.小柴・宮川組

昭和32年（1957）

8・—　第8回高等学校バドミントン選手権大会（松江市）山形商業高校団体優勝。

8・11　第1回県中学校バドミントン大会（酒田三中）。

9・12～15　第9回　弘前市
高校男子複　2.板垣・猪股組
〃　女子単　2.佐藤栄子
成年複　1.渋谷・吉田組
〃　単　2.小柴悦三

—・—　全日本学生バドミントン選手権大会において板垣隆房・片石兼敏組（立教大）優勝す。（於高松市）

(3)　昭和33年～昭和36年

昭和33年（1958）

8・—～10　第9回全国高等学校バドミントン選手権大会で山形南校が三冠王獲得。
団体優勝　単優勝，板垣義憲，複優勝，板垣義憲・金森義弘組，同準優勝，永井宏正・船山幹広組。（於　新潟市）

9・19～21　第10回　盛岡市
高校男子複　1.板垣・金森組　2.和合・奥山組
高校男子単　1.板垣義憲　2.金森義弘
青年男子複　2.佐藤・蓮水組
成年複　2.渋谷・吉田組

10・19～23　第13回国民体育大会バドミントン競技で高校男子見事優勝（板垣義憲，金森義弘，小林賢）（於　高岡市）

—・—　第1回東日本学生バドミントン選手権大会，沢村国子（山南卒）・三浦組（尚絅短大）優勝。

—・—　全日本学生バドミントン選手権大会で板垣隆房・小宮好雄組（立教大）が優勝，女子複でも沢村国子・三浦節（尚絅短大）が制す（於　久留米市）

昭和34年（1959）

8・10～14　第10回全国高等学校バドミントン選手権大会で山形商業高校が二度目の優勝，男子複でも優勝（永井司・北村任組）（於　会津若松市）

9・11～13　第11回　仙台市
高校男子複　1.永井・北村組　2.加藤・山口組
青年男子複　2.猪股・佐藤組
〃　単　2.猪股義朗

一・—　全日本学生バドミントン選手権大会，（東京）男子複　板垣・小宮組三年連続優勝。

—・—　第2回東日本学生バドミントン選手権大会。男子複　板垣・小宮組優勝。

—・—　第13回全日本総合バドミントン選手権大会（神奈川），板垣隆房（山商卒・立教大）優勝

昭和35年（1960）

6・14　県実業団バドミントン選手権大会。

6・26～27　東北地区大学総合体育大会　バドミントン体操に山大優勝。

8・—　第11回全国高等学校バドミントン選手権大会において，山形商業高校が三度目の優勝を成し遂げる。（於　久留米市）

9・16～18　第12回　象潟町
高校男子複　1.佐藤・出沢組
〃　単　1.佐藤勝彦　2.出沢勇男
成年複　2.寒河江・吉田組
教員複　2.秋保・新橋組
11・4　第3回東日本学生バドミントン選手権大会。単，板垣義憲（山南卒・立教大）
複，板垣・小宮組（立教大）優勝。
11・—～27　第11回全日本学生バドミントン選手権大会で板垣隆房(山商卒・立教大)，複で史上初の四連覇，単で初優勝なる。（於　大阪）

昭和36年（1961）

—・—　青少年スポーツ活動リーダー講習会。1月23～26日　スキー（蔵王）・5月3～6日陸上（酒田）・7月21～24日　バドミントン（山形）・8月7～12日　剣道（山形）・8月23～26日　卓球（山形）・2月27～28日　高校生徒会運動部幹部。
7・30　第11回全日本実業団バドミントン選手権大会で板垣が優勝。（倉敷青陵高・商工校）
8・—　第12回全国高等学校バドミントン選手権大会において，複　佐藤弘子・渡辺恵美子組　優勝
8・14　全国学校総体バドミントン，女子ダブルス　小笠原・渡辺組（新庄南）優勝。
9・2　国体東北予選バドミントン　山形（高校女子）優勝。
10・8～13　第16回国民体育大会バドミントン競技で高校女子チーム優勝を獲得，（於　秋田県象潟町）（佐藤弘子，小笠原詔子，矢口淳子　新南)。
—・—　第13回　福島市
高校男子複　1.森谷・板垣組
〃　単　1.森谷喜久男
高校女子複　2.小笠原・渡辺組
〃　単　2.小笠原詔子
青年男子複　1.板垣・出沢組
〃　単　1.板垣隆房
—・—　第12回全日本学生バドミントン選手権大会。（名古屋市）板垣義憲（山南卒・立教大）優勝。
—・—　板垣隆房，日本バドミントン協会よりコーチとして韓国へ派遣される。

(4)　昭和37年～昭和40年

昭和37年（1962）

5・17　バドミントン韓国遠征日本代表選手に板垣（山形）選ばれる。
9・7～9　第14回　八戸市
高校男子複　1.横倉・佐藤組　2.荒井・郷野組
〃　単　1.鈴木健二
高校女子複　2.柿崎・小関組
青年男子複　1.板垣・出沢組
〃　単　1.板垣隆房　2.出沢勇男

昭和38年（1963）

2・11　県高校新人バドミントン大会。
7・27～29　第10回県高等学校定時制総合体育体会（米沢市）　バドミントンを新設，8種目となる。
8・2～7　第14回全国高等学校バドミントン競技が鶴岡市において開催さる。単，優勝　高橋とも子（城北高)。
9・15　国体東北予選会バドミントン，高橋・渡辺組が優勝，高校男女団体戦でも県勢とる。
9・13～15　第15回　盛岡市
高校男子複　2.須貝・藤島組
〃　単　1.辻間隆志　2.須貝一彦
高校女子複　1.高橋・渡辺組
〃　単　1.高橋とも子　2.柿崎厚子
青年男子複　1.板垣・出沢組
〃　単　1.板垣隆房　2.出沢勇男
教員単　2.渡部二雄
混合複　2.逸見・阿部組

昭和39年（1964年）

1・24　5養護施設にバドミントン用具を贈る，山新助け合い運動。
2・9　県高校新人バドミントン大会。
5・4　国体予選東北大会，体操団体徒手酒田東高，バドミントン板垣・出沢組各優勝。
5・2～5　第16回　仙台市
高校男子単　1.後藤慶治
高校女子単　2.渡辺美喜子
青年男子複　1.板垣・出沢組
〃　単　1.板垣隆房　2.出沢勇男
青年女子複　2.小関・柿崎組
成年単　2.窪田寛士
混合複　2.逸見・垂石組
—・—　第6回トーマス杯（国際バドミントン選手権大会）の日本チームのメンバーとして板垣義憲選手。
5・28　世界招待バドミントン大会で板垣義憲組優勝。
10・18　県高校新人バドミントン選手権（新庄市)。
11・30　第15回全日本学生バドミントン選手権大会（東京）単高橋とも子（城北卒・日女体短大)，複男

子鈴木健二(日大山高卒・法大)，本田組，女子高橋・宮崎組優勝。・

12・26　マレーシアのバドミントン選手権大会に板垣善憲（山南高出身トヨタ自動車）らを派遣。

—・—　第7回東日本学生バドミントン選手権大会　高橋とも子優勝。

昭和40年（1965）

5・10　春の県高校バドミントン選手権。

6・23　第15回全日本実業団バドミントン男子単で板垣（県出身トヨタ自動車愛知）優勝。

7・7　バドミントンの高橋とも子（城北高校出身）世界選手権アジア予選に出場。

7・19　第8回東日本学生バドミントン選手権大会，単・複に高橋とも子(城北高卒，日女体短大)優勝。

7・20　日韓親善高校バドミントン競技会。（新庄市）

9・18　国体東北予選会，高校バドミントン男女とも優勝。

9・17～19　第17回　秋田市
高校男子単　1.伊藤誠
高校女子単　1.叶内留美子　2.遠藤幹子
〃　複　1.柿崎・伊藤組
2.五十嵐・菅原組
青年男子複　1.板垣・出沢組
青年女子複　2.小関・柿崎組
成年複　2.窪田・中鉢組

9・21　バドミントン東北選手権大会，単で叶内(城北)，複で柿崎・伊藤（新南）優勝（秋田市)。

10・24～29　第20回国民体育大会（岐阜)。
バドミントン高校男子準優勝

11・15　県高校新人バドミントン，日大山形が4連勝。

—・—　第16回全国学生バドミントン選手権大会において高橋とも子（城北卒，日女体短大）がシングルスで二連勝を飾る。

(5)　昭和41年～昭和43年

昭和41年（1966）

5・7　第6回県高校バドミントン大会。

6・29　全日本実業団バドミントン大会で板垣義憲（山南卒トヨタ自動車）単複優勝（大阪中央体育館)。

7・27　世界男子バドミントン日本代表に板垣（山南卒）ら6選手。

9・16～18　第18回東北バドミントン選手権大会兼第21回国体東北予選(新庄市)，高校の部で小山・遠藤組優勝。
高校女子複　1.遠藤・小山組　2.高田・土田組
〃　単　1.遠藤幹子　2.伊藤シゲ子
青年男子複　1.板垣・沼沢組
〃　単　2.沼沢利一
青年女子複　2.小関・柿崎組
〃　単　2.小関勝子
成年複　2.猪股・阿部組
教員複　2.逸見・入間組
〃　単　2.逸見昭男
混合複　2.田中・柿崎組

10・23～28　第21回国民体育大会バドミントン競技で，高校女子で山形チーム優勝。（遠藤幹子・小山登志子・伊藤シゲ子，新庄南)

10・25～　第5回大会のバドミントンで日本女子チーム優勝。

11・14　第17回全日本学生バドミントン選手権大会，高橋とも子（城北卒・日女体大）単で3連勝。

11・25　県高校新人バドミントン，女子で新庄南5年連続優勝。

12・9～20　第5回アジア大会（バンコク）バドミントン競技，高橋とも子参加（日本女子チーム優勝)。

昭和42年（1967）

5・8　第10回社会人バドミントン選手権大会で板垣（山南卒）三種目に優勝。

6・28　関東学生バドミントン競技女子で，高橋（城北卒）単複ともに優勝。

9・9　国体予選，バドミントン高女団体で優勝，バドミントン高校ダブルス高橋但（新南）が優勝。

9・8～10　第19回　会津若松市
高校女子複　1.高橋・尾上組　2.佐藤・鶴巻組
〃　単　1.尾上由美子　2.菊地信子
青年男子複　2.金森・武田組

11・13　県高校新人バドミントン大会。

11・25　板垣隆房，日本バドミントン協会よりコーチとして韓国へ派遣される。

12・10　全日本総合バドミントン選手権大会で板垣義憲憲・太田組（トヨタ自工）混合複で優勝。

—・—　第10回東日本学生バドミントン選手権大会，高橋とも子（城北卒・日女体短）優勝。

—・—　第10回東日本学生バドミントン選手権大会で高橋とも子（城北卒，日女体大）単に三度目の優勝。

昭和43年（1968）

2・2　新庄ストロークラブがバドミントン振興のため岸賞を設ける。

5・5　第8回春季高校バドミントン大会。

6・28～30　第19回東北地区大学総合体育大会。（山形市）
山大女子　バドミントン優勝。
7・6　板垣隆房，コーチとして県バドミントン協会より韓国へ派遣される。
8・17　国体東北予選会。
バドミントン高校男女とも優勝。
8・16～18　第20回　釜石市
高校男子複　1.遠藤・田所組
〃　単　1.遠藤好男　2.田所光男
高校女子複　1.柿崎・早坂組
〃　単　1.今野洋子
青年男子単　2.永井司
青年女子複　2.小関・尾上組
教員複　1.永井・鹿野組
混合複　1.金森・佐々木組
8・—　第19回全国高等学校バドミントン選手権大会。（福山市）
女子複，早坂・柿崎組（新庄南）優勝。
10・—　中学校のスポーツ強化講習会（陸上・体操・バドミントン）が11会場で行われた。
11・17　第7回県高校新人バドミントン大会。
12・7　全日本総合バドミントン選手権大会。
単，高橋とも子（城北卒・北辰電器）　混合複，鈴木健二・有木組（東京電々）優勝。

(6)　昭和44年～昭和46年

昭和44年（1969）

2・2　第3回奈良間杯争奪バドミントンオープン女子選手権大会，新庄南高体育館。
5・11　第9回県高校春季バドミントン選手権大会，新庄中，新庄南高体育館。
5・31　第5回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）日本代表に高橋とも子（城北高卒）選ばれる（会場東京体育館），日本バドミントン協会。
6・—　第5回世界女子バドミントン選手権大会で日本チーム6—1でインドネシアを降し選手権を保持，高橋とも子選手大活躍。（於　東京）
9・13～15　第21回　青森市
高校男子複　1.牧野・佐藤組　2.高橋・伊藤組
〃　単　1.牧野文雄
高校女子複　1.名和・岡村組
成年複　1.阿部・板垣組
〃　単　1.板垣隆房　2.阿部茂
教員複　2.永井・鹿野組
〃　単　1.永井司
混合複　1.沼沢・南部組
11・16　県高校新人バドミントン大会，新庄小，新庄南高体育館。

昭和45年（1970）

1・4　第3回新春バドミントンリーグ戦（新庄南高）。
5・1　第10回県高校春季バドミントン選手権大会，新庄北，新庄南，新庄中会場。
8・15　中学生の全国大会が実施される。
8・28～30　第22回　仙台市
高校男子複　1.橋本・今井組
高校女子単　1.矢口節子
青年男子複　2.郷野・沼沢組
成年単　2.板垣隆房
教員複　1.永井・高山組
混合複　1.沼沢・杉原組
10・19　第6回バドミントンアジア大会の日本選手団コーチとして板垣隆房が参加。（バンコク）
11・23　第9回県高校バドミントン新人大会（山形市県体育館）。

昭和46年（1971）

1・3　第4回新春バドミントンリーグ戦。（新庄南高体育館），新庄市バドミントン教室，県インターハイ新庄市準備委員会主催。
1・5～6　第2回東北高校新人バドミントン大会（山形南高），男子日大山形，女子新庄南優勝。
2・6～7　47インターハイ選手強化女子バドミントン大会。（新庄南高体育館）
6・4～6　第22回県高等学校総合体育大会。47インターハイリハーサルのため各地に分散して開催。（山形市中心37会場）
8・5　46年度全国高校総合体育大会，バドミントンで米山・中島組（日大山形）優勝。
8・—～　第22回全国高等学校バドミントン選手権大会で日大山形高校準優勝，同複で米山・中島組優勝，大場・秋葉組（山工）第3位，同単で米山正和準優勝，女子複では矢口・本間組（新庄南）も3位入賞。（於　善通寺市）
9・17～19　第23回東北バドミントン選手権大会兼第26回国体東北予選会。（新庄市）
高校男子複　1.米山・中嶋組　2.大場・秋葉組
〃　単　1.米山正和
高校女子単　2.矢口節子
〃　複　1.矢口・矢口組
青年男子複　2.郷野・沼沢組
青年女子複　1.遠藤・尾上組

成年複　1.板垣・金森組
教員単　1.高山昌三
混合複　1.沼沢・岡村組

10・—　第22回全日本学生バドミントン選手権大会，田所・草島組（法大）優勝。

10・10　第1回新庄市民バドミントン大会。

12・8～10　県体協のスポーツ指導員講習会開催。(山形市県体育館)

12・12　全日本総合バドミントン選手権大会の男子ダブルスで鈴木（電々東京・日大山高卒)優勝。

—・—　第14回東日本学生バドミントン選手権大会で遠藤好男（日大山卒，日大）が単，複二種目制覇なる。

(7)　昭和47年～昭和48年

昭和47年（1972)

3・—　第1回新庄市バドミントン職場大会。

3・26～28　47インターハイバドミントン強化招待試合，東京女子体育大を招いて。(新庄市体育館)

6・14～17　インターハイ県代表チームの強化合宿

7・1　東北高校大会バドミントン日大山形・新庄南優勝。（宮城スポーツセンター)。

8・1～12　第23回全国高等学校総合体育大会のバドミントン新庄市に於て開催さる。
団体　第2位　新庄南高校　第3位　日大山形高校　男子複第2位　秋葉博・三井幸嗣組(山工）同第3位　渡辺秀明・菅野　隆組（山東)。

8・30　バドミントントーマス杯世界選手権の日本チーム監督に板垣隆房。

9・15～16　東北選手権兼国体予選バドミントン，高校女子と教員が優勝（会津若松)。

9・15～17　第24回　会津若松市
高校男子複　1.秋葉・三井組　2.工藤・三浦組
〃　単　1.秋葉博
高校女子単　1.矢口洋子　2.本間浩子
〃　複　1.今田・矢口組　2.本間・中鉢組
青年女子複　2.岡村・矢口組
〃　単　1.矢口節子
教員複　1.永井・高山組
〃　単　1.高山昌三

11・5　第11回バドミントン新人大会（酒田市体育館)。

11・6　第23回全日本学生バドミントン選手権大会，単遠藤好男（日大）複　田所・草島優勝。

—・—　第15回東日本学生バドミントン選手権大会にて男子単　遠藤好男（日大）二連覇を飾る。

昭和48年（1973)

3・3　第63回全英国際オープンバドミントン選手権大会　遠藤好男（日大四年・日大山高卒）が日本代表に選ばれる。（英国ウェンプレー会場)

7・1　第1回県高校選抜対一般選抜対抗バドミントン大会（山形県体育館)。

7・9　東北高校大会バドミントンで男子日大山形・女子城北高優勝（岩手県体育館)。

8・31　東北大会バドミントンで高校女子と教員男子が優勝（秋田市会場)。

8・31～9・2　第25回　秋田市
高校男子複　1.佐藤・黒沼組
高校女子複　1.伊藤・佐藤組　2.堀田・清水組
〃　単　1.清水礼子　2.沢内真由美
教員複　2.高山・真室組

11・3～4　県高校バドミントン新人・一年生大会（新庄市営体育館)。

—・—　第9回トーマス杯（世界男子バドミントン選手権大会）の日本チーム監督に板垣隆房。

(8)　昭和49年～昭和51年

昭和49年（1974)

6・30　第3回東北高校バドミントン選手権で日大山形が3連勝。女子は新庄南高校が優勝（会津若松市)。

7・14　県バドミントン協会高校男子・社会人強化対抗試合（山形県体育館・竹田女体育館)。

9・6～10　第1回東北総合体育大会。（岩手県)。(バドミントン）一般女子・高校男子・高校女子。各優勝。

9・7～9　第26回釜石市
高校男子複　1.米山・加藤組　2.中島・尾関組
〃　単　1.米山孝二
高校女子単　1.沢内真由美　2.今田トシ子
〃　複　1.沢内・門脇組　2.大場・今田組
成年複　2.板垣・郷野組
壮年単　1.白木甲太郎
教員複　2.永井・高山組
混合複　2.沼沢・佐藤組

10・20～25　第29回国民体育大会秋季大会。(茨城）(バドミントン）少年男子日大山高優勝。

10・20～25　第29回国民体育大会バドミントンで高校男子が優勝を飾る。（米山孝二，中島俊彦，加藤信之…日大山形）（於　石岡市)

11・2～3　8競技の新人大会・一年生大会。
バドミントン・卓球・軟式庭球・レスリング・

自転車・弓道・ハンドボール・フェンシング（新庄・村山・鶴岡会場）。

—・— 板垣隆房，日中友好バドミントン大会日本チーム監督として中国へ。

昭和50年（1975）

6・17～18 高等学校体育クラブ活動指導者講習会（バドミンソン・サッカー・柔道）（県体育館・武武館 47名参加）。

6・29 東北高校バドミントン選手権大会(弘前)，新庄南高（松田・遠藤組）優勝。

9・14～16 第2回東北総合体育大会（秋田)。バドミントン 少年女子優勝。

9・14～16 第27回 雄勝町
少年複 2.高橋・川又組
少女複 1.小松・松田組
青年女子複 2.早川・小野組

11・2 バドミントンの県高校新人，1年生大会で開催される（新庄市)。

12・13～14 中学校基礎体力養成講習会（鶴岡市営体育館 82名参加)。
中学校バドミントン普及講習会（鶴岡1中・2中 80名参加)。

12・16 第22回東北学生バドミントン選手権大会，女子単で佐藤（山形短大）が優勝（仙台市東北福祉大体育館)。

—・— 板垣隆房，第1回アジアバドミントン選手権大会に日本チーム監督として参加。（於インド)。

—・— 中学校体育クラブ活動指導事例集第2集を刊行（バドミントン・柔道・サッカー)。

昭和51年（1976）

6・4～6 第27回県高等学校総合体育大会（酒田市)。

7・3 第5回東北高校バドミントン選手権大会で日大山形優勝（秋田県立体育館)。

7・23～25 第16回県中学校総合体育大会（山形市中心)。

9・11～13 第3回東北総合体育大会(宮城)。バドミントン 少年男子・少年女子各優勝。

9・11～13 第28回 石巻市
少年複 1.工藤・伊藤組 2.菊地・藤沢組
少年単 2.菊地利昭
少女単 1.東海林文子
少女複 1.東海林・矢口組
壮年単 2.白木甲太郎

11・7 県高校1年生，新人バドミントン大会（新庄市営体育館)。

—・— 板垣隆房，全英，デンマークオープンバドミントン選手権大会に日本チーム監督として参加。

(9) 昭和52年～昭和53年

昭和52年（1977）

7・24 第17回県中学総体（新庄市)。

8・6 スポーツ指導員養成講習会（バドミントン，卓球，バスケット，バレーボール)山形県体育館。

8・20～22 第29回 会津若松市
少年複 1.吉田・田中組
〃 単 1.田沢幸雄
少女単 2.近藤恵美子
成年複 2.郷野・鹿野組

9・14～15 第1回県バドミントン総合選手権大会（山形県体育館)。

10・23 県民スポーツ中央大会（山形市)

11・2～3 県高校バドミントン新人一年生大会（新庄市体育館)。

11・—～ 第28回全日本学生バドミントン選手権大会男子複で佐藤重好（日大山卒，法大）・仲尾組が優勝，単，米山孝二。（日大山卒，中大)

11・— 第28回全日本学生バドミントン選手権大会男子複佐藤重好（日大山高卒）仲尾組(法大）優勝。

—・— 第1回世界バドミントン選手権大会（ワールドカップ)，スウェーデン，板垣隆房，日本選手団監督として参加。

—・— 板垣隆房，第1回世界バドミントン選手権大会（ワールドカップ）の日本選手団監督としてスウェーデンへ遠征。

昭和53年（1978）

5・20 バドミントン世界女子選手権で日本最多4度目の優勝。

6・24～ 東北高校選手権大会。
バドミントン 男子（日大山形）単複優勝，女子（新庄南）優勝。

7・1～2 第25回県高等学校定時制総合体育大会（酒田市)，相撲を中止，8種目となる。

8・11～13 第29回県総合体育大会（10市町村で行う)。

9・1～3 第5回東北総合体育大会（山形)。バドミントン 少年男子・少年女優勝。

9・1～3 第30回 新庄市
少年複 1.須貝・五十嵐組 2.富塚・高橋組
〃 単 1.須貝英徳
少女単 1.岡田久子
〃 複 1.岡田・中山組
青年男子複 1.三浦・佐藤組

〃　単　2.秋庭一生
成年複　1.郷野・沼沢組
教員単　2.横山正

10・6～8　第2回県バドミントン選手権大会（県体育館)。

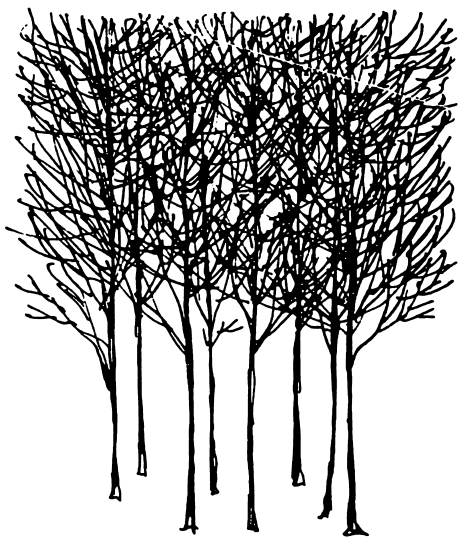
10・8　第8回世界女子バドミントン優勝選手山形大会開催さる。（於　山形市）

10・—　第21回東日本学年バドミントン選手権大会で沢内真由美・高岸組，（東女体大）優勝。

11・4～5　高校新人戦・1年生大会（新庄市)，バドミントン

—・—　板垣隆房　全英・デンマークオープンバドミントン選手権大会の日本選手団監督として再び欧州へ。

—・—　第8回世界女子バドミントン選手権大会の監督として板垣隆房活躍，インドネシアを破り四度目の選手権国となる。



3　山形県高体連バドミントン部のあゆみ

1．発足のころ

山形県のバドミントン競技は，昭和23年にジャワ商会社長小関三郎氏（戦前，インドネシア、ジャワ島で経済人として活躍）の手引きで，バドミントン愛好の有志が山形市小橋町（現相生町）の川嶋氏の畑を借りコートを作り，その畑の中のコートで始めたのが最初である。そして24年６月に参議院議員安達良助氏を会長に県バドミントン協会が発足した。しかし僅か十数校の高校にしか普及していなかった。参加校の選手達は日夜猛練習に励み，その上各校ＯＢの献身的な指導により次第に発展して行った。最初は新庄北高校が，他を一歩リードし，26年８月，札幌市での第２回全国高校バドミントン選手権大会に出場し，準々決勝まで進出し，更に翌27年８月四国善通寺での第３回同大会に於ても，準々決勝まで進出し，２年連続ベスト８入りを果した。この事が他の高校の選手に新庄北高に勝てば，全国大会に於ても上位進出できると，希望目標を作ってくれた。この新庄北高の健斗こそ，現在の全国に通じるバドミントン県となった礎である。初代県高体連バドミントン部理事である新庄北高（当時）五十嵐隆二氏の御尽力に敬意を表したい。氏は小関三郎氏と共に28年８月の第４回全国高校バドミントン選手権大会を山形市に誘致してくれた中心的存在であった。この大会を契機にして、我が山形県の名を全国にとどろかした第１期黄金時代に入って行った。

第１期黄金時代の幕開きは，31年全国総体での山商板垣隆房選手（現県バド協会理事長）の男子シングルス優勝で始まる。続いて翌32年インターハイでの山形商業団体優勝。33年インターハイでの山形南高，団体，個人ダブルス・個人シングルス優勝という完全優勝，その上国体優勝も加えてその年の全タイトル独占。34年、35年山形商業団体で連続全国制覇。正しく５年間にわたり山形県高校バドミントンの実力は全国の隅々まで鳴り響いた。この偉業は当時山形商業高の監督で、県バド協会の理事長であった熊谷重四郎先生の寝食を忘れた情熱あふれる指導があったればこそ成し遂げられたのである。山南の完全全国制覇もその後達成されていない。

2．充実期と47インターハイ

山形県でバドミントンのインターハイが行われたのは過去３回である。28年第４回山形市，38年14回鶴岡市、それに47インターハイ新庄市である。

ここでは、14回から47インターハイ時までの県高校バドミントン界を記す。競技力面では、男子日大山形、女子新庄南が中心的存在であった。インターハイの男子団体２位１回、３位２回。ダブルス優勝，２位、３位、シングルス２位，３位，夫々２回。新南女子団体２位，３位。ダブルス３位３回が両校の戦績であり，これに山形東，山形工が続く。国体での活躍も素晴らしく，高校男子43福井大会で２位，高校女子41大分大会で優勝，47鹿児島大会で２位，44長崎大会で３位といずれも日大山形，新庄南の選手，監督であった。

競技運営面では，36年度より始められた春季選手権大会も開催地新庄市ということで定着した。

県高校総体も参加校数が増えたので，44年度より団体戦16校，複32組，単64名と出場制限をしたが，深夜まで試合が続くこともあり，一部マスコミからの批判も受けた。45年度から強化策の一環として１年生大会（１複２単の団体戦）も行った。47インターハイ，バドミントンの開催地が新庄市に決ったのは44年11月28日全国高体連理事会である。準備委員会45年６月19日，実行委員会46年６月１日設立。会長高橋喜一郎氏(当時市長)，事務局長山科治吉氏，次長樽岡武氏，黒坂厳氏，豊岡昭蔵氏，菅野悦正氏などが中心であった。県協会長は当時押切朝吉氏，役員266名，補助役員475名であった。地元の盛り上りも素晴らしく，婦人会，老人クラブ、一般市民などが「花いっぱい運動」を進め大会に色どりを添えた。各地区バド協会，各高校バド顧問の協力も一糸乱れぬものであった。会場もこの大会の為に46年11月２日に竣工したばかりの新庄市体育館であった。全国高体連の集計のアンケートでは「見事な大会であり，地元の熱心な協力と援助で，支障一つなく終了出来て感謝している。」と賛辞をいただいた。

3．現状と課題

50年代も半ばを過ぎ，47インターハイも遠くに去り行く感じのある今日，全国ベスト８入り位は達成出来ても，全国制覇するには，日大山形も新庄南も力量に蔭りが見えて来た。高校段階での指導だけで全国制覇出来る時代は去った。53年福島インターハイ男子団体決勝戦で，創部以来最強力布陣の日大山形が，全国中学総体バドミントン優勝者で固めた九州学院に勝てなかった。それは，本県が小中学生の資質ある選手を継続的に育成する機関がなく他県に比べ立ち遅れたからではないかと思う。

本県高校バドミントン界の30年の道程は，常に全国の頂点に立ち，王者になる道であった。いわば全国２流の地位は不要といっても過言ではない。その為にはこの輝かしい伝統を受け継ぐ信念と，有能な指導者・コーチの育成，そして何よりもジュニア強化対策こそ，当面の緊急課題であると確信する。

県高校バドミントンの輝かしい30年の歴史を支えてく

れた数多くの指導者，選手諸君の名を記することは省略したい。しかしその折々の活躍に感謝せずにはおれない。専門部長の重責を担われた校長先生も多いが，中でも大井魁先生に対しては，その秀れた識見，鋭い洞察力，行動力で長い間にわたり我がバドミントン部を指導して下さった熱意に謝意を表する。そして大井先生と二人三脚の形でたえずバドミントン部の発展を願って精力的にその任にあたられた豊岡昭蔵先生にも心からの謝意を表し筆をおく。

この原稿をまとめるにあたり，熊谷重四郎氏，故豊岡昭蔵氏、桔梗喜一氏の３氏から玉稿をいただいたことに感謝する次第です。

（文責　入間　照雄）

○歴代専門部長

金森一平	（山　商）	昭・31～35
中山二郎	（山商／山米／西興）	昭・36～44
大井　魁	（米　興）	昭・45～54
水野多門	（新　南）	昭・55～

○歴代専門委員長

熊谷重四郎	（山　商）	昭・27～38
深瀬長太郎	（山　商）	昭・39～41
豊岡昭蔵	（山　南）	昭・42～51
入間照雄	（山　南）	昭・52～



第 2 章

思 い 出 の 記

1 思い出の記

私とバドミントン30年

酒田地区バドミントン協会
渋谷吉章（酒工高勤務）

終戦後間もなく，いろいろのスポーツが学校や職場で盛んになり始めた頃，酒田市内の民間会社に務めていた私も，その当時，職場スポーツでは日の当るスポーツであった野球・バスケ・バレーのうちバレーボールを選んでやっており，昼休み時間や終業後に練習や試合を楽しみながら，体を鍛えていた時代でした。

その当時のバレーボールは現在実施されている6人制ではなく，9人制であり，私が務めていた会社のバレー部員は12，13名位おり，勤務の関係で昼休みに練習出来ない人が数名おりましたが毎日8～9名位の部員が昼食をすませると，すぐコートに集って，部分練習や乱打を中心に汗を流しながら練習し，チームのまとまりも良く，楽しい時間を過ごしました。又年間に何回か地区大会や，遠征の県大会に出場していたものです。

経済界が朝鮮動乱で好況にめぐまれていたので運動部に対する援助も会社の宣伝を兼ねているので，割合に優遇されており，戦後のあまりめぐまれない時期にもかゝわらず，新しい社名入りのユニフォームを着て練習していたものでした。

その後朝鮮動乱後の好況も長くは続かず，神武景気・岩戸景気の谷間の不況で，私の勤務していた会社も，その不況のあおりを受けて，人員整理を実施することになり，12，13名居たバレーボール部も7名ほどに減り，最小限9名居なければチームの編成が出来ないということで，チームスポーツをやっていた悲哀を連日嘆いておりました。

それまでは体を動かして，一生懸命汗を流してスポーツをやっていた連中達が，何かやりたくてうずうずしていたのですが，その時事務所と倉庫の建物の間に縄を張って，普段はスポーツをやっていない2人がラケットを持って羽根つきゲーム(バドミントンらしくない状況で)を結構楽しんでおり，バスケ・野球部等で同じ様にチーム編成出来ない連中が，この羽根つきみたいなバドミントンに俺達も仲間に入れろと始めたのが私とバドミントンとのふれあいです。

始めた時にはルールも判らず，正月の羽根つきに毛の生えた程度の事からやり出し，その時たまたま会社にバドミントンのルールを知っているという人が訪ねて来て，ルールを教えられたものです。

その教えられたルールのうち一部に誤りがあり，その誤りの一つが，試合中は必ず床に片足又は両足をつけること，即ちジャンプして羽根を打ってはいけないことであり，もう一つの誤りがセッテングの場合卓球ルールと同じでジュース（セッテング）の時同点になると，ジュースアゲインが出来るのだと教えられたものです。自分達で練習試合をやっているうちは何もトラブルは無く，2・3ケ月練習をやりある程度のバドミントンの動きが出来るようになった頃に，読売新聞社主催の第一回庄内地区実業団対抗バドミントン選手権大会の要項をいただき，「それでは試合に出てみようか」となったわけです。

盲蛇におじずのルールを誤って理解したメンバーが試合場に行ったところ，他のチームはジャンプをしてシャトルを打ち返しているではありませんか。「これはえらい事だ」「俺達のルールと違うではないか」とお互に顔を見合わせヒソヒソと話しながら試合に出たものでした，私達がルールを教えて貰った人も試合に出ていて，ジャンプして打っているので，「ああ俺達のルールの聞きちがいか」と考えながら，試合も進み，健闘しながら，団体戦を消化し，ダブルス1対1，シングルス1対1で最後の試合もファイナルゲームとなり，しかも，最後にセッテングになり，こちらは卓球ルールと同様に，セッテングのセッテングがあるつもりでおったところ，審判が試合の終了を宣言したわけです。わけもわからず試合が終了し，お前のチームが勝ったと云われても勝った気がしないものでした。

野球・バスケ・バレー部で百戦練磨の心臓に毛の生えた連中でも試合はあがりっぱなし。1回戦はやっと勝ったが，準決勝は接戦で敗れました。

当時を振り返ってみますと，ルールも知らない鉄面被連も，1回戦を勝った事がうれしくて，それ以来毎日の昼休みの1時間はズック靴が1ケ月でボロボロになる位の練習をつゞけたものです。

練習の積み重ねで県大会，東北大会，全日本大会へと出場出来た事は，青春時代のたのしい思い出です。この楽しい思い出の底辺は。28才という高年令になってから始めた，毎日毎日の苦しい基礎練習です。この苦しい練習が30年間にわたりバドミントンに私を引きつけているものと思います。

これからバドミントンを始める人達もたのしい思い出と苦しい思い出が，同時に思い出される練習をやり，永年バドミントンを愛するスポーツ人に育って貰いたいと思います。



バドミントンと私

鶴岡　田　中　稔　一

バドミントンとの出合いは昭和25年ころであったろうか，中学時代も大学に入っても「サッカー」をやっており，バドミントンという競技は知らなかった。冬季グランドでサッカーの出来ぬ時友人の楽しんでいるのを見て仲間に入り，今は無くなった山形高校時代の古い校舎の小さな土間の体育館（？）でラケットを借りてやったのが最初であったと記憶している。ルールも知らず，たゞ羽根を打つだけで，昼休みには学生と大学職員も共にシャトルを追いかけていた。この段階では羽根つきに毛のはえた程度で，バドミントンの先駆者は山形高校の松田嘉雄さんであろうか。

昭和26年度「山形大学文理学部学友会・会員メモ」によると，山形大学にもバドミントン部が発足しており，部長湯村久治先生，代表責任者田中・部員9名・予算1万円で同志を集めて部活動をしていたことになっている。内容的には高校の部活動で鍛え，技を身につけてきた山東出身松下弘君や山南出身河野正臣君等が教育学部に入ってきて，ようやく体裁がとゝのったのではなかったろうか。

大学生時代の想い出として残っていることは，昭和27年であったろうか，第1回全日本大学選手権大会が東京の神田YMCA体育館で開催され，見学のつもりで参加したところ，対戦相手はなんと慶応大学小宮選手（元日本バドミントン協会理事長）で，ポイントは1点か2点で歯が立たないのは当然であった。

また同じ年か，東北大学を会場にして第1回東北大学選手権大会も実施され，われわれ山形大学も，全山形大学チームを急編成して初遠征を行なった。主力メンバーは前期松下君や河野君などで，この時の開会式ではキャプテンとして選手宣誓をし，開幕試合の第1ダブルスではパートナーの松下君の活躍によってラブゲームで勝ち，他の選手も各々実力を発揮して2回戦に勝ち進んだ。その後の成績は記憶が無いのでわからない。

大学卒業後，高校教員になり鶴岡北高，山添高そして現在勤務している鶴岡南高校で顧問となる。その間鶴岡協会に所属し，協会理事や理事長にも推され，バドミントン競技から離れずにいたので多くの貴重な経験をつむことが出来た。その内もっとも稀有なことは，山形県内に在住していながら3度インターハイの役員で参加したことである。第4回大会は山形市，第14回は鶴岡市，3回目は第23回の新庄市の大会で，選手を引率しての出場でないのは残念だったが，大会役員になって全国出場選手のプレーを実際に見られたのは大きな刺激であった。同じ県で会場を変えて3度も大会を誘致出来たのは，全国にも例を見ないことではなかろうか。これもひとえに顧問の小関三郎さん，理事長板垣隆房さんをはじめ，優秀な選手が続々と生まれ育って，インターハイ，インカレで名をあげた実績が高く評価されたためであろう。この伝統を更に更に高めてゆかなければならない。

そして何よりも庄内地区からも優秀な選手を育てあげ，山形地区に拮抗出来るようにしてゆきたいものだ。

鶴岡協会，鶴岡南高もすでに創立30周年を迎えた。これを機にさらに飛躍出来るように大いに頑張ろう。

（鶴岡南高顧問）

バドミントンと私

置賜地区バドミントン協会会長
伊　藤　　勉

「あなたが高校時代，バドミントン選手として活躍しておられた当時，私は口を酸っぱくして話したことばがございます。ダブルスと云うのは，1プラス1が2ではいけない。1プラス1は3にも4にもなるようでなければ勝てない。それにはお互いにパートナーを信じ，自分の責任を完全に果すことであり，また常にパートナーをカバーする気持とそれができる態勢を整えておくことだ。ということです。これをそのまま新しい人生のスタートを切られるおめでたい今日の餞けとして贈りたいと存じます。家庭も同じでありまして，夫は夫として，妻は妻としてのそれぞれの役割があります。お互いに信じ合い，お互いの守備範囲をしっかりと責任を持って固め，決してでしゃばることなく，いたわり合って行くことが何よりも大切なのであります。……」

これは数年前教え子の結婚式での祝辞の一節です。私はどういうわけかシングルスにはあまり興味がなく，ダブルスに強い興味を持つようになりました。考えて見ると，30才を過ぎてラケットを握るようになった私には，シングルスは体力的にきつかった為，ついついダブルスの練習相手を買って出ることが多くなった結果とも云えるでしょう。

戦時中そして敗戦直後のスポーツどころではない混乱期に少年時代を過した私は，バドミントンに対して無知であったのは勿論，相撲や野球以外のスポーツそのものにあまり関心を持っていなかったのです。その私が，米沢女子高校のバドミントンクラブの顧問を命ぜられたのです。コートの側に立って生徒達の練習を眺め，試合場

で，他校の選手達の中に割り込んで練習することができないで，おどおどしている子供達の姿を見ている中に，何としてもこの娘達に勝利の喜びを味わわせると同時に，堂々と自信を持って行動できるような人間にしてやらなくてはと，人並に考えるようになったのです。

しかし，中学校にバドミントンクラブのない置賜地区の選手が，県大会で1勝でも挙げることは，容易なことでないとすぐ知らされたのです。それでも幸いなことに，私には熱心なコーチと素直な生徒達がいてくれます。決して実現できないことではない，努力すれば何とかなるはずだと自分に言い聞かせ，毎日練習に臨んだものでした。

未経験者である私がまずやらなければならないことは，バドミントンのイロハから学ぶことと，休まずクラブに顔を出すことの2つでした。そして新入生と一緒にラケットの振り方から学びながら，2年後，この娘たちが3年生になった時には，完全に自分のクラブにしようと心に誓ったものでした。クラブ活動中の生徒達の頑張りと，瞳の輝きは，この上もなく私を勇気づけ，体育館での時間の楽しさを私に教えてくれたのです。これは30年のそれまでの私の人生で経験したことのないある種の充実感でもあったのです。子供の頃，神社の境内や学校の土俵で相撲をとった時の楽しさとも違う，草野球のそれとも違う。とにかく，自分が楽しむのではなく，生徒達の汗みどろの真剣なまなざしを見つめたり，あるいは，気力のなさに憤激したりの繰り返しが，いつの間にか生活の中心になってしまったと言っても過言ではなかったのです。

私自身のバドミントン知識の向上に伴って，コーチとの相談も基本練習から作戦に至るまでの広範囲なものとなり，また，他校の顧問やコーチ，協会の役員達から吸収できるものも多くなっていったのです。それと共に生徒達の練習に対する注文も厳しくなり，徐々にではあるが彼女達の競技力も向上して行ったのです。

10年近い顧問生活の中，県大会では学校対抗4位，個人戦ではダブルス4位，シングルスベスト8，東北大会シングルス出場1回というのが戦績です。公平に見て，大して自慢のできる成績ではないかも知れません。しかし，これだけでもなしとげた生徒達の努力には頭の下がるものがあります。本当によくやってくれたと今でも心から喜んでいます。

顧問をはなれて10年，50才を目前にした現在，時折1・2年生を相手に羽根を打つことがあります。また，社会人の初心者の練習相手をつとめることもありますが，ゲームとなるとダブルスだけにしています。体力がないという致命的な欠点とは別に，ダブルスの魅力にとりつかれているからです。相手の動きを読み，ハートナーを活かして使う作戦の妙味は，たとえようもないものです。これからも健康に留意して，機会ある毎にラケットを握り，生徒達とも，社会人愛好者の方々とも心の交流を図って行きたいと思います。私の机の側にはスポーツハウスから届いたばかりのカーボンシャフトのラケットが出番を待っているのです。

バドミントンの思い出

千葉　伊藤（渡会）輝子

事務局からのお手紙を頂いた時は，タイムトンネルをくぐりぬけ，あのなつかしい空地のコートの上に立っているようなひとときでした。もう30年も昔の事になってしまったのかと，つくづく年輪を感じてしまいます。と同時に，私はどうして数あるスポーツの中からこのバドミントンを選んだのかなどと今考えてみるととても考えられない事かも知れませんが，当時誰もが知らなかったスポーツだった事と，シャトルコックという美しい羽が空中に舞いあがり，飛びかう様子はとても美しい優雅なスポーツとしてあこがれたのかもしれません。

だから，皆には羽子板の変り形としてしか見て貰えなかったのだと思います。そのために，学校のクラブ活動として認めて貰うのに大変だった事が思い起されます。

コートもなく，ルールも知らず，いつも住宅街の中にあるジャワ商会の裏の空地に，たった一面のコートを作り，青空の下，風が吹けばとばされ，男女を問わず，年令に関係なく手さぐりの練習の毎日でした。けれど，その時が一番楽しい思い出として今残っています。

現在の様な，格好の良いスポーツウエアもなく，男の人はホロシャツにズボン，女の人は体操着にブルマー等の姿で練習をしていました。夏はカンカン照りつける太陽の下で，汗をふきふき真黒になって練習をしたものです。

これもジャワ商会の陰になり，日向となっての暖かい援助があったからこそと感謝しております。ジャワ商会の方々が中心となって始められたこのバドミントンも少しづつ輪が広がり，あちこちの学校，町や村にもクラブが出来かかると，私達はラケットを持ってPRのために出かけました。そして町や村にクラブが1つづつ増えてゆくのがとても楽しい事でした。

やっと第1回の試合の日程が発表される運びとなった時はヤレヤレでしたけれど，その度に体育館を借りコート作りに出かけ，当日は審判と選手を交互にやりながらの懐しい試合でした。

1回ごとにだんだんと盛大になり，申し込み者も多くなって，技術的にも一歩一歩新しい技が展開され向上し

てゆくのが目に見えてわかりました。高校の1年生の時だったと思います。戦争で焼け出された東京が未だ十分な立ち直りではなかったのですが，その中で第4回国民体育大会が開かれる事になり代表として参加させて頂いた時の開会式の感激は，今でも忘れる事はできません。

毎年開かれる国体の開会式をテレビ等で見ておりますと当時の事がなつかしく，年毎に余りにも盛大になって圧倒されてしまいます。

現在，息子もそんな年令になって，私と同じバドミントンを選んでくれませんでしたけれど，家の前で私の相手となって，時々ラケットを振り回わしてくれます。又，私はこの町の同好会に入り，ささやかな時間をシャトルコックと共に楽しんでおります。





思い出の記

山形 小 関 恵 子

バドミントン協会30年の佳節を迎え，今こうして草創当時のあれこれを思い出しつゝペンをとる時，胸の熱くなるのをおぼえます。

思えば終戦を迎えて父が南方ジャワより復員して来たのが昭和21年夏のことでした。営々として築いた全財産をすべて没収されて裸一貫での再スタートだったのです。当時の世相は敗戦後のどさくさで，まだ中学生だった私たちの学校生活もすごくみじめなものだったのです。

そんな時父に，「これからバドミントンの仕事をするよ」と云われて始めて，ラケットとシャトルを見せられたのですが，あの時の新鮮なおどろきは今でもはっきりおぼえています。父のジャワ当時の親友がバドの工場をもっていて盛大に事業をやっていた関係ですゝめられて決心したとのことでした。

でもまだ山形では，バドミントンを見たことのない人ばかりでした。

さっそく父は店を借りて文房具用品と一諸にバドミントン用品を置いたのでした。もちろん経済的にも大変でした。でも父の夢は大きかったのです。商売のことよりも，競技そのものを教えることからスタートしなければならなかったのです。

親戚であり，店の屋主である川島さんより裏の畑を借りました。第四小学校のちょうど裏に当ります。畑を耕地してコートをつくりました。愛好会を作り，旧制山形高等学校の学生の松田さんや山商，北高，西高，東高，南高の生徒が30名ほど集り自由に合間をみては練習したものです。新庄の五十嵐先生もよく見えられました。現在，当時の方々がそれぞれ立派な指導者として活躍なさっていられます。

23年に学校にバド部ができました，勿論コーチも先輩もいないわけでコートも木造の古い体育館，シャトルをとばすと低い天井にぶつかるのです。「あゝもっと高い天井で思いきり羽をとばせたらなあ」と何度思ったかしれませんでした。仕方なく外でやっては風に吹ばされて泣く思いをしたものです。

用具，服装とも今ではとても想像できないくらいでした。ラケットは重いオールウッド，シャトルは陸鳥で，羽が折れて駄目になると，羽を抜いてコルクを当店に持って行き羽をさして再製コックにしてもらうのです。たしか30円でした。紺のブルマーや手製のフレアースコート物資の不足の時代でしたからスタイルもなにもな

いわけですが，はちきれるばかりの若さとエネルギーでシャトルを打ちまくったものです。かんたんに私の戦歴を思い出すまゝメモしてみましょう。

昭和24年８月21日　第１回県バド選手権大会
複優勝（渡会・小関）
単２位
昭和24年10月２日　国体県予選
複優勝・単２位　第４回国体出場（東京都）
昭和25年５月14日　第２回県下バド選手権大会兼東北予選
単２位
昭和26年７月22日　第２回全日本高校バド選手権大会県予選
団体第２位（山形東高，男女）
昭和26年８月　インターハイ出場（札幌）
昭和26年１月31日　第１回市民大会
単２位
昭和27年５月　村山地区兼県大会予選
単　優勝
複　優勝（佐藤・小関）
昭和27年８月　県選手権国体予選
単２位
昭和27年10月　第７回国体出場（仙台）

いろいろ思出は多いのですが最も印象深いのは，昭和24年10月に東京での国民体育大会に東高１年生の時の出場でした。監督は新庄の五十嵐先生，選手は新庄の渋江さん，五十嵐さんと，山形の渡会さんと私でした。戦後４年目の東京は，まだまだ敗戦の傷あとが深くビルもほとんどみられませんでした。私達一行は，五十嵐先生の知人がおられた学生会館という大学の寮に宿泊しました。バド競技はYMCA会館でこの時の国体は，正式種目ではなくオブザーバーの参加でした。成績は２回戦で敗退，始めての全国大会としてはまあまあだったと思います。帰ってから学校の壇上で経過報告をしたのもなつかしく思い出されます。又昭和27年第７回国体出場の時は父も壮年の部の単複で優勝し，山形新聞に"晴れの国体に親子で出場"という見出しで父と私の写真入りで報道されました。その年は新庄の佐藤，神保，五十嵐，西田さん等が強く，山形の女子では私一人だけ出場でした。

昭和30年頃はバドブームは最高でした。バド工場もほうぼうに建ちジャワ商会も，店と工場と本当に忙しい日々でした。５，６年ぐらいで次第に飽和状態となり工場も次々と倒産しました。しかし競技そのものはようやく定着し落ちついた感じだったようです。

長井のあやめ大会は現在も毎年行われていますが，この大会を作る為にコーチに行ったことを思い出します。いろいろと社会的にも経済的にも大変だった時代に心からバドミントンを愛した人たちの力があったればこそ現在の山形のバド界の姿があるといえましょう。

現在私の息子がかって私の歩んだ道をインターハイをめざしてがんばっていますが，思えば私の父がまいた種が親子３代生き続いているのを思うとき感無量なものがございます。



バドミントンと私

新庄　柿崎（神部）登喜子

白いシャトルが真黒になって落ちて来る。こんなこと今ではとても考えることは出来ません。

当時，もう30年も前のことです。全日本高校大会が東京のYMCAで行なわれた時のことです。運良く出場出来決勝戦にまで行きました。たしか新潟の方々との試合でコートに立ち打合が初まりその時は気がつかなかったのですが，いよいよという時，高く上がったシャトルが，２階の観覧席の人々の顔とだぶって見えないのです。目に入るのが黒い玉のようなものが落ちるだけです。目がチカチカ頭がボーとなり一しゅんにして試合終了と合なりました。私達新庄では２階の観覧席などなかった時代の時のことです。あの頃の試合の前後のこと全然思い出すことがないのですがあの薄暗い（？）YMCAのコートと真黒な玉のようなシャトルはいつも私の頭から離れずにこの30年もの間落着いています。今では笑い話の一こまなのです。

考えて見ればいろんな大会に出場させていただきましたが，何といっても国体出場の感激は特別です。あのムード，あの時のことは今でも楽しい思い出です。名前も顔も知らない人達なのに東北人と云うだけで夢中になって応援し喜こんだものです。国体の後に行なわれた東西大会（？）に選ばれ２，３度出場致しました。国体と違ってとてもソフトなムードで試合をした思い出がありま

す。出場者全部が顔だけしか知らない，しかも混合ダブルスです。とても楽しい試合，その後はもう何年来の友達のような気分でとてもさわやかでした。

又全日本に出場した人達と国体でお逢いしたりすると，もう旧友と云う感じです。

こんな思い出にひたるのも何年ぶりでしょうか。ほんとうに楽しくうれしいものです。

私も25年ぶりに昨年秋より又バドミントンをはじめました。体は思う様に動いてくれませんが，とても若やいだ気分になります。若い人達と一緒に,バドをする月2，3回の楽しみですが，こんなにも心を豊かにしてくれるものでしょうか。次回の練習日が待遠しいのです。

昨年11月に山形の方々との交流があり，ほんとうに久しぶりにあの時一緒に国体に行った人とお逢い出来，なつかしくてなつかしくてバドをするよりお話がはずんでとっても楽しい1日でした。

主婦となり25年になりますが，これからもとても充実した日々を過せるのも若い時バドミントンをしたおかげだと思っております。

私が高校生の頃

新庄　佐藤（沢内）照子

私が中学に入って間もなくのころだったと思います。男子生徒がテニスともつかない羽根つきともわからないラケットを持って遊んでいる姿が，とても楽しそうだったので，さっそく借りてやったのがバドミントンとの出合いでした。

高校に入ってさっそくバドミントン部に入部いたしました。男女共学のために部員が60・70名位はいたと思います。コートといったらバドミントンのコートが1つしかなく天井は低く,片すみでいつも先輩の練習を見たり，外でラケット振りをしたりで，いつになったらコートの中で練習をさせてもらえるのかわかりませんでした。

その様な恵まれない私達でも，1つだけいい事に気がつきました。天井が低いためにコックにスピードが出る事を知りました。ただ大きい大会に参加してとまどった事は，天井が非常に高いので，サーブや高い球がくると目がくらんだりした事でした。

私達の頃は新庄にラケットを作ってる所があって，普通のラケットよりも，2，3cm位長いのを特別に作っていたゞき，それを持って練習やら試合に望んだことも有ります。長いのでとっても使いやすかった事を覚えています。その頃は別にそれを使用しても悪いという規定もなかったと思います。

大きい大会に参加してくやしかったことは，高校3年の夏，四国の善通寺で行なわれたインターハイの時のことです。大会の前日，さっそく近くの学校に練習に行きました。優勝候補に上げられていた私達は，うれしさのあまり，ろくな準備体操もしないで，すぐコートに入り2，3本打ち合いを始めました。バチがあたりました。ネンザをしてしまい民家で寝たきりのにがい経験をいたしました。その時のくやしさは一生忘れる事ができません。又，宮城国体での苦い経験ですが，決勝に進んだ前の晩，先生と皆で喫茶店に入りコーヒーを御馳走になり余りのうれしさに夜も眠れず，決勝にのぞみ，足が思う様に動かず負けたことです。準決勝，決勝と前の日にやっていたら，調子にまかせて，優勝出来たのにとくやんだりいたしました。

今思い出す事と言えば，勝った時の喜びよりも失敗やら，苦しかった時のことのようです。長い間バドミントンから遠ざかっていた私ですが，最近なつかしさにかられ,ママさんバドミントンに入会いたしました。週1回の練習に参加させていただきラケットを手にしております。

この古い写真は私が高校2年の時，第3回東北バドミ





ントン選手権大会にて優勝した時のスナップ写真です。カラー写真は今現在の私です。

最後に自分の思っている事の何分の一も書けず，又文章がつゞきませんでしたことを深くおわびいたします。乱筆乱文にて失礼いたします。

30年前のこと

鶴岡　風　間　彦　男

此度県のバドミントン協会の30周年を迎え心からお慶び申し上げます。当時私達がバドミントンのラケットを握ってから30年その年が県協会の創立の年にあたることを始めて知り驚いております。それと言うのも私達が鶴岡南高に入学した年にバドミントンクラブが出来部設立以来今年で30年目になります。不思議な縁といわざるをえません。

当時バドミントンのルールもわからず県内の先進地新庄を見学に行ったり鶴岡に来てもらって技術的な点の指導を受け，その後地元の協会の方々や先生の御協力を戴き，その4年後には鶴岡からも鶴南（女子）がようやく県内で優勝し，全国大会に出場出来るようになりました。当地区の高校にかぎって戦歴を振返って見ると，1年目，インターハイに参加，2年目県新人戦で優勝，3年目県インターハイ男女共3位，4年目女子が県大会優勝，全国大会に出場，5年目女子県大会優勝，全国大会8位，以上のようだったと記憶しております。

このように順調に伸びることが出来ましたのも1つは新庄のバドミントンのレベルが全国的に高く山形県全体が打倒新庄を目標に頑張ることが出来県内全体が恵まれた環境にあったことゝ又一方地元の協会が全面的に協力して下さったためと思っております。当地区に限って見ると協会はしごく家族的でバドミントンをやる人は全員前の公会堂に集り，市役所，金融機関の方々から高校一般まで老若男女を問わず皆が同じ所で一緒に練習し研磨いたしました。ラケットは3軒のラケット工場と輸出協同組合がありそこに行っては，ラケットの大きさや長さなど指定してオーダーで作ってもらうもしばしばでした。今考えて見ますと本当に幸せだったと思います。

今まで小さかった協会も全県各地区でバドミントン教室が開かれ婦人のバドミントンクラブ，スポーツ少年団と益々裾野が広くなり，普及してまいりました。県協会も若い人達が大いに活躍されまして今まで以上に発展されますことを心からお祈り致しております。簡単ではございますが30年前の想い出の一端を申し上げお祝の言葉と致します。

大会に参加しての思い出

鶴岡　平林佳子（旧姓成沢）

バドミントンは私にとって高校時代の楽しい思い出ですが，ラケットを持たなくなって20数年になり思い出もかすかになってしまいました。

私達は鶴岡北高校第1回生（昭和27年入学）でした。1年生の夏休みに学校が火災にあい練習も鶴岡南高校の体育館で一緒にさせて貰ったり，また市の公民館（2面コートでした）で鶴岡工業高校と1コートずつの練習でした。練習コートにあまり恵まれなかった最初の試合は高校2年の秋頃の県大会だったと思います。結果はみじめなものでした。その時流したくやし涙は忘れる事が出来ません。そしてこの様なくやし涙を流す試合は2度とやるまいと心に誓ったものでした。

思い出して苦しかった試合は，昭和29年鶴岡市で行われた国体県予選でした。順調に勝ち進み，シングルスの決勝の日，前日の寝ぞうが悪かったらしく首が自由に動かなくなっていたのでした。いざ試合が始まって第1セットは8対2で負けそうになり，何んとしてもこのセットはおとしたくなく助けをもとめて役員席にいる顧問の秋保先生を見るといつもの事ながら全然関係のない顔で試合を見ていました。「まあ先生は！」と思いちょっぴり反発心も手伝ってかやっとの思いでこのセットを取ることが出来ました。そのために第2セットは楽に試合をやれ初優勝することが出来，この時はうれし涙を流しました。あとで秋保先生は「大丈夫だと思っていたからね」と言うことでした。

昭和29年インターハイ県予選で団体優勝し，金沢市で開かれた第5回インターハイに参加しました。鶴岡北高からは4人（小野寺，矢島，宮崎，成沢）が出場する事になり汽車に乗り金沢に着いたときにはみんなの顔が煙でうす黒くなっていました。いざ開会式，第1会場のスポーツセンターに入っておどろきました。会場の広い事，天井の高い事，ただただびっくりした事をおぼえています。試合前の練習も相手チームばかりが上手に見え，何となく元気をなくしていたら先生に「相手の方から見たらお前達も上手に見えるから心配するな。」と暗示をかけられその気になったものでした。1回戦は和歌山県向陽高校と対戦，どきどきしながらも3対0で勝つ事が出来，旅館に帰ったのに先生にきつく叱られたのです。その時は勝ったのにどうして叱られなければならないのか不思議でなりませんでした。2回戦は宮城県古川女子高校でした。がんばったのに2対1で負けてしまい，また叱られると小さくなっていたら意に反してほめられたのでし

た。勝って叱られ，負けてほめられると言う事は理解出来なかったのですが，後で考えるとやはり試合の内容が大切なんだと思います。

高校最後の試合は宮内での第６回県選手権兼東北大会予選でした。この大会は鶴岡地区の一般の方々と一緒の旅館で，結構楽しくなごやかな雰囲気の中での大会だったと記憶しています。成績はシングルス，ダブルス共に優勝したのですが，学校の許可が出なかったため東北大会への出場は出来ませんでした。もし出場していたら３位には入れたのにと思ったものでした。

以上，記憶をたどりながら書いてみました。私は子供にバドミントンを教えたり，やりなさいと言ったことはないのに，娘（浩子）が同じ鶴岡北高校でバドミントン部員として頑張っています。娘を見ていて，私達はこんなつらい練習はやらなかったのに，あの当時は本当に良い時代だったなあと思い出しております。

皆様の今後ますますのご発展をお祈りいたします。



バドミントンとの出合について

寒河江　鈴　木　常　治

私は県立寒河江高校で初めてバドミントンをしました。昭和30年卒業と同時に現勤務先に勤めましたが勤め始めてまもなく８市（市役所）対抗バドミントン大会が上山市でありまして，２日間にわたり試合をしました。まもなく寒河江市体育協会バドミントン協会に入会しました。入会当時は現会長(石山力)，大沼良一，国井一男，小林正一と私で５人で体協の運営をし月例会等を行ない会員相互の技術の向上を目途に更に寒高バド部の指導等にあたってきました。しかしながら途中で勤めの関係でやめる方があり残ったのが私と会長の二人だけでした。振り返って見ますとバドミントンに情熱を傾注したことが今更ながら夢のように思い出されて仕方ありません，バドミントン人口の普及と底辺拡大をめざして手製のポール，ネット，ラケット（木製）等を花むしろで囲いながら，当時は車はなかったので自転車の荷台につけ毎月２回（日曜日）寒河江市内各地区を訪問しながら講習会を実施してきました。ある時は雨の降る日かさをさしながら，ある時は雪の降る日，又，汗のしたたる真夏の日，そして高校の体育の授業の日にと，かえりみますれば想像もつかないものでした。それ等が実りましてやがて寒高バド部も盛んになり寒高女子のハダシのプレーはすばらしい記録として残っている。県大会３位入賞（鈴木和子，旧姓長岡），岡田あい子（旧姓広野），大掛三八子（旧姓井上），望月藤子（旧姓江口），昭和31年には第１回寒河江市民バドミントン大会が実施されました。特に寒河江市役所バド部では経験者は私１人でしたので，勤務後寒河江南部小学校で15，16人を相手に指導してきた。合宿に於いては寒河江八幡神社の階段登り降り20回連続落ご者がなく全員実行した。市内１週のロード，そして大会に優勝した時にはその苦労もふきとびました。昭和35年には山形市から指導者を３名お願いして講習会を開いた事もあります。(確か阿部さんと記憶に残っている)，昭和37年から昭和52年迄には長井市あやめ祭りバドミントン大会へ参加，初参加した37年には男子３位（鈴木常治，大沼良一，国井一夫，小林正一）女子３位（鈴木和子，旧姓長岡），武田喜枝子（旧姓古沢），渡辺良（旧姓京谷）翌年からは渡辺正紘（現山形東高），大沼和，和田克彦（旧姓西川）が参加，昭和43年には第１回寒河江市職場対抗バドミントン大会が，昭和54年には第１回西村山地区バドミントン大会が実施され以降各市町で持ちまわりで大会を開いています。昭和50年には寒高バド部女子（ダブルス）佐竹初子，石川美和子地区３位，昭和51年８月陵羽会発足（寒高バドOB会），昭和52年６月に第１回陵羽会新年会を実施，同年８月第１日曜日に総会を寒高（長陵会館）で実施している。(以降毎年実施している。）52年新人戦男子ダブルスでベスト４（鈴木東光，八矢広志），50年から53年迄大江町へ指導講習会に行く(鈴木常治，渡辺正紘，佐藤薫，志田佐太雄）更に51年には西川西部中学校必修クラブでバドミントンをやっているので指導要請あり石山，鈴木等６名が指導にあたった。同年バドミントンスポーツ教室を開く対象者50人最初にしては大成功と思われる。52年８月教員の部で県大会準優勝，東北ミニ国体に出場（渡辺正紘，大飼藤雄(コグワ小)（尚渡辺は昭和43年から46年にも東北大会に参加している。）55年８月県総体大会（米沢市）では混合ダブルスで優勝（八矢好幸，安藤好）し東北大会に参加している。同じく県総体大会の席上に於て永年の体育事業にこうけんしたということで石山会長が山形県体育協会々長より体育功労賞をいただいた。55年7月から8月にかけて初心者バドミントン教室を実施参加者40名，まったくの初心者であり基本から実戦までに指導した。現在も初心者でクラブを作り毎週金曜日練習に励んでいる。また寒高バド部卒佐藤薫が53年に寒河江にクラブを結成西川，朝日，大江各地区を精力的に指導にあたり毎週月，木の練習会を行っており，昨年11月末日に行なわれた山形新聞杯大会で２部の団体戦で優勝（佐藤薫，佐藤義明，八矢好幸，阿部光雄，林重美）した。これも一重に佐藤薫の指導功績が大きい。56年３月にはヨネックス本社より講師２名を招き(関根和子，工藤重治)技術講習

会を実施した。3月21日天童市で開催された長岡杯バド大会で男子1部寒河江クラブ（佐藤薫，八矢好幸，八矢広志，五十嵐澄雄）男子2部寒河江市役所（鈴木常治，安孫子弘志，安彦浩，有川洋一，秋場元）女子2部寒河江クラブ（鈴木寛子，鈴木ひで子，佐藤敏子，渡辺美紀子）それぞれ優勝した日頃の練習のたんれんが実って非常にうれしかった。

最後に高校時代の恩師細矢藤悦先生（現中央高校長），石山協会長，入間先生（現山形南高校），渡辺先生（現山形東高校）の指導によりまして現在迄いたっております。これからも益々寒河江市バド協会の発展を目指し活動していく決意であります。

インターハイの思い出

山形　早坂周助

8月の暑い夜汽車に揺られ，立ち通して明け方ようやく席に座ったのが金沢駅を過ぎたあたり，日本のベニス，水の都島根県松江市に着いたのは，何時頃だったろうか。熊谷先生外私達6名，元気にすすけた顔をして旅館に入りました。話しには聞いていたが町の中川だらけで山に囲まれて育った者にとっては，誠に珍らしい景色に写りました。

24時間汽車の中，その晩は死んだ様にぐっすりと眠りました。翌日出雲大社にお参りに行き，それぞれの思いを祈願したのでした。

多分，皆んなは1勝でも多く勝ち進む事を祈願したに違いありません。「お前，なに拝んだ」「教えらんね，けど分っぺ」そんな会話をしながら，いよいよ明日から団体戦の始まりです。旅館に帰り皆で必勝を誓いあったのでした。

3年間血の出る様な練習の成果を発揮する時がいよいよ来たのです。『練習だけは日本一やってきたんだ』そんな熊谷先生の励ましの言葉に私達は，そうだ日本一練習だけはやって来たんだ。そう自分に言い聞かせて試合に望んだのでした。

1回戦，2回戦，3回戦以外と云う程楽に勝ち進みました。明日からいよいよ準々決勝だ。もしかしたら，決勝に行けるかも知れない。そんな夢を抱きながら準々決勝に望み，そして準決勝と勝ち進んだのでした。もういいじゃないか，ここ迄来たんだもの。準決勝に勝った時は，皆んなその様な気持で一杯ではなかったかと思います。いよいよ決勝戦です。まだ太陽が沈まない，午後6時試合が始まりました。相手は，優勝候補地元松江商業です。第1ダブルスは私とペアーの佐藤寛君司，応援席は私達7名以外総て松江商業でした。1球1打のミスにも耳をふさぎたくなる様な大きな拍手をされ，相手の応援団に負ける事なく，絶対に勝てぬと思っていたのに，遂に勝ったのです。"バンザイ"その瞬間の嬉しさは，とうてい言葉では言い表わす事ができません。もしかしたら優勝？第2ダブルス渋江，五十嵐君必死になって応援しましたが負けてしまいました。そして第1シングルス。私も全戦及ばず負けてしまい，第2，第3シングルスに勝負がかかったのです。第1シングルスで負けた私は悔しさと云うよりは，精一杯やった，皆んなにはすまないが勘弁してよ，そんな言葉を後にして外に出て行きました。朝から飲まずに我慢していた水を腹一杯飲んで星空を見上げた時は，時計の針は9時を回っていたでしょうか。急いで帰ってみると，第2シングルスの佐藤寛司君が勝っているではありませんか。勝てぬと思っていた相手に根性で勝ってくれたのです。有難うようやってくれた。第3シングルスの五十嵐良一君に総てがかけられたのです。彼は，私達の声援に見事に答えてくれ夢にまで見た日本一の座を獲得したのでした。

正月も休まず，練習練習の毎日，特別に恵まれた素質もあった訳もなく，特別な体に恵まれていた訳でもないのに良くぞ優勝なんて出来得たものだと感心したし，感心されたのではないかと思います。

決して生活の恵まれない環境の下で血の出るような練習と精神力，そして先輩方の毎日のはげましに足を運んでくれた。そんな選手と先輩が一緒になって戦った結果の勝利だったのだろう。



昭和33年の想い出

山形　金森　義弘

当時の県バドミントン界は，前々年に板垣隆房氏（当時山商）がインターハイでシングルス優勝，前年には山商が団体戦全国優勝し，全国に「山形」の名が広がりつつあるころであった。したがって県大会のレベルは相当高く，県で勝てば，全国ではかなりのところまで勝ち進めるというころであった。

我が山形南高校は，それまで個人戦で全国大会に出場した諸先輩は多数おられたが，団体戦で優勝し，全国大会に出場することが最大の望みであった。そのために，当時顧問であられた服部倉太先生，猪股義朗先輩（当時法大）等多くの諸先輩方が物心両面で大変御苦労なされたことを記憶している。

当時の南校の3年のメンバーは次の4名である。

板垣　善憲　（立大卒　トヨタ自工）
永井　宏正　（中大卒　橋本商店）
船山　幹広　（法大卒　八千代信用金庫）
金森　義弘　（中大卒　山形県庁）

4人はお互いの家が5分と離れていないほどで，小学校，中学校は一緒，それに南校に入ってからはじめてバドミントンを始めたということまで一緒である。結構けんかもしたが，朝から晩まで年中一緒に行動していて，チーム・ワークのよさは抜群であった。

また一方，山形商業は同じように3年生が4人揃い全国2連覇をめざし猛練習していたし，伝統の山形東，新庄北なども優れた人材が育っていた。

インターハイ県予選では予想どおり山形商と山形南の決勝となり，山形南が一方的に3－0で勝ち，念願の団体戦初優勝を飾った。個人戦でもダブルス・シングルスとも南校同士の決勝となり，全国大会の出場権を一手に握ったのである。

全国高校選手権大会は新潟市でおこなわれた。なにせ全国大会出場というものは，前年国体出場の板垣を除き3人共はじめてのことなので，大会の雰囲気にのまれないようにすることが最大の課題であった。関東の名門高の連中の態度があまりにも堂々としているのが印象深かった。

試合前の練習場に行って気がついたことは，シャトルにあまりスピードがなく，ひょっとしたらこれはやれるのではないかという思いはあった。

その訳は，当時の南校の体育館は，非常に天井が低くまともなハイクリヤーなどは練習ができず全部ストレートの球すじで逃げたり，相手を追いこむという練習をやっていたので，シャトルのスピードはかなり早く強いものを全員持っていたことである。また，シングルスの場合，サービスを高く上げられると待っている時間が長く感じられ2年生の大会では苦戦した経験があるので，大会の前2週間，特に元の県体育館（カマボコ型）の管理人にお願いして毎朝6時から7時半位までハイクリヤーなサービス等の練習を重点的におこなったことである。

今考えると金も払わず気持ちよく練習をさせてくれた管理人の方の度量の広さに，深く感謝している。

さて試合は団体戦から始まり，初戦は5－0と幸先の良いスタートを切り，2回戦も3－0と楽勝した。これはいけるぞと思った矢先，突然エース板垣の右手首が激痛をおこし，夜医者に行くやら，夜半中シップをするやら，てんやわんやの騒ぎとなった。なにしろきき腕の右手首が曲げることもできない状態になったのであるから，これは大変なことであった。しかも3回戦は全国制覇を狙う関東の名門第3シードの聖学院高校であったので我が山形南もこれまでかと思われた。

翌朝も状態は良くなかった。試合を前にして猪股先輩より「板垣は前衛でシャトルをストップするだけで良い。後ろは全部金森に任せろ」という作戦が指示された。いきおい船山・永井組に負担をかけるかたちとなったが，それが逆に作用して，当って砕けろ!!自分達がやってやろう!!という気運が盛り上り，組合せもうまくいき，ダブルスを2勝し，シングル1つ落しただけで3－1で幸勝した。準決勝は神奈川の関東学院六浦高校で，これも3－0で下し，決勝は石川の津幡高と対戦し，3－0で一方的に破り，初の全国制覇を飾った。団体戦後板垣の手首も序々に回復し，個人戦では，ダブルスで南校同士の決勝となり板垣・金森組が優勝し，シングルスでも板垣が優勝し，舟山もベスト8位という高校バドミントン界に一大快挙をなしとげたのである。

インターハイが終了し，国体の県予選では，ダブルスでは板垣・金森組，シングルスでは板垣が優勝し，第2位に新庄北の小林が進出し，国体のメンバーは板垣・金森・小林と決まった。東北予選会では楽勝し，富山県高岡市でおこなわれた国体にのぞみ，初戦に地元と対戦し，若干苦戦したが2－0で下し，準決勝，決勝においては楽々と勝ち進むことができ，山形県バドミントン界において初めて国体で優勝したのである。

33年の2つの大会を振り返ってみると，初めての全国大会での緊張，途中のアクシデント，団体戦優勝，個人戦優勝などの試合での模様と，早朝のトレーニング，ランニング，ゲームなど，練習に練習を重ねた毎日の模様が走馬燈のごとく脳裏をかけめぐる。1年生の時は，基礎体力の養成に努めとにかく走りに走ったという感じである。現在はすぐにシャトル打ちに専念しがちである

が，夏場のインターハイに優勝を目指すつもりであれば，まず基礎体力を十分につけることが肝心だろう。

又我々は現在のように中学校からバドミントンを始めたわけではないから，技術的にも未熟なものにもかかわらず，その時の先輩方の暖かい支援と，服部部長の影ながらの応援，又当時のバドミントン関係の方々に大変お世話になったことにより，数々の勝利を得ることができたのだと感謝申し上げる次第である。



高校時代の思い出

東京　太　田　　章

東京に出て来て20年，1981年の新春を迎えた今日，東京の郊外東大和市小学校体育館で仲間たちと，シャトルを打ち合って，汗を流している。かえりみると，不惑の年になっても夢中になれるものがあること，楽しい仲間ができること，おいしいビールが飲めること，高校時代にバドミントンをやったお陰である。

青春時代に，どちらかというと虚弱な体に，なにかスポーツでもと思っていたところ，出合ったのがバドミントンであった。

その南高校時代に，良き先輩にめぐまれ，技術的なことはもちろん，色んなことを教えていただいた。中でも猛烈に印象に残っていることは，悪さをしたことである。

1年の夏の合宿のことである。当時の食料事情は満足するものではなく，朝から晩まで納豆が唯一の蛋白源であった。合宿も終りに近くなって，食料不足を補うということで，暗闇の中を食料調達に出かけた。当時学校裏は，リンゴ，すいか等の畑であった。目的地へつき，先輩の指導のもとに垣根をのりこえ突入した。しかし収獲物は未熟な物ばかりであった。始末に困った私達は証拠隠滅をはかるため校内の便所にすてた。ところが翌朝，私の体には赤い発しんがで，かゆくてしょうがなくなっていた。垣根ごえの時にウルシの木にさわった，たたりだったのだ。私は先輩から合宿を追放させられた。今は楽しい思い出として語れるが，その時は必死だった。もし学校に知れたら，休部になるようなことだったであろう。

そんな野性的な部であったため，練習は猛烈をきわめ，先輩は鬼のような存在であった。お陰で大会の成績は上位を占め，毎年インターハイに出場する名門校であった。特に2年後輩の諸氏がインターハイで完全優勝を果し南高のバドミントン部の歴史に輝かしい記録を残してくれた。

これも長い伝統を築いてきた，先輩，後輩の心のつながりがあったからだと確信する。

現在全日本の監督として，又テレビ解説者として活躍している板垣氏を，ブラウン管に見るにつき，高校時代胸を借りたことが懐しく思い出される。バドミントンを人生の友として，こよなく愛していきたいものである。

山南バドミントン部と私

山形　服　部　倉　太

戦後5年目，昭和25年国民生活も飢餓状態から脱け出した頃の生徒は全般的に積極性があり，常に何かを模索していたような気がする。

そのうちでも特にバドミントン部員はそれぞれ個性豊かな生徒が揃っているし，部に昇格したので，3年生の担任だとの理由で顧問になれとのことで，全く未知の世界に踏み込むことになったのがバドミントンとのふれあいであった。その後14年部員活躍の条件作りの裏方さんに徹するを信条にして苦楽を共にした。

図らずも今般協会から「全国制覇を成し遂げて」のテーマの原稿依頼があったので，各種資料を探してみたが見当らず，止むを得ず昭和54年3月の「山南バドミントン部創立30周年記念OB（OG）会名簿」をひもといて記憶を辿ってみます。

部創立以来14年インターハイに何らかの形で出場権を得たのは10回，うち団体で出場権を得たのは7回で第10回会津大会では団体で5回以上の出場校として受賞した。国体出場者を出したのは2回。出場権を得られない時も惜敗の連続でした。只それ以上に涙ぐましかったのは第5回迄でしたが団体で県2校乃至3校が出場権を得た時で，山南の派遣規程では団体に派遣費を出すのは県優勝校となっていて，第2回札幌大会には体育後援会から打切支給で出場。第3回善通寺大会には県2位の出場権なので派遣費ゼロで出場断念。第5回金沢大会には，県2位。辛うじてエントリー7人中4人のぎりぎりにしぼって，宿泊料2泊分と交通費のみ支給での出場だったが4回戦まで進み，県優勝校はとうに敗退して市内県学などもしていた。外出禁止。金沢まで行って兼六公園も見ずに4回戦終了後直ちにバスにも乗らず徒歩で息せき切って駅へ急いだ姿がいまだに脳裡に去来する。

尚その上に当時の山南にはインターハイと国体につながる試合にのみ派遣費支給の規定があり，技術的にのびざかりの生徒が，出場権を得たが，一大会に出場するか否かは，その後の試合に及ぼす影響と各部とも強くて派遣費がかさみ，その捻出に四苦八苦している学校の立

場との間に立って苦悶し，まさにハムレットの心境だった。にも拘らず生徒は思い煩う様子も見せず派遣費の出ない大会にも自己負担で出場したものだ。部費の問題も同様で練習用シャトルコックも部員の要求を充たすにはほど遠い状態だった。

その間県内大会では多くは2位で，当時圧倒的強さを誇示していた先進校である新北との定期戦が，県制覇の熱意に燃える創立者達の肝入りで持たれるようになったらしい。その巨象新北の連続県制覇の次には当然山南の制覇と自他共に目されていたが，鳶に油揚をさらわれるが如く，山商に敗れての2位で，万年2位の汚名を甘受しなければならなかった。OB諸君の一丸となっての熱烈な指導支援にも拘らず夢を果たせず誠に申訳なく思ったが，30年にはOGながらもインカレで単優勝を果たしていた。第7回での山商の単全国優勝。更に翌年には団体優勝と破竹の勢の頃部員足らず，3年生，2年生だけでも足らず新入生からも入れてチームを編成しなければならなかった。それでも矢張り県2位。この新入生は秋の校内マラソン大会では4人が10位以内に入って来て技術指導を全くやれない私にも，果たせぬ夢を達成させるべく3年がかりで育成しなければと思わせていた。だがその後新体育館の新築が相つぎ，山南体育館では天井が低くて特に単では著るしく不利という障害が出て来た。それを克服するには方々の体育館で練習させて貰ったり，遂には朝5時起きして県体育館で練習し続けるに至るのである。昭和32年3年生1人で2年生主体のチームとなった。国体県予選では，2年生ながら全員大活躍し，団体優勝に輝く山商相手に単2位となり国体出場する者も出て大いに気勢をあげた。(旧)体育館の照明をよりましなものにしてくれとのことで校長に直接御願いしてして貰ったこともあった。（今にして思えば螢の光のようなものではあったが)。然るに地区新人戦3年になってからも地区大会では，連続して山商に敗退する結果となり，伝統の強みと敗けぐせの情なさ。こんな場合には2倍の力がないと勝てないものだと痛感させられた。然し生徒はOBの苦労話を吹きこまれていたとみえ，団体優勝で全国大会出場が暗黙の了解となっていた。OBからはコックの世話は無論のこと，連日の如く激励の手紙が届いたものだ。合宿の時は昨夜は12時迄練習をしていたと宿直の先生から，又某は成績不振と担任の先生から苦情が出たのもこの頃だが私は全国大会をこそ入試と思えと言いきかして来た。インターハイ県予選では私も愚痴っぽくなって山商との決勝戦だけは山商のホームコートでなく女子会場である西高体育館にしてくれと要求，承認されていたので両チームが西高に行ったが，試合進行上日程がつまっていて，山商に引き返し複2つ同時試合開始，山南選手は動きよくポイントを重ね，2つ共勝った時は思わず不覚の涙が溢れ出た。均衡を破った後は完全に波に乗り全出場権を独占した。恰もOB諸君の執念を一気に達成した感があった。よきライバルに恵まれて，新潟大会では試合初日に手首を痛め手首を氷入りの布でしばり洗面器に右手を入れて寝よと医者に指示されたり，鼻血が出てしばし試合中断のハプニングもあったが，全種目優勝しかも複決勝は山南同志の対決となり，次に単決勝が残っていて，相手は個人戦のみ出場なので，スタミナ温存の為に，大学ではよくあると聞き，当方に勝者を決めさせてくれと申し入れたが受け入れられず，1セット目を落しての優勝だった。もう1つの単もベスト8入りした。次に最も警戒して生徒にも注意を促していたのだが好事魔多しの譬の如く，国体県予選では単2位を新北に奪われ，新北との混成チームでの国体優勝であった。第11回大会でも県2位で出場，ベスト8入りした。たった一度の県優勝が，インターハイ全種目優勝，国体優勝となったのである。

33年度卒の部員4人が3つの大学に進学，その後コーチするにも相互遠慮の風あり，悔いを残した。10年に1度の業績と思っていたがその後20余年匹敵するチームが出ないのは予想外であった。10年に1度はどこにでもこんなチャンスがあるのではなかろうか。余りにも輝かしい成果なので，唖然として其の後OB達が余り寄りつかなくなり，どうにかOB団の組織作りを思っている私に転任となった。

新しく覚えることは至難だが忘れたことを思い出すのは容易だといわれている。少くとも10年に1度づゝは思い出してくれ山南よ!!





バドミントンで思うこと

山形　山口良典

私にとって，バドミントンは，人との出会いであり，学びである。昭和32年に，始めてバドミントンを知り，立派な先生・先輩・メンバーに恵まれ，運よく34年インターハイで，全国優勝を経験させていただいたり，国体・全日本選手権・東北大会等各大会にも，出場させていただき，貴重な体験を積むことができました。これも，すばらしい人達との出会いがあったればこそと思っております。なかでも，恩師熊谷重四郎先生の教えの中で，「為せば成る，為さねば成らぬ，何事も，成らぬは人の，為さぬなりけり」は忘れ得ぬ言葉であり，社会に出てからも私の座右の銘として，いつも肝に命じて参ったものです。その後，仕事の関係で全国を転々し，ラケットも握ることなく，夢中で社会勉強をさせていただきました。16年振りに山形に戻り，なつかしいバド仲間と再び会えることができ，又お世話になったバド界に，微力ながら恩返しをしたいという気持で，協会に入れていただきました。お陰様で，新しい友人，知人も沢山でき，スポーツ振興の世の流れもあり，健康のためと皆さんにすすめられ，時にはラケットを握ることもありますが，今になってバドミントンの魅力と奥深さを感じております。バド仲間・協会の皆様の，ビジネスの世界では考えられない，「純粋な，ボランテァ精神」に，いつも，感服している次第です。そこに学ぶものは何か，「報恩感謝のその心意気」です。今後も，人との出会いを大切にし，「一期一会」の気持で，バド界より学ばせていただきたいと念じている今日このごろであります。

バドミントンの思い出

東京　木村（菅藤）洋子

高等学校を卒業して丁度今年で20年になります。入学した時は，3年生が1人（間さん）2年生が4人か5人いました。1年生は，20人前後入部しましたが，20人から10人，10人から5人，5人から2人と練習のきびしさで退部していきました。2年生になった時は，3年生は4人ですみの方で練習していたのがコート内でやれる様になり3年生の人達に良く面倒を見ていただきました。

3年生が全国大会出場の時に福島県会津若松にて2年生で私が1人出場，3回戦で敗れました。私の3年生の





時は女子１人で２年が５人でした。シングルスは県大会で優勝，ダブルスはペアの関係上，２年生２チームをつくり県大会団体個人戦優勝，インターハイ（全国大会）は福岡県久留米市で３回戦で香川県代表善通寺一高と戦い敗戦しました。

用具などは，ラケット2,000円～3,000円前後を使用，ユニホーム，ブルマー，又は綿の白トレパン，シャトル，ファスト，運動靴は２週間位で親ゆびの底に穴があき買うのに大変でした。

結婚して16年になります。長男は中３，次男は中１，三男は小４の３児の母親です。

ママさんバドミントン部に入り区民大会，学校のPTA大会に出場，週２回の練習をやりそれなりに自分で楽しんでいます。

バドミントンほど練習をやればやるほど難しく，たのしいスポーツはありません。



インターハイの思い出

千葉　富　樫　亮　一

山形県バドミントン協会の創立30周年まことにおめでとうございます。山形のバドミントン界で育てられた者の１人として，大変感激しております。

昭和36年，弘前でのインターハイの個人戦（シングルス）に参加いたしました。当時の顧問部長の東海林先生とペアを組んでいた笹島君と３人で山形駅を出発したのを覚えております。

当時，山形の高校バドミントンは，山形南，山形商業が非常に強く，３，４回連続してインターハイに優勝していた時でした。板垣さん兄弟，永井さん兄弟と，両高校の先輩の御活躍が，私達，山形東の部員の間でも，神話の如く話されたことを覚えております。こうした中で，あこがれの的であったインターーハイに参加することになったわけですが，寂しい気持で出発したことを思い出します。

弘前に向う汽車の中で，東海林先生や笹島君と，やはり，インターハイは，部員全部で参加したかったと何度も話あったことを今でも忘れられません。米沢でおこなわれた，高校総合体育大会で，山形商業が，新庄北高に準決勝で敗れ，私達が決勝で新庄北に敗れ，団体出場の夢が破れたことが，強く印象に残っております。

弘前での試合は，２回戦で，横浜緑ケ丘高校の加藤君に敗れ，むしろ，敗れてあたり前位の気持でした。

弘前にいき驚いたのは，他県の代表選手のプレーが非常にきれいであり，ハイバックを自由に駆使していたことです。特に，新潟商業の大竹選手のプレーに目を見張ったものです。

心細い思いで参加した弘前の大会ですが，山形商業の部員の皆さんと同じ旅館であったことは，非常に頼もしい気持でした。特に，当時の山商チームの主将をしていた森谷君とは，同じ山形五中で同級生であり，中学で一緒にバドミントン部に入部した仲間です。彼が山商チームにいた為に他の山商の諸君とも親しくさせていただき，また何かと激励もしていただきました。

森谷君との思い出で忘れられないのは，インターハイの前の高校総体です。彼とは，高校総体の前に，団体戦で決勝を争い，共に，インターハイに参加しようと話をしていたのですが，（当時の山商は，前年度インターハイ優勝チームで，山形県からは，山形商業ともう１チームがインターハイに参加できた。），共に新庄北高に破れることになり，皮肉なことに，シングルスの決勝で顔をあわせることになったのです。

バドミントンは，最後は，個人プレーのスポーツですが，インターハイへ参加して，やはり，３年間，苦楽を共にした仲間が，一緒に参加して，充実したものになるのだということを，身をもって教えられました。





私があゆんだバドミントン

東京　鈴　木　健　二

1959年，中学時代のクラス対抗バドミントン大会にクラス代表で出場して優勝したのが切掛けでバドミントンに興味を持つようになりました。

本格的に始めるようになったのは日大山形高校に入学

してからでした。顧問の桔梗先生との出会いで今日までバドミントンに夢中になったように思います。私自身運動神経があるわけでなく毎日トレーニングと審判だけでした。トレーニングはよく千歳山まで走ったものです。体育館ではバスケットのコートを5周もうさぎ飛びをやり，冬には雪の中でラグビーやサッカーをやっていました。1年の時の記憶はトレーニングだけが強く印象に残っています。高校2年の時は上級生が2人だけだったのでやっとコートの中で練習ができるようになりました。先生とこのころから話もできるようになり，毎日コートの側で一緒にスマッシュの打ち方，バックハンドの打ち方を教えてもらいました。

日大山形高校も創立2年目で地区大会で勝つことも出来ず，毎日が先生と私達で伝統のある高校への挑戦でした。中でも山商に対戦できることを目標として練習していました。3年目で私と渡辺，加藤，横山，団体戦のベスト・メンバーがそろいました。そして春の県大会で決勝進出，みごと優勝することができた。このままで行けば念願のインターハイに初出場できるのではないかとうかれていた。けれどさすが伝統ある山商でした。春の大会からインターハイ県予選まで約4ヶ月の間に山商は練習に練習を重ねていたようでした。そして7月のインターハイ県予選で春の大会と同じく決勝で山商と対戦，ベスト・メンバーは荒井君，佐藤君，横倉君，郷野君と記憶しています。

春の大会の優勝は夢のごとく破れてしまい「勝って兜の緒を締めよ」とはこのことかも知れませんでした。でもよきライバルとして山商と対戦できたことをうれしく思っています。

バドミントンに対しての厳しさと理想を求め自分自身に再度挑戦したいと思っていたところに山南出身の猪股さんにめぐり会うことができ法大に。入学してみるとさすが全国からの優秀な選手ばかりでついて行くのが精一杯であった。運よく2年生の時に春，秋のリーグ戦とインカレの団体戦で3冠王になるメンバーに入ることもでき，またダブルスでも優勝することができました。そして1965年9月30日～10月15日までインドネシアで国際招待バドミントン競技大会に初めて参加することが出来た。好運にもその時のパートナーが板垣（弟）さんでした。1ゲーム5対15で負けて2ゲーム15対10で勝って3ゲーム15対11で勝って日本が逆転して優勝したことは今でも記憶に残っています。また外国遠征でいろんな面で日本と比較でき他国から日本をみつめることができた。ちょうど1965年10月1日にインドネシアに突如起ったクーデターに私達が遭遇し恐ろしく感じた。当時のアルバムをめくると「赤道直下で1年中真夏で4季がない，日本と比較にならないほど文化，経済，近代化が後れているように思われる。日本という国はアジアでは一番すぐれた国であると思う」と書いてあった。食事の件でも日本とは大分ちがっていて私自身が肉を食べられないのに毎日のように肉ばかりで臭いのが鼻について食堂に入っただけで食事ができずこまりました。でもこれでは試合が出来ないと鼻をつまみ，目をつぶって食べたものでした。

1968年電電公社に入社し今までの生活と違い悩んだものです。仕事第一として8時30分から5時10分まで務め，練習は月，水，金，夜6時から9時まで約3時間では体力も技術ものばすことができなく朝と土，日曜日を練習したものでした。おかげで1971年に全日本総合選手権で初めて池田と組み優勝することができました。1974年から78年まで電電東京の監督を引受けるようになり，社会人の監督業として全日本実業団選手権団体戦で3度の優勝やいろんなことを体験させてもらいました。部員達にめぐまれチーム・ワークの電電東京として名を上げることができました。

こうして考えてみると私のあゆんで来た道はバドミントンと共にあったような気がします。いやなことも失敗も苦しみもバドミントンによって立ち上がることができたようです。今日までつづけてこられたのも健康にめぐまれいろいろな人達との出会いがあり協力があったからだと思います。また両親にはこれまでバドミントンをつづけさせてくれたことを感謝いたします。そして今までに出会った人達を大切にしていきたいと思います。



大会に参加しての思い出

新庄　柴崎（佐藤）弘子

昭和36年の大会に参加した頃，1升びんに半分位の砂を入れ，朝早くから手首の練習，旅館に帰れば，他の高校生は，歌に，トランプに大さわぎ，私達南高の選手達は，ミーティングして就寝，翌日は車など利用せず会場までランニングして参加した事など，今思い出すと，昨日の様に思われる。ユニホームも現在のような，フレヤースカートと，女性らしさ等感じられなく，タオル地の半袖に，ショートであった。夏，冬の休みもなく，練習練習に励んだ。何度かやめたいやめたいと思った事か，でも，今思い出すと，よく3年間やってこられたと，我ながら感心していると同時に，一生の思い出となっている。全国高等学校総合体育大会2位，秋田市で行なわれた国民体育大会で見事優勝したのも，互いに励まし合いながらやった練

習，奈良間コーチの仕事を犠牲にしてまでも，尽力してくれたからこそ，良き鎌形監督があってこそ，又，諸先輩の良きアドバイス，家族の理解があってこそ，私達選手が育ったと思われる。今後の県の優秀選手を生み出すには，良きコーチがあればこそと，思われますが。

今後とも，ご支援，ご指導，よろしくお願い致します。



新庄南

見事声援にこたえる

【バドミントン＝新庄南中学・佐藤光の陣からはほど遠いものだった】昭和三十四年県内各高校ではじめて新庄南高がバドミントン部を結成した。しかし、草分けとしては最初の一、二年を除いて成績はパッとしたものではなく、栄光の陣からはほど遠いものだった。三年目の昨年、鎌田現監督が就任、三年計画で全国制覇の夢をかけた。同校卒業生を卒業、熱心さんをもっている小角昭さんがコーチにかけつけてきた。雨の日も風の日も休日も返上して猛練習が続けられた。三年目のことし、夏のインター杯団体で二位、惜しくも夢はかなえられなかった。それだけにこの日の国体予選は同校バドミントン部にとって全通り所節十四年の念願がかなえられたことになる。

会場には五輪書道の加藤鎌氏、井上同市社会教育課長、黒木同校校長、父兄、それに在学生など五十人以上が詰めかけた。小角監督の打った巧いコックが鋭角のナンバーワン野選手のアタックをかすめて落ちた。序勝きまる――応援の黒木校長らはんなみの喜。感激にむせぶ選手たちに握道弾が投到した。フランシュがきらめく。新庄南高の組織球成の印象的シーンだった。

勝願達成を見よとバドミントン会場は新庄勢でいっぱい



思い出

新庄　柿崎厚子

私がバドミントンを始めたのは新南が全国制覇した36年12月で1年生の時でした。それまで卓球部に籍を置いていたのですが当時の小角コーチに誘われて入部しました。その時は2年生がいなくてすぐレギュラーにされ先輩達の輝かしい戦績を気にしながら夢中で練習しました。365日休むことなく練習し，バスで30分家に着くのは9時，今のようにごはんを暖めるジャー等もなかったのですが，母は毎晩ドンブリ山盛りの暖かいごはんを用意してくれていました。始めたばかりなのに他校の3年生と試合して負けると体がふっとんで行くようなビンタをされることがしばしばありました。とにかく楽しかったことなんて何もなかったような気がします。私の一番思い出となっている事は1年下の渡辺さんとペアを組んでいた頃試合で負けると2人部室に呼ばれて私だけぶたれました。渡辺さんは泣いてしまいます。私はくやしくて泣きながらコーチにくってかかりました。「なぜ私だけぶつのか」と。するとコーチは「そんなこともわからないのか。そんなにくやしかったらおれをぶて」とどなりました。私はハッとしてコーチを見たらコーチの目には涙がいっぱいでした。私はこのことがどんなことを意味するのか，又，渡辺さんがどんなにつらい思いをしていることか。私は今でもあの時の事が忘れられません。今まで何の練習をして来たのか。又何のために練習して来たのか。私はこの日「自分に勝つ」ということがどんなことなのか少しわかったような気がしました。戦績はどうあれ私は真剣にバドミントンをやり通し，その時経験し学んだことが私の人生に於いてどんなに，役立っていることか申すまでもありません。

思い出

山形　沼沢利一

2年生の時の県総体で庄内ナンバーワンの人に，2対1で勝ってから，自分のバドミントンに於ける世界が，明るくなって来た様に思われます。

下級生が上級生に勝つと言う，この何とも言えない気分がこたえられませんでした。さて熊本市で行なわれた，全国高校総体での思い出ですが，遠い事と，大変暑かった事，体育館の中はゆうに40度以上あったと思います。椅子の鉄の部分にふれると，火傷する位暑かったです。大会の方は長旅のせいか調子が悪く2，3回戦は何んとか，勝つ事が出来ましたが準々決勝で富山県の高岡商業高校に1対3で敗れた時は，くやしかった。

3回戦迄はダブルス全勝の伊藤，武田組に悪くて私達もダブルス全勝ですが，試合したのが全部，相手の第2ダブルスだったのです。団体で負けると私達と一緒に悲しむ様に台風が通り過ぎて行きました。個人戦ダブルスに入る頃には，暑さも普通に戻り幾分気が楽になりましたけど，4回戦迄依然調子悪く準々決勝ごろからようやく自分のペースをつかむ事が出来た様に思います。ベスト4入りしてからは，あゝこれでプログラムの後に学校名が載るなあ，等と中村と話ししていました。後で気が付いたのですが，3位以上にならないと，載らない事がわかりました。それで頑張った訳ではないのですが，準決勝は新潟の児島，中島組とやり，サウスポー中村の絶妙な配球により，2対0で勝ち決勝へ進出しました。決勝では富山の椙野尾，寺前組と合い接戦の末1対2で優勝をのがした時は残念だったけど，3年間皆んなと一緒

にやって来て決勝迄これた，この気持で満足でした。シングルスに於いても３位になれた訳ですけどダブルスに続いて栄光のあしあとに学校名を残す事が出来二重の喜びです。これ迄なれたのも先生，先輩，コーチの御陰だと思っています。特に２人の鬼（良い意味で）には……。１人は板垣さん，もう１人は鈴木健二さんです。特に健二さんには３年間みっちりしごかれ，今の学生だったら１人としてついてこれなかったと思います。それだけきびしかったです。夏になると学校にコーチに来てくれる訳ですが姿を見た途たん，今迄入っていたネットプレーが全然入らなくなりました。山商の同級に聞くと板垣さんもその様な感じだったそうです。恐ろしい事ですね。その板垣さん金森さんから１ヶ月以上も特訓を受け国体優勝目指して頑張ったけど２年連続４位に終り大変申し訳なく思っています。ただ１つの救いは準決勝富山戦に於いて全国高校総体準決勝で負けた。梅野尾君からシングルスで２対１で勝つ事が出来た事です。国体と言う試合は１日１試合で何か力が余ると言うか，ペース配分がうまく行かなく，又桔梗先生が体を悪くして一緒に行ってもらえなかった事非常に残念に思います。

中学２年から始めたバドミントンが激しい中にも楽しさがありこんなに面白いものだとは知りませんでした。試合やるには勝たねば，負けたくない今でもそう思っています。

山形県バドミントン協会に栄光あれ。





私とバドミントン

山形　阿保（斉藤）郁子

私と，バドミントンとの出合い，中学生の時です。友達が入ったから，ただそんな理由で入ったバドミントン部でした。そして中学校でやっていたから高校でも……。しかし初めて城北高の，バドミントンクラブを見た時(入部前)，のちの全国制覇を遣り遂げた，メンバーが渡辺さんのもとで練習をやっていました。それがいつまでも印象に残り，入部して自分もやってみようと思いました。

私が２年生の時，東北大会に行ってとても印象に残っている事があります。秋田敬愛高校です。２年生の私の目からでしょうか？その時の敬愛高校の見事なフットワークは，今でも忘れる事が出来ません。自分達の先輩が勝った試合なのに，あの敬愛高校のフットワークは，真似の出来ない何かがある様な気が致しました。

こんな私ですが，うれしかったこともあります。それは県総合体育大会兼国民体育大会で，シングルスで優勝した事です。この事は私にとって一生忘れる事の出来ない物となりました。それも２セットともセットオールでチェンジサーブの応酬の試合でした。そうして得た優勝はとても，うれしいものでした。お互いが全力を出し切った試合でした。

そして新庄南校のダブルス２名と私のシングルスで，国体予選東北大会に望みました。そこで，あの秋田敬愛高校と会い，２対０で敗れました。くやしいと言うより，自業自得と言うほうでしょう。この大会前にして走ることをしなかった……。今でも後悔の気持があります。後輩の皆さん，いつの時代でも自分だけの基礎体力作りは，とても大切な事だと思います。いつかきっと実を結ぶ時があります。この大会にて，１つの救いがありました。それは，そのゲームは負けたが２セット目をセットオールから，自分の物に出来た。２対０の試合を免れたことです。後で振り返ってみて判ったことですが，１つのゲームは負けても，セットオールになったセットは必ず自分の物にしていたのでした。その事は，現在になってからでも，自分の力がそこにあるのだと，自惚れのようですが，そんな気が致します。

バドミントンをやって来て，本当に良かったと思います。ただ良かったとだけで形に現わせないのが残念です。今の自分がこうしてあるのも，バドミントンをやっていたからだ。そう思っております。今，２児（小学生）の母親となって，午前中は，自分の時間が作れるようになりましたので，県営体育館にて，クラブに入って練習を

しております。まだ9月に入ったばかりで，あちこち体が痛んだりですが，ガット張りなどを思い出して，張ってみたりで，楽しい一時を過しております。

協会創立30周年と，言われても，ピンとこない私です。

30年間県のバドミントンを，応援して下さった方々に，このページを借りまして，お礼を申しあげます。



大会の思い出

横浜　渡辺（叶内）瑠美子

創立30周年記念，おめでとうございます。この度の寄稿大変に光栄に思います。

中学2年の時からバドミントンを始め，城北高校，電電東京へと通算8年，たくさんの試合に出ました。1口に思い出深い試合と言っても，中学，高校，実業団とそれぞれの試合ひとつひとつに思い出が残っています。

中2の時初めての試合が県大会で，初出場完全優勝したことを始めにとにかくバドミントンを続けるうえで最高のスタートでした。

その後高校へ，インターハイ，国体，そして東北大会でシングルスに優勝したこと，先輩達の築いた栄光にはおよびもしませんでしたがとてもなつかしく思います。

そして電電東京での2年間は，改めてバドミントンというものを教えていただいたような気がします。実業団で優勝したこと，団体戦での優勝は格別のものでした。念願のオールジャパンに出場できたことや，全日本社会人で高木さんに対戦したことや，いい思い出がつぎからつぎへとうかんできます。はなばなしい戦績はありませんが，ふり返ってみますと，私のバドミントン生活8年間は素晴らしい先生やコーチ先輩達にめぐまれました。中学の時もたった1人になり，高校へ練習に通い，冬の寒い日は，何度かやめようと思ったかしれません，その度に電話や迎えにきてくださったりしたのが，中学時代のコーチ小角さんでした。

そして高校に入ってからも，清原先生はじめ志鎌先生，渡部さん，そして諸先輩，電電東京でも同じように，とても素晴らしい方に出逢いました。ほんとうにありがとうございました。

くやしいこと，くるしかったこと，今思えばみな楽しくなつかしい思い出にかわりました。そして今，また育児も終わり，大先輩である味夢さんと，御一緒に自分の年も忘れて，シャトルをおいかけています。

最後に山形県バドミントン協会のますますの御発展をお祈り申し上げます。



私とバドミントン

酒田　金　子　　司

私がバドミントンを始めたのは，昭和40年に高校のクラブに入ってからになります。その頃はバドミントンが，試合のある球技だと知っている人は少なく，私自身，正式のコートやネットを見るのは初めてでした。ほとんどの人が家の外でやる遊びとしか考えていなかった訳です。そんな状況でしたから，入部した動機も面白い者ばかりでした。「家でやっていると，一番上手だから学校のクラブに入ってもすぐ強くなれると思った。」とか，「適当な部が見つからないので何となく。」という具合で，ひどいのになると「一番簡単で楽しそうな感じだったから。」という人までいて後でお互いに話し合い，大笑いしたものでした。

つまり，ある程度の知識があって入部したのは，１人もいない状態でした。ですから入部者数は50人を超すのに，１日の練習で半分以下に減り，１カ月も経つと10人程になっていました。練習も体力作りと素振り等，基礎的な内容のくり返しで，かなりきついものでした。バドミントンをやるのに，こんなに苦しい練習をしなければならないのかと思った程でした。それでも実際にシャトルを打ち始めて，フットワークを入れたりする様になると，もっともっと練習しなければだめだという気がするものでした。

それから，私達が１年の時は，学校の体育館が出来ておらず，練習は市内の小学校や会社の体育館を借りてやっていました。それも学校とはかなり離れていましたので，合宿の時の，往復ランニングなどは，かなりこたえました。特に帰りは，皆グッタリしていたのを思い出します。

又，１年生は新しいシャトルを使う事が出来ず，先輩達のお古でしたので，休日の練習日には，友人と２人で２時間も前に体育館に行き，こっそり新しいシャトルで練習した事も，楽しい思い出になっています。その頃になると，バドミントンが面白くて，何とか強くなりたいという気持でいっぱいでした。県大会などに出ても，１回戦，２回戦で敗けては，学校に帰って反省会を開き，悪かった所や，上手な人の良い点などを話し合い，練習方法なども，皆で相談したものでした。テレビで放送してたとか，他の学校でやっている事だとか何でもやってみました。それでも試合に出る度にシード選手の強さばかり見せつけられました。

組み合わせのシード下にばかりおりまして，少し良くなったのは，３年になってからでした。幸い３年生の時には，東北大会にも出られましたし，団体戦でも，個人戦でも，それまで以上の成績を上げる事が出来て，私としては上々の結果でしたが，やっと良くなってきた時には，終わりという感じで，もう１年やりたいなという気持でした。最後まで一緒に頑張った仲間は，５人だけになっていましたが，１年間で練習が休みというのは，元日とお盆，それに学校の試験の時だけという計画でしたが，皆本当に良くやったと，今になっても思います。

年２回の合宿は，特にお互いの結びつきを強くしましたし，何よりも皆が同じ目標に向って，鍛え合い，励まし合いながら，頑張ったという満足感がありました。私は今でも続けていますが，バドミントンというスポーツを通して仲間が出来る。同じ楽しみを持つ和が生まれる。それがとても素晴らしい事だと思うのです。これからも楽しいバドミントンを続けたいと思います。

私とバドミントン

埼玉　木村（船越）節子

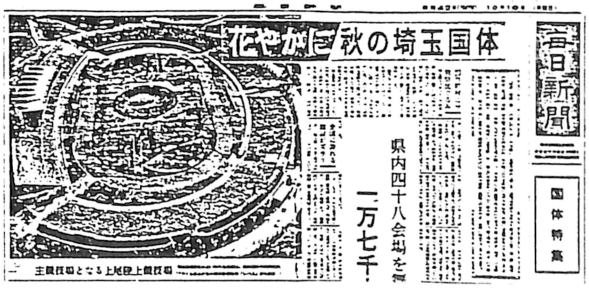
今，思うに，ラケットを手にして，シャトルを相手に苦心してきたことを噛み締めてみました。羽根ぐらい，私だって打ってみせるわーなどと，浅はかな気持で，バドミントンクラブに入部した時のことからです。入部してからは，コーチや先輩の指導に従って練習に練習を重ねてきました。そして，ある日，試合において，今日は体調が良いので簡単に勝てると思い，試合に望んだところ，あっさり負けてしまいました。

ところが，その後，試合に行く朝のことです。ちょっとしたことで，足を捻挫をしてしまったのです。これではとても試合に出ても勝てないと思ったのですが，とにかく１つ１つを大切に返していこうと言う気持で望みました。ところが勝つことができました。

その時から，私は心の動揺があっては，実力が出せないことを知り，その気持をわすれずに，ラケットを持ったことが，国民体育大会まで出場できたのだと，私は信じてきました。

これからも，この気持をわすれずに生きて，いきたいと思っています。





大会に参加しての思い出

鶴岡　佐藤（今野）洋子

中学時代は運動部に縁がなく，昭和41年鶴岡北高校に入学してから部活にひかれ，バドミントンクラブに入部しました。大会で最初に感動したのは自分がプレーしたことではなく，応援に行ったときです。まだバドミントンのおもしろさがわからず，トレーニングも嫌になりかけた頃でした。鶴岡で県大会があり，その時にみた新庄南高校の見事なフットワークでした。それからはトレーニングもあまり苦にならなくなり，１週間の合宿で２足のズックがすりへった事も自分で満足し，そして３年生になりました。

昭和43年の県高校総体で思いもかけず好成績をあげる事が出来(ダブルス，シングルス共に第２位)，全国大会への出場権を得，広島県福山市で行われた大会に参加しました。今野，今野組でダブルスに出場，ロングサーブのときは親指で，ショートサーブのときは小指で合図し，声をかけ合い，心をひとつにし頑張ったのですが，全国レベルにはおいつきませんでした。あの大会の華かさは今でも忘れる事が出来ません。

３年間で最後の大会出場は東北大会でした。釜石で行われたこの大会にはシングルスだけの参加だったので，ずっとコンビを組んだ今野志保さんとも同行できず，おまけに体調をくずしてしまったので心細かったのですが，県から一緒に参加した人達の励ましや，新庄南高校の奈良間コーチのアドバイスをうけ，無我夢中で戦いました。決勝まで進み負けはしましたが，自分なりに３年間の最後を締めくくるのに満足出来る成績をあげる事ができました。

いま思いますに途中で投げてしまっては成る事も成らず，最後まで投げずに頑張る精神はとても大切だということです。練習，練習，また練習をしていたからこそ，大会でも最後まで試合を投げだすことなく頑張ったので，実力以上の成績をおさめることが出来たと思います。社会に出て家庭に入り，仕事を持ちながら身にしみて感じています。

子供達にもこの様な体験をさせ，充実した青春をおくらせたいと思います。





バドミントンとの出合い

鶴岡　石　川　綾　生

バドミントンを始めてから，早いもので，もう，５年近くなってしまいました。

転勤で鶴岡に来たら，職場にバドミントン部があり，運動不足だからやってみようと思って入部しました。

ところが，体育館を４・５周走っただけで息はゼーゼー，めまいはする，吐き気はする。そしていくら，力を入れて打っても相手コートの半分しか飛ばないシャトル。ドロップが来るとわかっていても一歩も前に出ない足。頭を越えて行ったシャトルを追いかけて打ったつもりが，上体の動きに足はついて行けず，背中から転ぶ事もたびたびでした。

それが，いつの間にか，サークルごと，鶴岡OB会に入ってしまったのですからたまりません。OB会員はとにかくうまくて，雲の上の人に見えました。バドミントンのレベル差にただ驚き，全くやる気がなくなりました。それほど，初めて見たOB会の印象は強烈でした。

それでも，いざ練習を始めると，ガッチリとコートを独占し，１度入ったコートは他人に渡してなるものかという，おかしなファイトだけはあったものです。

その後も，OB会アレルギーは続きましたが，職場の仲間に誘われると，仕方なくついて行き，いやだいやだと思いながらも，結局欠かさず練習には行きました。

半年位になると，少しラリーが続くようになり，バド

ミントンのおもしろさがわかりかけてきました。それまでの試合だけをする練習から，基本の大切さに気付き，うまい人の練習を見ては，マネをしたものです。

始めた頃は，とてもいやだったバドミントンもこの頃を境に，好きになり，練習日が待ち遠しくなりました。そして，夢中になってシャトルを追かけているうちに，現在に至ってしまいました。

振り返ってみると，本当に良く続いたものだなと自分でも思います。職場の仲間の力，そして，私達がコートを独占していても，苦情も言わずに，自由に練習をさせてくれたOB会の暖かい理解とはげましがあったからだと思います。

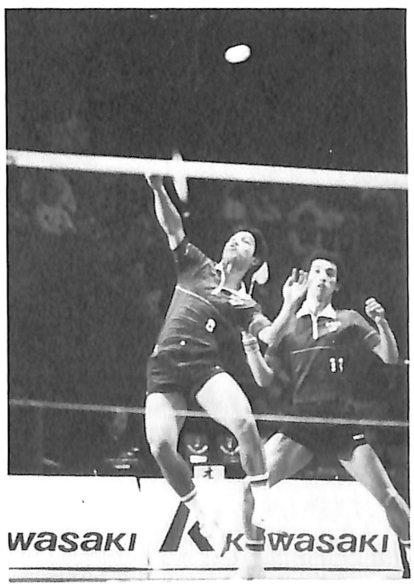
最後に，私の体験が初心者にとって，少しでも参考になれば幸いです。



私とバドミントン

仙台　田所光男

バドミントンとの出合いは，私の姉が高校時代にバドミントン部に入っていて，小学生だった私は，よく家の裏のリンゴ畑で縄でネットを張り，姉の相手をさせられたのが最初の出合いでしたが近所でもけっこうバドミントン愛好者が多かったように記憶しています。その頃のラケットは，木製でかなり重く，プレスをしておかないとすぐまがってしまうようなラケットでした。シャトルは，陸鳥で今の水鳥のように，真すぐ飛ばず，左右にカーブするシャトルでした。私が最初に，バドミントン部に籍を置いたのは，中学２年（山形市立第五中学校）になった頃で，この頃の中学校のバドミントン活動は，部と言うより愛好会と言う感じで，指導者もいなく，部員同志で練習方法を決めてやっていましたが私が考えていたような練習とはだいぶ異っていました。なぜなら，コートにすぐ入ってシャトルを打たせてくれると思っていましたが，練習前に体育館の掃除から始まり，近くの河原，学校の回りをランニング，ラケットの素振り，もう体中が痛く，手は豆だらけ，ラケットなど握れる状態ではありませんでした。私より先に入っている同級生部員は，コートに入りシャトルを使った練習をやらされているのを見ると，掃除とトレーニングの繰り返しの私にとっては，自分が情けなくなって来て，ほとんど練習をさぼり，しまいには，退部させられてしまった。その時の私は，部員に対して恨みをもちました。そして，いつか私だって……。と言う恨みがいつしか闘争心に変り，退部後も，無我夢中でトレーニングに励んだものでした。だから高校に入ってからもバドミントン部に入部し，一生懸命汗を流しました。部員の半数が中学時代からの経験者で，私のような３ケ月間しか部に籍を置いていなかった者（掃除とトレーニングの毎日）にとっては，手も足も出ないと言う状態でした。これでは，と思い皆のいなくなった体育館で１人壁を相手に，シャトルを打ったものでした。その後，人一倍した練習がみのったのだろうか体の動きが良くなり，コート内でも，部員と互角に戦えるようになり，２年の新人戦には，ダブルス優勝，シングルス２位と言う成績をおさめました。３年生にはいると，インターハイ県予選が近ずき，連日，猛練習に励んでいた矢先，ランニング中に足をネンザし出場不可能と言われていましたが，どうしても出たくて，足に麻酔を打ちながら出場，団体，ダブルス優勝，シングルスは，決勝戦で監督にとめられ２位，どうしても戦いたいと監督にお願いしたのだが，聞き入れてもらえませんでした。あの時は，悔しくて涙したものでした。今，思えばあの時，戦っていたら，インターハイにも出場できなかっただろうし，現在の自分がありえなかっただろうと思うと，桔梗先生（日大山形高校バドミントン部監督）には，感謝の気持でいっぱいです。こうした思い出が，たくさん頭に浮かんできます。私の青春は，バドミントン一色，と言っても過言ではないでしょう。バドミントンと出合って，ほんとうに良かったと思っています。私は，もう30歳ですが，今も現役でいられるのは，高校，大学を通じ，いつもトレーニングを忘れずにやっていたからだと思い，トレーニングは絶対かかせないものだと信じています。これからのバドミントン愛好者諸君に一言，まず目標をもって，厳しい練習に向っていけば，おのずから精神力が身につき大成すると思います。がんばって下さい。



私とバドミントン

酒田　三浦　享

私がバドミントンと初めて出合ったのは，中学（酒田三中）の時でした。しかしこの時は，指導者らしい指導者もおらず，ただ同年代のクラブ員が集まって，羽を追い掛けるだけの毎日だったように記憶しております。

酒田商業高校に進学した私は，バドミントンクラブがないので，1年の時はよく母校の酒田三中に通い，後輩と羽を打ち合いました。また，2年時からは酒商にバドミントン同好会を結成し，それでなくとも数多くのクラブがひしめきあっている体育館の空きを見つけては，まったくバドミントンの経験のない4～5人の仲間と，羽を追い掛けたりしておりました。

大学に進学した私は，中央大学という，バドミントンにとっては優秀な諸先輩と境遇がありながらも，バドミントンとはまったく別の道に，別の目的に励む毎日でした。大学で唯一ラケットを握ったのは，三須徳次先生のバドミントンの授業を受けた1年間だけでした。

こうして学生時代を終えた私にとって，バドミントンは，決して本格的に取り組んだスポーツとはいえず，所詮羽つき程度だったのですが，何故かいつも胸の内に，バドミントンをやりたいという気持ちがくすぶり続けていました。

そんな私の気持ちに油を注いだのは，市主催のバドミントン教室でした。週1～2回，合計5回のバドミントン教室が広報に記載されているのを見て，さっそく受講しました。1日目のラケットの握り方やハイクリヤー等基本ストロークから始まって，5日目のダブルスのゲーム迄，バドミントンの一通りを講師の方々に教わりました。寒い吹雪の中を，30～40人程の人が体育館に集まったことと，受講後に，箸を持つ手が震えてうまく食事ができなかったことを，今でも覚えております。しかし，いくら手が震えようが，5回という短い期間ではとても満足できるものではありません。

そこで，一応羽とラケットが出合うじゃないかといったような軽い気持ちで，酒田バドミントン愛好会という社会人のクラブ組織に入会しました。ところがこのバドミントン愛好会，ほとんど男子で，しかも高校のクラブ活動でバドミントンをやってきた人達ばかり。シャトルを打つ音から違います。特別な顔見知りもいない私は，ただ気後れするばかりで，2時間半に近い練習時間の内，1時間以上は見物と壁打ちをしている状態が続きました。それに，市主催の教室と違って，講師や指導者がきまっているわけでもありませんし，仕事を終えて集まって来る時間もバラバラですので，一貫した指導方法や練習計画というものがあるわけでもなし，すべて本人の自主性まかせといった状態で，まったく1人で入会した私にとっては，相手してくれる人も少なく，心細い限りでした。それでも，やめよう等と思ったことは1度もなく，ただひたすらに，羽を打ちたいという気持ちだけで，バドミントン愛好会に参加してきました。『継続は力なり』とでも申しましょうか。基本ストロークは私なりに打てるようになり，ダブルスの動きも少しは分るようになった頃には，すっかりシャトルの魅力にとりつかれてしまっていたようです。

私は冒頭に，バドミントンとの初めての出合いを中学時代と書きましたが，今にして思えば，私のほんとうのバドミントンとの出合いは，このバドミントン教室であり，バドミントン愛好会であったような気がします。

さて『石の上にも3年』とか申しますが，バドミントン教室を初めて受講してから丁度3年が過ぎる頃から，酒田飽海地区の大会や市の市長杯等にも参加させていただくようになりました。もちろん，経験者の方々にはなかなかかないませんが，それでも何とか，ゲームを，そして勝敗を楽しみながらプレーできる程度にはなったようです。また，この1～2年は，県民スポーツ大会や県社会人大会等にも参加させていただき，これまで耳で聞くだけだった，県内における酒田のレベルといったものを，目や体を通して痛切に感じさせられました。

最近では，仕事柄時間に余裕がありますので，バドミントン教室のコーチ補助やら，新しく結成された婦人バドミントンクラブのお手伝いをさせていただくようになり，人に教える以上は，教わる人より努力せねばと，ランニングをしたり，指導書や雑誌等に目を通しておりますが，何せ経験が浅い上にこれといった実績もなく，ましてやこれから体力を増強できる年代でもありませんので，指導方法やアドバイスの与え方等，悩みと努力の連続といったところであります。

ともあれ，自己の技術向上はもちろん，老若男女を問わず，1人でもバドミントンを楽しむ仲間を増やしつつ，今後ともバドミントンを愛好し続けてゆきたいと思っております。

昭和48年　復帰記念
沖縄特別国体に出場して



鶴岡　吉　住　　彰

私は，現在までの16年間のバドミントン人生を通じて一番印象に残り，大きく「ジャンプ」するための足がかりとなったこの初出場の国体の思い出を書こう。昭和48年，当時私は20歳で社会人２年目でした。予選会場は山形南高校の体育館，ダブルスは郷野隆弘，安達敏一組が優勝，そしてシングルスに出場の私は４回戦でダブルス優勝の安達敏一さんとぶつかる組合せ，私は前年度敗れているだけにとてもいやでしたが２回戦で安達さんが私用で「キケン」しました。私はそれを聞いた時やったと思いました。そして決勝は山形の鈴木国夫さんと合い２－０で勝ち念願の初優勝をしました。これは同時にいままで敗ぶることのできなかった内陸勢の壁を崩すことができたのです。試合終わり，すぐ家へ電話したのが印象に残っています。大会は５月３日～６日まで沖縄県石垣市で行なわれました。会場は八重山高校体育館でした。監督板垣隆房氏，選手，郷野隆弘氏，安達敏一氏そして筆者と４名，５月１日，国鉄ストのためバスで山形駅を出発，多数の見送をいただきました。羽田からは，ジャンボ機で他県の選手のみなさんといっしょに沖縄へ出発，私達は那覇からまた別の飛行機で石垣島へ向かいました。石垣市ではたいへんな歓迎でとても感動いたしました。試合は３日から始まり山形は滋賀県とぶつかりました。会場はたいへんな熱気でコートの４隅に氷の柱が立っていたのが印象に残っています。第１ダブルスは激戦でしたがフィナルで敗れ，第１シングルスの私は，初出場と温度差ですっかりペースがくずれ２－０で敗れました。内容は攻撃１本でぶつかったのですが凡ミスで自滅という感じ，とてもくやしかったです。でも試合中ナイスプレーをやるとすばらしい歓声でとてもやりがいのあるものでした。大会の結果は愛知県が優勝でした。試合終了後グランドで石垣市のみなさんの民謡，おどりなど見物し最後には，選手達もいっしょに手を取りおどりました。私は今大会に出場して，試合は敗れましたが多くの体験をしてきたと思います。沖縄のみなさんからは今まで米国領土であったいろんな苦労と祖国復帰の心からの喜びとを身をもって体験してきました。沖縄を飛びたち機中から沖縄本島を見た時涙がでてきました。さようなら沖縄！

最後にこの記念すべき30周年にのせていただいたことをたいへん光栄に思います。ありがとうございました。



バドミントンの思い出

山形　橋　本　則　之

中学の時から始めて，すでに15年。この年月の中でバドミントンから得たものは数多く，自分にとって，もったいないほどの収穫が有ったと思います。

楽しさを求めて始めたこのスポーツも，高校の頃からは勝負のスポーツと成り，そこで感じた魅力とは，この個人プレー形態のバドミントンにおいては，それほど「運」に左右されること無く，努力いかんによって，それなりの成績を治めることができるということだと考えます。全て，勝ちも負けも自分次第。

以前，プレーをするにあたって，一定の力を発揮することができずに悩んだことが有ります。今でもそうですし，又，この様な悩みは自分に限るものでは無いとも思いますが，そんなプレーで負ける自分が癪で，ことに意識したライバルに負ける様なことがあれば，自分にかける言葉も無くなるほどでした。そこで考え出した解決方法とは，ごく一般的なものでありまして，ランニングをし，練習を重ねて，身心の安定を計ることしかなかった様に思いましたし，又，土壇場で，自分を支えるものは，勝ちたい！という欲望と，もう１つ，使命感だった様にも思います。

高校・大学と，この様に眼の色を変えてやって来たのに対し，中学の頃は，自分にとって，楽しさの方が，１歩前進したクラブで有りました。

一緒に練習をやる者同志，勿論ライバルではありましたが，それ以上に仲間意識が強かったみたいでした。中学と言えば，新入部員は一応多いものですが，私が入部した時は，部員は自分１人。しばらく他に入部する者も無く，やむにやまれず友を１人，２人と誘い込んだ部員

でしたから，そういった仲間にできあがったのかもしれません。仲間同志。若干ライバル意識に欠けたかもしれませんが，いざ，他校に眼をやれば，それがチームワークと変わり，中体連が近ずいて，レギュラー中心の練習になっても，他の者は文句も言わずに力になってくれたことが，今でも嬉しく思っています。

個人プレー形態のバドミントンと言いながら，こういった団体意識を持ったにしても，やはり，まずは自分のポジションを，しっかり守ることでしょう。一生続けるだろうこれからも，この自分のポジションを忘れずに，敷き詰められた楽しさの中で，きびしい顔を突き出して続けて行けたらと思っております。





我がバドミントン

置賜 佐 藤 重 好

昭和46年４月，日本大学山形高等学校に入学。１年の終りにバドミントンに出合う。これからのバドミントン生活のスタートラインに立った。

私は中学時代野球部に入っており，高校１年の始めは野球部に籍をおいており，他の人よりも遅れたバドミントンのスタートであった。今思えばその事が逆にはげみになったようです。

毎日の練習は，走らされたり，先輩の練習振りを見ながらの基礎トレーニングが主で，とてもきびしいものでした。

高校時代，ほんとうに親身に教えて下さった方が，現在，日大山形高校の教師である桔梗先生でした。先生の厳しく，暖かい指導のおかげで今の自分があるのだと思います。

苦しい練習の間には，いつも心の中で「今に必ず追いついてやる」という言葉を繰り返していました。人より少しでも多く練習してやろうと努力しました。努力が実ったためかはさだかではないが，昭和49年４月に法政大学へ入学するに至りました。大学に於いて，バドミントンに対する気持・夢が大きく脹んでいくのが感じられました。

ダブルスが好きな私にとって，大阪の仲尾（現在，四条畷学園の教師）との出会いが，バドミントンへの情熱をますます深めました。

パートナーに恵まれた私は，昭和50年，関東大学新人戦において優勝する事が出来ました。それが自信につながり，翌年のインカレを優勝するという目標の元に練習に励んだ。しかし，全国の強豪の前に力が出しきれず，全然奮わなかった。上には上がいるものだと痛切に感じ，これが刺激になりトレーニングに励んだ。

大学生活も最後の１年となり，インカレのタイトルを得る事を目標に進んでいった。いよいよ昭和52年のインカレを迎え，優勝するという闘志に燃えスタートする。苦戦しながらも，勝ち進み，絶好調の波に乗って決勝までにたどりつき，山形県出身の米山孝二（現在，電々北海道）君との対戦となった。

出足が悪く，非常に苦しい試合運びとなった。第１ゲームは激しいラリーが続き，ほんの一瞬も気を抜けなかった。苦しく激しい闘いになった。どうにか第１ゲームを物にした私たちは，波に乗り第２ゲームを進めた。試合中無我夢中だった。苦しいラリー後，最後のチャンスを得た。スマッシュが相手コートに決った。目標を果たすことができた。ラケットをほうり，仲尾と喜びあった。しかし，すぐにはインカレの優勝という実感がわかなかった。着替えを終え，気持ちが落ち着いた頃，徐々にうれしさが込み上げて来た。今までの苦しかった事や，辛かった事などがすべて夢のごとく消し去られ，胸が熱くなり，涙が出て仕方なかった。

このタイトル獲得という感激を味わう事が出来たのは，米山正和さん，工藤重広さん，辻さん(ヨネックス)，中井さん(カワサキ)，原さん，後藤さん，そして三浦さんなどの各先輩方のおかげだと思います。言葉では言い

つくせないほどの感謝の気持で一杯です。

今，私は小国町でバドミントンをやっています。あまり練習が出来ずイライラしている状態ですが，バドミントンを愛していく事を忘れず，私が味わう事が出来た優勝という感激・恩恵を他の人にも味わってもらえる様になるように，すべてにおいて精一杯頑張りたいと思います。



インカレの思い出

札幌　米　山　孝　二

優勝の瞬間私はラケットを力いっぱい握りしめ管と握手をした。それはまだ記憶も新しい昭和53年の10月，名古屋でのインカレであった。その時程，バドミントンをやってきてよかったなあと思ったことはありませんでした。優勝という快感には高校時代での国体優勝など，結構味わってきたけれど，これ程感激したことはありませんでした。それは高校時代よりまして厳しい練習，しつけ，今思い出してもハッキリ浮んでくるのです。その時に優勝の知らせを最初にしたのは，おふくろで，次が今の女房でした。これまでやってこれたのも両親の理解，そして暖かい支援があったからであった。

遡れば，バドミントンを始めたのは中学より，それも兄貴がやっていたという単純な理由で始め，そこでは市大会でも県大会でも３位という不本意な成績で，「よしこの恨みは高校に行ってはらしてやろう」と，あの伝統ある日大山形高へ進学しました。入ってビックリしたのは，目標です。普通は県大会で優勝できれば最高という考えなのですが，何とインターハイに標準を合わせていたのです。偉い学校に入ってしまったなあとは思いましたが，逆に先輩達が，達成できなかった夢を先生に味合せてやろうと奮起しました。結果は団体戦が準優勝，個人戦は調整不足で棄権というみっともない成績，先生や先輩達にすまないという気持ちでいっぱいでした。これでは申し訳がたたないと，国体に向け心を新たにやり直しの結果，見事に優勝，やっと先生や皆さんに面目がたったしだいでした。

さて，「バドミントンをやるなら中大」ということばを知っているでしょうか。私はこのことば１つで進み，また違った目標に向かって，練習に励みました。高校時代と比べると，大学は何事も自分で乗りこえて行かなければ強くなれない場所であると思います。並たいていな事では勝てるはずがない。それまでには，涙を流しながら練習した事もあるし，家に帰りたくて，逃げだそうかと思ったこともあるし，とにかくうれしい事よりつらかった事の方が先に浮んできます。しかし，皆がそういう壁に当るのです。そしてそれを乗りこえなければ，勝てないし，１人前の人間にはなれないのです。悩み，苦しみ，耐えぬき大きくなって行くのではないでしょうか。大学の同級生４人は皆一緒になって克服してきた仲間で，本当の親友になりました。概にオールジャパン（全日本総合選手権）で優勝した長谷川博幸，１児の父親になって国体などで頑張っている管敏明，地理の先生になり指導の方で頑張っている滝川修，土木関係で働いている船本圭樹，そして電電北海道で頑張っている私，全員なんらかの形でラケットを握っており，耐えず連絡をとり合い，試合などでの再会で昔を語り合っています。

バドミントンを通じて，色々な方と知合いになれ，全国を歩きまわれたし，女房まで見つけました。私の人生にとってバドミントンはつきものです。できるだけ長くラケットを握り続け頑張りたいと思います。最後になりましたが私の夢は全国で活躍している山形県出身の方が大勢おられます。このような皆さんを山形に戻し，チームを編成すれば，国体など天皇杯まちがいなしです。この夢が実現すれば，山形県はバドミントン王国になるのではないでしょうか。



バドミントン11年の思い出

山形　加　藤　信　之

私は，中学１年時は陸上部へ入部していました。２年になると同時にバドミントン部へ入部し現在もプレーをしているきっかけとなったのは，高校時代にインターハイ出場，大学時代に東北シングルスチャンピオンの実績を持つ兄の強いすすめがあったからです。

高校は，兄と同じで全国でも常にトップクラスへ名を連ねているバドミントンの名門日大山形高校へ入学しま

した。私にとってバドミントンをやるには大変恵まれていました。数々の大会で優勝，そして優勝へと選手達を導いてきた監督桔梗先生の指導，またその指導を得ながら実績を築きあげてきた諸先輩と，最高の環境の中でプレーをやれたからです。

やっぱりこういった実績を築きあげるには，練習以外の何ものでもないと思います。確かに平凡な練習では優勝出来ない事は言うまでもありません。だから練習はさすがに厳しかったです。練習量は1日平均3～5時間位でした。特に辛かったのは，真夏のランニングや蒸風呂の様な体育館での練習，また寒い冬の悴む手をがまんしながらのサーキットトレーニングや羽根打ち練習など毎日練習練習に明け暮れていました。休みといえばまず正月3日間位なものでした。今思い出してみるとよく続けられたと自分でも感心しています。こういった練習を積み重ねて，私達の代も各大会で優勝を成し遂げました。

バドミントンをやってきて今年で11年目になりますが，振り返ってみるとうれしかった思い出，くやしかった思い出たくさんありました。中でも，一番くやしかった思い出としては，高校生大会のうちで1番大きな大会である昭和49年8月の全国高校総合選手権（インターハイ）の事です。団体戦の決勝戦まで順調に勝ち進んできてこの分だと念願の初優勝かと思ったが，1ポイント差で奈良県の奈良正強高校に3－2と敗れてしまった事です。高校に入って私達はこの大会で日本一を目標に全員がんばってきたのでしたから本当にがっかりしました。逆に1番うれしかった思い出は，私と米山，中島のメンバーで昭和49年10月の第29回全国国民体育大会（高校の部）で優勝した事です。これは過去に私達の高校が達成出来なかった初の優勝という事がうれしさにもひとしおのものがありました。

私はバドミントンをやってきて本当によかったと思います。それは，バドミントンを通じて貴重なものを得たからです。どんな目標でも努力する事によって達成しえることを体験したからです。これからも何事にでも目標をもち努力し，一生懸命やっていこうと思っています。

バドミントンの思い出

山形　佐　藤　友　美

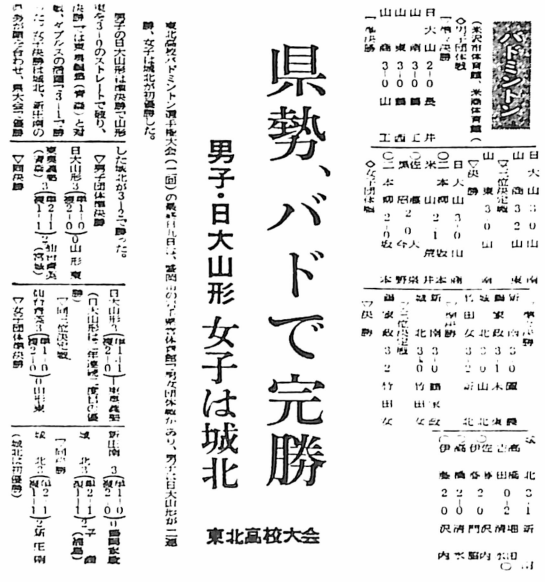
中学の頃からラケットを握り始め，早や10数年がたちました。今振り返って見ると何て早く過ぎてしまったんだろうと思いますが，特に高校時代の3年間，勝つ為の練習は辛く，長く，そして優勝した時の感激は今でも忘れる事ができません。

中学の頃からバドミントンをやっていた私は，スポーツ奨学生として城北高校に入学しました。両親と離れての寮生活，クラブ，寮内での先輩，後輩の区別，全て違う環境の中で自分の能力を伸ばすという事は容易な事ではなかった。

1・2年時は義務感で練習をしている様な気さえした






女子は10年ぶり城北優勝

県勢、バドで完勝

男子・日大山形 女子は城北

東北高校大会

バドミントン

ものでしたが2年の夏休みから厳しい練習が始まった。バドミントンが嫌いになる程の毎日の練習量，徹底的な基本のやり直しです。各基本を1時間以上も連続で打つ，特にハイクリーヤーとスマッシュの連打は打っても打っても返球され，息切れがするほど激しかった。この連打は先生が「やめ」というまで続けられホームポジションにイスを置き1回1回もどりながらの練習だった。シーズンオフに入るとシャトルを使用せずサーキットとロードワークに切り換えられトレーニングだけの毎日だった。やがて春になるとゲーム形式の練習に切り換えられ初めてシャトルを打った。半年間，基本と体力づけをしてきた効果が表われ自分の身体が驚く程に軽く感じられた。言われないと動けなかったフットワークもスムーズになりうまくローテーションができるようになったのです。4月になり，初めて自分達の力を知るチャンスがきた。県の春季大会です。驚く程，どんどん勝ち進み，いよいよ決勝戦，残念ながら，優勝はできなかったがダブルス2位，シングルス2位，3位の戦績だった。初めて自分達で勝ちたいと思ったのもこの時です。決意を新たにし学校に帰りインターハイ県予選まで1ヶ月半夢中で練習しました。そしていよいよその日が来たのです。

会場は米沢工業高校，ついに団体優勝する事ができ，個人戦もダブルス2位，シングルス1位，3位となり，夢にまで見たインターハイ出場権を獲得したのです。48年は三重県四日市でのインターハイでした。戦績は3回戦で優勝した四条畷学園と対戦し敗退しましたが，大きな大会出場という経験は，後に自信となり，大きく役立ち，その後の大会では，県大会で勝てなかったダブルスも東北大会で優勝する事ができたのです。勝つまではとても辛い練習だったけど優勝した時のあの感激は今でもはっきり覚えています。そして，これからも一生忘れる事はないでしょう。毎朝，早起きして朝練習，ランニングした事も。

大学時代の思い出

新庄　沢　内　真由美

大学に入学して，高校時よりずっと短くなった練習時間，365日が全く半分になりバドミントン以外にも目がむけられるようになりました。そのせいか練習が楽しくてしかたないといった感じでした。体力的には，高校時に積んだことがとても役立ちましたが，技術面では，全国から集まった選手とプレーすることにより少しづつ覚えていったと思います。1年時，私にとってはバドミントン生活の中ですばらしい年でした。コートに入ることがこんなに楽しいと感じたのは，この時最高でした。同じ新南卒の矢口さんとダブルスを組めたことは，ラッキーでした。

初めての全日本総合選手権では，1年生は参加するのは難しいと言われていたので，参加資格を得た時は，“やった”という気持でした。高校時に，県大会，東北大会においての優勝経験はあったものの，日本の名プレーヤーが集まるこの試合に参加でき，あの時は欲もなくただ無我夢中だったことを覚えています。結果的にV4に残り初の参加で，東京代々木体育館で準決勝をやれることができました。仲間がよくやったと喜んでくれた時，自分は，知らぬ間にこんなところまできてたと気づきました。対戦相手で忘れられないのは，第3シードだった。石崎・今田組（電々東京）です。高校1年の時3年だった矢口さん，今田さんは私にとって“あんなプレーヤーになりたい”という目標でした。それが同じコートでやれたと満足感でいっぱいだったことを覚えています。

S50年の全日本総合選手権でのダブルス3位の成績は，次春のタイ（バンコック）で行なわれた，アジア選手権に参加するチャンスをつくってくれました。こんなについていていいものかと思いました。しかし2年時は，期待をうら切り，学生選手権，新人戦とも3位に終りました。

どんなに小さな試合でも優勝できず，万年3位という言葉が頭から離れませんでした。3年の始めに身体を初めてこわし体重も7kg程やせ，つらい思いをしました。体力もどんどんおちてゆき，スマッシュを打つのがこわい程でした。その上，前から気にかかっていた肘と肩の故障に，気持ちまで落ち込んでしまいました。この年は，試合に出れば貧血で倒れたりでひどい年でした。4年時には，どうにかしてはい上がりたい心境でした。それが通じたのか，夏札幌で行われた，東日本学生選手権で初めて優勝できたんです。あの試合は真夏の暑い際中で，気力だけの戦いでした。

4年間をつうじて，1年時のめざましいデビューが，あとあと続かずにがい思い出です。現在12年，たくさんの先生に指導していただき，本当に感謝しております。今，自分は，たくさんのクラブを見ていますが，今後バドミントンが，色々の人に楽しんでもらえるよう希望します。



私とバドミントン

酒田　佐藤礼子

私が酒田に帰郷したのは，３年前です。卒業したての社会人として，初めての職場の中では，未熟な為，失敗が少なくありませんでした。家に帰っても仕事のことが重くのしかかり思い出され，その上，職場と家の単調な往復が続く毎日でした。「こんな毎日でつまらないなあ，何かしたい。」と，同期の友だちに話をしてみたところ，「私も息がつまりそうなんだ，私の友だちに話してみたら『バドミントンをやってみないか』と言われたんだけど，行ってみないか」と，誘われました。

恐しさと興味が１対１で同居する中，今は壊れてなくなってしまった，中央公民館に足を運ばせてみました。大きな体育館の中に，電球が数個薄暗く光る中，白いトレーニングシャツに白い短パンをはいた男子２人だけが，黙々と羽根を打つ姿を初めて目にした時は，何とも言えず印象的で，バドミントンとの出合いでしょうか。「あのう，バドミントンをしに来たのですが…」と，２人して勇気を出し声にしてみたところ，

「あっ，そしたら教えでやっさげ打ってみれ。」と，共通語に耳慣れていた時分，土臭い田舎の庄内弁が暖かく優しく少しむず痒く響きました。

初めての為，懸命に打っても支離滅裂な方向へ飛ぶ羽根に対し，軽いフォームで，正確に右頭上に落ちてくる羽根が，不思議に憎しく，いつかはきっとあのようになりたいと願い，練習を続けていたら，３年目に足を掛けている自分に驚く次第です。

育児に忙しい主婦は数少なく残念に思うのですが，60歳代から，高校卒業したてのはつらつとした青年まで，年齢層が広く，保母さん，学校の先生，事務員や会社員等各方面の方々が集い，結ばれた“愛好会”は，名前の通り，バドミントンが好きでたまらない人たちの集まりです。

練習時間は約１週１回，６時過ぎから９時頃までとなっています。しかし，残業があって８時過ぎから練習する人や，都合で出来ないけれど，皆んなの顔を一目見たくて寄ってくれる人達が集る。親しみのある明るい会です。

トレーニングシャツが絞れる程汗をかいた後の心地良さは，すがすがしい気持ちで一杯です。又精神的に，様々なことを学んだように思います。

なぜなら，仕事を持ち豊富な経験を持つ人たちが，羽根を打っていることから言えると思います。つまづいてバドミントンを遠のこうと思っている時，メンバーのひとりから，ふと

「そいだば，人間変わってしまうものだ」と，言われた時，何も言い返すことが出来ず，情なく思いました。しかし，その一言で，原点に立ち，何を一番しなければならないかを考えさせられました。未知なる未来へ生きて行く上で人間は目的を抱き心豊かな人物となる手段として事を成している。止めることは簡単だが，続けることは難しい場面が多くあるだろう。不可忘初心。つまづいた時に助言して頂いたことによって“人間の偉大さ”を再び確めることが出来ました。

最後に，酒田のバドミントンのレベルの低さが残念に思います。練習のやり方に問題があるのかもしれませんが，市内に数校高校がある中でバドミントンの部活動を行なっているのがたった１校，中学では全く活動がなされていないというのが現状で大きな原因の一つだと思います。社会人を対称とした教室を催したりしてはいるようですが，底辺が小さすぎる為相乗して社会人としての活動が限られてしまい，悪循環が重なっています。誰もがバドミントンをしてほしいとは言えませんが，汗をかくことの心地良さを通して，自分を知る上で，何かを成してほしいと思います。

シャトルとは『羽』ではなく根性があるから『羽根』となり生きるのだと，言っていた人がありました。自分の体が許す限り，うまく行かない『羽根』を打ち続けたいと思います。



初めての国際試合

山形　東海林　文　子

サントリーに入社して今年で５年目になりました。ほんとにあっという間の毎日でした。高校卒業で入社し，今年はナショナルチーム入が出来，さらにユ杯メンバーにまで選ばれて，ほんとに嬉しいです。反面，すごく責任を感じます。プレーはまだまだですが，選ばれた以上は，頑張ります。

私の初めての国際試合は，２年目を迎えてのカナダオープンが最初でした。その時は予選の決勝で負けて本戦に出れず，とても口惜しかったです。それが，次の年には同大会で，シングルスに優勝出来たんですから本当に嬉しかったです。その瞬間は，自分でも信じられませんでした。相手はインドネシアのエースだし，もちろん勝つなんて２の次で，ただ粘っていこうという気持ちだけでした。何の邪心もない，あの時の気持ちを忘れないようにしたいと思っています。

その後の他の大会（国内試合）では，良い成績を収める事が出来ませんでしたが「やればできる」という自信を私に与えてくれたのは事実です。

去年は，念願の中国遠征にも行けてとても勉強になりました。結果的には，勝ち星はなかったけれど「負けてはいない，これからが勝負」という気持ちを持つことが出来ました。

でも，本当に中国選手のプレーは，素晴しいものでした。とても基本に忠実です。お国柄というか，皆，必死の顔で気迫が違うんです。どうかすれば甘くなる自分の気持ちをひきしめなければと思います。最終目標は，中国だし一歩でも近づきたいと思います。

上には上がいるという事をいつも肝に命じて練習しています。未熟な私ですが，今日までこれたのも山本監督のおかげです。入社時は，高卒は私1人だったので，よくマンツーマンの御指導を頂く事ができ，今日の私があると思います。

これからは，今までの経験を生かし，自分で考え練習していかなければいけないと思います。やれるところまでやるつもりです。頑張ります。

バドミントンの思い出
—私の10代の人生—

新庄　近　藤　恵美子

(1)　バドとの出合い

ともすれば忘却の彼方に霧のように消え去ろうとする乙女の頃の淡い思出になってしまいました。誰でもそうかと思いますが，漠然とそして誘われるがまゝに始めたバドミントンでした。その頃の新庄小学校でのバドスポ少年団は20人程の団員で，市内のいろいろな試合大会でも，勝ったということを見たり聞いたりしたこともなかったので，そんなに強い憧を持ったわけでもありませんでした。どちらから誘ったということもなく，友達と一緒に入団したは，小学校6年生になった春でした。

(2)　新庄中バドククラブの頃

中学校に入学しての最大の関心事は，大部分の生徒は，どのクラブに入部するかということでした。私達の所属所在は何年何組というよりは，何部の誰某というのが，今でも変らない中学生の生態であると思いますが，私達は放課後のベルももどかしく，勇んで部室に急ぎ，トレパンに着替え，準備体操をやり，ホームをつくり，先輩を待つときの緊張と得意な気持ち，顧問の先生からの叱咤激励の罵声も，新入生には心よい響きでもありました。又たゞ只管にコートの側に立ちつくし，先輩の打つ白球を眼で追う毎日，市内，郡市中体連でいつも2位に泣き，先輩と共に涙する激情のパターン，そしてそれは私が1年生のときも2年生のときも，3年生になって母校の希望を担って渾身の努力を傾けても，矢張り日新中には勝てない戦績の繰り返にすぎませんでした。それ程に日新の組織は強大であり，県一の牙城であり打破ることのできない存在なのでした。

(3)　新庄南高に入学して

新庄南高に入学して，これ又当然のようにバド部に入部，当時県一のバド王国である新庄南高は私の進む当然の帰結でした。中学校でそうであったように，中学校で主将であったことも，新入生の私達には先輩姉さん達のよきアシスタントとして下働きの連続でした。加えて中体連優勝という勲章を貰えなかった私は只単に黙々と命ずるが儘に走り廻っていました。

(4)　高校2年生—佐賀国体に選ばれて

1年間は夢のように過ぎていきました。どの高校生も又どの部員も同じように，コートを磨き，ラケットを振り，コックスを整え，あるときは歓び，あるときは泣き，いつも部員は一心同体になって，乙女の感情の赴くまゝに，毎日の生活の起伏が果しもなく山脈のように続いてゆくのでした。私は1年先輩の福原マリ子さんとのペアで高校総体ダブルスを組んで優勝しましたが，この年は城北高の東海林文子さんがシングルスの王者でした。幸にも佐賀国体の選手に選ばれ，晴れて全国大会の桧舞台を踏んだのでしたが，3回戦で敗退してしまい県勢には何んの貢献もできませんでした。然しこれが精一杯の私の実力でしたので致し方ございませんでした。

(5)　最上級生になって責任の一端を

3年生になって，母校の名誉のためにと，部員一同張り切りました。我が南高は県一のバド王国名門と思っています。長い歴史のなかに，若干の起伏はありましたが，1度は全国制覇も遂げたこともあるのですから，私達も先輩が築いたこの財産を減さずに後輩に譲り渡さなければならないという使命観が，いつも重くのしかゝっていることを意識しない日はありませんでした。幸いにして県内での責任は果すことができましたが，全国制覇という，かっての栄光は手にすることは到底望むべくもない程の隔りができていることを私も又皆さんもよく知っておりました。又その土台づくりもしない儘に終ったことを悔恨ともに深くお詫び申しあげるだけでございます。

(6)　青森国体で新潟青陵に勝てたこと

3年生になって，さしも強かった県内の先輩達が皆卒業してしまったので，親友の山崎由美子さんと組んで，県内の試合はダブルスもシングルスも皆勝つことができたのは僥倖でした。そして選ばれて，青森県での「あすなろ」国体に出場しました。幸にして諸戦に勝ち，いよ

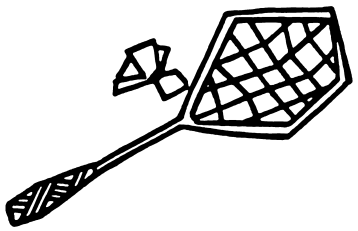
いよ準決勝で，全国1，2と言われている新潟青陵と相対することになりました。名にし負う青陵の高野和代さんの名前を聞いただけで足が竦む思いでしたが，私達の捨身の挑戦で青陵に勝てたのは，私の一生の思出でございます。あのときの県の役員方，応援の方，そして母校の友達，後輩，両親の声を限りの声援と期待が今だに耳朶に残っているのでございます。

(7) バドに別れて

大学か実業団に入って，もっとバドをという希望がないわけではなかったが，私自身の限界と理解して，社会人になってしまいました。どうせいつかはバドと別れる日が来るのだからと，自分に言いきかせて，両親にもこれ以上の心配をかけないようにと，東京に職を求めて潔くバドに別れてしまいました。新庄にいれば，どうしたってバドとの関りは切れないだろうしと思ってのことでした。然し東京にいても，新聞で，TVで，広告でバドの試合を知らされます。同時に心の疼を感じないわけにはいきませんでした。でも去るものは日に倦しとはこのことでしょうか。3年たった今心の平静が乱れることはなくなりました。然し，振り返って小学校6年生から高校までの7年間のバド即私の人生であったような甘く，そして苦い思い出，中学時代の小国先生，高校のときの高山先生の温かい心遣いと励ましの言葉が今も昨日のように蘇ってきます。又先輩や同級生の皆さんとの友情の日々，そして又私達の後を継いだ南高の岡田，中山さん達の又その後の金田，東海林さん達の活躍を見聞きする度に胸の高鳴を禁じ得ません。

(8) 久し振りに日本のリーグを観戦して

縁があって，56年1月15日，第2回バドミントン日本リーグ戦を代々木第2体育館で観戦することができました。1年先輩の城北の東海林さんがサントリーの主力選手として出場していましたので，お会いしてご挨拶を申しあげました。そして第2ダブルス戦に出た東海林さんは接戦に接戦を繰り返しましたが遂に5対4で涙をのんでしまいました。結果はカワサキが優勝でサントリーは2位になってしまいましたが，全館がこの1戦に集中し，満場が固唾を飲む世紀の戦にバドを捨てたつもりの私までが感情と感傷の渦のなかに沈没してしまいました。又今日の試合に新南の先導小松澄子さんは日本電装のコーチ兼キャプテンとしての雄々しい戦い振り又カワサキに同じく先県の沢内真由美さんの姿を拝見し，又青陵の高野さんを始め高校時代互に鎬を削り胸を貸して頂いた方々の凛々しいお姿をコートのなかで発見して唯々感無量の1日でした。私が頂いた大会誌のなかに男性を含めて県出身の方々の名前が沢山載っているのを拝見するだに，山形県は矢張りバド王国の一角であることを強く認識させられました。このような土壌を捧みなく耕しておられる県協会のみなさま方のますますのご多祥をお祈りして，お礼のことばにさせて頂きます。



東北大会の思い出として

鶴岡 田澤幸雄

決め球1つなく，センスの悪い私がよく優勝出来たものだと思う。もし1つの出会いとチャンスがなかったら……と考えています。

それは5月のある日，吉住氏から呼び出された時から始まった。吉住氏による日程に添っての日々の行動，練習。そして常に力強さ，偉大さで私を引っ張ってくれた個人指導は，東北大会の終る9月迄続いた。今考えてみれば，この頃には常に私の前には道があった。私の歩むべき道を造ってくれる先導者なる人がいた。このような先導者がいなかったら，私は前進出来なかっただろうと思う。

あの頃の私は，目の前の道を進むことで精一杯だったようだ。

そして春の県大会はベスト4入りを果した。今迄，2回戦で負けていた自分が……東北大会ではベスト8入り。この時青森から負けている。この頃から秋庭氏にも加わってもらい，個人指導は続く。

夏の国体予戦では予期しない初めての県優勝が出き，東北大会へ！福島は会津若松での東北大会。私にしてみれば2回目の東北大会であり，想像を絶する程緊張し，揚がっていた。団体戦の負戦が一層拍車をかけ，1，2回戦等，今でもどのように守りどのように攻めたのか等は，全く記憶にない。

ところが準決勝，決勝の段になると，昨日迄の自分が嘘のように冷静に相手を見ることが出き，自分のペースで試合を運べた。これが本当に昨日迄の自分かと思える

程であった。

それにも増してラッキーだったことは，春の大会で優勝している青森勢が，準決勝を前にして負けていることであった。この大会は本当に私にとってはチャンスだったと考えている。しかしこのチャンスを生かせたのも，私の前に常に道を造ってくれた人の支えがあったからこそだと思っています。

卒業して3年，自分の前にいて立ちはだかり強く引っ張ってくれた先輩への甘えにどっぷりと浸っていた自分だったが，今やっと自分で歩き出そうともがき出している。早く自分1人で歩き出せるように，そしてより早く追い抜くことが出来るようになりたい。





この人

田沢 幸雄君

少年男子シングルス優勝



大会をふり返って

新庄 岡 田 久 子

数多くの大会を思い出して見て，まず最初に思い出すのは，やはり目標としていた，青森の千葉学園を破る事ができた，東北高校総体です。

それにむけての練習は，毎日毎日，ランニングやトレーニングと，体力をつけるための練習，ノックや乱打などシャトルをつかった練習と長時間行いました。そして練習中は，先生の鋭い目が光っていました。ちょっとのミスをしただけでも，何かとんでもない事をしたように大声でどなられ，注意されてもミスを連続すれば，なぐられたりもしました。こみあげてくるくやし涙を何度おさえたかわかりません。又，「うさぎ飛び，10回。」単純に聞こえるこの言葉の恐怖！まさに恐怖でした。つらくて逃げ出したくなった事もあります。

だけど私達には，目標があったので，全ての不満も疑問も，「打倒！千葉学園。」この言葉にぶつけました。千葉学園には，遠征などして，何回か試合をしましたが勝てません





でした。大会では，勝つ！心に言いきかせながらむかえた東北高校総体決勝。ダブルスが1対1と引き分けてシングルスでの勝負となりました。第1，第2，第3シングルスと，3コートに並んで試合は行われました。無我夢中で打ち返しているうちに，いつも軽く負けていた相手とごかくに戦っていました。そして気がつくと，私の試合だけが残っていました。この試合を勝つか負けるかで，決まる…心の重圧はものすごかったです。1本1本せり合い，サービスオーバーを何度となくくりかえし，「自分だけが苦しいんじゃないぞ，相手も同じなんだよ。」先生の言葉にうなづいて，力いっぱい打ったスマッシュがきまって，ゲームセットという言葉が響きました。何ともいえない感激がジワーッとわいてきて，それまでの苦しかった練習も消え去り，目標を達成できたという喜びで，うれし涙というものを初めて知りました。

けれどそのあとのインターハイは，けっして良い成績ではありませんでした。どこかで，自分自身に甘えていた所があったんだと思います。そこで知った事は，相手の実力が上だとか言う前に，自分の心の甘えにいかにして勝つかと言うことです。又，バドミントンを通して，たくさんの仲間を得ました。いっしょに練習した仲間は，もちろん，敵として戦った相手も，過ぎれば，バドミントンの好きな仲間と変りました。

苦しみも過ぎてしまえば，なつかしさと変わる。今の苦しみから逃げずにがんばれば，必ず得るものがある。そう信じて，これからも好きなバドミントンを続けていきたいと思います。

大会の思い出

山形 佐　藤　栄美子

私とバドミントンとの出合いは，小学校5年の時，友人からさそわれてスポーツ少年団に入ったのがはじめです。

早くも，9年間の月日が流れ過ぎようとしていますが，今ふりかえってみると，いろんなことがありました。

1番の思い出は，やはり高校3年の時，国民体育大会東北予選，東北選手権にて3冠王になれたことです。

会場は，青森の浪岡町体育館にて行なわれ，第1日目は国体東北予選で高校最後の試合と思うと本当に緊張した一幕でした。試合の前は，何をしてたらいいかわからず，選手控室で3人で柔軟やスプリで気をまぎらわしたのが，思い出されます。1回戦，福島県から2－0で勝ちましたが，思うような試合ができず，自分達に腹をたてたのを覚えています。2回戦，秋田県2－1で1回戦よりあがらず自分達のプレーが，できたのでひと安心。3回戦，決勝はやはり青森県で『ダブルスがとれるなら国体出場は，可能』と，監督の清水先生にも言われており，今までに苦戦していたので必死でした。あがっている私達に先生は，「春の大会では青森のダブルスに2－0で負けているが，夏の大会では2－1で負け，今回の大会で3度目で2－1で逆に勝てる。」なんて冗談に，笑ってたことが思い出されます。

そして，試合はダブルス2－1で勝ちました。こんなにうれしいことはありませんでした。その試合の内容は，と聞かれても今はもちろんあの時点でも無我夢中で全くわからない状態でした。シングルスは，庄司はおしくも2－0で負け，私に国体が大きくのしかかってきたわけです。1セット目を私はあがりにあがって負け，2セット目は負けているにもかかわらず，私は気持ちに余裕あったと思います。3セット目も，なんとか勝ちました。みんな喜こんでくれました。阿部・庄司は泣いて喜こんでくれました。私は，実感がわかなくて，あっけに取られていたのが本音です。でも，念願の国体出場でき本当にうれしかったです。

2日目は，東北選手権。

私達は，ダブルスで調子をあげ準決勝までいきましたが，また青森とあたり楽にストレートで勝ちました。先生の言ったことが，本当になりおどろきました。決勝は，山形県同士でした。なんとか優勝。

シングルスも，決勝まで順調にいきましたが，この試合だけは，苦しくてたいへんな試合で今だに忘れられません。岩手県の菊地さんという方で，体も私より大きく，スタミナもありました。私もスタミナだけは負けまいと，スマッシュを連打したんですが，軽がるとバックまで返ってくるのです。スタミナもきれ，それからは自分との戦いで本当に苦しかった。夏にも負けているだけに，勝った時の感激は大きかったです。

そして，国体に参加し何か大きなものを得られたような気がします。

2番の思い出は，昨年社会人になり県で優勝。そして，2度目の国体出場は本当にことばに，いいあらわせないくらいです。やはり，高校の時にくらべ練習はたしかに減りました。しかし，そのハンデをのりこえて出場できたことは，私達の力だけではできないことだと思います。これも，会社の方々の応援，そして恩師の皆々様のおかげだと思っております。

簡単に，9年間といってもうれしかったよりか苦しかった方が多かったと思います。バドミントンをやめると，言ったことも何度かあります。

でも，今は本当にバドミントンをやってきてよかったと思います。そして，これからもバドミントンをやっていこうと思います。





全国大会に出場して

鶴岡3中　小　野　恵美子

県中学総体・第1回東北大会の壁を破り，8月23日から26日の3日間にわたり全国中学生バドミントン大会が熊本県体育館で行われ，私は3日目の個人シングルスに出場しました。

23日の夜10時に鶴岡駅を出発して次の日の朝6時に上野駅へ着きました。そこから羽田空港に向かい，飛行機で1時間半かかり，熊本に着いたのは10時でした。

その日は熊本で最も有名な所といわれる熊本城や水前寺公園などを見学しました。熊本城は加藤清正が建てたもので，それが独特なカーブを描いているのから別名，武者返しと呼ばれているそうです。また水前寺公園は，今から350年前に細川忠利から3代にわたって築かれたもので，東海道五三次をかたどったと言われています。

2日目は，団体戦の試合を見学して，1回戦の相手の人のプレーをじっくり見てきました。旅館に帰ってからもいろいろ作戦を考えていました。

3日目，いよいよ自分の試合の日が来ました。会場は全国から集まった選手で，熱気にあふれ，そんな雰囲気にのまれそうになりながらも，私は「中学校時代の最後の試合なんだ。思いきりベストを尽くしてみよう。」とはいうものの，自分の試合がくるまで不安でした。

いよいよ試合です。相手は関東地区優勝栃木県今市中の人でした。1セット目は私が先取点をあげ，今までにないようなおちついたプレーができ，11対3で勝ちました。2セット目は1セットを取ったためか油断してしまい，あっけなく11対4で負けてしまいました。3セット目に入る前に5分間タイムがあり，付添の先生からどこをどうやって攻めたらよいかなどを聞きました。3セット目は相手から先取点を取られ，波にのった相手から一挙5点を取られてしまいました。その後，粘りに粘って7対7まで追いついたのですが，サービスオーバーが何回も続きあせってしまい「あと4点先に取ればベスト8に入れる。あと4点で…」という気持ちが自滅という原因になったのです。その結果2対1で敗退してしまいました。今思うと，くやしくてなりません。でもバドミントンを通して体力と精神力を養ない協調性や友情を深めたことをとても喜ばしく思っています。これから先もバドミントンを続ける限り全国大会で負けた悔しさを忘れず，自分の納得するようなバドミントンをするように頑張りたいと思います。

全国大会に参加して

山形４中，３年個人ダブルス　武田　美子
県大会優勝・東北大会第２位　木口　万由美

バドミントンの全国大会は，熊本で開かれました。多少の不安もありましたが，この大会に参加して，プラスになったことは多いと思います。

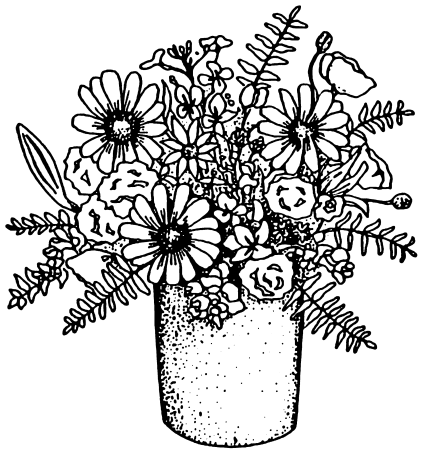
試合後，が〜んと頭を殴られたような強いショックを受けました。まず１番強く感じたことは，レベルの差が大きすぎるということです。スピード，すばらしいテクニック，そして迫力がありました。九州，大阪の代表校などは，部活動のバドミントンを超越していたように感じられました。そして，私達がどんなに甘かったかを思いしらされました。しかし，出場して得たものはそれだけではありません。他校の人々と交流できたし，たくさんの人からの励ましを，たいへんうれしく感じました。それから，東北，全国大会に参加したことによって，多少の度胸もついたと思います。

また，この大会に参加できたのは，杉山先生，先輩方のご指導と，よき仲間の力添えがあったからこそだと思い，感謝しています。

私達が痛感し，後輩に伝えていきたいことは，１つのことをやり抜く苦しさと，基本の大切さです。基本をしっかりし，何度もやり直すこと，また体力を，向上させることによって，今は小さな１歩でも，後には，大きな飛躍となって表われると思います。

これからの抱負は，バドミントンだけでなく，何をやるにしても，中途半端で終わることのないよう，全力投球でがんばろうということです。全国大会に参加したことは，中学校生活の最もよい思い出になりました。

最後に，今年の東北大会は，山形県で開催されるということですので，県内の中学校のみなさんは，今までの練習の成果を，十二分に発揮し，よい成績をおさめられるように，がんばってほしいと思います。



2　バドミントン指導の記

昭和30年度インターハイのこと

県協会　深　瀬　長太郎

昭和28年山形商業高校の教員となり，熊谷重四郎先生に勧められバドミントン部の顧問として，女子を世話することになった。バドミントン競技には全く無知，教師としても未経験であったから，生徒から見れば甚だ心許ない顧問であった。

さて，それまで，尾関喜久君や阿部英典君等の活躍で頭角を表わしていた山商バドミントンは，30年の県高校大会で，熊谷先生から見れば漸やく，団体優勝を果たした。その時のメンバーは，3年生が羽角至，金森(太田)伸夫，生田仁紀，峯田昌律の4君と2年生の板垣隆房，山岸重孝，鏡水勝志の3君，7名である。その年，熊谷先生は，奥様の病気で，合宿等は私に頼まれていて，私も女子を見ながら（その年荒井（庄司）トシ子さんは，シングルスで県大会で優勝している），男子の方も手伝いをしたわけである。コートが2面きりないのに，男女とも県大会の優勝を狙っている勢いのある時期だったので，コートをどう使うかでは，いつも男子と女子がもめていた。女子がもたもたして練習を遅く始めると，男子がコート2面を占領してなかなか離れず，間に立って調整するのが苦労だった。

ともかく，男子が県大会で団体初優勝を飾り，榎森浩一さんや斉藤孝一さん，阿部博さん等が大変喜んで，梅月堂でランチをみんなに食べさせてくれた。後輩は，フォークとナイフに苦労して，あまり味まではわからなかったそうである。

全国大会には男女とも出場したが，学校では顧問は1人だけ派遣するということで，神戸市へは結局私1人だけ引率することになった。熊谷先生には大変気の毒なことをしたと思う。

その年は，猛烈に暑い夏であったと思うが，団体戦は，兵庫代表から始まって，松江商業，帯広三条高を連破して，準決勝で東京聖学院に負けたが決定戦では勝って3位入賞を果し予想外の好成績を上げることが出来た。全国大会入賞は，山商としては勿論，県バドミントンとしても初めてのことであった。第1日目松江商業，続く帯広三条戦はいづれも接戦の3－2で，しかもゲームが2－1というのが多く，日程終了が9時半に近かった。

好成績につながった理由を考えて見ると，無欲で果敢に戦ったこと，3年生が協力的で，2年生の板垣君をシングルスに出すのを認めたこと，板垣君がそれを受けて，相手チームの最強選手をいずれも接戦の末破ったことであろう。板垣君のその後の選手生活にとって，この大会が大きな契機となったことを今でも嬉んでいる。また，私がバドミントンに永く関係することになったのもこの大会の影響が大きかったと思う。

この年以来山形県の高校バドミントンは，全国的レベルでの活躍が始まった。

鶴岡インターハイ（昭和38年）の思い出

高校女子監督　清　原　順　良

鶴岡での全国大会は，15年以上の前のことなので記憶もさだかではありませんが，思い出すままをふり返ってみたいと思います。

37年の時に，2年生を主力とした山形女子高チームを率いて団体初代表権を得，高岡市で開かれた全国大会に出場，高岡女子高(大会優勝校)に3回戦で敗退しました。この時点で，その後1年間の辛苦の戦いが初まったともいえるでしょう。

当時の戦力は，コーチに逸見昭男氏（現米工）3年に高橋とも子，渡辺康子，垂石孝子，秋葉佐知子，2年に斎藤郁子，1年に叶内瑠美子らが在籍，3年の原田美智子が名マネージャー振りを発揮した。当時の城北女子高チームの強さの第一は何かといえば，先ず，色んな面でチームとしての層が厚かったことだといえるでしょう。前年度に全国大会で得た経験をふまえ，全国大会で通用する選手の育成というのが第一の課題となったわけです。

大会では，郷土での試合というリラックスした面と，地元から期待されているという固さの両面があったと思います。前年度優勝の高岡女子高を2回戦で下してから，選手には一段と自信というものに目ざめたようでした。準決勝では，新潟工芸高との対戦でしたが，各選手達は，新潟の主力である加藤選手に分が悪く，これまでの練習試合でもなかなか勝てなかった相手である。またしても振りまわされて敗退，3位決定戦で秋田敬愛高に逆転し，やっと3位を得ることが出来たのである。個人戦では，ダブルス決勝戦で高橋・渡辺組が，新潟工芸の加藤組と，シングルス準決勝戦で高橋とも子選手が同じく加藤選手と，というような対戦となった。新潟工芸高とは，2日

間程で団体・個人と連続の対戦であるから，高橋対加藤のスタミナ戦という様相であった。加藤選手は，堂々たる体躯で，抜群の技術を持っていた好選手でしたが，残念ながら，内臓に疾病があり，高橋選手との連続の対戦に堪えることが出来ず，シングルスを棄権し，ダブルス戦に全力をそそいだ。結局は，高橋とも子選手のスタミナが，加藤選手の好技を制して見事にシングルス日本チャンピオンに輝いたのである。高橋・加藤の両選手は互いに励まし合った，よきライバル同志であったが，以後，加藤選手はバドミントン界から離れて行き，逆に，高橋とも子選手はユーバー杯代表選手として活躍する土台となったのである。同年代に，新庄南高の柿崎選手という，国体等にも一緒に遠征した非常にラケットさばきのうまい好選手がおったのですが，やはり，スタミナに難点があり，その後の活躍がみられなかった。

高橋とも子選手の特長は，抜群のフットワークによって備えた，守り優先の攻撃力の良さにあった。チャンピオンとなった最後の決勝点も，相手コートの後方に，余裕をもって返した1打である。試合後，ユーバー杯監督今井先氏との会談の際，氏も，その最後の一打を，印象深げに話しておられたことが，今でも彷彿として思い出されてならない。

戦績は，団体第3位，ダブルス第2位，シングルス第1位であったが，高橋とも子選手の活躍も，あらゆる環境の整備や，控え選手によって得られる強力なチームワークがなければ発揮できなかったでしょう。一見，個人プレーとみられるバドミントン競技も，所詮とり巻く団体のあたたかい触れ合いがなければ，名選手といえども育たないことはいうまでもない。当時の選手育成によって得た貴重な体験でもある。

私のバドミントン競技を返り見て

最上地区バドミントン協会長
佐　藤　幸　吉

バドミントンは全く素人な私でしたが，昭和34年長女の弘子が新庄南校バドミントン部に入部すると同時に私もPTAの役員を勤めて居りましたのでバドミントン部の後援会をつくり当時地区バドミントン協会長であります加藤健殿を会長にお向い戴きバド部のお世話や資金調達の手伝いでした。秋田大学の現職の先生であります鎌形利夫先生やコーチの奈良間信剛先生方は私の記憶に名記されて居ります。

36年青森のインターハイで新庄南校が団体戦2位，個人戦複優勝小笠原詔子，渡辺恵美子，単2位佐藤弘子となり同年10月秋田国体に出場新庄南校小笠原詔子，佐藤弘子で優勝されました。

2位の静岡県代表の高木紀子，天野博江の両選手はその後世界チャンピオンとなりまして今日なお日本バドミントン界に君臨されて居ります事は敬服の至りでございます。

その後私もバドミントンに興味を持つようになり47年新庄でインターハイのバドミントン会場になるの報を得てから，45年岩手国体の視察に同行し，47年インターハイバドミントン新庄大会の一部を手伝いましたが47インターハイは私の心の中に長く明記されて居り一生忘れることのできない大会でもあります。

長い年月バドミントンスポーツ少年団小，中学校の生徒並に一般社会人と練習を共にし，其の後ママさんバドミントン部も出来まして，新庄のバドミントン人口が大きく前進してきました。

さらにバドミントン底辺拡大にもつとめ，より数多くの方々と話合いの出来る場をもつことの出来たことはこの上もない幸と思って居ります。

新庄のバドミントン協会も設立以来30年になりました。バドミントンを指導なされている高校の先生方，社会人で指導なされている先生方大変ご苦労なされて居りますが，私達底辺指導も又苦労の連続です。金銭面 用具等色々問題がありますが，今後も長く強くバドミントンと戦っていかなければならないと指導者一同誓って居ります。

小，中学校の生徒にもバドミントンの基本をしっかり身につけさせ根気強く行動を共にし優秀なバドミントン選手が育って行くよう身心共に強くやっていきたいと思って居ります。

用具についても今日ではすばらしいラケットが出来まして子供達の場合高い品，安い品物などと親と子供の金銭面で苦労する場合もあり又コックもナイロン製のコックなどできまして良い事と思いますが寒い雪国の新庄では不経済なコックです。

最後に最北地区のバドミントンを愛する者の1人として中学校生徒の高校進学時期にバドミントン部員が県都山形方面に進学される時など何か淋しい一時になることもありますが県バドミントンを考えると晴やかな心にもなります。

山形県バドミントン協会が益々隆盛あらんことを祈ります。



バドミントンを指導して

米沢　鹿野昭男

昭和36年春，私の進学校となった山形大学のバドミントン部は，当時，東北の大学を制するべく力量と人材を要し，チームワークも抜群でした。先輩諸氏は，自分達の練習に精を出すかたわら，山形北，城北，山形西，遠くは米沢の女子高校のコーチを兼務し，充実した巾広い活動を誇っていました。

その中に飛び込んだ私は，先輩達の命を受けるまま，各高校の練習相手要員として引っ張り回され，「門前の小僧，習わぬ経を読み。」色々なコーチに接触する機会を得て，「教える者」への興味を芽生えさせられたのかもしれません。私のバドミントンの師の１人，尊敬すべき先輩の渡部二雄氏から，城北のコーチを引き継ぐ話が持ち上がった時，何の抵抗なしに引き受ける破目になってしまいました。

その時の１年坊主に高橋とも子がいました。小柄な細いしなやかな体，オーバーハンドで振り下ろすラケットは床に触れんばかりの印象が残っています。上級生は唯一人，新主将の佐々木澄子。その時のメンバーはのちに，インターハイの会場へ行く途中，「どこの中学校ですか？」と質問を浴びたエピソードを持ち，小さなかつひ弱い集団でした。勝たねばならぬ重荷もない，自分のペースでのスタート，タイミングの良い体育館の落成，それにも増して幸いしたのは，当時全国レベルにあった卓球部と新体育館を２分して練習出来たことでしょう。時折耳にする卓球部のコーチ，顧問が選手をラケットで打ちすえる音，怒号と変わりのないハッパの声は，未熟で若いコーチの大きな競争心をあおってくれました。「ライバルは，身近かな所にあった方が良い。」貴重な教訓は，形こそ違え，練習の面のライバルとして生きてきたのです。コーチとしての内容は，メチャクチャでしたが，「バドミントン部の生徒，最近，目がくぼんできたんねが？」と他の部の顧問に言わせた練習量を消化出来たのは，全て小さな体育館にみなぎる緊張感の所産にすぎません。

そうしてむかえた翌年の県高校総体，記憶をたどって大会前の戦力を分析しますと，最上級生がレギュラーを占める山北，鶴北が優勝候補の双璧，シングルスに絶対の強味佐藤三和のいる鶴家政と，２年生ながら，すでに頭角をあらわしていた柿崎・金藤を要する新南がダークホース，前回２位の城北は，それまで対外的な良い記録もなく，戦力不足の感が深かったものです。

初戦は１回戦をものにしてきた鶴家政，ダブルスをはずして，第２，第３シングルス必勝のオーダーで望んできました。予想通りの展開で第２S佐藤三和，高橋とも子の決戦，高橋も健闘１セット目奮取。そのころから，地元にあたる鶴家政の応援団は館内を揺るがす程の大声援を繰り返すようになり，小数ながら悲鳴に近い声を出す城北の応援と１球毎一喜一憂，火花を散らし，殺気立った雰囲気をかもし出してきました。大声援を背に佐藤は地力を発揮，２，３セットを連取，若しかして高橋が……の夢を無残に打ち砕かれてしまい，敗戦を決断しました。第３Sの渡辺康子，会場の異常なムードと責任感で顔面蒼白，案の定，１セットはラブゲームで失ない，私がオーダーの読みの浅さをチクチクと後悔し初めたころ，開き直った渡辺が持ち前の粘っこさを発揮，相手のミスを挑発し，１打ち毎声を出して大逆転，感激の勝利，渡辺の顔は涙でくしゃくしゃでした。

神が乗り移ったような奇蹟は，まだ続きます。準決の相手は，互いに手の内を知り合った仲ながら１度も勝てなかった山北。波に乗る城北は，受け身の相手を一蹴，決勝は，鶴北をポイントゲッター柿崎，金藤が確実に星をかせいで破り，伝統の強さを発揮している新南。ここでは，主将佐々木が意地を見せて踏ん張った。いつものモロサが影をひそめ，ひたすら最善を尽くしてゲームに集中，第１Sで柿崎をフルセットで倒す貴重な１勝を挙





げた。敵もさる者，第２Ｓで高橋が金藤から予想外の敗戦を喰ったが，すっかり自信を持った渡辺を三たびヒロインに押し上げる材料になったにすぎませんでした。

スコアはすべて３－２，長い試合時間，精魂使い果たしたゲームの連続，思い出すと興奮が湧きあがり，体がほてってくるようです。また，この時程勝負の厳しさ，勝つ喜びを思い知ったことはありません。

翌年，高橋とも子が，インターハイで，男女全種目制覇を破竹の勢いでねらった新潟県の野望を女子シングルスで打ち砕き，彼女自身，世界へ羽ばたいた試金石は，この時生まれたように思えます。また，私が教員生活を続けるようになってから，この年まで，バドミントンに夢を追い続けてきたエネルギー源も，やっぱりこの時のことが，肉体の一部のどこかに巣喰っていたからだと思います。

県におけるバドミントンの後進地区，置賜を安住の地として10数年経過しました。ようやく，今年度米工から初めてインターハイの大舞台を踏む生徒が生まれました。中学校に部が存在しないのは確かに意識の面でマイナスになってはいますが，一方に「高校で運動をやろう。」と気楽に入部してくる部員数の増大としてのプラスの面もあります。水面に広がる波紋のように少しづつ輪を拡げて，あの時のあの興奮をもう１度。毎年，大きくなってゆく生徒との年令差，衰えてゆく体力にハンディキャップを感じながらも，今日も体育館に足を運ぶことになりそうです。



中学生の指導にあたって

鶴岡一中　佐　藤　　実

私がバドミントンの競技に関係したのは，昭和39年東田川郡三川村立三川中学校で，顧問としてであった。以後17年間にわたって，櫛引町立櫛引中学校，鶴岡市立大山中学校において，バドミントンの指導をしてきた。

羽球の持つ微妙な動き，美しさ，人間の極限において発揮される動作，優勢だと思っていた相手チームに生徒がベストを尽して勝ってくれたとき，毎日の練習，指導が誤っていなかったという安心感，成就感が，ずっとバドミントンとの付き合いが長く続いた原因でないかと思う。

私自身，バドミントンの選手でも，部員でもなく，ずぶの素人であったので，練習の方法，体力作り，フットワークなど何１つ知らず，ただ，若さにまかせて，生徒とともに遊びながら指導してきたのが現状です。

鶴岡バドミントン協会による指導者講習会への参加，鶴岡北高，鶴岡家政高での練習，試合などは，特に学校における練習の方法に幅を持たせ，その折の懇切，ていねいな助言，指導は大変ありがたかったと思う。

どの年でもそうであるが，バドミントン部に入部してくる生徒は，他の部ではだめ，バドミントンならばという。家庭でやっている遊び程度のスポーツという認識しか持たず入部してくる。ラケットのにぎりがイースタン・グリップであり，バックハンドは軟式庭球の握りである。それ以上に困まるのは，足は遅く体力がなく，敏捷性に欠け，平衡感覚のない生徒が多くいる。

どんなスポーツもそうであると思うが，腹筋，背筋がきたえてなければならない。そのために，マラソンが１番有効であると思う。単なるマラソンでなく，足の遅い順に10m位間かくをあけ，順次出発させる。ゴールした後，到着順に並ばせて何人追い抜いたかを調べた。これは効果があったと思う。腹筋，腕立て，うさぎ跳びなど練習の合い間にコートの脇で短時間でも実施した。

練習の方法として，トレーニング，ランニングは全員，同時に実施して，30分～１時間かけて行った。入部したての１年生は，素振り，フットワーク，羽球を上にあげて，連続100回行った。毎日同じ練習をしなければ効果はない。その後，全員で同じ内容の基本練習をする。特に３年生，選手は，ノルマとして，連続ある回数以上こなすことを要求し，成し遂げた生徒は自信を持つようになった。

時折り，１年生に試合をさせて，単調なあきっぽい練習から開放し，基本がなぜ大切かということを自覚させるようにしている。同様に，２，３年生にもリーグ戦を行い，２年生から将来エースとなる素質のある選手を見いだし，３年生と対等に戦えるように考えて指導している。３月頃には３年生と同じ位の実力を持つことを目標とする。

部分練習，複合練習も大切であるが，動きのある練習，シングルスができない生徒はダブルスもできないと思っている。

ダブルスは短時間には上達しないし，パートナーとの息が合わないと困る。練習の大半の時間をダブルスの練習に費やしている。特にローテーションの時期とスマッシュの練習を目標としているが，指導者がコートに入り生きた羽球を打ち返えす方法で，20分間毎日やると効果がある。

シングルスは高校生，一般の方々から試合をしてもらい，１日５試合位すると，単調な試合から変化に富んだ試合展開ができるようになり，自信を持つようになった。普段の練習では，オールロング，オールショート，ノックが，体力，気力作りによい。このとき，単調で，面白味のすくない練習になりやすく，指導者に対する不

平，不満を持ちやすく気のないプレーをしがちになるので，自己の欠点を修正する意欲を持たせねばならない。常に苦しさに耐え，自分で考えたプレーができるように練習，試合を通じて話している。

また，選手以外の3年生，1，2年生も目的を持って練習に参加させるために，協会主催の大会に参加させている。女子は，感情的になりやすいので気を使っている。

バドミントンは誰にでもできるという気安さから相当な人数が毎年入部してくる。1コートでは全員がコートの中に入ることは不可能である。コート数が足りないのは決定的である。コートは他の部と隣り合わせであるために，ボールがころがって怪我をしないかと心を配ったり，騒音で，指示が通らない時が多くある。したがって勢い日曜日に選手養成の部活動を行うようになる。毎週日曜日の練習は生徒の疲労，学習時間の確保，家族との話し合いの場，時間がないというジレンマに陥ち入る。選手と他の生徒との人間関係がこわれる。

ラケット，シューズ，ウエアー等は個人持ちであるが，消耗のはげしい羽球は生徒会予算では不足し，PTA，体育後援会から補助してもらっているが，顧問のふところからでていく額もばかにならない。大会において勝ってくれたらよいのだが……。

今までのバドミントンの顧問の経験からすると「若さ」と「情熱」がないと，バドミントンの指導は不可能であると強く感じている。バドミントンに対する情熱が，バドミントンを研究し，よりよい指導方法をあみだしていくことになるのだと思う。

市販のバドミントンの本を読んでも一般的な練習方法しか書いてないし，自分の指導している生徒に合うとも限らない。生徒の欠点を発見して，指導方針と合致している練習方法を自らの力で工夫していくのが大切であると考えている。

今後も，情熱を持って，研究心を失わずにがんばりたいと思う。

山形県のバドミントンの発展を祈念いたします。

中学生を指導して

元山形四中　杉　山　孝　栄

昭和45年，山形三中に転勤した時から私のバドミントンとのつきあいが始まった。その年は山三中男子が3年連続県大会優勝の3年目の優勝をめざしていた大事な年でした。そこに顧問として据えられた訳です。それまで全然バドミントンの経験のない私でしたが，幸い前年度までの顧問の遺産が力を発揮し3年連続優勝の栄冠をかちとることができました。それから，どうもやみつきになったようです。

その後，第2回全国大会（名古屋），第3回（宇都宮）大会と2度全国大会に参加することができました。女子の方も一緒にみておりましたが，経験のない者が一人二役はとてもむりで，女子の方はパッとした成績をあげることができず，選手には済まなかったという気持ちが今も消えていません。

しかし，私なりに努力はしました。ルールも知らない顧問でしたから，選手たちが練習に行くところにはどこへでもついて行って勉強しました。スポーツ教室，高等学校。特に，日大山形高，城北高，竹田女子高，山商，山北高など，大変ご迷惑をおかけしましたし，また，たくさんの事を指導していただきました。そのうち，このぐらいできれば市内大会では勝てるんだな，というようなこともわかってきました。ラケットも買いましたが，これは使用目的が違っていて，気合いかけ用に振りまわしていたようです。しかし，長い間見ているということはおそろしいもので一放課後の練習にもほとんどつきあっていましたから，数年間には大変な時間になっていると思いますが一ある日，ショートサービスをやったところ，なんと大変うまくできて，自身でびっくりしたこともありました。けれども，そうしたいくつかの部分的なテクニックはできても，効果的練習方法を組織的に組合せてやっていくというようなことは，とてもできませんでした。練習相手にもなれません。大きな大会に出場して選手たちが汗を流しながら戦い敗れてゆく試合を見つめていると，いつも，経験と技術を持たないもどかしさと，悲哀と口惜しさとをかみしめました。選手たちにも済まない気持ちにかられました。だから，市内大会，県大会，全国大会などが終りほっと一息つく頃は，もうバドミントンを見るのも“イヤ”という気持ちになってしまいます。それでも日曜にまた練習に出かけてゆくのですから，もう意地になっているとしか言いようがありません。

後，山形四中の女子部をみていましたが，“記念誌”が出版されるころは新体育館で練習していることでしょう。旧体育館は小学校のものになりますが4月からは，そこも借りることができるのではないかと期待しています。山三中の時には山二小，山十小に通い，山四中にきてからは鈴川小に通いました。それがこれからは，すこしはコートの確保に便利になるかもしれません。しかし，それでも勿論いろんな問題は残されます。女子部だけで40名余の部員にコートは1つ。選手とそれ以外の部員の練習をどうするか。それとからんでおきる両者間の人間的なトラブル。これも顧問の最も頭を悩まされる大きな問題です。これらいくつかの問題は四中だけに限らず，

中学校バドミントン部に共通したものであり,その中で,顧問は人生1度の中学校生活の中に，実りあるいい経験をさせてやりたいと，大げさになるかもしれませんが一悪戦苦闘をしているわけです。

いつか，選手がオリンピックをまねて，"参加することに意義がある"などと言った事がありました。私は"とんでもない"と一言のもとに否定し，"試合は勝つためにある"とそう言い直しました。そして，中学校バドミントンをもったこの10年間を工夫し，練習の場をさがし，つくってきましたが，今"記念誌"からテーマを与えられふっとその10年を振りかえってみると，いささかこわいような気がしてきます。

なにがあった？

なにをしてきた？……

でも，また練習に打ちこんでゆくことになるでしょう。

"30年記念誌の発刊をお祝い申し上げると同時に，中学校バドミントンの向上のために協会の組織的なご援助，ご指導をお願いして責めを終りたいと思います。

私とバドミントン

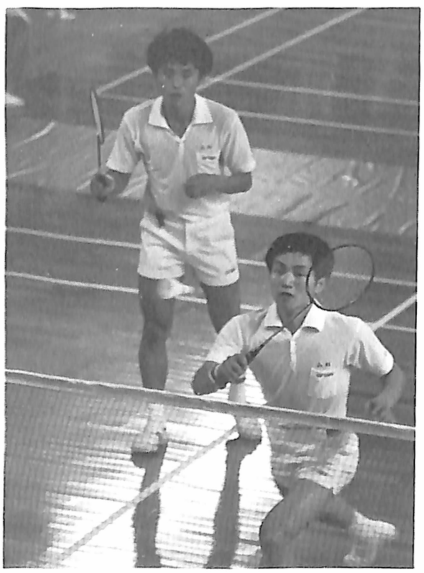
鶴岡市役所　秋　庭　一　生

バドミントン界という雑誌がある。去年，その7月号の片隅に，私達（パートナーの丸山君と）の写真が載った。全日本実業団選手権大会で，高岡市役所の強豪今泉・米沢組と，ベスト8，そして全日本総合選手権大会出場という大きな夢をかけて戦った時のスナップであった。そしてその下には，それも小さな文字で「大健闘の丸山・秋庭」とあった。試合の結果は，大接戦の末敗けたのであるが，この生まれて初めての出来事は，2度とやってこないかもしれない大きなチャンスを逃して，気力を失いかけていた私達に，大きな励みを与えてくれた。それは，2人にとって，やっと成し得た小さな夢だったのである。

私は，今でこそ県の単・複チャンピオンとして各種大会に出場させて頂いているが，これは高校時代，県でベスト8が最高で,まして大学時代のブランクを考えれば,全く夢の様な事である。事実その頃の私にとっては，県優勝など全く夢の夢だったのである。その夢が，今こうしてかなえられつつあるのは，常に夢を追いかける事，夢だけで終わらせてはならないと，身をもって示してくれた先輩達や，技術の研究に東京までも足を運び，1晩中語り合ってくれた仲間達が居たからこそなのである。名も無い選手達が，それでもただ好きだからと一生懸命練習し，夢を追い続け，そしてそれを何よりも誇りに思う素晴しい仲間達が，今の私をつくってくれた。

勝つ事は難しい。県チャンピオンの肩書をもつ今の私は，敗ける訳にはいかない。勝たねばならない立場というのは，決して楽ではない。大切な試合の前の緊張は，私を孤独にし，人と接する事を拒ませる。競った時のプレッシャーは，敗けた時の辛さと相まって身体を硬くする。点差が開いて敗けそうになった時など，「早く敗けてしまえばいい。」と思ったりもする。しかし，惨めな敗けは自分自身が許さない。チャンピオンとしてのプライドが絶対にそれを許さない。だから私は，最後まで勝つ事を諦めたりはしない。それが今の自分のすべてだと思っている。





私は敗けるのが恐い。だから練習する。しかし試合になれば，間違いなく勝つ事を信じて，勇気を持ってプレーするのである。

全日本総合選手権大会出場，それが私の最後の夢である。

バドミントンを指導して

新庄南高　真　室　順　一

新学期をむかえると，今年は何人入部するだろうか，何人残るだろうかと，思い浮かべてしまう。練習するコートやシャトルには制限あるにせよ，部活動の活気は，およそ部員の数にも左右されやすい。かっての前任校で，放課後，体育館に出てみると，２人だけ，あるいはたった１人だけの練習という日もあった。ひどいときには，部員全員が反乱をおこしてサボるということさえあった。顧問だけがみじめな気持ちになって，指導とはどんなことなのかと考えさせられもする。部員はすべて，ラケットを握るのがはじめてであったし，シャトルを打つことの楽しさを味わわせることからはじめなければならなかった。それから少しずつ，競技としてのバドミントン，勝つためのバドミントンへと，練習時間を長くし，体でおぼえる練習を強いて，バドミントンという世界そのものにひきずりこんでいこうとした。

練習そのものは，楽しいばかりではない。むしろつらいことの方がはるかに多い。「出来ないことを出来るようにするのが練習なのだ」「練習はつらくてもあたりまえだ」と言ったにしても，それだけではついてくるものではない。バドミントンに対する意識を高めながら，その練習を支えるもの，つらさをのりこえる力，向上しようとする意欲をどうやってつけさせるかが指導なのだろうと思う。その上にたってようやく技術上の指導が可能になるのだと私は思う。

学校教育の部活動という中では，その他にもまだまだ問題が山積している。例えば，どこでもそうであろうけれど，シャトルの予算。練習をすればするほど金がかかる。学校の予算だけでは，とうてい満足なシャトル代にはならず苦慮するところである。やむを得ず部員のアルバイト（長期の休暇を利用して）によってそれをうめたこともあった。

高校３年間といっても，実質的には２年半の活動の中で，バドミントンをやって本当によかったと思えるような選手を育てたいというのが，私の気持ちである。もとより効果的な練習を熟知しているわけでもなく，試行錯誤の中で，毎日毎日の練習に，私自身をとびこませる以外に他はないと思いながら，とりくんでいる現在である。



楽しむバドミントンを目指して

新庄 高　橋　喜久雄

スポーツを楽しむ事の好きな小生が，バドミントンのラケットを持ったのが30歳に成ってからで有る。職場の昼休みに若い人達に混って初めたのが病み付きと成り，初めたからには上手に成りたいと思った事は事実，学生時代卓球クラブにいた頃を思い出させ，職場の中にバドミントンクラブを設立，部員15名で１週間１度の練習会を設けて走り廻った。素人だけの集りで有り練習法もままならず，まずは経験者に相談しいろいろとアドバイスを受けどうにかこうにか様に成って来た様な気がした。練習の成果が市内職場対抗での優勝，市民バド大会への参加，その他のクラブとの親善試合等バドミントンを通じての連りも多く出来た。

職場のクラブも若い人達にまかせ，小生は今度，町内（北町）の年配者を集めて小学校の体育館を借りて健康管理にとバドミントンを初めた。下手ながらも指導者よろしき汗を流している昨今で有る。技術追求するバドミントンも大切とは思うが楽しむバドミントンを目指し底辺拡大，バドミントンスポーツを１人でも多くの人々に理解して貰う事が優れたプレーヤーを生み出す根源と成るのではと思う。例えバドミントン競技に於いては素人であってもスポーツバドミントンに対する愛情は誰よりも強く持っていると自負しては見たが……。

羽根打ちからバドミントンへ

酒田　佐々木　健　夫

婦人バドのコーチを始めてから14ケ月が過ぎ，独身のコーチ３人で始めた当クラブも25名を数え現在も雪，風の中頑張っている。全国的なスポーツ教室開催の中で御当地も御多分に洩れず，婦人層の普及はまだまだこれから，施設の充実と指導者の拡大を一層期待したい。

さて婦人層にバドをと考えたのは私の個人的観測にすぎなかったのが，今は始めて良かったと観る。中学，高校併せて１校ではちょっと淋しいし，社会人層への普及が10年前と比較すれば著しいのが救いといえる。将来は，母と子のバド大会でも開かれるような環境になれば本望

とも言える。

創った当初はゲームは無理で，基本練習をさせてはいるのだがコーチの眼からは基本になって映らない。個人差も極端で困惑もしたがなにせコートに入っての羽根打ちは生れて初めての事。ラケットをはたきの要領でと具体的に説明してはみるが，はたして？と自問自答のくり返し。学校のクラブ活動でもなしと静かに，静かに指導し，今では立派にバドミントンと胸を張るまでに。

30代，40代が大半で比較的若いのであるが気持の方がもうひとつ消極的。コートを離れると決してそうではないのだが。各人の個性を伸ばすにはまず基本の基本とばかりに，動かない体を素振り，フットワーク，柔軟体操，コートランニング，ノック等々。

家庭をもちながらの限られた時間，技術の向上を望むのは無理と言えば無理。各人欲が出るようになれば，希望もありとばかり，練習方法に変化をつけ興味を持たせる事に時間を費す。

最近では個人差もあるが結構エキサイトしてる光景を見かける，こんな光景を見かけると思わず"ニヤッ"としてしまう。こういった気持が会の中によく反映し和やかなムードになりつつある。是非今年は会として1勝を目指したいし，大会への出場は日曜日の故に仲々全員が出場できないが可能な限り場数を踏ませてやりたい。

14ケ月経た今日，初めて会員の卒直な声を聴く機会に恵まれました。普段ペンなど持つ機会も少ない主婦の体験を御紹介します。

42歳・Tさん・創立当時から参加。

"バドは私にとって冬の虹の様なものです。きりりと身の引き締まる思いと，柔らかい美しい光で大きな夢を大空にかける虹の橋を見る思いです。白い羽が，ロケットの様にビューンと飛びかい，それを受ける時のはずんだ音が，体育館に響き合う雰囲気の中にいる。そんな時間，ほんとうに充実して幸に思います。それもこれもみんな指導して下さる方がよい環境を作り出されているからで，参加できてほんとうに感謝しています。

昔からスポーツ好きでした私は，前からバドをやってみたいと思い続けていました。今この様にやっとバドを習うことができて嬉しく思います。何もわからないで入り，唯，皆についていくことだけ考えています。練習に汗を流すだけしか私にはできませんが，それがどんなに楽しいことか教えられました。

コートの中でどの様に動くのか，右へ行ったらいいのか，左なのか，ぜんぜん解らないで，コートが大きく感じ棒の様に立ち止まっていた私。コートの中での動きをひとつ教えていただき，それだけかと思っていたら，又ひとつ，何んと色んな動きがあるのでしょうか。

男性の動きの激しい，すばらしい試合をみた時，勝った負けただけでなく，エネルギッシュな迫力に魅せられ，唯，すばらしいと思ってみるだけでよく解りませんでしたが，ひとつひとつ，いろんな動きを解りやすく，分析して示して下さるので毎日が新しいものとの出合いです。

会員の皆さんとのふれあいや，バドに対する厳しいコーチの指導，ルール，礼儀など，スポーツをすることで日常生活とは異ったきびきびした行動や，人間性など養われるようです。最初はあの羽根の魅力でしたが，バドの魅力は，どんどん大きくなっていきます。私の出来る範囲で，無理せず，精進していきたいと思います。"

私達はまだ若輩者，このような姿勢をシャトルに向けられているのだと考えると，技術の差など別問題。ずっしりと重い，スピードこそないが実に重いものを感じざるを得ない。引き締めてもう1歩前に。

座談会

私とバドミントン

置賜バドミントン協会

司会　私とバドミントンというテーマで皆さんにお話し願いたいと思います。バドミントンとの出会いや，思い出，そして，現在の事や将来の展望という順序で進めていきたいと思いますが，まず始めに，出会ったきっかけ，なぜ選んだのかをお話し願います。年代順にいきましょう。

近藤　高校に入学したのは，昭和33年春でしたが，一番楽な競技だと思った。入ってみても，コート内での練習が多かったのでやはり楽でした。その中でも，つらかったのは，3年の春の大会で1セットの中盤までは，なんとかもったがその後，全々ついていけなかった事です。

これを機会に後輩には，体力付けを一生懸命やらせました。同年代の人には竹田女子高校の永井先生がいますが，県で勝てば全国でもトップという時代だったので私は，ベスト9～16位がやっとでした。

司会　その当時，置賜の高校でクラブとして活動していたのは，どこですか。

近藤　男子は米商と宮内，愛好会が米工でした。米沢にライバルをつくらなければ駄目だと思い米工に，後輩や先輩の総スカンを食っても教えにいったことは，なつかしい思い出です。

神尾　女子の方も米女や米東，興譲館にもだいぶ前からあったようです。

伊藤（輝）　私の場合は中学時代運動をやっていなかったので何か運動をやりたいと思い，バドミントンぐらいはという気持で入りました。

新国　中学時代野球をしてきたが，私には向かないと思い，高校でバドミントンぐらいは，という気持で入りました。楽しく羽根打ちをしたかったのに，体力付けをした思い出しかありません。

体力付けをしないと立派なプレーヤーには，なれないのだなと思ったのが，2年の後半頃でした。はずかしい話です。

司会　こんどは経路の変ったところで，K先生にお願いします。

神尾　私のきっかけは，顧問にさせられたことからです。大学時代重量あげをしていたので，全々畑違いですが，業務命令で仕方がなかった。バドミントンは，たいした事はないと思ったが，一番きついスポーツであることを知りました。

もう10年たちましたが，バドミントンは体で覚えるだけでなく，頭の中でも覚えなければならないと思います。顧問をしているうちは，勉強して本当のバドミントンを教えていきたいと思っている。

うちの学校では，3年になると自主研究をやりますが，バドミントンをとってくれたレポートをみると，まだまだ，私の指導が甘いと思っています。

小野田　中学までスポーツをやった事がなかった。小学校の時など，女の子よりも運動が出来ないなどと言われ，コンプレックスもあったが，しかし，高校に入りなにかをしなければと思い，未知のバドミントンを選んだ。一番楽だと思ったのだが，毎日の練習は厳しく，先生の顔を見るのもいやだったが，3年間の指導のお陰で優勝することも出来たし，やれば出来る，今にみていろという精神面での強さを得た事は，現在の自分の生活に大きく影響を与えていると思う。当時，先生は若かったし，暇だったんでしょうか。とにかく毎日体育館に顔を出していたんですが，私達は顔を見るとギョッとしました。

でも，高橋とも子さんはじめ，いろんな選手を連れてきてくれてプレーを見たり，練習したりすることが出来たのは，幸せだった。

ラケットや足でなぐられるのは当り前みたいなものだったが，水をぶっかけられるまではいかなかったから，まだましだったのかも知れません。

小野田　中学時代バレーボールをしていたので，高校に入ってもやりたかったが，なかった為バドミントンに入った。上手，下手は別として，体を動かせれば良かった。出れば負け，上達もなかったので，同期の3人の中でもいつもやめようと言い出していたのは私でした。高校で，もう終りと思っていたのですが大学に入り，たまたまふとしたきっかけからバドミントン部に入り，先輩にも恵まれたこともあって，今まで続けてこれたのだと思います。

テニスとバドで迷ったのですがテニスは炎天下であの広さ，バドは室内であの広さですからなんとかやれると思いました。―爆笑―

情野　中学時代野球をやっていたのですが，体が小さかったので，野球よりは，楽だと思いバドを選びました。入ってみると先輩にも恵まれ，又強かったし，47インターハイの目標もあったので張り合いがあった。結果としては，地区では勝ったけれどもインターハイには，出れなかった。やはり，対外試合をもっと経験していればと思いました。

司会　次に愛好会をつくってまもない，白鷹町の現況等をお話し下さい。

代表　昭和53年2月に地区の若人達が，白鷹町をより住みよく，明るい町づくりを目指して理想的サークルを生み出しました。最初10名足らずだった会員も，今は男子20名，女子5名の会員を有しています。学生時代に経験した人は，わずか3名しかいないのに，初心者を大切にしているせいか，常に新入会員が絶えませんがどうしても，長期間続けてくれる人が，数少ないようです。54年の県民スポーツ大会に西置賜代表として出場し第3位となり，これを機会として，愛好会の充実をして，他地区との交流をもっともっと深めてスポーツ全般の発展の為にも頑張っているところです。

司会　次は南陽の方お願いします。

代表　和気藹々というのが，私達のモットーです。初心者は，宮内高校の先生2人ともう2人ぐらいいますが，練習はなるべく経験者とするよう心がけています。

そういう点からすると，競技に出て勝ちたいという人には，気の毒だと思いますが，そういう人は，事務局としてよく頑張ってくれています。

本年の我協会の目標は，全員が各種大会に全員参加することです。

司会　川西では町民大会を実施しているとの事ですが概要をお話下さい。続いて現状なども。

代表　団体戦1複2単のクラス分けで，ダブルスはAとCクラスの人が組み，シングルは，BとCの人だけが出場出来ます。ブロック別トーナメント方式で約20チーム位出ます。1回だけで終ることをさける為や，回数を重ねることによって，試合の面白さを体得させるよう努力しています。

又，どうしても個人戦は自分の力がおちるといやだとか，初心者は負けるとおちこむという事があり，その点

団体戦はバドミントンを楽しむという目的も生じてくるので良いのではないでしょうか。

クラブは現在20名ほどで週１回位の割で練習をしていますが役場やコロニー等のチームを合同にして川西協会として１本化していきたいと思っています。そして，県で全国で通用する選手を育てたいと思う。

司会　各地区の方々からお話していただきましたが，次に社会人のクラブ指導としての苦労や展望等を，お話し願います。南部地区の近藤さん。

近藤　経験者は私１人で他の人は初心者でしたが，まったく知らない人を対象にすることによって，自分も苦しさを共にしながら一緒にすることが重視され，それが，クラブを存続する大きな理由とも思われますので，南陽，川西それぞれの地区の皆さんも，常に初心者重視を頭から離さず頑張っていってほしいと思います。

司会　最後に皆さん１人ずつ今年の抱負を言っていただき終りにしたいと思います。御苦労様でした。



3　特　別　寄　稿



創草期の想い出

元山形県バドミントン協会会長
小　関　三　郎

創立30周年を迎えた山形県バドミントン協会，洵におめでとうございます。昭和24年の協会設立から幾多の困難を克服し，輝かしい実践と，確固たる基盤を築かれた，協会関係各位に対し，深く敬意を表します。本県がバドミントン競技の草分けの一人として，この30年間の歩みを，振りかえりますと全く零からスタートから，全国制覇はもとより，世界選手権を獲得した選手監督を輩出している現在の隆昌振りを思うとき，今昔の感ひとしおであり，正に感無量であります。そこには思いきり青春のエネルギーを，バドミントンにかけた有名無名の数多くの選手と，バドミントンを，こよなく愛し，選手の育成に長い間ひたむきな情熱をそそがれた熊谷重四郎先生，桔梗喜一先生始め素晴らしい指導者の方々のご努力を忘れてはならないと思います。その意味からも，この輝やかしい30年の記念誌を刊行されることはまことに意義深いことであります。

私とバドミントンの出合いは戦前25年間在留した南方ジャワ島（インドネシア）でのことで，当時灼けつくような太陽のもとで，仕事の合い間にテニスとバドミントンを盛んにやったものです。戦後昭和21年郷里山形に引揚げてからバドミントンの普及に第一歩から取組みました。昭和22年山形市立第四小学校の裏にあった，川島氏の畑を借りて屋外コートを一面つくりました。風に悩まされながらも夢中で練習したことが楽しく思い出されます。このコートを中心に東高のO・B故松田嘉雄氏，山商のO・B榎森浩一氏等が集り，愛好会が結成され，１人２人と同好の士を増していったものでした。郡部の公民館や学校での普及講習会を名地でよく開催しました。サーブ権があるときだけポイント出来るカウントのとり方が，仲々のみこんで貰えなかったことがありました。その後当時の全日本選手権者である岡淳一氏，相馬万吉氏を招いて指導会を開いた事があります。またシャトルが高価で入手困難で練習用として頭部が木製のや，再製シャトルを使ったことがあり，そのためフレームに当るとコツンと高い音を出して時には真二つに割れる始末でした。

昭和24年４月山形県バドミントン協会が設立され，初代会長に故安達良助氏（元参議院議員）を推せん，理事長に不肖小生が指命され，県，市の体育課の協力を得て，本格的な活動に入りました。

昭和24年８月第１回の県選手権大会が開かれ，翌25年に第四小学校体育館で東北選手権大会が開催され，東北六県より多数の選手が参加し，なかなかの盛会で本県選手等は活躍し，上位入賞を獲得しました。その後次第に発展しましたが，創草期は予算も少なく，役員は腰弁当で大会にのぞみいろいろと活躍した姿が忘れられません。また男子高校の部員は西洋の羽つきときめて，そのようなスポーツは女性のものだと云って，クラブ予算の獲得が思うようにならず弱っているなど，よく聞かされました。昭和28年には待望のインターハイ（第４回全国高校バドミントン選手権大会）を山形市で開催するに至り，東北地区では初めての全国大会であるだけに役員の皆さんには大変ご苦労をかけましたが，之の後飛躍的な発展の源泉となった記念すべき大会であったと思います。本県からは幾多の全日本級の選手はもとより，国際的名選手が育っておりますが，そのさきがけとなったのは，昭和31年仙台市で開催されたインターハイ男子単で





見事優勝を遂げた前理事長の板垣氏であります。その後高校男子では山商，日大山形，高校女子の新庄南，山形城北等を中心に，全国大会で数々の上位入賞を果しております。また一昨年は板垣理事長監督のナショナルチームが，ユーバー杯を見事獲得し，世界一の座についた訳で，こうした輝かしい実績をあげられていることは洵によろこばしいかぎりであります。

尚近年国策に沿うて生活スポーツクラブが数多く誕生し，充実した活動をして居りますが，山形にあっても特にママさんバドミントンクラブ，次に社会人職場クラブが盛んになって居ります。バドミントンの創草期は場所を借りるのに苦労したが，昨今は立派な体育館や設備も増設され，練習も充分に出来るようになりましたので，今後とも立派なプレヤーが生れますよう念願して居ります。尚行動力溢れるさわやかな人柄の鈴木会長を中心に本県バドミントン界の，なお一層の発展を祈念するものであります。

本県バドミントン創草期の歩み

小　関　三　郎

昭和22年山形市小橋町第四小学校裏の畑を川島氏よりお借して，屋外コートをつくりバドミントン競技をはじめた。昭和23年このコートを中心に山形東高のO・B故松田嘉雄氏山商のO・B榎森浩一氏，斎藤孝一，小関利雄（山銀）氏等が集り愛好会が結成された。

同年11月山形の愛好会有志が，新庄市に参り，北高校講堂に於いて，北高の有志（五十嵐隆二先生，渋江実，五十嵐国夫氏等）と，交流試合した。これは県バドミントンはじめての交流試合であったと思う。

昭和24年4月山形県バドミントン協会が設立，事務所を山形市六日町のジャワ商会に置く，初代会長には安達良助（元参議院議員）氏が就任，理事長には小関三郎氏指命された。理事には故松田嘉雄氏，榎森浩一氏，斉藤孝一氏，河野正己氏，佐藤辰彦氏等が就任。

同年6月当時全日本選手権者岡淳一，相馬万吉の両氏を招いて指導講習会を開いた。（山形市立一中講堂）其後郡部の公民館や学校での指導会を各地で開催，特に置賜地方では平井（長井市中身）氏が普及開拓に努力した。

同年8月第1回山形県バドミントン選手権大会が山形市立第四中学校体育館で開催，受賞者（オープン大会）

男子シングルス　1位　小関　利雄
男子ダブルス　1位　小関　三郎，小関　利雄組
女子シングルス　1位　伊藤　輝子（旧姓　渡会）
女子ダブルス　1位　小関　恵子，伊藤　輝子組
男子シングルス　2位　小関　三郎
男子ダブルス　2位　松田　兄弟
女子ダブルス　2位　佐藤　重子，二藤部京子組
男子ダブルス　2位　榎森　浩一，斉藤　孝一組
男子シングルス　3位　榎森　浩一

同年10月宮城，山形県（職場）対抗大会を山形市立一中体育館に於いて開催。同年11月第4回国民体育大会の公開種目にバドミントン競技加わる。例年10月第4回国民体育大会東京都で開催，オープン大会，出場選手

男子　五十嵐隆二，渋江　実，五十嵐国夫，
女子　伊藤　輝子（旧姓　渡会）　小関　恵子，

昭和25年2月山形県高等学校体育連盟と改称す。同年4月米沢市バドミントン協会設立。同年4月会員の個人登録制となり，一般100円，高校50円を協会に納めることになった。官，公，社並に高校の愛好者も逐次もり上り，多数協会に登録し俄々大会が行れるようになった。

同年6月山形市立第一中体育館に於いて第2回山形県バドミントン選手権大会開催

同年7月山形市立第四小学校体育館に於て，第二回東北バドミントン選手権大会が開催，東北各県から多数の選手が出場し，中々盛会でした。尚本県の受賞者

少年男シングルス　1位　五十嵐国夫
少年男ダブルス　1位　渋江，伊藤組
青年女子シングルス　1位　鈴木八重子
青年女子ダブルス　1位　西田，鈴木組
混合ダブルス　1位　五十嵐，西田組
少年男ダブルス　2位　杉沢，大泉組
壮年男シングルス　2位　小関　三郎

同年9月山形市に於いて第1回山形県高等学校総合体育大会を国民体育大会県予選会をかねて開催する。同年10月第5回国民体育大会名古屋市で開催。出場選手

男子単複　五十嵐隆二，渋江　実
女子単複　西田　雪子，鈴木八重子

同年10月5回国民体育大会にバドミントンが正式種目となる。昭和26年4月県高体連にバドミントン種目正式に認られる。昭和27年4月安達会長辞任，茂木勝太郎（元県会議員）第二代会長に就任。

同年8月山形市に於て山形県総合体育大会バドミントン選手権大会開催

同年8月第2回全国高校バドミントン選手権大会，札幌市に於て開催，出場選手

新庄北高校　門脇武雄，大泉彰，伊藤伸夫
山形東高校　中村啓三郎，奥平康博，坂田多喜雄，関　弘
新庄南高校　神部登喜子，岸　照子，伊藤照子
山形東高校　伊藤輝子，小関恵子，二藤部京子

同年9月山形県高等学校総合体育大会に定時制の部を

設ける。同年9月第3回東北バドミントン選手権大会弘前市に於いて開催，本県の受賞者成績

少年男子シングルス　1位　門脇　武雄
少年男子ダブルス　1位　門脇，高橋組
青年女子シングルス　1位　神部登喜子
青年女子ダブルス　1位　神部，佐藤組
少年男子ダブルス　2位　伊藤，大泉組
青年男子ダブルス　2位　五十嵐，杉沢組

同年10月第6回国民体育大会広島市で開催。出場選手一般男子杉沢保吉，五十嵐国夫，

昭和27年6月8日，酒田市に於て同年6月山形県バドミントン選手権大会開催。

同年7月日本バドミントン協会理事長角田賢三氏，常務理事村上忠治氏を招いて，公認審判員認定会を山形市立第四小学校体育館に開催，会員多数出席，三級より一級までの審査の結果約30余人合格，28年度のインターハイに備えて公認審判員を養成した。同年10月第7回国民体育大会仙台市開催

出場選手　一般男子　杉沢保吉，門脇武雄
　　一般女子　神部登喜子，西田雪子，
　　小関恵子，伊藤洋子
　　高校女子　佐藤照子
受賞者　少年女子ダブルス1位　斉藤，鈴木組
　　少年女子シングルス2位　五十嵐弘子

昭和28年8月山形市に於いて全国高校バドミントン選手権大会開催。同年10月第8回国民体育大会，善通寺で開催，

出場選手　一般男子　五十嵐国夫，杉沢保吉
　　一般女子　神部登喜子，佐藤照子
　　高校男子　尾関善久，斉藤慎一郎，
　　早坂昭男，阿部茂

昭和29年10月第9回国民体育大会札幌市で開催

出場選手　高校男子　早坂昭男，阿部　茂
　　一般男子　小柴悦三，五十嵐国夫，斉藤慎一郎

山形県バドミントン協会
発足当時の想い出



酒田地区バドミントン協会
副会長　小　柴　悦　三

昭和23年の秋，酒田市の本間家の別荘（現酒田市本間美術館）に芝のテニスコートがあり，其処で私がバドミントンをやっていることを，山形市の小関氏（初代県理事長）が聞きつけて酒田市に参り，庄司スポーツ店初代社長庄司三己氏（故人）と3人で，県協会設立の話に発展し，以降山形の小関氏宅（山形市新築西通り）で，山形，酒田の世話人が数回参集し，昭和24年に，発足の産声をあげたのである。

終戦後，22年，23年頃，私は横浜のYMCAの中庭で数回バドミントンなるものを遊びとしてやったことがあった。

それ故，当時バドミントンというのは屋外でやるものなのか，屋内でやるものなのか判然とはしてなかったが，風でシャトルコックが左右，上下に揺れるし，雨天時には，プレー出来ないことから之は屋内でやるものだろうとなった。

又，酒田市の風土，東北の"冬"ということを考えると，ウインタースポーツとして素晴らしい運動であるし，必らず発展するだろうと想ったものでした。

然し，24年頃の体育館というものは所謂，雨天体操場といわれるもので，天井は低く，木造，窓はガタピシの木枠で，ところどころ硝子は破れて，風雨が遠慮なく這入りこむものが多かったが，その体操場が少なく，それにバスケットだ，バレーだ，卓球だとかの多種目の練習が同時に行われるので，大会以外の練習は風をよけ乍ら屋外であった。

当時の大きな競技会といえば，国体，インターハイ，それに実業団といったもので，これらの地区大会，県大会兼全日本大会予選会であった。

ところが前述の様に，先づ大会のやれる体操場を求めるのが大変であった。やっと借用出来たと思えば今度は光線の関係で会場には不適となったり，他種目の大会と重複のため借用出来なかったり，床が現在の様な合板でなく木製で継ぎ目が釘で締められて居り，その釘が出て危険で駄目だったり，それもこれも可とあって，ホーッとすると天井が低く，ハイクリヤーの球打てず，ドライブとヘヤピンプレーに球種を限定し，天井タッチの球はフォルト扱いというルールを採用するといった様に，近代建築の天井が高く，フロアーが合板で，採光もよい体育館が数多い現在では想像もつかないものであった。

然し苦労するのは主催者側だけではなかった。プレイヤー側にもあった。

会場といえば主に小，中学校の体操場であり，土曜日の午後と日曜日しか借りられないし，1体操場では大きくて4面，小さいと2面しかコートがとれないから4会場をセットすると，こちらの会場，あちらの会場と勝者は休む暇もなく移動しなければならない。それに当時は地区大会であろうと，県大会兼全日本予選会であろうとブロックの代表制はなく，総てオープン参加が多かったから決勝戦迄勝ち抜くためには1日単複併せて10試合も

こなさねばならず，加えて食糧事情が悪く，大体が米持参であったし，監督，マネージャーは自分の食事を半分位にして，プレーヤーのため“オニギリ”にして会場に持ってゆきプレーヤーの体力維持を図るというようにプレーヤーの技術は勿論大切であったがそれよりも体力の畜えがポイントであった。

そして，大会が終了すると又大変であった。即ち，その会場は明日より学校の授業があるわけだからそれに支障のない様に綺麗に掃除して宿直の先生の承認を得なければならないのである。が当時のコートはラインを白か黄色のチョークで引いていたが消えては又その上にチョークで書くか，最初からチョークに水分を含ませて消えない様にしたが，大会を終えてこのチョークの跡が完全に消える迄雑巾がけの仕事があり辛いものでした。然し斯様な当時であっただけに大会が終了し，優勝した時の感激は格別な感激があったことを想い出すのである。

東北大会開催迄互いに協議しあった仙台の庄司氏，福島の柄沢氏，又全国大会で輝かしい成績をおさめた高校の新庄北，山商，日大山形，一般の山形，新庄，実業団の酒田鉄興社，鶴岡市役所等，忘れ得ぬ数々のことが，数多くの人々の顔々々と錯綜し走馬灯の如く懐しく去来するのである。各地区の，又山形県の，そして日本のバドミントンが益々健全に発展することを心から祈念して瞑筆する次第である。

山形にバドミントンが入ってきた頃のこと



山形　宇留野　勝　水

終戦（第二次世界大戦で米英等の連合軍に日本が敗け，連合国側に対して日本が無条件降伏したこと）の翌年，私は郷里の上山から山形中学（現山形東高）４年生として，汽車通学をしておりました。今から申しあげることは，当時つまり昭和21年頃のことであり，私の記憶違いということもありうるので，正確さには少々自信がないことを，初めにお断りしておきます。なお，当時の山形の世情を一寸ご紹介しておきますと，県民は敗戦の虚脱から漸く脱し，働き手の男子を多数戦場で失った他は，戦争の惨害を免れ，また農業県であったがため，戦後の食糧危機も辛うじて回避し，勝者である米国の援助に頼りながらも，将来への夢や希望が再び持てるようになっていました。

その頃のこと，私の通学路に当る旧県庁前には古い県立図書館と向い合って，瓦葺木造の旧裁判所が建っていましたが，ある日，そこで私は不思議な光景を目にしたのです。

それは２人ほどの若いアメリカ兵が，庁舎と垣の間の一寸とした露地の上で，間に張られたネット越しに，何やら白い追羽根ようの物を打ち合っているのです。彼らの快活な掛声や笑声と機敏な動きと共に，その白い物体は鳥のように素速く，そして軽やかに飛び交っているのでした。若い米兵らが手にしているのは，私の知っていた軟式庭球のラケットを，ずっと細くきゃしゃにしたような道具でしたが，それが羽根を打つ時は意外に鋭く力のこもった音を発し，羽根は矢のように空を切って落下し，あるいは空中高く舞い上りました。珍しさと感嘆にしばし時を忘れて見とれた私も，それはアメリカ兵がやっているものということで，その時は興味をそそられながらも，何か別世界の物に思われ，それ以上近づけぬまま，やがて忘れてしまいました。後日，それはバドミントンというものであることが判りましたが，一寸したきっかけで，このバドミントンと再会することになりました。

それは昭和24年，つまり３年後のことで，新潟大学の教養課程に進んだ時のことです。必修の体育実技で，何か一種目を選ばねばなりません。案内を見ると面白そうな硬式テニスがあったので喜んだのも束の間，ラケットが１カ月の学費（私は2,500円でした）くらいするのです。しばしちゅうちょし，決心をつけかねたままふと傍を見ると，そこにバドミントンの五文字があり，たちまち私の脳裏には，３年前に山形で見た前記の光景が，鮮かに甦りました。念のためラケットの値段を調べたところ400円ほどでしたので，迷わず私はこちらに決めました。

それから１年，体育実技のある日が待ち遠しく，また幸いにも，近所の小学校の体育館が夜借りられましたので，愛好者の仲間に入れてもらって先輩に手ほどきを受けながら，自ら汗を流して行うスポーツの楽しみを，バドミントンによって知ることができました。体育の先生のお名前は忘れましたが，中央の大会に参加されておられたようです。私の使っていたラケットは，当時はまだ金属のシャフトでなくて，非常に折れ易い木製だったので，何回か継いでは使いました。シャトルコックも１個30円ほどしましたので大事に使い，残っている損じていない羽毛を寄せ集めて再生し，練習に使ったりしていました。

バドミントンは意外に激しいスポーツなので，近頃はもっぱらテニス（硬式）をやっていますが，楽しそうにシャトルを打ち合っている若い人などを見ると，思わず足が上がります。

頭から出来た協会

鶴岡　宮　川　　清

私のバドミントンへの出合いは昭和25年鶴岡市公会堂でバドミントンの講習会を兼ねた大会があるということをきき，友人の伊藤完氏（庄内観光協会職員）をパートナーに選びその講習会に参加したことが始りです。講習会の講師は，県の講習会で指導を受けてきた鶴岡庭球協会の役員で"ウソ"のルールを平気で指導したものです。ダブルスは卓球のダブルスと同じでパートナーがそれぞれ交互にシャトルを打ち返さなければならないと指導されたのです。私共，それに高校生もその指導を真に受け，その日の講習が終りいよいよ大会となった訳ですが，初めてラケットを握るにしては上出来で2回戦まで勝ち進んだことを記憶しております。

当時私は，鶴岡市役所商工課に勤務し，執務場所は鶴岡公園内にある大宝館の2階で，その中には庄内観光協会，商工会議所が同居しており，同年の或る日，鶴岡市の谷口助役より私と伊藤完氏が呼び出され，谷口助役の話によると「鶴岡市には輸出ラケット工業協同組合がありバドミントンラケットを造っている。その産業振興の意味から昨年に鶴岡バドミントン協会をつくった，協会長，副会長，理事長までは選任してあるが，これだけでは協会は動かない。それがために高校生数名が押しかけ，協会長はあなたですか，協会はなにをしてるのかと抗議されたそうなので君達2人が桜井理事長に協力して協会の仕事をやってもらえないか」という話だった。

協会長	荘内銀行頭取	金井勝助氏
副協会長	鶴岡市助役	谷口晴敏氏
〃	庄内観光協会常務	宮本正勇氏
理事長	鶴岡輸出ラケット工業協同組合理事長	桜井亦寧氏

さて，どうしたらこの協会が軌道にのるのかと桜井理事長，伊藤氏と共に頭をかかえたものです。学校関係のとりまとめ，それに私達もバドミントンを知らなければならないと公園の桜の木に縄を張りシャトルを打ち合ったものです。

その頃，高校生がはじめての大会に出場してきたことを報告に来て「あんなルールはでたらめで赤恥をかいてきた」といわれ，はじめて"ウソ"のルール指導がバレて大笑いしたこともありました。

どうやら学校の先生等の協力もあって協会らしい姿ができあがり地区開催までの段取りがととのい，金井会長より優勝杯の寄贈もあって，第1回鶴岡地区バドミントン選手権大会を公会堂，南高講堂を高校生の協力もあって開催することが出来たことを昨日のように思い出されます。

このようにして鶴岡バドミントン協会が出来上った頃には新庄市が一歩も二歩も前進していた訳で，この先輩協会に追いつくため必死の努力を重ね，翌年には，公会堂，南校講堂を会場に山形県選手権大会を開催したことも記憶しておりますが，今，考えて見るとよくもあんな会場で県大会が出来たものだと思っています。

鶴岡の部創立の頃の思い出

鶴岡　秋　保　親　文

私とバドミントンとの出会いは31年前（当時私は鶴岡南高校に奉職して3年目）に遡る。昭和24年半ば，胎動期とでも言おうか，校内にその同好会を作ろうとの呼びかけがあり，物好きな生徒が多数集まったが，肝心のルールが曖昧な上にまとめる柱がなく，次々にやめていった。しかし，最後まで執念を燃やし続けた，いわゆる鶴南OB初代5人衆（佐藤司郎，遠藤元介，進藤修治，皆川和夫，工藤　尚の諸君）が東奔西走した結果，翌25年4月，漸くクラブとしての設立が認められることになった。その時かつがれたというか，柔道をやっていた若輩の私に「顧問」という白羽の矢が。ともあれ，これが，文字通り庄内地方高校バドミントン界の草分けとなったのである。なお，この5人衆が，時の荘銀頭取金井勝助氏宅に日参し，地区協会の設立を要請したことも忘れることはできない。

さてクラブは出来たものの，体育館は既成のクラブに占領され，与えられた練習場は講堂の後半分であった。天井が低いばかりか，場所柄使用についての条件も厳しく，ラインも勿論ペンキはご法度，連日チョークで書いては消し，消しては書いて使っていたのを覚えている。バドミントンは婦女子の羽根つきだという認識から神聖な講堂が与えられたらしいが，予算獲得を含めて，「実績をあげる以外にない」というのが当時の私の結論であった。

当時，シャトルは1個40円であったが，2万円そこそこの予算では間に合う筈もなく，部員達は，ラケット会社のアルバイト（ガット張り）をして何とか食いつなぐ有様であった。OB二代目菅原勉君の話では，ひそかに仕入れたシャボンを町から村へと売り歩いてシャトル代に充てた時期もあったという。また，部員達が，現今ならとうにお祓い箱のシャトルの生きている部分を丹念にはぎ合わせて，シャトルを再生させて使ったことなど，まさに今日の語り草になるのでは。

また当時は，男子も現代のトレパンとは似ても似つか

ぬブルーマーと称する提灯型の短パンをはいていたそうだ（前記，佐藤，進藤君らの話）が，これはすでに記憶にない。今から思えばさぞかし変てこりんな姿だったのでは。（ちなみにブルーマーを国語辞典でひいてみたら，「婦人の下着の一つ。腰から膝まであるゆるやかな下ばき」とあった）

ところで，庄内のバドミントン界の歴史は，新庄北高校との交流を離れて語ることはできない。鶴南がクラブ結成のうぶ声をあげた時，新庄北はすでに発展途上国の域にあり，一人前の技術を身につけていた。当然頭を低くしてルールから教わることになるのだが，当初は新庄北の諸君が私達の技術指導を兼ねて鶴岡のラケットを求めにくるといった形であった。しかしその後は，うちの部員が学校の合宿所で手製の弁当を作り，新庄まで出向いて揉んでもらうなど，積極的な交流が続いた。思えばあれからすでに30年，育ての親とも言える五十嵐隆二先生を始め，お世話になった五十嵐国夫氏，渋江，杉沢両君のことなど，朧げなその記憶の中に蘇(よみがえ)るこの頃ではある。

また，昭和26年に，地区協会金井勝助会長，宮川　清氏らの尽力を得て，当時全国のトップレベルにあった聖学院高校（男子）の合宿を鶴岡に招き，親しく指導を受けたことも忘れられない。今井先生，氏家監督が率いる20数名の精鋭の来鶴であったが，これが以後の技術向上への大きな足がかりとなった。なお，鶴南に遅れること1年，隣の鶴岡工業高校に待望のバドミントンクラブ（顧問は柴田康也先生）が誕生したのもこの年である。

この後，鶴岡のバドミントンは着実にレベルアップし，やがて①鶴南，②鶴北の黄金時代（①斎藤，佐藤，②成沢，小野寺，天島，宮崎の諸君の完全制覇の偉業は，世間を驚かせると共に，バドミントン熱を煽(あお)るに役立った）を迎えるのであるが，事実上その掛橋となったＯＢ三代目風間彦男，秋場正巳君らの活躍も見のがしてはなるまい。その他度重なる全国大会参加の思い出など，書きたいことはいろいろあるが，与えられた字数の中でということもあり，特にその中から，創設期の監督としての，とっておきの思い出話を一つ紹介して，結びとしたい。

昭和25年，（何月だったかは記憶にないが）私は男子5名から成る新興チームを率いて，横浜で行われた第一回インターハイ（当時は高松宮杯と呼んでいた）に出場した。種を明かせば，創設の早さが物を言っての予選なしの参加であった。まずフライヤージム（進駐軍の施設）なる会場の広さ（12面コート？）が私達を魅了したが，勝負はその時すでに決まっていたようなもの。全員あがりっぱなしで，試合結果は，勿論見る影もない惨敗であった。（もっとも1回戦は不戦勝で貴重な1勝をあげている）技術差が甚しく，「ふと気がついたところが，すでに相手はテン（10点）になっていた」というわけで，「ところてん」ということばが仲間の間ではやったのも，この頃であったとか。（進藤君の話）また，選手の1人がトイレに行く時，ホールを支えるひもに足をひっかけたからたまらない。試合中の4面コートのホールが，ネット共々バタバタと倒れて試合が中断する珍事となり，おこられるやら，失笑をかうやらで，えらく冷汗をかいたのを覚えている。遠い昔話だが，今となってはすべてが懐しい思い出となった。

あれから30年，私は再び母校鶴南に勤務し，現在は通信制の生徒を相手に時折ラケットをにぎることに，ささやかな誇りん感じている。

バドミントン30周年記念誌の発刊にあたり，その壮挙を寿(ことほ)ぐと共に，断片的ながら，遠い昔の記憶を呼びもどす機会を得たことに感謝して，筆を擱く。





米沢バド協会誕生の頃

元置賜地区協会長　片　野　　広

バドミントンが米沢に普及しだしたのは，昭和23年頃で，その頃は運動具店頭にバドミントン用具が飾られ，楽しんでいたのは米沢郵便局，国鉄，両羽銀行（現在の山形銀行）など一部職場の人達と，楡井教諭にに指導された米沢東高校ぐらいであった。それもレクリエーションの一つとして，西洋羽根つきを楽しむといった程度のもので，競技としては程遠いものであった。

24年に，この新しい競技を普及発展させ，組織化しようと，須佐吉徳，楡井寿澄，鈴木朝雄，斉藤三郎，片野広の5名が満津屋運動具店に会合し，幾度か会議を繰り返した末，バドミントン競技を多数の市民に知ってもらうことを主眼とし，会費を徴収せず，専ら普及につとめることにした。その為，財政的にはなんらの裏付けがなく苦しかったが，斉藤満津屋主人が見るに見かねて会合の度に食べものを提供して集りを持ちこたえたほどであった。

25年4月，有志が集まって米沢市バドミントン協会を設立，初代会長に須佐吉徳，副会長に楡井寿澄，他に数名の理事を選んで活動を開始した。同年5月，当時の米沢市長（高橋広吉）より市長杯2個の寄贈をうけ，市内高校および職場の愛好者約30名を集め，5月23日米沢東高校で第1回米沢市長杯争奪バドミントン大会を開催，バドミントン競技の普及に一大転機を画した。これを契機として，市長杯争奪戦のほか，職場対抗，あるいは置賜地区高校大会や各種大会を開催するまでになり，名実共に置賜地区バドミントン界の中心的存在としての位置を占めるに至った。

27年4月，須佐会長が辞任し，これに伴い楡井寿澄が会長に就任，須佐は顧問に推された。協会の草創期であった25年から28年までは，ルールの研究と啓蒙の期間であったと云える。山形市より指導者を招き，米沢東高校で幾度か講習会を開催したが，これがこの地区のバドミントン技術の向上に大いに貢献したことは云うまでもない。又その度毎に楡井会長の尽力で使用料を安くしていただいたことは，貧弱な協会財政にとって本当に助かったと記憶している。

低い天井の体育館で練習を行い，各種大会を開催した他に，市民運動会の際はグランドで一般に公開した。運動会で公開の時，テニス腕自慢の人達に特別出場を乞うたが，室内競技用として製造されたシャトルは，少しの風にも流されてしまい，流石腕に覚えのある男達も思うようには打てず，バドミントンの難しさを思い知らされたものだった。このようにして一歩づつバドミントン競技に対する興味と技術的な面が認識され，普及に拍車をかけて行った。

39年6月20日，第1回米沢市長杯争奪職場対抗リーグ戦を10チームの参加を得て開催。同年9月9日より第6回県総体兼第10回国体県予選会が米沢市で行なわれ，試合数24回という，米沢協会はじまって以来の大会となった。

米沢第一中学校講堂が会場に指定され，会場の狭隘と役員の手不足から実施困難を思わせたが，計画，準備，運営，後始末などのため，全役員が1週間も職場を離れて献身し，また，高校部員の協力を得て無事終了することができた。これは立派な体育館が揃い，若い役員が多数顔を並べる現在から見ると，全く今昔の思いがする。その上，同年10月23日，24日福島市で開かれた第6回東北選手権大会に県予選を通過した壮年単複2名の選手をおくり，単複共3位に入賞したことは，当時の役員達の意気を振いたたせ，その後の活動を飛躍的に活発化して行く原動力となった。

昨夏，米沢工業高校へかつて全日本選手権5連覇の偉業をなしとげた小島一平氏を招いて，講習会を実施したと伺ったが，31年9月に全日本バドミントン協会の小宮淳宏理事他1名，42年には宮永武司氏を講師に招聘して講習会を開いたことがある。高校選手，協会役員共，日本第一流の選手，コーチの技術やトレーニングの方法を身につけようと熱心に学び，その後の置賜地区バドミントン技術向上に大きな役割を果したと思う。

現在の置賜地区は，米沢協会を中心に南陽，川西，長井等の各地区協会が一つになって，置賜バドミントン協会として活発に活動していることは大変喜ばしいことであるが，しかし，草創期は以上述べたように，手さぐり状態の連続ながら一歩ずつ前進し続けてきたのである。県協会30周年を機に，県，地区協会共，飛躍的な発展をされることを祈念しつつペンを置く。（文中敬称略）

協会創立30周年に寄せて

米沢　伊　藤　　勉

山形県バドミントン協会の創立30周年，誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げると共に，「無」から「有」を産み，そして立派に育ててこられた先輩諸兄に対し，深く敬意を表します。

30というとすぐ脳裡に浮んでまいりますのは，論語為政篇の有名な「三十而立」ということばです。孔子は30歳にして礼学の学問について独自の見識を確立したと述べているのですが，これと本県バドミントン協会の歩ん

で来た道程とを対比して見るは，今日の協会の立場は，30歳時の孔子の置かれた立場と類似しているのではないかと思います。

バドミントン競技の啓蒙，普及と，中高校生の競技力向上を中心に活動を展開してまた時代から社会体育としてのバドミントンの分野が大きくクローズアップし，協会の社会的役割も市民から寄せられる期待も非常に大きなものとなってきたと思います。諸先輩が築いてくれた30年の業蹟は，また新しく進むべき方向もしっかりと示し，すでにその道を着実な足どりで進んでいることは，周知の通りです。

さて，ここで私達の置賜地区について述べさせていただきます。置賜地区は中学校にバドミントンクラブがない為に，折ある毎にクラブの設置を要請してまいりましたが，諸般の事情でいまだにその実現を見ておりません。しかし，一方特に力を入れてきた一般社会人のバドミントン熱は年毎に高まり，非常に喜んでおります。置賜地区各市町にあった協会を一本にまとめた置賜バドミントン協会として発足すると同時に，社会人大会を企画，経験，年令，技術に応じて，A・B・Cのクラス分けをして優勝を争うという形式が成功し，年々その参加者が増加し，更にAクラスと呼ぶ30歳末満の若い選手経験者を除くB・Cクラスだけの愛好者大会を持つようになったのです。その他に各市町単位の各種大会が開かれ，参加者の数も増加し，地域の年中行事として定着しております。

中でも米沢市の増合，市内各地区対抗の市民総合体育大会というものがあり，その中でバドミントンは小学生の部を設けて，子供達にもその親達にもバドミントンの面白さを理解して貰うよう努力しています。この市民総体を目標に各地区毎にクラブが誕生，毎週夜間定期的，継続的に活動しております。特に活発なのが旧市内では南部・北部の両地区で，冬期間も休まず練習を続ける熱心さが，他地区に強い影響を与えております。夫婦子供連れというこの活動が，バドミントンの技術向上以外の大きな役割を果していると信じます。新市地区においても上郷，元幡，三沢の各地区が青年を中心に着実な活動を続けており，その結果週1回の市営体育館使用日（バド専用）にはフロアーいっぱいになって羽根を打つという私達にとっても本当に嬉しい光景を見るまでになりました。

県内バドミントンの後進地と云われた置賜地区でさえこのような状況ですから，山形市をはじめとし各地区の盛況は容易に推測することができます。このように急激に増加するバドミントン人口と，その熱を喜びのまなざしで眺めるだけでなく，冒頭にも述べたように今こそその責任の重大さを認識し，精通しなければならないと思います。

30周年を一つの契機として，県協会のますますの発展を祈念いたします。

47インターハイの開催にあたって

新庄　黒坂　厳

山形県を主会場として，昭和47年度インターハイ（全国高等学校総合体育大会）は，8月1日から8日間にわたり，県内9市で17種目の競技が展開されました。この大会には，各県から予選を勝ちぬいてきた2万余名の若き精鋭が参加しました。新庄市からは，バドミントン，自転車，柔道，ボクシングの競技に26人の選手が栄光の県代表として，出場しました。

いまを去る昭和44年4月30日山形市の大沼デパートにおいて，昭和47年度全国高等学校総合体育大会の山形県準備委員会の結成及び総会が開催されました。

その中で，会則，役員，事務局規程等が審議され，その後，開催される各市においても，準備委員会が結成し，47インターハイにむかって，いよいよスタートし，着々と準備が進められていきました。

バドミントン競技を新庄市で開催することになった以上，新庄市，新庄市体育協会はその推進力としての重大な責任を負され，もとよりこの大事業は地域ぐるみ，全市民の総力によって遂行されるべきであり，陳頭に立ち中核実行体とならなければならないと思い，大会まで残された期間，つまり，44年後半，45年，46年，そして47年前半の正味3ケ年間に，市，市体協はどんな形で，どんな仕事を担当すべきか充分に検討し，周致綿密な計画をたてて強力に推進実行していかなければならないかをかんがえるとき，まず当面の問題として，当時「3」にしぼって考えてみました。

先ず，第1に市・市体協は今日から大会まで何をなすべきか。

イ．各種目の選手強化

ロ．新庄会場となる体育館の新築

この2項目については，インターハイが直接の目標であるが，将来この地域のスポーツ振興と充分に結びつけて考慮すべきである。

第2に，この大事業を進めて行くためにはどんな組織が組まれなくてはならないか。

イ．市と市体協が中軸となるべきであるが，関係諸団体の協力が必要である。

ロ．年度別ごとに業務を把握して，それに対応した組織が逐次組まれて行かなくてはならない。

ハ．郡部団体（町村・体協）との関連。

第３に，資金の調達，予算計画，構成スタッフ等について充分に検討を重ねて審議すべきである。

又主会場となる新庄市体育館の建設については，昭和45年自衛隊の要請により，宅地造成をなされ，その秋に起工式が行なわれました。２ケ年に亘たり工事が行なわれ，総工事費１億7,000万円で，バドミントンコート12面という県内一の広さの立派な体育館が出来上りました。

設計について各団体と数回協議がもたれましたが，その中で特にバドミントンコートの数，ラインの問題等について苦労した事がいまあらためて思い出されます。

インターハイはいうまでもなく，高校教育の一環として行なわれるものであるが，本大会になれば勿論，県民選手の活躍を期待することは当然であり，それを推進するには，まず環境づくりがもっとも大切である。

したがって，全市を上げてスポーツの意味を正しく理解してもらうためＰＲにつとめると共に選手強化（強化費100万円），さらに市街地の美化運動の推進をはかってまいりました。

その後，県事務局と連携をとりながら，皇太子御夫妻の警備，総務，式典，交通宿泊，臨時電話の仮設，バス輸送，案内所，食品衛生等について会議をもちながら着々準備をし，昭和46年６月１日，準備委員会より実行委員会に切替え，総会において，議事等が満場一致で可決されました。その間，実に40数回にもおよぶ部会会議をもち，開催１ケ月前，事務局を青年センターに移動し，最後の詰めに入りました。

大会運営に必要な諸用具，又は消耗品のはてまで何一つ忘れてはならないと思い，この１ケ月はまるで戦争であった。家に帰った日は何日あっただろうか。この間，私は全力投球したことは勿論のことである。

日増に体力の疲れが目立ち，食事は通らず，朝からジュースをのみ，大会開催日２，３日前はダウン寸前であった。したがって開会式が終了したときは，ほっとしたのだろうか目にほんのりと温もりを感じ，疲れが一度に出てきたことは今でも忘れることは出来ません。

さて，私の仕事は大会運営，その他全般を総括する大切な役目があるのですが，そんな事などはとっくに忘れ，私はまず眠ることだ。私は青年センターのフトン部屋に入って寝んだ事もあった。

バドミントン競技となった当市には，1,800余名の選手，役員を迎え，市体育館，新庄工業，新庄南高，新庄中の各会場で競技が開始され，全国各地より選ばれた若人たちが，日頃鍛えた力と技を心おきなく発揮され，強化指定チームになった新庄南，日大山形の両チームは順調な成績を収めることが出来，開催市としてもこの上もない喜びであった。

ただ，最後に閉会式の表彰において団体準優勝になった，新庄南高チームのレギラーが出席しなく表彰式の時間が延び，補欠選手が出席して行なわれた。このことは，私のみならず当時の関係者は残念でたまらないと思っている人も何人かいることでしょう。新庄市スポーツ界に汚名の一頁を残したといっても過言でもない。

取りまもめのない文章となりましたが，山形県バドミントン協会の今後益々のご発展を祈念します。

山形地区協会の現状

山形　遠藤宏一

県協会30周年の歩みの中で山形地区協会も，同一歩調をとりながらも，色々な問題をかかえながら今日に至って来たと思われます。以前に当協会運営に，たずさわって今日の基礎を築き上げて下さった役員及び関係者の皆様に深く感謝申し上げます。さて現在（56年）の当協会の状態を記させていただきますと，当協会主催の大会も以前からの県総体地区予選兼地区選手権大会があり，又数年前より県体育館主催のスポーツ講座を受講された方々のバドミントン熱が高まり，職場，ママさん，一般愛好者の間にクラブ組織がなされバドミントン人口が急激に増加してまいりました。これにつれて大会の数も増加させるべく努力がなされて来ました。９回を数える「職場，社会人大会」（職場，クラブチームによる団体戦）６回を数える「山形地区市民総合バドミントン大会」（中学生，一般社会人，職場，ママさんの公式試合経験者による個人戦）を県体育舘16面コートで盛大に開かれる，３回を数える「山形地区総合バドミントン選手権大会」（公式試合経験者による高校生，一般のオープン個人大会）等が開催されて来ましたが，毎年競技参加人口が，増加し１日行事では，試合消化が，困難な現状に来ています。その他「県民スポーツ中央大会」等の運営も行なっているため１年間たえまなく，事務局は，当然ながら役員（当協会の理事約80名）は，稼動していることになります。又県協会の行事が，山形市を中心に行なわれた場合も当協会役員全員でその任に当ることになり協会役員間のコミニケーションも円滑になって来ています。諸行事においては，地区高体連の協力により会場の準備，あとかたずけ等の裏方的仕事を高校生が意欲的に働いていただいており力強さを感じてます。役員の中も競技委員会，審判委員会，強化委員会，指導委員に分かれて，各委員会独自の事業が計画され実行されています。少ないながらも予算を持ち苦心しながら，プレーヤーの底辺からトップまでの指導，育成，強化，審判員の資質向上，育成にも更に力を

入れて，現山形地区協会の力量を更に高め67国体に，向けて，役員，会員一致団結し頑張って行かなければならないと思います。

監督25年

―日大山形高の軌跡―

日大山形高バドミントン部
顧問　桔　梗　喜　一

1．インターハイへの道

山形市で第4回全国高校バドミントン選手権大会が開催されたのは，昭和28年頃の夏であった。

私の友人に山形南高バド部の創始者の1人だった北沢君がいた。彼からこの新しい外来スポーツの話を聴かされ，佐藤辰彦氏ら山南の創部期の諸君と付合うにつれて，次第に興味を持たされていった。

大会の当日，全会場無料入場できる役員章をくれるから，ぜひ見学に来てくれとのことなので，得々と胸に付けて出かけてみた。何の事はない記章が無くとも誰でも只だったのだが，北海高や女子聖学院などのプレーに感嘆した。

昭和29年春，山形一中に初めて教師として奉職したとき，県中体連理事長の長谷川芳次郎先生から，若い者は運動部を担当することになっているが，何が出来るかと尋ねられたので，まさか終戦の日を限りに今後は絶対やらないと自分に誓った剣道ともいえないので，何も出来ないが，バドミントンのルールだけは少し知っていると，なかばヤケクソで答えたら，それは丁度いい。では仁藤庸雄先生に代ってやってくれ，ということになった。これがバドミントンという泥沼？に足をつっ込んだきっかけである。

顧問に就任して3か月，山一中には渡部（前県協会事務局長），千歳ら好選手がおり，生半加の新まい顧問だったが，山形市の中体連大会は絶対に優勝だと信じていた。ところが決勝の対山大附中戦でのシングルス戦で，塚田選手にショートサーブを使われ，その処理の仕方がわからず，徹底的にやられてしまった。シングルスでショートサーブを使うとは全く知らなかったのである。この事がバドミントンから足が抜けない第2の原因となった。

指導者の未熟が，選手たちにどんなに大きな打撃を与え，かけがえのない唯一度の機会を失なわせるか，その罪の深さを骨身にしみて思い知らされた。来年こそ生徒たちを絶対泣かせないぞ，これから俺自身のチーム，不敗のチームを作ってやると職員会議のあるのも忘れるほど生徒と夢中になった。溝越裕子（現姓羽角）ら女子生徒からストライキを起されたのもこのころである。

これから数年間，山形一中バド部の黄金時代が築かれる。男子に五十嵐・北折，2年生に小野寺らが，女子の溝越・渡辺幸子（現姓池田）・武田・大友・鈴木勝子・渡部マス子らが育つ。その背景には故原田国夫校長以下，当時の山一中のハツラツとした諸先生方の理解と支援が有ったことが忘れられない。

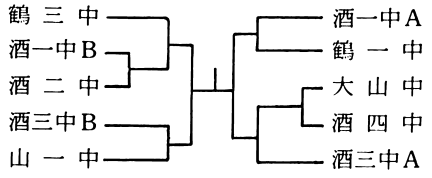
昭和32年8月，長谷川先生の肝入りで新制中学誕生10周年を記念して，第1回県中学校バドミントン大会が酒田三中を会場に開かれた。県中体連，県教委，県バド協会の主催である。この時はじめて県協会という組織があることを知った。

山一中を退職して母校早稲田で研修中の私は，急ぎ帰形して2年間育て上げた選手たちの付添として参加した。組合せはいづれも山形地区優勝の山一中が準決で優勝候補の鶴三中と対戦し，勝ったものが酒三中に挑戦する仕組みだった。

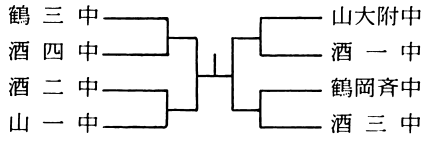
会田・木村・田中（現姓深瀬）・浅田のメンバーで当然の優勝と思った男子が鶴三中に破れ，あぶないと思った女子が，斉藤美子・小島和子・小関正子・安彦喜代子で酒三中に楽勝してしまった。もっとも同年6月の県高校総体に一年生で出場した渡辺幸子がシングルスでベスト8位になったと聞き，山一中女子のレベルは決して低くはないと信じていた。

第1回山形県中学校バドミントン大会
昭和32年8月

（男子の部）



（女子の部）



昭和33年春，日大山形の前進山形第一高校が霞城公園の旧兵舎跡に誕生し，創立者大久保伝蔵先生の文京宅を引払って奉職した。山一中バド部から田中昌弘・会田暁

の両名が入学していたのを見附け，これを核としてバド部を創設した。満足な体育館がないので来る日も来る日も霞城の石壁の土を走った。この誕生間もない弱小チームを指導してくれたのが山口良典氏（株式会社でん六）であった。

県高校総体初出場は35年である。準決勝で山形商と対戦，1－3で破れた。試合にもしもという言葉が許されるなら，もしも組合せが山商と反対ゾーンだったら，推薦出場の前年度優勝校の山商の蛇尾に付して，県大会初出場でインターハイ初出場という珍らしい記録が残ったであろう。山商から奪った1ホイントは大きい。此の年のインターハイに優勝するまで，山商が失ったホイントは，決勝の対神奈川緑ケ丘と山形一高の2ホイントのみである。昭和30年の第6回大会から37年にかけてのインターハイは，山形勢の独壇場であった。（別表1）県で優勝することがイコール全国優勝の時代だった。

全国高校バドミントン選手権大会（男子）
山形県の戦績（表1）

昭和	場所	出場校	成績
25年	横浜市	鶴岡高	2回戦
26年	札幌市	新庄高	準々決
		山形南	2回戦
		山形東	〃
27年	善通寺市	新庄北	3回戦
28年	山形市	山形東	2回戦
		新庄北	3回戦
		山形商	〃
		山形南	2回戦
29年	金沢市	山形南	3回戦
		新庄北	1回戦
30年	神戸市	山形商	第3位
31年	仙台市	山形商	2回戦
32年	松江市	山形商	優勝
33年	新潟市	山形南	優勝
		山形商	準々決
34年	会津若松市	山形商	優勝
		山形南	3回戦
35年	久留米市	山形商	優勝
		山形南	準々決
36年	弘前市	山形商	3回戦
		新庄北	第4位
37年	高岡市	山形商	準優勝

私は最初の卒業生たち，田中（現姓深瀬昌弘）・小関（現O・B会名誉会長）・大内（山形陸運）・尾関（国鉄）ら4人のレギュラーを後輩の育成のため，山形市内に就職させたいと考えた。特に深瀬は勤務の合い間をみて熱心に指導に当り，鈴木健二（前東京電々バド部監督）という素材を磨き上げた。鈴木は法大に進学ののち，後藤（39年東北シングルス・チャンピオン）・沼沢（現オビサン・全国高校複2位・単3位）を育て，沼沢が遠藤（全日本学生シングルス・チャンピオン・北海道電々）・田所（全日本学生ダブルス・チャンピオン・東京電々）を，田所らがまた米山兄（全国高校ダブルス・チャンピオン・和歌山県庁）や47山形インターハイの選手達を育成するという全国でも珍らしい指導ローテーションが生れたのである。

36年に山形一高は日本大学の準附属高となった。日大バド部の佐藤監督・柏崎主将・羽鳥マネージャーの力添えで宇都宮の合宿に参加した。当時の日大はまだ関東リーグの2部校だった。37年3月，宇都宮は晴れていた。灰色の空の下から出てきた鈴木健二・渡辺洋三（現O・B会長）・加藤・横山たちには別世界だった。町は作新学院の春の高校選抜野球の優勝で賑わっていた。4年生の浅香さん・勝利さん，3年の佐藤忠男選手・鈴木昌三選手，それに後年日大監督となって日大の1部リーグ昇格を果した渡来さん，そして新庄南高出身の田中国明・秋田の稲葉・北海高出身の佐々木君ら2年生の諸君に，温くしかも厳しく楽しい指導を受けた。これがその後の日大山形の土台となり，自信となった。

鈴木健二は法大に進学後，39・40年と全日本学生で優勝し，マレーシア・インドネシア・台湾と遠征するかたわら，日大山形バドミントン部の今日の礎石を築きあげ，とくに38年には船越・石沢・後藤・酒井をコーチしてインターハイ鶴岡大会に初出場させた。この大会での対北海道帯広三条高戦は，午後1時開始の団体戦が終了したのが，外も薄暗くなりはじめた午後7時という延々6時間におよぶ激闘であった。

日大山形 2 — 3 帯広三条高

D1. 船越・石沢 1 （15—12 / 16—17 / 5—15） 2 福島・林

D2. 後藤・酒井 2 （15—1 / 5—15 / 15—3） 1 飯島・佐藤

S1. 船越 2 （15—2 / 15—10） 0 福島

S2. 石沢 1 （13—15 / 18—16 / 16—18） 2 林

S3. 後藤 1 （13—15 / 15—11 / 12—15） 2 飯島

帯広はそのあと順調に勝ち進んで準決勝に進出し，3位決定戦で私達の手の届かなかった山形商を3－1と破った。私らに，もう1ポイント奪取する力量があれば，帯広に勝てたではないか。インターハイは恐しい場所ではない。ベスト4にはいる力があるんだと確信した。

翌39年1月の村山地区高校新人大会以後，日大山形バドミントン部は54年秋の村山地区新人戦に破れるまで，地区総体・県高校総体・地区新人・県新人・県一年生大会のすべての大会に連勝，不敗を続け，本県代表として18年間，全国高校総体に連続出場の栄誉を担うことになる。（別表2）

日大山形高18年の戦歴

全国高校バドミントン選手権大会（表2）

昭和	開催地	回　戦	対　戦　成　績
38年	鶴岡市	2回戦 3位決定戦	日大山形2－3帯広三条 山形商1－3　同
39年	京都市	準々決	日大山形0－3富山商
40年	熊本市	準々決	日大山形1－3高岡商
41年	弘前市	2回戦	日大山形2－3岐阜工
42年	金沢市	準々決	日大山形0－3高岡商
43年	福山市	第3位	日大山形1－3金沢工
44年	桐生市	準々決	日大山形2－3富山商
45年	名古屋市	準々決	日大山形1－3富山商
46年	善通寺市	準優勝	日大山形0－3正強高
47年	新庄市	第3位	日大山形2－3岐阜東
48年	四日市市	準優勝	日大山形1－3金沢工
49年	嬉野町	準優勝	日大山形2－3正強高
50年	水戸市	3回戦	日大山形0－3奈良一条
51年	中野市	3回戦	日大山形1－3金沢工
52年	倉敷市	3回戦	日大山形1－3奈良一条
53年	会津若松市	準優勝	日大山形2－3九州学院
54年	大津市	2回戦	日大山形1－2越ヶ谷高
55年	善通寺市	3回戦	日大山形1－2帯広農

2．初の金メダル

43年広島インターハイ福山大会，秋の福井国体の両方とも，遠藤好男（山三中出身）・田所光男（山五中出身）の2人で果せなかった全国優勝の夢を，米山正和（山三中和歌山県庁）・渋谷周治（山三中）・中島良治（沼台中）・三浦一則（山三中）の布陣で，46年の四国インターハイ善通寺大会に賭けた。

過去8年連続出場の経験から，インターハイは技術だけでは勝てぬ，一球に対する集中力と気迫，死にもの狂いで戦い抜く闘魂だ，とこの1年間，選手たちは1本のミスにもウサギ跳びを繰り返し，バケツで水をかぶりながら歯を食いしばって耐えてきた。

8月2日・3日の団体戦では予定どおり兵庫星陵・兄弟校の東京日大鶴ケ丘・岐阜東・高松商と連破し，最後の決勝戦で新鋭奈良正強高と対戦した。準決勝終了直後，すぐ決勝戦のオーダー交換を求められ，いつも私を支え選手を鍛えてきた田所と遠藤の両コーチに何んの相談もせず，準決勝までの不動のオーダーを変更した。まともに当ってはと，一瞬の不安がよぎったのである。

ネットを挟んで両チームの挨拶のとき，主審からそれを告げられて選手たちは愕然とした。相手もはずしてきたのだった。動揺は最後まで響いた。3対0と完敗。初優勝の芽を自分で摘み取ってしまった。

勝ちたいというあせりがあっては勝てない。勝つんだという執念が無くとも勝てない。監督・コーチ・選手が一体となって，冷静にしかも相手を呑んで戦かわねばならぬインターハイの，日本一の王座を争う決勝戦とは本当に恐しい場であることを痛感した。

団体戦の雪辱のためにも，また来年の47インターハイ山形大会のためにも，単複いづれかのタイトルが欲しかった。その晩，両コーチを加えてのミーテングで，「明日からの個人戦のベンチには両先輩がはいる。全日本学生を代表する神様が2人も付くんだ。リードされても落ちついて両コーチの指示に従がえ。」「ミスを恐れず思い切って体ごとぶつかるつもりでやれ。結果は考えるな，天にまかせろ。」両コーチの激励にようやく選手の気分も盛り上がってきた。

昭和46年6月午前9時，大会最終日を迎え，単・複ともに準決勝に勝ち進んだ米山正和は，中島良治と組んで奈良正強高の西川・佐野組と対戦，大会最後の難敵を2－0と退ぞけ，引続きシングルスにおいても西川選手を圧倒して団体戦の仇を討ち，休む間もなくダブルス決勝が開始された。

相手は団体戦の準決で対戦し，我が方の楽勝に終った高松商の中原・木下組であった。だが彼らは地元の声援を背景に，団体戦のときとは見違えるほどの変貌をとげていた。左腕木下の速攻と中原の長身からの強打が冴え，こちらのショートサーブを見透かしたようにたたきつぶされ，あっという間に第1ゲームを先取されてしまった。死力を尽して2ゲーム奪取し，ようやくファイナルに持ちこんだ。ところがその第3ゲームも8－5とリードされてコートをチェンジし，絶対絶命のピンチとなった。

私はポケットの摩利支天様のお守りをあわててさぐった。それが無い。右，左，そして上衣のポケット，それでも無い。椅子の下を見た。いつの間にかフロアに落ちていた。ほっとして足もとから拾い上げたとたん，田所

からゴーのサインが出た。

朝からのダブルス準決，シングルの準決，そしてこの決勝戦と休む間もない激戦に，米山は疲労困ぱいしていた。その彼を励ましながら，最上肘折の風雪に耐えて育った中島が，好漢のような高松商の攻撃を支えていた。その中島が，それまで一度も見せなかった秘球，バックハンド・クロスハイサーブを繰り出したのである。予想もしないサーブがきて，あわてて真うしろに下がり，そして横に走った高松商中原は，完全にタイミングがおくれ，のけぞった態勢から苦しまぎれにクリアで返球してきた。)それを待ち構えた米山の狙いすました強打が炸烈した。それ以後，すっかり出足の止まった相手の追撃を僅か1ポイントに抑え，15－9と逆転に成功，全員がコートに飛び出して喜こんだ。

思い起せば40年の夏，熊本大会で沼沢利一（山六中出身）・中村義一（同）組がファイナル・ゲームの末，あと3ポイントが取れず富山商栂野尾・寺前組に逆転されて優勝をのがし，43年の広島では優勝目前で遠藤好男が倒れて涙をのんだ日大山形が，創部14年目で手にした初の金メダルだった。

3. 全国の王座を目ざして

49年の夏，佐賀県嬉野大会の決勝で再び宿敵奈良正強高に破れ，46年善通寺，48年の四日市と日大山形は三たびインターハイの優勝を逸した。

夢が破れたこのショックから立ち直るため，いつも温い目で部員を見守ってきた副顧問の神保良太郎先生と相談した私は，心機一転を期して，入学以前から日大山形で共にプレーすることを誓って入部してきた米山孝二（山二中出身）と加藤信之（山一中出身）とを彼らの最後のチャンスに組み合せ，中島俊彦（沼台中出身）を2人のマネージャー役に徹しさせて，第29回国民体育大会茨城大会にのぞんだ。

佐賀大会後の2ヶ月間，日夜練習相手となって選手らを指導したのは，青年男子県代表となって同じ茨城大会に出場することになった沼沢利一（オビサン）と鈴木国夫（昭和41年度卒・日本製乳）の両先輩であった。この大会のヤマは佐賀インターハイで単・複の2冠王となった長谷川選手（勝山高・現ヨネックス）を擁する福井県との準決勝戦であった。

大会の第2日目のことである。前日に北海道選抜を降したあとの練習会場で，全日本学生のダブルスチャンピオンである日本大学の飯野（現ヨネックス・スポーツ）と土田（東京電々）両選手に出合った。ちょっと練習をつけてくれないかと頼んだところ，心良く相手を引き受けてくれた。この両選手から立ち上がりいきなり6ポイント連取した。そのとき，「君らの力量なら，この大会で絶対に負けるわけがない。」と激励され，米山と加藤が自信をもった。そしてまたその晩のミーテングで，加藤が「インターハイのシングルチャンピオンとはどのくらい強いのか，私が相手する。」と長谷川選手との対戦を買って出たこと，この2点が直接の勝因だった。

誰が長谷川と戦うか，できれば米山と戦わせることは避けたい。という監督のこころと，優勝までの戦略を敏感に察知した加藤のファインプレーである。のこるは福井のオーダーを読むことだった。これは佐賀大会の準決勝でも成功していた。勝山高の監督が福井県の地元新聞記者のインタビューに答えて，同選手の強さを得々と説明していた。これでは第1シングルに起用しないわけにはゆかないことを会場で公表しているのも同じであった。これと同じことを福井県は本大会でも繰り返えした。長谷川を県選手団の旗手にしたのである。もはや福井の監督は彼を使わずに敗退できない立場にあった。彼は第1シングルで出て来る，だからダブルスが勝負との読みはピッタリと決まった。そのダブルスを加藤の奮闘で15－8，15－9と完勝したのである。

翌10月24日，奈良県との決勝戦を数時間後にひかえ，練習用のシャトルを使いはたし途方にくれていたとき，東京代表チームの池田信孝（東京電々）と栂野尾昌一（ヨネックス）両選手が，「俺たちも青年男子で優勝するから，お前らも勝てよ。」と残り僅かの手持の中から一ダースのシャトルを選手たちに進呈してくれた。

11時30分，奈良県選抜と対戦，トップのダブルスで奈良一条塚本・小倉組を圧倒し，第1シングルの加藤が塚本選手とファイナルゲームの熱戦で退いたあと，米山がインターハイ決勝の仇討と正強高村田選手を全く寄せ付けず，一方的に打破って念願の初優勝を飾った。スコアは次のとおりである。

少年男子決勝
山形県（日大山形）2－1奈良県

D1. 米山・加藤2（15－6, 15－5）0塚本・小倉

S1. 加藤1（15－7, 5－15, 10－15）2塚本

S2. 米山2（15－9, 15－1）0村田

この全国の頂点に辿りつくまで，わが部の発展を支え，本県高校バドミントンの栄光を多少なりとも維持し得たのは，慈父のごとき副顧問神保良太郎先生，山形市中体連の菊地利夫（元山三中顧問），杉山孝栄（山四中教），江口源助（山六中教），村上公一（天童市教委），森谷治夫（前山一中顧問），金沢和子（前山二中顧問），三沢清

美（山形市教委），斉藤俊彦（同），増田和司（山二中教）ら諸先生方と，永井強化部長を中心とする山形地区の協会の方々，また心よく優れた選手を送り出し委ねてくれた新庄地区バドミントン協会の方々，そして有限会社ジャワ商会の限りない支援のたまものである。

4．友情の手紙——「山びこ国体」から

矢島ゆり子さん

お便りありがとう。選手たちは全国高校の代表として，東京の全日本総合バドミントン大会に出場し，今朝帰ってきました。あなたからの手紙をさっそく渡してやります。さぞ喜こんでくれるでしょう。

私は日大山形高の顧問をしている者です。学校が創立20周年の記念の年に当っておりまして，残念ながら「山びこ国体」に参加できず，副顧問の坂野先生に監督をお願いしました。こんな事情で8月の会津若松市で開かれた全国高校総合体育大会（インターハイ）以後は，ほとんど選手たちの世話はできませんでしたので，国体では恥づかしい試合だけはしてくれるなとそればかり念じていました。でもお便りを拝見しますと，なんとか高校生らしいさわやかなゲームをしてくれたようですので，本当に安心いたしました。

国体中はいろいろとお世話いただき，また熱心に山形県を応援してくださってありがとうございました。選手たちも長野県の皆さんの温かい心にふれることができて，きっと一生忘れ得ない思い出として残ることでしょう。

ゆり子さんは高校入試を目指して勉強中とのこと，今年の冬はさぞ大変でしょうが，日本中の中学3年生の皆んなが頑張っているのですから，あなたに乗り切れないはずはありません。ましてあなたは将来教師になりたいという立派な希望を持っているのですから……。

目標をもって生きる者は強いのです。どんな苦しい事があっても耐えられるのです。この選手たちも高校に入学したときから「日本一になろう。努力すれば必らず高校の王座につけるんだ。そうすれば山形の中学生たちもきっと私たちのあとに続いてくれるだろう。その道を私たちの手で証明しよう。」と誓い合ってきました。

結果はインターハイも国体も2位と，ご覧になったとおりの成績に終りましたが，しかし5人共インターハイでは，個人戦のダブルスで五十嵐・須貝が2位，富塚・高橋組が先日の国体の相手と同じ比叡山高を倒して3位，桜井と須貝がシングルスで共に3位と全員が2個以上のメダルをいただきました。

日本一になれなかったのは単なる結果です。貴いのは彼らがそれを目指して渾身の努力を重ねてきたということです。でもここまで辿りついた道はけっして平担ではありませんでした。肩を痛めて「山びこ国体」の出場を富塚にゆずった主将の桜井雅人は，1年生のとき腰をやられて半年間入院し，留年して1年生を2度繰り返えして，そこから這いあがってきました。最後まで，国体が終るまで5人一緒に頑張ろうと約束してきたのでしたが，自分の不注意で皆んなに迷惑をかけたと，ひとり山形に残りました。彼も将来は高校の先生になろうと中学時代から望んでいました。いま日本大学の国文科を希望して勉強しています。彼には立派な生徒を育てる人間になってほしいと期待しています。

高橋直樹は山形県のチャンピオンでした。入学したときから将来のエースとして大きな望みをかけてきました。ところが彼の1年生の冬でしたが，練習中に私の目の前で左足のアキレス腱を切断したのです。私にとっても20年間で初めての大事故でした。一時は全国優勝の夢をあきらめさえしました。彼自身の悲しみはなおさらのこと，私たちの想像をはるかに越えるものだったと思います。その絶望のなかから半年ののち，不死鳥のように立ち上ってチームに参加しました。これも彼ら5人とマネージャーの山本玆子の友情，そしていま各大学で活躍している先輩や彼のお父さん，お母さんの温かい励ましがあったからです。

直樹も五十嵐も法政大学に進んで，さらにバドミントンを続けようと決意しています。

須貝も膝を痛めながら良く頑張りました。中学時代は全く無名の選手でしたが，本人の陽気な明るい性格と努力が一体となって，全国高校の最高のプレーヤーの1人にまで成長しました。中央大学の進学を希望していますが，もし合格することができたら，大学でも頑張って良い選手になってくれることでしょう。

どんな練習をしてきたかとのお尋ねですが，3年間——といっても実際は2年3か月しかありませんが，その全体の計画，1年生のときはここまで，2年生になったらこれだけはマスターするというプランを立てて，それに毎月の目標をきめて今日はなにを重点に練習すればいいかを選手たちに知ってもらい，特に基本のストロークと基本プレーを反復練習させました。全国大会ではたった1本のミスが命取りになるからです。あとは各自が自分の練習目標をきめて，自分で取り組みました。

自分から積極的にやる気のないもの，先生や先輩から命令されてからやるような選手は大成しません。でも彼ら5人がどんな気持でこの3年間取り組んできたか，これは彼ら自身の言葉であなたに便りがあるでしょう。けっして楽しいことばかりではなかったはずです。

部活動と学業とを両立させることは大変むずかしいことだと思います。心の中で多分全く両立しなかったと彼らは思っているのではないでしょうか。まして通学に1

時間もかかるあなたとすればなおさらのことだと思います。ただこれだけは理解してください。現在の高校生活の中では，部活動以外の場で，心と心のふれあいを求めることがなかなか困難なのです。友情とかチームメートとの協力とか，お互い同志のはげまし合い，おもいやり，青春の感激，先輩たちに対する尊敬，後輩への友情，そうした人間の持つ最も貴い“こころ”を育てる機会が少ないのです。あなたが高校入学後，バスケットボールをやるかやらないかは別にして，将来教師になりたいと思っているゆり子さんには，ぜひこのことを，部活動のもつ重要な意味をわかってほしいのです。

「山びこ国体」で山形県のプラカードを持っていただいたのも何かの縁でありましょう。学校の創立記念誌の作成でいそがしかったものですから，乱筆で読みにくいでしょうが，ゆり子さんのお手紙を拝見して，私もぜひお礼を申し上げたいとお便りいたしました。写真は選手たちがお送りするでしょうから，あなたに友情のしるしとして，わがチーム日大山形高バドミントン部のペナントをお送りしたいと存じます。

お母さまにも大変お世話になりました。スポーツのもつすばらしさをご理解いただいて，本当に嬉しく思います。５人の私の子供たちも，これから大学入試にむかって遅まきながらも懸命に取り組んでおります。

寒さに向う折から，ご家族の皆様のご健勝を遠く“みちのく”の空からお祈り申し上げます。

昭和53年11月20日

日本大学山形高バドミントン部
顧問　桔　梗　喜　一

長野県　両小野中学校
矢　島　ゆり子様

ごていねいなお手紙，どうもありがとうございました。

それに「友情の記念」のペナントまでいただき，ほんとうにお礼の申し上げようもありません。

先日，選手の方からもお返事をいただき，こんな私にここまでしてくださった皆さんのお心に対するうれしさでいっぱいです。

先生のお手紙で，選手の方々の私の想像をはるかに越えた「かげの努力」を知って，涙ぐまずにはいられませんでした。

「これ程までに努力した人がいる」ということを知った私は，今さらながら自分がとっても小さくつまらない人間に感じられました。

血のにじむような苦しみがあったからこそ，皆さんは王者となり，私たちに深い感銘を与えてくださることができたのです。

選手の方のお手紙に「バドミントン部は校内一のきびしいクラブとして有名だ」とありましたが，私の所属していた女子バスケット部も校内一，二ぐらいきびしい部でした。

毎日，毎日ボールを持つ前に必ず校外の坂道(約３km)を走りました。苦しい道でした。何度やめようと思ったかわかりません。そのかわり体力では他のどの部にも負けないくらいになりました。

しかし私たちのその練習の成果を一番表わさねばならなかった最後の，一番大切な試合では，お伝えするのも恥かしいほど，ひどい負け方をしてしまったのです。

私は自分で納得がいきませんでした。「なぜあんなに頑張ったのに勝つことができなかったのか」と……。

すべてが終ってからやっと気づきました。いくら校内一といっても，それは両小野中学校（塩尻市では一番の小規模な学校）〔塩尻市北小野・生徒数269名・教員16名・50年度全国学校総覧から――筆者〕という小さなものさしで計っただけにすぎません。そんなきびしさが，外に出て通用するはずがなかったのです。私たちはやはり練習不足でした。ですからほんとにとことんまで努力して，最後まで思う存分戦うことのできた皆さんのことがうらやましいのと同時に，それをなしとげた力の偉大さには，ただ感動しているばかりです。

高校入学をきっかけに，ほんとうのスポーツマンになれるよう一から努力してみたいと思っています。

それにしても皆さんが持っていた目標は，なんて大きなものだったのでしょう。結果がたとえ２位，３位であっても，その目標を持つことのできた皆さんは，私にとっては日本一です。

先生のお言葉のように「目標を持って生きる者は強い」ということもはっきりと証明されました。そう思うと私も皆さんのそれとは比べものにならないけれど，「自分の目標をいま持っている」ということが私の心のささえになるだろうと思います。

お手紙を拝見させていただいただけですが，顧問の先生のお力が選手の方に大きく影響しているということがわかりました。

選手の皆さんの努力は，試合を見ただけではわかりにくいものですが，それよりもっとわかりにくいのは，先生のように「見守る力」なのだと思いました。「見守ること」も教師として監督として大切な任務なのですね。

先生，選手の皆さん１人１人について詳しく書いてくださいまして，ありがとうございました。より深く皆さんの立派なところを知ることができて，ほんとうによかったと思います。手紙の文面でも１人の立派な先生と接することができました。

私は皆さんとのこの"めぐりあい"をむだにしたくありません。皆さんから学んだことを胸に，目標への原動力としたいと思います。

皆さん，どうかその素朴な心をいつまでも失なわずに，今までのように頑張ってください。遠くから応援しています。

桔梗先生，これからもまだまだ山形県から５人の選手の皆さんに続くようなスポーツマンをお育てくださいますように……。

皆さんも私も，今また新しい目標に向って進んでいます。

春が訪れたとき，全員が新しいスタートがきれますよう，心からお祈りしています。坂野先生にもよろしくお伝えください。

昭和53年12月７日

長野県塩尻市小野中学校
３年　矢島　ゆり子

日本大学山形高等学校
桔　梗　喜　一先生
バドミントン部３年の皆さん

お便りありがとうございました。

こんなに感動して，ふるえる心でお手紙を拝見したのは何年ぶりでしょうか。

１人ひとりの選手の方が，いろいろな障害に打ち勝ってここまで立派になられたこと，唯ただ頭が下がる思いです。

思えば，娘が山形県のプラカードを持ったことが偶然の縁になったわけですが，私たちの県，長野県のチームが隣のコートで戦っている時も，つい山形県の方に目がくぎづけにされるのは，どういう訳だろうとあの時も思ったものでした。やはりそこには技術以前の人間性みたいなものが，知らず知らずにじみ出ていたのでしょうか。

打ち寄せる波が，また新たな波を無限に広げていくように，貴方がたが苦しみに耐えて，すばらしいプレーをしたことが私達の心を動かし，それがまた，大きく広がっていったのです。そこにひとつの生命の偉大さを感じます。皆さん，誇りをもって次の段階にお進みになりますように。

桜井さん，国体は残念でしたね。どうぞがんばって，ぜひ立派な先生になって下さい。

高橋さん，良くがんばりましたね。苦しかったことでしょう。

五十嵐さんも，共に法政大学でまた力を合せて下さい。

須貝さん，ヒザの痛みに耐えながら努力されたのですね。

富塚さん，かげの力の山本玆子さん，今後もがんばって下さい。

皆さんの苦しかったこと，努力したことが，これから生きていく上に必ずいかされていくものと確信しております。

私も４人の子供がおりますが，花笠を見るたび，ペナントを見るたびに貴方がたの体験を話して聞かせ，奮起させたいと思っております。

ゆり子も立派な教師の姿が少しでも理解できたようですし，どんな困難にも打ち勝ってがんばると思います。

桔梗先生，坂野先生，どうぞこれからもより良い生徒を育てるため，ますますお励げみ下さいませ。本当にありがとうございました。愛によって生れた私達人間は，生命に限りはありますが，生れてきて良かった，生れていて良かったと思えるような生活を，その立場で出来る最大の努力をしなければと思います。

私も母親として，やはり先生や選手の皆さんに負けないような，自分に出来る精いっぱいのことをやらなければ，と改めて思いました。

五十嵐さんのお手紙は，総合テストの第１日目，桔梗先生のお手紙は２日目のテストの終った日に届き，よろこびをもたらしてくれました。

主人をはじめ，家中で感激して拝見させていただきました。

思わずペンを取らずにはいられなくて，書きはじめたのですが，思うことの十分の一も記せなかったような気がします。

でも，この感動した心を大切にしたいと思います。

寒さに向います折り，くれぐれも御自愛の程を祈ります。

12月８日

長野県上伊那郡辰野町小野旭
矢　島　偉　子

桔梗　先生
選手の皆様へ

ユーバー杯大会に出場して

味　蔘　とも子

創立30周年記念おめでとうございます。このめでたい記念誌に寄稿させて戴き心から御礼申し上げると共に，今後増々の発展と，活躍をご期待申し上げます。

今年東京で開催されるユーバー杯大会は，第9回を数えますが，日本の参加は第4回からで，私はその第4回大会と次の第5回大会に出場し，初優勝・初防衛の感激を味わう事ができました。10年も前の体験なのについ昨日の事の様に思い出されます。このユーバー杯参加に対しては，大会の2年前から候補選手の候補選びとでも云いましょうか，20数名から始まり，各地での合宿，試合を経て，10名位に絞られ，更に6名に決定。この選手に選ばれた時の喜びは大変なものでした。選手決定後も強化合宿が幾度か行なわれましたが，厳しい中にもとても楽しい雰囲気で，終りが淋しくなり次の合宿が待遠しく感じたものでした。

アジア地区予選に出場する為，インドのハイデラバードに向い羽田を飛び立ったのが，私の初めての海外遠征でした。当時19歳，20歳の誕生日を香港で祝って頂いたのを覚えています。見るもの聞くもの全て感激でした。ハイデラバードの町は暑く日中45度，外ではサングラスを要しましたが，試合は夕方から行なわれ，全勝でスタートを切り，インターゾーンへと駒を進めました。スコートについてですが，現在は世界の選手も短パン姿が多くなりましたが，当時国際試合は，スコートを使用と云われ，合宿中に渡され使用する様云われましたが，誰れもが恥かしく，インドの本番で初めて使用しましたが，暑さのせいかとてもはきやすく，それ以後は全ての試合でスコートを使用する様になりました。

5月のニュージーランドは，晩秋の季節で，緑も多くとても静かで美しい国でした。観客のマナーも大変良く思う存分試合に打ち込めました。インドでもそうでしたが，日本人の方々には，大変お世話になりどれ程心強かったか知れません。インターゾーン準決勝対インドネシアには，ダブルス2ポイント落とし5対2で勝ち，決勝は対イギリス戦となりました。イギリスの各選手は皆背が高く特にダブルスは前で全部カットされ苦しい試合でした。シングルは完勝なのですが，問題はダブルスにありました。国内では高木・天野組が圧倒的に強く，他のダブルスとの差がありすぎた状態でしたので，高木・天野組を分けて，高木・後藤組，天野・高橋組とに組み替え，ユーバー杯用のダブルスでした。このイギリス戦もシングルス3ポイントを取った後，残る1ポイントが取れず，最終戦にもつれこみ高木・後藤組が何とかねばりにねばって勝つ苦しい試合でした。いよいよアメリカにチャレンジとなりましたが，アメリカには，当時世界№1で数年間無敗を誇るハッシュマンと云う選手がおり，誰れもがアメリカ有利と云う予想でした。第1シングルスでそのハッシュマンと高木選手が対戦し，接戦の末2対0で勝ち，世界を驚かせました。その時の会場は，奇跡が起ったとでも云うような異様なものでアメリカはガックリ，日本は押せ押せムードに乗り，シングルス完勝の後，ダブルス，ハッシュマン組には破れましたが，第2ダブルス天野選手の好リードで勝ち，夢のような初優勝。信じられない様な気持で帰国し，数々の祝勝会や，当時の総理大臣であった佐藤栄作様より，ユーバー杯のレプリカを贈って戴いた時，じわじわと優勝の喜びをかみしめました。ただその時最年少であった私と後藤選手は，大変な事になってしまった，次のユーバー杯は私達が守るのねと心に誓い合い，この瞬間から，2年後の第5回ユーバー杯を目指しての長い戦いが始まりました。夏には山寺の階段登り下りや，マラソンを主としたトレーニングを積み，自分で納得のいく練習をして，自信を持ってコートに立つことを考を続けました。そして前回同様，数回の強化合宿を経て，ユーバー杯の前年には，全日本社会人大会と全日本総合選手権大会で，念願であった高木選手に勝ち，夢の一つが達成しました。又全英選手権大会でダブルス準優勝し，6月のユーバー杯大会を迎えました。今度はチャレンジを受ける方なのでそれ迄のコンデションが難かしかったのですが，皆な元気で明るく，試合前日には美容院に行ったり，余裕があったのか，気持を落ち付かせる為だったのか。ただ前回と違っていたのは，必ず勝つ，防衛すると云う全員の気持，負ける気がしない状態とはこの時のことでした。当日東京都体育館の前は，まれに見る長い列ができ，選手の私達でさえ何事かしらと思った程観客数1万人でした。これ迄の全てを賭け全力を尽すのみと自分に云い聞かせ体育館の中へ。開会式の後，第1シングルスは，インドネシア№1のミナルニ選手と日本の若手№1の湯木選手が対戦し，惜しくも負けてしまいましたが，続く日本の高木選手がギネスブックにのる様なラブ試合を見せて下さり，私もこの勢いに乗り2対0で勝ちダブルスの試合になりました。高木選手の好リードで湯木選手も立ち直り良く頑張りミナルニ，レトノ組に勝ち，又私達の試合で勝敗が決まる事になり，何が何でも相手のコートに返す気持でコートに入りました。自分達でも納得出来る様な試合ができマッチポイントを取った時は誰れかれともなく全ての方々に「ありがとうございました」の気持でいっぱいでした。そして感激と云うより終ったと云う感じでした。この大会には出場しませんでしたが，若手選手の相沢・竹中組が成長し，湯木選手を中心にした日本の活躍はご

承知の通りです。

私は本当に全てに恵まれていたと思っています。高校に入った時から手とり，足とりの指導をして下さった渡部二雄さん，2年生，3年生の間の逸見コーチのしごき？は，バドミントンとは走ることと教えられました。山寺の清原先生には，父親の様に面倒見てもらい，大学に進んでは，今井先生とのめぐり会いとでも云いましょうか。神様の様な先生です。そして常にライバルがいたこと，後藤選手は高校3年の鶴岡インターハイでの決勝戦の相手でもあった良き友人ですし，先輩には，高木・天野選手と，バドミントンをやって何が一番良かったと云えば何と云っても，素晴らしい方々との出合い，人間関係ではないかと思います。最近子供が，小学生になったのを機に，近くの高校生や，家庭婦人の方を相手にバドミントンを楽しむ回数が増えてきました。体の続く限り，それなりのバドミントンを今後も続けて行こうと思っております。

座　談　会

天童フアミリーバドミントンクラブ7年の歩みを語る

立里精二　三沢英男　今野俊博
須藤智枝子　高橋　守　手塚公夫（司会）

手塚　今年でファミリークラブも49年発足7周年目を迎えています。6名の会員にお集まり頂き7年の歩みを振り返ってじっくり話し合いたいと思います。先ず会長の立里さん，発足の頃についてお話し下さい。

立里　早いもんですね，もう7年目になるんですね，私が会社勤めをやめ，ペットコーナーの店を出した頃から，若い人達が店に集まるようになり，グループを作って，何なスポーツをやろうと，若い人達が働きかけて下さいました。私も待ち望んでいた時でしたので，早速，若い人達と話し合い，どんなスポーツをやろうか色んな話しが出ましたが，結局，雨や雪が降ったから出来ない，というスポーツでなく皆んなが年中できる，体育館でのスポーツという事でバドミントンをやろうと決まり，クラブ発足の運びとなったわけです。そして家族的にやろうという事で，天童ファミリーバドミントンクラブという名称にしたわけです。

今野　わたしなんか若い方でしたので，たくさん仲間がふえると言う事で大変楽しみでした。

立里　発足した頃は，お互いに腹を割って友達になろうという気運が皆んなには，あったんだと思うけど，仲々むずかしく，足並み揃えるのに苦労したよ。

今野　そうでしたか，最初から皆んな和気合々いでしたよ。

三沢　あの頃は，スポーツという事を理解して入会したつもりでしたが，バドミントンの事なんか何もわからずどんな話しをしたらよいかわからなかった。

立里　私も4～5ケ月目ぐらいで，クラブ員を，どんな方々で，ひっぱっていっていいのかわからなくなり，学生時代にバドミントンで知り合った，手塚さんを思い出し電話をかけバドクラブ結成の話しをし，クラブに御協力を，お願い致しました。その時から山形東高(定)「O・B会」の皆さんとも交流が始まり，手塚さんがO・B会の皆さんに話しをして下さって，県体育館勤務の渋谷さんを始めO・B会の皆さんも，それでは天童に力を貸すという事で現在も御指導をしていただいているという事は，クラブにとっては最高の幸せだと思っております。

手塚　立里君より電話があり，話しをきき，O・B会と共にファミリークラブを大きく発展させて行く様に考え，入会をしたわけです。それから数ケ月後，当方は後援的な立場で参加したのだが，ずいぶん人々が集まったなあー，会員皆んな良くやっているよ。

高橋　クラブは，色々な事業が多いですね。

立里　何んといっても親睦が第一で呑み喰いの時が一番多かったと思っていますが，51年からは，クラブだけのＴＦＢＣ杯，ちょうど今年の6月の大会で第10回目ですね。自分達のクラブで大会を開けるなんてほんとうに最高のクラブですよ。

手塚　天童での市民大会では数多くの賞を授賞していますが，いままでにうれしかったなあーと思ったのは。

立里　そうですね。53年10月県民中央スポーツ大会参加でリーグ優勝。そして12月には第7回山形社会人大会で，男子一部が，第3位になった時は，ほんとうにうれしかったね。

高橋　私が入会して間もなく，舞鶴荘に於ての，五周年記念祝賀会，いやあ，あれにはおどろきました。山形，天童の協会の偉い方々が並んでいるのを見てすばらしく大きい，クラブなんだなあと感激してしまいました。みんなが更に発展させ様との意気込みに，私もおよばづながらと思った次第でした。

須藤　山形のクラブチームとの親睦大会（村山地区愛好クラブ対抗リーグ戦）この大会もほんとうにたのしいですね。

立里　そうですね，53年1月にこまくさチームが開催し，今年の3月22日の大会で第8回目修了，各チームが順番に主催するという事は，各チームにとって，苦労すると思いますが，大変勉強になります。又，普段面識のない人々と友人になり得るという事であり，ここに親睦が生

まれ友情が育まれ幅の広い人生感が生まれるのだなあーと思っております。

手塚　もっとお話しがあると思いますが，会長が依頼された原稿用紙３枚分がオーバー致しましたので途中でございますが会員50余名と共に，山形県バドミントン協会の今後の御発展を御祈り致し，更に我がクラブのますますの飛躍を期待して座談会を閉じたいと思います。

長い時間お話し合いを頂き誠に有難うございました。



社会人クラブで活動して

ゴールドクラブ　中　川　善　雄

私がバドミントンに興味をもちはじめたのは29歳の時でした。当時，平吹設計事務所に勤務しておりまして，昼休みに羽根つきをやっている程度でしたが，その時期に日大ＯＢの吾妻君が入所してまいりまして，彼と共にやったわけですが，彼の強いこと，休み時間中は彼の１人舞台で相手のみ交代するというありさまでした。彼もその当時バトキチでありまして，職場にダブルスでぜひでたいという強引なさそいに負けまして，しぶしぶ１部のダブルスに出場致しました。私はルールもわからず，いわれるままコート内を右往左往するだけで，彼のシングルゲームのような試合運びで，なんと三位になってしまいました。これがまちがいの始まりで，練習さえすればもっと強くなるのではと思い，当時県体育館で行なわれておりましたバドミントン教室に入りまして数ケ月受講したわけです。さらにまちがいがおこりまして，翌年の市民大会の直前に，２部でダブ・シングルのチャンピオンでありました高橋さんがパートナーがいなくなって試合の申し込みができなくなるという話がありました。なんせ試合にでる人たちは申込済でありましたから，あいているのは私のみ，おれはダメだと言いながらも引受け，ふたたび後から叱られたり激励されながらなんとか優勝したという具合でした。ちなみにシングルの方はもちろん１回戦敗退という結果でした。その後バドミントンに夢中になりまして，ゴールド・シルバークラブでやっておるわけですが，３回戦を突破できずにもがいているのが現況です。

現在は自分で設計事務所をやっているわけですが，面接にくる所員に対してまっさきに質問するのが「バドミントンをやっていきますか？」というのが口ぐせになってしまいました。今では設計のエンピツのもちかたより先にラケットのもちかたを指導しているようなもので，ゴールドクラブに入るのが事務所に入るための条件とまで言われるようになっております。ですが残念なことに私も含め所員一同，バドミントンの腕はいっこうに上達せず，１回戦から３回戦の間に全員消えていくのが常でございます。ゴールドクラブ55名の親睦を計れたのだからそれはそれで良いのではないかと自分に言いきかせて半分ぐらいは満足をしている今日此頃です。

私とバドミントン

山形　長　岡　ひろ子

私にとってバドミントンとは，いつも私のそばにいてくれる，友だちのようなものです。気がめいっている時などは“どうした？もっと気を入れろよ！”と元気づけてくれるようで，晴れ晴れした気持ちになってくるし，うれしい時は“今日は楽しいね”なんて，いっしょになって喜んでくれているようで，それが倍にもなってかえってきます。とにかく，私はバドミントンが好きで好きでたまらないのです。

バドミントンは，中学校時代にやってきました。高校のクラブ活動も迷わず，バドミントンに入ったのですが，１年の後半頃腰を痛めてしまって，それっきりになっていました。就職して，サークル活動をやっている友だちから，バドミントンに誘われ，今日まできました。

初めて出た試合は，山形地区市民総合バドミントン大会でした。個人戦だったし，５年ほど試合からは遠ざかっていたので，“まずは，どこまでいけるか，やるだけやってみよう！”意気込はよかったのですが，１回戦，コートに入ったとたん，今まではなんともなかったのが，足はガクガク，手は震えるで，とにかく夢中でやっているうちに，なんとか，切り抜けられたという感じでした。２回戦からは，落ち着きも出てきたし，みんなの声援に

も励まされながら，思ってもいなかった優勝までこぎ着ける事が出きました。初めての優勝でもあったのですが，その時の感激は，今でもありありと浮かんできます。試合会場では，昔の友だちにも会えましたし，バドミントンを通して，多くの新しい友だちも出きました。

だれでもでしょうが，何か，自分で夢中になれる物を1つ持っているという事で，心にも張りが出てくると思います。私にはそれが，バドミントンです。これからも私は，バドミントンを続けていきます。

ママさんになってからも，若さを保つ為に？

山形県体育館スポーツ講座より

‖ママサンバドミントンを指導して‖

山形県体育館　渋　谷　忠　雄

ママサン達との出会いから早や8年目を迎えることになりました。

山形県下を中心に開催された47年全国高等学校総合体育大会を契機に高まってきた「県民総スポーツ」のスポーツ熱を（見る→実践）どんな形で普及すればよいか対象者を含めて検討，体育施設関係者が話し合った。その中で家庭の中心とも云うべきママさん達からスポーツ実践をしてもらおうと始められた婦人スポーツ講座が私との出合いであった。

それまでは中学校スポーツ教室（種目ごと）の選手強化策であったが，48年からは普及策として開講されたのが一般青少年，婦人層のスポーツ講座，実際昭和48年10月からテストケースとして婦人スポーツ講座を実施，参加者百余名，種目はバドミントン，バレーボール，卓球，トランポリンの4種目が選ばれた。

参加した平均年令も38歳と高齢？（表1）始めた動機は今までにスポーツ経験もなく

1. 美容の為（やせる目的）
2. 健康維持の為
3. ストレス解消の為
4. 友達を作る為　とさまざまであるが特にバドミントンを選んだ36名は

1. いままで（学校時代を含む）スポーツをしたことが「少ない」「ない」のでこの種目を選んだ。どちらかというとスポーツ嫌い。
2. 運動量が少なく，簡単な種目を選んだ。これは間違い。ハードなスポーツ
3. バレーボールだと突指するし，卓球では小さなボールを受けられない，床から足が離れる様なジャンプなどしたことないのに宙に浮くトランポリンなど目まいがするのでバドミントンだと，どこでも気軽にやれるようだ。

等の理由で入って来ている。

講座内容は，1期（週1回木曜日）10時～12時の2時間で計10回（表2）バドミントンをする時間は，ネット準備，後片づけを取ると，1回正味45分位，10回で7時間半でバドミントンを教えることになった。

この種目を選んだ大半の人は初めて，（経験者1名）技術の分布は（表3）である。

まずは怪我なく楽しくやってもらうことを第一目標に基礎技術の指導に力を注いだ。

ラケットの握り方，（イースタン・グリップ）羽根を打つ前に，ボール打ち（ラケットの長さの感覚を習得させる），羽根1人打（真上にフォア打・バック打）横打ち（ショートサーブ）。

クリヤーを中心に遠くへ飛ばすことを（なかなかいかない），ドロップ，ドライブ，スマッシュ，ヘアピン，5つのストロークの練習，そして簡単なゲーム（変則シングル）を取り入れながら回数を重ねた。1週，2週と回を重ねる，先週に教えたものはどうかと云うと……繰返し繰返し指導の連続である。

コート5面を使用，1コート6～8名を相手にクリヤーの練習を5分弱で次のコートへ，選挙演説の様な形で5コートを廻ると45分はアッという間になってしまった。

グリップの振りはどうか，体全体で打っているかどうか，細い気配りも受講者達にはどう伝っているか疑問が残る。

ある日7回目にしてやっとラケットに羽根があたった人は，嬉しさのあまり「先生やっとシャトルが飛びました」とはしゃいで駆け寄って来た。

我々経験者は「ラケットに羽根が当たる」なんとも思わない1つの事なのに，その人は嬉しさを隠しきれなかった。（現在は館へ週4回通う日課）

もう1つは，講座終了後バドミントン班でミーテング（よもやま話だろう）をしている姿を見て初回目は終れば蟻の巣を散らしたごとく，すぐ帰宅していたのに，こんなにも交流を深めている，上達した人，旧態依然として同じ人も，僕には技術はどうあれバドミントンを選んだ人達が輪を組んで話している光景をみているとほんとうに指導してよかったなあ～と思った。

早や10回目を迎えたその日の反省会で，「このまま仲間達と続けてゆきたい」という声が多く，自主愛好会として誕生したのが「霞城の友」であった。その後「紅花スポーツ」「かもしか」「若草スポーツ」そして「ひまわり」「しらかば」と続々と体育館内のバドミントン愛好者が

増えた。時にはクラブ間のフェスティバルを通して，技術の向上とクラブ間の交流を深めつつ，又地区協会での市民総合大会にもママサンの部を設けて頂き，他のママサンとの交流をも含め，ますます盛んになった。

そんなことで県体育施設の利用種目№1がバレーボールからバドミントンに塗りかえられ，継続する人達の多いこと，普及のすごさを物語ったものである。

これまで指導して，講座中短時間での初心者指導のむずかしさを痛感した。30歳過ぎてからの指導については

1. その人の体力に応じた
2. 年代にあった

そして個人差を大切にし，各々の技能にあった楽しさ作りと，基礎技能マスター，楽しみの中にも，安全な怪我のないバドミントン指導を今後とも続けてゆこうと考えている。

最後にこれからもママサンクラブの普及の為，県内バドミントン界の発展の為，微力ながら貢献する所存です。



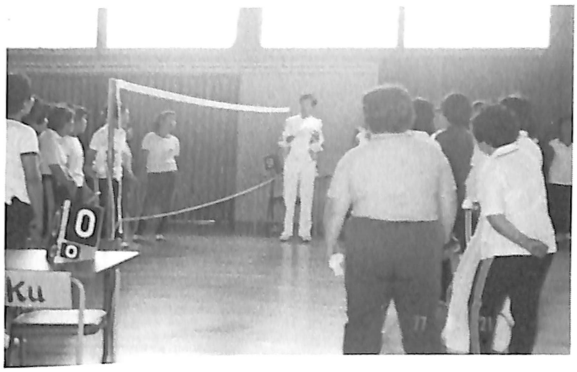






表 1　平均年齢38歳

30歳以下	1
31～35歳	22
36～40歳	52
41～45歳	11
46～50歳	7
51歳以上	2

表 2

時間＼内容	内　容	
10：00～10：40	ウォーミングアップゲーム	全員で
10：40～11：00	フォークダンス 他	〃
11：00～11：55	種目別 (4) バドミントン バレーボール 卓球 トランポリン	種目ごとに別れる
11：55～12：00	クールダウン 歌唱	全員で
12：00～	清掃	

表 3

ラケットに羽根が当らない	$\frac{1}{3}$
羽根をやっと打つことが出来る	$\frac{1}{3}$
なんとか羽根を飛ばすことが出来る （コート半分までがやっと）	$\frac{1}{3}$

第 3 章

栄 光 の 記 録

1　山形県中学校総合体育大会

（男　子）

年度	団体		シングルス優勝	ダブルス優勝
	1位	2位		
32	鶴岡三中	酒田三中		
35	鶴岡一中A	鶴岡一中B		
36	山形一中	鶴岡一中	後藤（山一）	佐藤・後藤（山一）
37	山形六中	山形四中	林（鶴一）	林・阿部（鶴一）
38	鶴岡一中	加茂中	今田（山四）	後藤・打笠（山三）
39	鶴岡三中	鶴岡一中	内藤（鶴一）	高橋・斉藤（山五）
40			佐藤（加茂）	長瀬・加藤（山五）
41	山形五中	山形六中	宗片（山三）	三浦・小野（山五）
42	山形六中	大山中	阿部（大山）	中鉢・小関（新庄）
43	山形三中	大山中	米山正和（山三）	米山正和・渋谷（山三）
44	山形三中	山形五中	秋葉博（山五）	今井・渡会（加茂）
45	山形三中	山大付属	坂本（山大付）	高橋・長沢（山大付）
46	明倫中	新庄中	尾関（明倫）	三条・三浦（山大付）
47	山形三中	山形五中		
48	山形三中	明倫中	尾形（山三）	菊地・叶（山二）
49	山形三中	山形二中	松沢（山大付）	松沢・鍋倉（山大付）
50	山形三中	山形一中	高橋（明倫）	小林・富塚（山三）
51	山形三中	新庄中	松田勝俊（山三）	渡辺・五十嵐（山五）
52	山形三中	明倫中	高橋（山三）	鈴木・鈴木（山四）
53	山大付属	新庄中	小関（山大付）	小関・峯田（山大付）
54	山形三中	新庄中	鈴木敬幸（山三）	鈴木敬幸・半田（山三）
55	山形三中	山形四中	高橋（山三）	阿部・加藤（山三）
56	山形四中	新庄中	安孫子敬一（山四）	村岡晋・村岡敏（新庄）
57	新庄中	鶴岡一中	平忍（新庄）	星川・石塚（新庄）

（女　子）

年度	団体 1位	団体 2位	シングルス優勝	ダブルス優勝
32	山形一中	酒田三中		
35	山形一中	山大付属		
36	日新中	山大付属	叶内（日新）	叶内・小野（日新）
37	日新中	新庄中	高橋（日新）	手塚・伊藤（日新）
38	日新中	新庄中	中村（山大付）	中村・山田（山大付）
39	日新中	山形六中	大屋（鶴一）	北郷・尾上（日新）
40			柿崎（日新）	柿崎・伊藤（日新）
41	日新中	沼台中	鈴木（日新）	鈴木・斉藤（日新）
42	日新中	三川中	矢口（日新）	伊藤・荒井（鶴三）
43	日新中	鶴岡三中	矢口（日新）	矢口・長倉（日新）
44	明倫中	日新中	小野（明倫）	佐藤・多田（日新）
45	明倫中	日新中	清水（明倫）	堀田・清水（明倫）
46	山大付属	明倫中	沢内真由美（日新）	今田・門脇るり子（明倫）
47	新庄中	明倫中		
48	日新中	明倫中	長沢（日新）	長沢・矢口（日新）
49	日新中	山大付属	近藤恵美子（新庄）	柳田・栗田（日新）
50	日新中	山形四中	中鉢（日新）	中鉢・矢口（日新）
51	日新中	新庄中	佐藤（日新）	佐藤・泉（新庄）
52	日新中	櫛引中	中村　恵子（山一）	長山・東海林（日新）
53	櫛引中	鶴岡三中	秋山　智子（櫛引）	秋山・難波（櫛引）
54	日新中	新庄中	難波　初子（櫛引）	丹野　弘美・田口真由美（日新）
55	日新中	櫛引中	小野（鶴三）	武田・木口（山四）
56	日新中	山形七中	元木（日新）	今田・海藤（日新）
57	日新中	鶴岡三中	斉藤（鶴三）	小野・結城（日新）

2　山形県高等学校総合体育大会

（男　子）

年度	団体		シングルス優勝	ダブルス優勝
	1位	2位		
25	新庄北			
26	新庄北			
27	新庄北			
28	新庄北			
29	新庄北	山形南		
30	山形商	山形東	生田　仁紀（山　商）	井上　明彦・林　　正夫（山　南）
31	山形商	山形南	板垣　隆房（山　商）	板垣　隆房・山岸　重孝（山　商）
32	山形商	山形南	早坂　周助（山　商）	早坂　周助・佐藤　寛司（山　商）
33	山形南	山形商	板垣　善憲（山　南）	板垣　善憲・金森　義弘（山　南）
34	山形商	山形南	加藤　隆一（山　商）	山口　良典・加藤　隆一（山　商）
35	山形商	山形南	佐藤　勝彦（山　商）	出沢　勇男・森谷喜久男（山　商）
36	新庄北	山形東	富樫　亮一（山　東）	森谷喜久雄・板垣　孝男（山　商）
37	山形商	新庄北	鈴木　健二（山　一）	横倉　良樹・佐藤　　昭（山　商）
38	山形商	日大山形	船越　省吾（日　大）	武田藤一郎・山口　泰雄（山　商）
39	日大山形	山形東	後藤　慶治（日　大）	後藤　慶治・酒井　隆二（日　大）
40	日大山形	山形南	沼沢　利一（日　大）	沼沢　利一・中村　義一（日　大）
41	日大山形	米沢商	青野　長則（米　商）	鈴木　国夫・岡崎　　孝（日　大）
42	日大山形	山形東	丹野　安雄（日　大）	丹野　安雄・岩淵　豊治（日　大）
43	日大山形	山形商	遠藤　好男（日　大）	遠藤　好男・田所　光男（日　大）
44	日大山形	山形商	牧野　文雄（日　大）	牧野　文雄・高橋　信一（日　大）
45	日大山形	山形東	橋本　則之（日　大）	橋本　則之・今井　善彦（日　大）
46	日大山形	山形工	米山　正和（日　大）	米山　正和・中嶋　良治（日　大）
47	日大山形	山形工	安田　克己（日　大）	渡辺　秀明・菅野　　隆（山　東）
48	日大山形	山形南	佐藤　重好（日　大）	二本柳　剛・米山　孝二（日　大）
49	日大山形	山形東	米山　孝二（日　大）	米山　孝二・柴田　正明（日　大）
50	日大山形	真室川	横尾　信一（日　大）	横尾　信一・三井　　浩（日　大）
51	日大山形	山形南	藤沢　博史（真室川）	工藤　重信・伊藤　洋一（日　大）
52	日大山形	東根工	吉田　貞義（日　大）	五十嵐正弘・須貝　英徳（日　大）
53	日大山形	山形商	須貝　英徳（日　大）	須貝　英徳・五十嵐正弘（日　大）
54	日大山形	山形東	松田　勝俊（日　大）	中鉢　義郎・松田　勝俊（日　大）
55	日大山形	山形商	阿部　浩志（山　商）	高橋　正典・伊藤　俊一（日　大）
56	山形東	山形商	小関　信一（山　東）	早坂　　隆・鈴木　敬幸
57	日大山形	新庄北	鈴木　敬幸（山　商）	鈴木　敬幸・吉田　享利（山　商）

（女　子）

年度	団体		シングルス優勝	ダブルス優勝
	1位	2位		
25	新庄南			
26	新庄南			
27	新庄南			
28	新庄南			
29	新庄南	鶴岡北		
30	新庄南	山形商	荒井トシ子（山　商）	阿部　知子・河野　芳子（城　北）
31	新庄南	山形商	斎藤　孝子（新　南）	斎藤　幸子・佐藤　裕子（新　南）
32	山形西	山中央	佐藤　エミ（山　西）	鈴木　雅子・佐藤　エミ（山　西）
33	山形商	新庄南	間　小夜子（新　南）	溝越　裕子・峯田　栄子（山中央）
34	新庄南	城北	渡辺　和子（城　北）	渡辺　和子・結城伊都子（城　北）
35	新庄南	城北	菅藤　洋子（新　南）	鈴木　・大川　（鶴　家）
36	新庄南	城北	小笠原詔子（新　南）	佐藤　弘子・矢口　淳子（新　南）
37	新庄南	城北	佐藤　三和（鶴　家）	柿崎　厚子・金藤　定子（新　南）
38	城北	新庄南	高橋とも子（城　北）	高橋とも子・渡辺　康子（城　北）
39	新庄南	城北	渡辺美喜子（新　南）	青木　和子・渡辺　（新　南）
40	新庄南	城北	叶内留美子（城　北）	小山登茂子・遠藤　幹子（新　南）
41	新庄南	城北	遠藤　幹子（新　南）	小山登茂子・遠藤　幹子（新　南）
42	新庄南	城北	高橋　てる（城　北）	須貝　・柿崎きち子（新　南）
43	新庄南	城北	柿崎きち子（新　南）	早坂　照代・柿崎きち子（新　南）
44	新庄南	城北	名和　和子（新　南）	名和　和子・岡村るり子（新　南）
45	新庄南	城北	矢口　節子（新　南）	清水　良子・矢口　節子（新　南）
46	新庄南	城北	矢口　節子（新　南）	矢口　節子・本間　浩子（新　南）
47	新庄南	真室川	今田真智子（新　南）	今田真智子・矢口　洋子（新　南）
48	城北	新庄南	伊藤ひろ子（城　北）	堀田　正子・清水　礼子（新　南）
49	新庄南	城北	沢内真由美（新　南）	沢内青由美・門脇るり子（新　南）
50	新庄南	鶴家政	小松　澄子（新　南）	松田　優子・遠藤　幸子（新　南）
51	新庄南	城北	東海林文子（城　北）	東海林文子・神保　恵子（城　北）
52	新庄南	山形北	近藤恵美子（新　南）	近藤恵美子・山崎由美子（新　南）
53	新庄南	城北	岡田　久子（新　南）	岡田　久子・中山　葉子（新　南）
54	城北	新庄南	佐藤栄美子（城　北）	佐藤栄美子・阿部　礼子（城　北）
55	城北	新庄南	金田　尚子（新　南）	金田　尚子・東海林美紀（新　南）
56	城北	新庄南	秋山　智子（鶴　北）	渡辺いづみ・中鉢はる美（城　北）
57	山形北	新庄南	中鉢はる美（城　北）	渡辺いづみ・中鉢はる美（城　北）

3　山形県高等学校定時制総合体育大会

（男　子）

年度	団体		シングルス優勝	ダブルス優勝
	1位	2位		
39	鶴岡工	山形東	高橋 満也（鶴　工）	結城 英男・丹　政和（山　東）
40	鶴岡南	米沢工	斎藤 精吾（鶴　南）	結城 英男・丹　政和（山　東）
41	鶴岡南	鶴岡工	高橋 文男（米　工）	竹田　悟・高橋 文男（米　工）
42	米沢工	鶴岡工	高橋 文男（米　工）	新藤 和雄・高橋 文男（米　工）
43	山形東	天童商工	花輪 則夫（天童商）	中村 博志・大川 三六（鶴　工）
44	鶴岡工	山形東	中村 博志（鶴　工）	中村 博志・大川 三六（鶴　工）
45	山形東	山形工	後平 順二（鶴　工）	佐藤 利彦・後平 順二（鶴　工）
46	山形東	米沢工	遠藤 良一（山　東）	遠藤 良一・田苗 義和（山　東）
47	山形東	鶴岡工	五十嵐 勲（鶴　工）	東海林 肇・佐藤 栄七（山　東）
48	米沢工	鶴岡工	斎藤 芳樹（山　東）	斎藤 芳樹・宇野　進（山　東）
49	新農向町	米沢工	石田 睦夫（新　北）	石田 睦夫・阿部　靖（新　北）
50	新庄北	山形工	石田 睦夫（新　北）	石田 睦夫・阿部　靖（新　北）
51	新庄北	米沢工	水口 敏夫（天　童）	高橋　稔・佐藤　守（米　工）
52	米沢工	山形東	水口 敏夫（天　童）	佐藤 忠広・水口 敏夫（天　童）
53	山形工	新庄北	安部 俊弘（米　工）	安部 俊弘・堤　茂（米　工）
54	米沢工	山形工	設楽 伸栄（新　北）	設楽 伸栄・海藤千代美（新　北）
55	山形東	米沢工B	高梨 和男（米　工）	高橋 和男・藤倉 弘幸（米　工）
56	米沢工A	米沢工B	藤倉 弘幸（米　工）	藤倉 弘幸・朝倉　（米　工）
57	米沢工A	鶴岡工B	海藤　（新　北）	島貫　・朝倉　（米　工）

（女　子）

年度	団体		シングルス優勝	ダブルス優勝
	1位	2位		
39	山形東	鶴岡南	有路トミ子（新　北）	工藤 節子・茂俣 幸子（山　東）
40	山形東	新庄北	茂俣 幸子（山　東）	菅 久美子・斎藤マサ子（新　北）
41	山形東	新庄農	佐々木ナヲ（酒　商）	工藤 節子・茂俣 幸子（山　東）
42	山形東	鶴岡南	佐々木ナヲ（酒　商）	茂俣 幸子・工藤 節子（山　東）
43	山形東	新庄農	神藤 京子（山　東）	神藤 京子・佐藤美枝子（山　東）
44	新庄農	山形東	岡　和子（山　東）	岡　和子・佐藤美智子（山　東）
45	新庄農	山形東	岡　和子（山　東）	岡　和子・佐藤美智子（山　東）
46	新庄農	山形東	荒木 順子（新　農）	荒木 順子・下山 郁子（新　農）
47	新庄農	宮内	石川 美和（酒　商）	菅 きみ子・下山登美子（新　農）
48	山形東	酒田商	柿崎太代子（山　東）	柿崎太代子・秋保 幸枝（山　東）
49	酒田商	山形東	山川まさ子（山　東）	渡辺 登子・山川まさ子（山　東）
50	山形東	鶴岡南	山川まさ子（山　東）	山川まさ子・志藤喜代子（山　東）
51	山形東	山辺	木下 友子（新　北）	志藤喜代子・高橋しず子（山　東）
52	山形東	鶴岡南	伊藤 京子（山　辺）	小関 京子・柿崎　恵（山　東）
53	山形東	山辺	辻　トモ子（山　東）	辻　トモ子・佐藤 広子（山　東）
54	山辺	山形東	土屋 三枝（山　東）	土屋 三枝・森谷 順子（山　東）
55	山形東A	山形東B	桜井智枝子（山　東）	押切三和子・小野美智子（山　東）
56	鶴岡工	新庄北	門間 智恵（山　東）	金内　・工藤　（鶴　工）
57	鶴岡工	新庄北	工藤　（鶴　工）	金内　・工藤　（鶴　工）

4　山形県総合体育大会

高校（少年）男子

年度	シングルス	ダブルス
25	渋江　実（新庄高）	伊東　伸夫・杉沢　保吉（新庄高）
26	門脇　武雄（新庄高）	高橋　洋平・文泉　彰（新庄高）
27	（不　明）	（不　明）
28	尾関　喜久（山商高）	斉藤慎一郎・早坂　昭男（新庄北）
29	生田　仁紀（山商高）	早坂　昭男・阿部　茂（新庄北）
30	生田　仁紀（山商高）	生田　仁紀・板垣　隆房（山商高）
31	板垣　隆房（山商高）	板垣　隆房・山岸　重孝（山商高）
32	早坂　周助（山商高）	早坂　周助・佐藤　寛司（山商高）
33	板垣　善憲（山南高）	板垣　善憲・金森　義弘（山南高）
34	加藤　隆一（山商高）	山口　良典・加藤　隆一（山商高）
35	佐藤　勝彦（山商高）	佐藤　勝彦・出澤　勇男（山商高）
36	森谷喜久男（山商高）	森谷喜久男・板垣　孝男（山商高）
37	鈴木　健二（山一高）	横倉　良樹・佐藤　昭（山商高）
38	須貝　一彦（新庄北）	武田藤一郎・山口　泰雄（山商高）
39	後藤　慶治（日大山高）	後藤　慶治・酒井　隆二（日大山高）
40	沼沢　利一（日大山高）	沼沢　利一・中村　義一（日大山高）
41	鈴木　国夫（日大山高）	鈴木　国夫・岡崎　孝（日大山高）
42	涌井　保夫（真室川）	涌井　保夫・斉藤　和夫（真室川）
43	遠藤　好男（日大山高）	遠藤　好男・田所　光男（日大山高）
44	牧野　文雄（日大山高）	牧野　文雄・高橋　信一（日大山高）
45	橋本　則之（日大山高）	橋本　則之・今井　善彦（日大山高）
46	米山　正和（日大山高）	米山　正和・中島　良治（日大山高）
47	秋葉　博（山工高）	秋葉　博・三井　幸嗣（山工高）
48	黒沼　敦（日大山高）	黒沼　敦・佐藤　重好（日大山高）
49	米山　孝二（日大山高）	加藤　信之・中島　俊彦（日大山高）
50	高橋　恵吾（新庄北）	川又　・高橋　恵吾（新庄北／真室川）
51	菊地　（日大山高）	藤沢　博史・菊地　（日大山高）
52	田沢　幸雄（鶴　西）	吉田　貞義・田中　（日大山高）
53	須貝　英徳（日大山高）	五十嵐正弘・須貝　英徳（日大山高）
54	松田　勝俊（日大山高）	中鉢　義郎・松田　勝俊（日大山高）
55	鈴木　洋史（山商高）	阿部　浩志・鈴木　洋史（山商高）
56	早坂　隆（山商高）	早坂　隆・鈴木　敬幸（山商高）
57	鈴木　敬幸（山商高）	鈴木　明広・加藤　安史（日大山高）

高校（少年）女子

年度	シングルス	ダブルス
25	鈴木八重子（新庄高）	鈴木八重子・西田　幸（新庄高）
26	岸　英子（新庄高）	佐藤　照子・郷野目照子（新庄高）
27	五十嵐弘子（新庄北）	斉藤久美子・佐藤　昭（鶴　北）
28	斉藤久美子（鶴　北）	佐藤　トシ・土井　（山北高）
29	（不　明）	（不　明）
30	（不　明）	（不　明）
31	斉藤　幸子（新庄南）	荒井トシ子・栗原　好子（山商高）
32	佐藤　エミ（山西高）	佐藤　エミ・鈴木　雅子（山西高）
33	溝越　裕子（山中央高）	溝越　裕子・峯田　栄子（山中央高）
34	渡部　康子（城北高）	富田　・西田　（新庄南）
35	菅原　洋子（新庄南）	佐藤　弘子・矢口　淳子（新庄南）
36	佐藤　弘子（新庄南）	佐藤　弘子・矢口　淳子（新庄南）
37	佐藤　三和（鶴家政）	柿崎　厚子・小関　勝子（新庄南）
38	柿崎　厚子（新庄南）	高橋とも子・渡辺　康子（城　北）
39	斉藤　（城　北）	高内　・渡辺美喜子（新庄南）
40	遠藤　幹子（新庄　南）	小山登茂子・遠藤　幹子（新庄南）
41	遠藤　幹子（新庄南）	遠藤　幹子・小山登茂子（新庄南）
42	尾上由美子（新庄南）	高橋　てる・船越　節子（城　北）
43	柿崎キチ子（新庄南）	早坂　照代・柿崎キチ子（新庄南）
44	名和　和子（新庄南）	名和　和子・岡村るり子（新庄南）
45	矢口　節子（新庄南）	矢口　節子・清水　良子（新庄南）
46	矢口　節子（新庄南）	矢口　節子・矢口　洋子（新庄南）
47	今田真知子（新庄南）	今田真知子・矢口　洋子（新庄南）
48	福原　友子（真室川）	堀田　正子・清水　礼子（新庄南）
49	沢内真由美（新庄南）	沢内真由美・門脇ルリ子（新庄南）
50	小松　澄子（新庄南）	小松　澄子・松田　優子（新庄南）
51	東海林文子（城　北）	福原まり子・近藤恵美子（新庄南）
52	近藤恵美子（新庄南）	近藤恵美子・山崎由美子（新庄南）
53	荒木　二美（新庄南）	佐藤栄美子・阿部　礼子（城　北）
54	佐藤栄美子（城　北）	佐藤栄美子・阿部　礼子（城　北）
55	金田　尚子（新庄南）	金田　尚子・東海林美紀（新庄南）
56	秋山　智子（鶴　北）	荘司　・伊藤　明美（新庄南）
57	田口真由美（城　北）	中鉢はる美・渡辺いずみ（城　北）

一般（青年）男子

年度	シングルス	ダブルス
31	阿部　英典（山　形）	羽角　至・金森　伸夫（山　形）
32	阿部　英典（山　形）	阿部　英典・尾関　喜久（山　形）
33	佐藤　寛司（山　形）	太田　昭・小関　正洋（山　形）
34	猪股　義朗（山　形）	猪股　義朗・佐藤　秀彦（山　形）
35	佐藤　寛司（山　形）	北村　任・宇井　恒夫（山　形）
36	板垣　隆房（山　形）	板垣　隆房・出沢　勇男（山　形）
37	板垣　隆房（山　形）	板垣　隆房・出沢　勇男（山　形）
38	板垣　隆房（山　形）	板垣　隆房・出沢　勇男（山　形）
39	出沢　勇男（山　形）	板垣　隆房・出沢　勇男（山　形）
40	武田　浩一（山　形）	板垣　隆房・出沢　勇男（山　形）
41	沼沢　利一（山　形）	板垣　隆房・沼沢　利一（山　形）
42	沼沢　利一（山　形）	板垣　隆房・沼沢　利一（山　形）
43	沼沢　利一（山　形）	沼沢　利一・郷野　隆弘（山　形）
44	安達　敏一（山　形）	板垣　隆房・金森　義弘（山　形）
45	安達　敏一（山　形）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）
46	安達　敏一（山　形）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）
47	安達　敏一（山　形）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）
48	斉藤　和夫（新　庄）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）
49	岡田　寿紀（鶴　岡）	鈴木　国夫・沼沢　利一（山　形）
50	吉住　彰（鶴　岡）	高橋　信一・吾妻　正幸（山　形）
51	橋本　則之（山　形）	斉藤　和夫・桶井　保夫（新　庄）
52	秋庭　一生（鶴　岡）	橋本　則之・菅原　好見（山　形）
53	秋庭　一生（鶴　岡）	三浦　一則・佐藤　重好（山　形）
54	秋庭　一生（鶴　岡）	秋庭　一生・丸山　勝美（鶴　岡）
55	秋庭　一生（鶴　岡）	秋庭　一生・丸山　勝美（鶴　岡）
56	秋庭　一生（鶴　岡）	秋庭　一生・丸山　勝美（鶴　岡）
57	秋庭　一生（鶴　岡）	伊藤　洋一・藤沢　博史（山　形）

一般（青年）女子

年度	シングルス	ダブルス
31	金森　（山　形）	金森・佐藤　（山　形）
33	渡辺　（山　形）	工藤・渡辺　（山　形）
34	溝越　（山　形）	鈴木・鹿俣　（山　形）
35	富田　（新　庄）	富田・西田　（新　庄）
36	富田　（新　庄）	富田・高橋　（新　庄）
37	矢口　（新　庄）	富田・矢口　（新　庄）
38	後藤　（鶴　岡）	後藤・佐々木　（鶴　岡）
39	柿崎　（最　上）	小笠原・佐藤　（最　上）
40	小関　（新　庄）	小関・柿崎　（新　庄）
41	小関　（新　庄）	小関・柿崎　（新　庄）
42	小関　（新　庄）	小関・遠藤　（新　庄）
43	遠藤　（新　庄）	尾上・小関　（新　庄）
44	鶴巻　（鶴　岡）	五十嵐・佐藤泉　（鶴　岡）
45	杉原　（山　形）	加藤・杉原　（山　形）
46	遠藤　（新　庄）	遠藤・尾上　（新　庄）
47	矢口　（新　庄）	岡村・矢口　（新　庄）
48	矢口　（新　庄）	矢口・小野　（新　庄）
49	早川　典子（新　庄）	早川・小野　（新　庄）
50	矢口　（新　庄）	早川・小野　（新　庄）
51	太田　（鶴　岡）	太田・菅原　（鶴　岡）
52	早川　典子（最　上）	佐藤　由美・神保　（山　形）
53	早川　典子（最　上）	丸山　昌子・五十嵐徳子（山　形）
55	丸山　昌子（山　形）	佐藤栄美子・田中ゆり子（山　形）
56	佐藤栄美子（山　形）	岡田・金田　（新　庄）
57	佐藤栄美子（山　形）	佐藤栄美子・中村　恵子（山　形）

一般（成年）男子

年度	シングルス	ダブルス
32	渋谷　吉章（酒　田）	渋谷　吉章・吉田　（酒　田）
33	渋谷　吉章（酒　田）	渋谷　吉章・吉田　（酒　田）
34	小柴　悦三（酒　田）	
35	小柴　悦三（酒　田）	小柴　悦三・高橋　（酒　田）
36	小柴　悦三（酒　田）	
37	新橋　武（鶴　岡）	渋谷　吉章・富樫　（酒　田）
39	新橋　武（鶴　岡）	新橋　武・窪田　寛士（鶴　岡）
40	中鉢喜八郎（鶴　岡）	中鉢喜八郎・窪田　寛士（鶴　岡）
41	阿部　茂（新　庄）	
42	阿部　茂（新　庄）	阿部　茂・猪股　義朗（新山　庄形）
43	猪股　義朗（山　形）	中鉢喜八郎・窪田　寛士（鶴　岡）
44	阿部　茂（新　庄）	阿部　茂・猪股　義朗（新山　庄形）
46	板垣　隆房（山　形）	板垣　隆房・金森　義弘（山　形）
47	板垣　隆房（山　形）	板垣　隆房・金森　義弘（山　形）
50	鹿野　昭男（山　形）	郷野　隆弘・鹿野　昭男（山　形）
51	鹿野　昭男（山　形）	郷野　隆弘・永井　司（山　形）
52	郷野　隆弘（山　形）	郷野　隆弘・永井　司（山　形）
53	伊藤　則久（山　形）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）
55	横山　正（鶴　岡）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）
56	横山　正（鶴　岡）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）
57	横山　正（鶴　岡）	郷野　隆弘・沼沢　利一（山　形）

一般（壮年）男子

年度	シングルス	ダブルス
32	庄司　（鶴　岡）	日向・庄司　（鶴　岡）
33	庄司　（鶴　岡）	日向・庄司　（鶴　岡）
34	庄司　（鶴　岡）	小関・山口　（米　沢）
35	庄司　（鶴　岡）	日向・庄司　（鶴　岡）
36	小関　三郎（山　形）	小関　三郎・熊谷重四郎（山　形）
39	渋谷　吉章（酒　田）	渋谷　吉章・本間　（鶴　岡）
40	渋谷　吉章（酒　田）	渋谷　吉章・吉田　（酒　田）
41	渋谷　吉章（酒　田）	
42	渋谷　吉章（酒　田）	渋谷　吉章・宮川　清（酒　田）
44	秋保　（鶴　岡）	宮川　清・加藤　（鶴　岡）
47	深瀬長太郎（山　形）	
49	白木甲太郎（新　庄）	深瀬長太郎・伊藤　（山形／新庄）
50	白木甲太郎（山　形）	林　健二・白木甲太郎（山　形）
51	白木甲太郎（新　庄）	深瀬長太郎・黒木　武彦（山　形）
52	白木甲太郎（最　上）	黒木　武彦・林　健二（山　形）
53	林　健二（山　形）	林　健二・尾関　喜久（山　形）
55	板垣　隆房（山　形）	
56	窪田　寛士（鶴　岡）	
57	鹿野　昭男（置　賜）	永井　司・板垣　隆房（山　形）

教　員

年度	シングルス	ダブルス
34	新橋　武（山　形）	
35	黒木　武彦（米　沢）	黒木　武彦・福沢　（米　沢）
36	入間　照雄（鶴　岡）	入間　照雄・高橋　（鶴　岡）
37		渡部　二雄・入間　照雄（鶴　岡）
38	渡部　二雄（鶴　岡）	渡部　二雄・入間　照雄（鶴　岡）
39	渡部　二雄（山　形）	深瀬長太郎・渡部　二雄（山　形）
40	鹿野　昭男（山　形）	入間　照雄・鹿野　昭男（山　形）
41		入間　照雄・鹿野　昭男（山　形）
42	鹿野　昭男（山　形）	入間　照男・鹿野　昭雄（山　形）
44	鹿野　昭雄（山　形）	永井　司・鹿野　昭男（山　形）
45	永井　司（山　形）	永井　司・高山　昌三（山形／新庄）
47	高山　昌三（新　庄）	高山　昌三・真室　順一（新　庄）
48	高山　昌三（新　庄）	高山　昌三・真室　順一（新　庄）
49	高山　昌三（新　庄）	
50	高山　昌三（新　庄）	永井　司・清水　秀裕（山　形）
51	高山　昌三（新　庄）	清水　秀裕・横山　正（鶴　岡）
42		清水　秀裕・永井　司（山　形）
43	横山　正（鶴　岡）	清水　秀裕・永井　司（山　形）

一般（成年）女子

年度	シングルス	ダブルス
56		牧野　恵・野沢　睦子（山　形）

混　合

年度	ダブルス
38	逸見　・阿部　（鶴　岡）
43	金森　義弘・佐々木　（山　形）
49	沼沢　利一・佐藤　友美（山　形）
52	二本柳　剛・佐藤　友美（山　形）
55	八矢　・安藤　（村　山）
56	横山　正・佐藤　律子（鶴　岡）
57	三浦　一則・三浦　友子（山　形）

5　山形県総合選手権大会

（男　子）

年度	シ　ン　グ　ル　ス	ダ　ブ　ル　ス
52	秋庭　一生（鶴岡市役所）	坂本　誠・荒井　謙治（明治生命／山形銀行）
54	秋庭　一生（鶴岡市役所）	秋庭　一生・丸山　勝美（鶴岡市役所）
56	秋庭　一生（鶴岡市役所）	秋庭　一生・丸山　勝美（鶴岡市役所）
57	秋庭　一生（鶴岡市役所）	秋庭　一生・丸山　勝美（鶴岡市役所）

（女　子）

年度	シ　ン　グ　ル　ス	ダ　ブ　ル　ス
52	近藤恵美子（新庄南高）	近藤恵美子・山崎由美子（新庄南高）
54	佐藤栄美子（城北女子高）	佐藤栄美子・阿部　礼子（城北女子高）
56	秋山　智子（鶴岡家政）	秋山　智子・難波　　（鶴岡家政）
57	中村　恵子（ＴＯＴＯ）	佐藤栄美子・中村　恵子（でん六／ＴＯＴＯ）

6　東北高等学校選手権大会

年度	成績内容
33	1位　少年シングルス　板垣　善憲（山南） 1位　少年ダブルス　板垣・金森組（山南）
34	1位　少年ダブルス　永井・北村組（山商）
35	1位　少年ダブルス　佐藤・出沢組（山商） 1位　少年シングルス　佐藤　勝彦（山商）
36	1位　少年ダブルス　森谷・板垣組（山商） 1位　少年シングルス　森谷喜久男（山商） 1位　少女ダブルス　小笠原・渡辺組（新南）
37	1位　少年ダブルス　横倉・佐藤組（山商） 1位　少年シングルス　鈴木　健二（山一）
38	1位　少年シングルス　辻間　隆志（山商） 1位　少女ダブルス　高橋・渡辺組（城北） 1位　少女シングルス　高橋とも子（城北）
39	1位　少年シングルス　後藤　慶治（日大）
40	1位　少女ダブルス　柿崎・伊藤組（新南）
41	1位　少女ダブルス　遠藤・小山組（新南） 1位　少女シングルス　遠藤　幹子（新南）
46	1位　男子団体　日大山形高 1位　女子団体　新庄南高
47	1位　男子団体　日大山形高 1位　女子団体　新庄南高 2位　男子団体　山形工業高 2位　女子団体　真室川高
48	1位　男子団体　日大山形高 1位　女子団体　城北女子高 2位　女子団体　新庄南高
49	1位　男子団体　日大山形高 1位　女子団体　新庄南高 2位　女子団体　城北女子高
50	2位　男子団体　日大山形高 2位　女子団体　新庄南高
51	1位　男子団体　日大山形高 2位　女子団体　新庄南高 1位　女子シングルス　東林林文子（城北） 1位　男子ダブルス　工藤・伊藤組（日大）
52	2位　男子団体　日大山形高 2位　女子団体　新庄南高
53	1位　男子団体　日大山形高 1位　女子団体　新庄南高 1位　男子ダブルス　須貝・五十嵐組（日大） 1位　男子シングルス　須貝　英徳（日大）
54	1位　男子団体　日大山形高 2位　女子団体　城北女子高

7　全国高等学校総合体育大会

年度	成績内容		
26	5位	男子団体	新庄北高
27	5位	男子団体	新庄北高
30	3位	男子団体	山形商業高
31	1位	男子シングルス	板垣　隆房　(山商)
32	1位	男子団体	山形商業高
	4位	男子シングルス	五十嵐良一　(山商)
33	1位	男子団体	山形南高
	1位	男子ダブルス	板垣・金森組　(山南)
	1位	男子シングルス	板垣　善憲　(山南)
	2位	男子ダブルス	船山・永井組　(山南)
34	1位	男子団体	山形商業高
	1位	男子ダブルス	永井・北村組　(山商)
	5位	女子シングルス	渡辺　幸子　(山商)
35	1位	男子団体	山形商業高
	5位	男子ダブルス	出沢・森谷組　(山商)
	5位	男子シングルス	佐藤　勝彦　(山商)
36	4位	男子団体	新庄北高
	2位	女子団体	新庄南高
	2位	男子ダブルス	森谷・板垣組　(山商)
	1位	女子ダブルス	小笠原・渡辺組(新南)
	2位	女子シングルス	佐藤　弘子　(新南)
	3位	女子シングルス	小笠原詔子　(新南)
37	2位	男子団体	山形商業高
	4位	男子シングルス	佐藤　昭　(山商)
	5位	女子シングルス	佐藤　三和　(鶴家)
38	4位	男子団体	山形商業高
	2位	女子団体	城北女子高
	3位	女子団体	新庄南高
	5位	男子ダブルス	須貝・藤島組　(新北)
	2位	女子ダブルス	高橋・渡辺組　(城北)
	1位	女子シングルス	高橋とも子　(城北)
40	5位	男子団体	日大山形高
	2位	男子ダブルス	沼沢・中村組　(日大)
	3位	男子シングルス	沼沢　利一　(日大)
41	3位	女子ダブルス	小山・遠藤組　(新南)
42	5位	男子団体	日大山形高
	5位	男子ダブルス	大江・加藤組　(日大)
	5位	男子ダブルス	丹野・岩淵組　(日大)
43	3位	男子団体	日大山形高
	3位	男子ダブルス	遠藤・田所組　(日大)
	3位	男子シングルス	遠藤　好男　(日大)
	3位	男子シングルス	田所　光男　(日大)

年度	成績内容		
43	5位	女子ダブルス	柿崎・早坂組　(新南)
	5位	女子シングルス	柿崎きち子　(新南)
44	5位	男子団体	日大山形高
	5位	男子ダブルス	佐藤・伊藤組　(日大)
	5位	女子ダブルス	名和・岡村組　(新南)
	5位	男子シングルス	牧野　文雄　(日大)
	5位	女子シングルス	名和　和子　(新南)
45	5位	男子団体	日大山形高
	3位	女子団体	新庄南高
	3位	女子ダブルス	清水・矢口組　(新南)
46	2位	男子団体	日大山形高
	5位	女子団体	新庄南高
	1位	男子ダブルス	米山・中島組　(日大)
	3位	男子ダブルス	大場・秋葉組　(山工)
	3位	女子ダブルス	矢口節・本間組(新南)
	2位	男子シングルス	米山　正和　(日大)
	5位	女子シングルス	矢口　節子　(新南)
47	3位	男子団体	日大山形高
	5位	男子団体	山形工業高
	2位	女子団体	新庄南高
	2位	男子ダブルス	秋葉・三井組　(山工)
	3位	男子ダブルス	渡辺・菅野組　(山東)
	5位	男子ダブルス	大山・吾妻組　(日大)
	3位	女子ダブルス	矢口・今田組　(新南)
	5位	女子ダブルス	小野・早川組　(新南)
	5位	女子ダブルス	本間・中鉢組　(新南)
	5位	男子シングルス	秋葉　博　(山工)
48	2位	男子団体	日大山形高
	5位	男子ダブルス	二本柳・米山組(日大)
49	2位	男子団体	日大山形高
	5位	男子ダブルス	三浦・榊原組　(山東)
	5位	女子ダブルス	沢内・門脇組　(新南)
	5位	女子シングルス	門脇るり子　(新南)
50	5位	男子シングルス	横尾　信一　(日大)
	5位	女子シングルス	小松　澄子　(新南)
51	5位	女子団体	新庄南高
	3位	男子ダブルス	工藤・伊藤組　(日大)
	5位	女子ダブルス	東海林・神保組(城北)
53	2位	男子団体	日大山形高
	2位	男子ダブルス	須貝・五十嵐組(日大)
	3位	男子シングルス	須貝　英徳　(日大)
	3位	男子シングルス	桜井　雅人　(日大)

8　国民体育大会出場の記録

S 24年　第 4 回　東京都（公開種目）

監督　　五十嵐　隆　二
選手(男子)　五十嵐　国　夫　　渋　江　　実
　(女子)　小　関　恵　子　　渡　会　輝　子

S 25年　第 5 回　名古屋市

監督　　五十嵐　隆　二（新　庄）
選手　　五十嵐　国　夫（　〃　）
　　小　関　利　雄（山　形）
　　鈴　木　八重子（新庄高）
　　西　田　　幸（　〃　）
　　渋　江　　実（　〃　）
　　伊　東　伸　夫（　〃　）
　　杉　沢　保　吉（　〃　）

S 26年　第 6 回　広島市

監督　　五十嵐　隆　二
選手
　一般男子　五十嵐　国　夫（法政大）
　　松　沢　保　吉（新　庄）
　高校女子　岸　　英　子（新庄高）
　　佐　藤　照　子（　〃　）
　　郷之目　照　子（　〃　）
　高校男子　門　脇　武　雄（新庄高）
　　高　橋　洋　平（　〃　）
　　大　泉　　彰（　〃　）

S 27年　第 7 回　仙台市

男子　　五十嵐　国　夫
　　門　脇　武　雄
　　中　村　啓二郎（山　形）
　　杉　沢　保　吉
女子　　神　部　登喜子（柿崎姓）（新　庄）
　　古　賀　信　子（後藤姓）（新　庄）
　　小　関　恵　子
　　西　田　幸　子（星　姓）（新　庄）
　　佐　藤　照　子
　　五十嵐　弘　子（新庄北）
　　斉　藤　久美子（鶴　岡）
　　佐　藤　　昭（上野姓）（鶴　岡）

S 28年　第 8 回　善通寺市

高校男子
　監督　　豊　岡　昭　蔵
　　尾　関　喜　久（山　商）
　　斉　藤　慎一郎（新庄北）
　　早　坂　昭　男（　〃　）
　　阿　部　　茂（　〃　）
　一般男子　監督　松　田　嘉　雄（山　形）
　　杉　沢　保　吉（新　庄）
　　五十嵐　国　男（新　庄）
　高校女子　監督　　（鶴　岡）
　　佐　藤　　昭（鶴　岡）
　　斉　藤　久美子（　〃　）
　　佐　藤　ト　シ（山形北）
　　土　井　　（山　形）
　一般女子
　　佐　藤　てる子（新　庄）
　　神　部　登喜子（柿崎姓）（新　庄）

S 29年　第 9 回　札幌市

一般男子
　監督　　羽　田　勝　次（酒　田）
　　小　柴　悦　三（酒　田）
　　五十嵐　国　夫（　〃　）
　　斉　藤　慎一郎（　〃　）
高校男子
　監督　　豊　岡　昭　蔵（新庄北）
　　早　坂　昭　男（　〃　）
　　阿　部　　茂（　〃　）
　　生　田　仁　紀（山形商）

S 30年　第10回　横浜市

一般男子の部
　監督　　松　田　嘉　雄
　選手　　阿　部　英　典（山形荷札会社）
　　佐　藤　秀　彦
　　五十嵐　国　夫（酒田鉄興社）
高校男子の部
　監督　　熊　谷　重四郎（山　商）
　選手　　生　田　仁　紀（　〃　）
　　板　垣　隆　房（　〃　）
　　羽　角　　至（　〃　）

S 31年　第11回　神戸市

一般男子
　監督　　熊　谷　重四郎（山商高）
　選手　　阿　部　英　典（クリーニング）

金　森　伸　夫（山形殖産）
羽　角　　至（山形日産）
監督　熊　谷　重四郎（山商高）
選手　板　垣　隆　房（〃）
山　岸　重　孝（〃）
鎧　水　勝　志（〃）

S 32年　第12回　静岡市

一般男子
監督　熊　谷　重四郎
選手　尾　関　喜　久
阿　部　英　典
金　森　伸　夫

高校男子
監督　熊　谷　重四郎
選手　早　坂　周　助
佐　藤　寛　司
板　垣　善　憲

S 33年　第13回　高岡市

一般男子
監督　熊　谷　重四郎（山　商）
選手　羽　角　　至（山形日産）
金　森　伸　夫（殖　産）
佐　藤　寛　司（商　業）

高校男子
監督　服　部　倉　太
選手　板　垣　善　憲（山　形）
金　森　義　弘（山　形）
小　林　　賢（新　庄）

S 34年　第14回　東京都

一般男子
猪　股　義　朗
佐　藤　秀　彦

高校男子
監督　熊　谷　重四郎
北　村　　任
永　井　　司
加　藤　隆　一

S 35年　第15回　熊本　菊池市

一般男子
選手　佐　藤　寛　司（山　形）
北　村　　任（〃）
宇　井　恒　夫（〃）

高校男子
監督　熊　谷　重四郎
選手　佐　藤　勝　彦（山　商）
出　沢　勇　男（〃）
高　橋　清　一（新庄南）
田　中　邦　明（〃）

S 36年　第16回　秋田　象潟市

一般男子
監督　金　森　伸　夫
選手　板　垣　隆　房（山　形）
出　沢　勇　男（〃）
北　村　　任（鉄興社）

高校女子
監督　鎌　形　利　夫
選手　佐　藤　弘　子（新庄南）
矢　口　淳　子（〃）
小笠原　詔　子（〃）

S 37年　第17回　倉敷市

一般男子
監督　尾　関　喜　久（ヲゼキ洋服店）
選手　猪　股　義　朗（岡野電機）
出　沢　勇　男（出沢洋服店）
板　垣　隆　房（板垣商店）

第38年　S 18回　下関市

高校男子
監督　熊　谷　重四郎（山形商業高）
選手　武　田　藤一郎（〃）
山　口　泰　雄（〃）
須　貝　一　彦（新庄北高）

高校女子
監督　清　原　順　良（城北女子高）
選手　高　橋　とも子（〃）
渡　辺　康　子（〃）
柿　崎　厚　子（新庄南高）

一般男子
監督　井　上　明　彦（両羽銀行）
選手　出　沢　勇　男（出沢洋服店）
猪　股　義　朗（岡野電機）
板　垣　隆　房（板垣商店）

S 39年　第19回　三条市

高校男子
監督　桔　梗　喜　一（日大山形高）
選手　後　藤　慶　治（〃）
酒　井　隆　二（〃）

沼　沢　利　一（　〃　）

一般男子

監督　阿　部　英　典（阿部クリーニング店）

選手　出　沢　勇　男（出沢洋服店）

荒　井　　孝（国　鉄）

板　垣　隆　房（板垣商店）

S 40年　第20回　岐阜市

一般男子

監督　金　森　義　弘（県　庁）

選手　出　沢　勇　男（出沢洋服店）

武　田　浩　一（県　庁）

板　垣　隆　房（板垣商店）

高校男子　五十嵐　隆　二（新庄北高）

沼　沢　利　一（日大山形高）

中　村　義　一（　〃　）

高　山　昌　三（新庄北高）

高校女子

監督　阿　部　　茂（新庄ヘルスセンター）

選手　小　山　登茂子（新庄南高）

遠　藤　幹　子（　〃　）

叶　内　留美子（城北女子高）

S 41年　第21回　日田市

一般男子

監督　金　森　義　弘（県　庁）

選手　沼　沢　利　一（オビサン）

荒　井　　孝（国　鉄）

板　垣　隆　房（板垣商店）

高校女子

監督　菅　野　悦　正（新庄南高）

選手　小　山　登茂子（　〃　）

遠　藤　幹　子（　〃　）

伊　藤　シゲ子（　〃　）

S 42年　第22回　越谷市

一般男子

監督　金　森　義　弘（県　庁）

選手　武　田　浩　一（県　庁）

沼　沢　利　一（オビサン）

板　垣　隆　房（板垣商店）

高校女子

監督　志　鎌　　正（城北女子高

選手　高　橋　て　る（城北女子高）

船　越　節　子（　〃　）

尾　上　由美子（新庄南高）

S 43年　第23回　勝山市

一般男子

監督　豊　岡　昭　蔵（山形南高）

選手　郷　野　隆　弘（錦武道具店）

沼　沢　利　一（オビサン）

板　垣　隆　房（板垣商店）

高校男子

監督　桔　梗　喜　一（日大山形高）

選手　遠　藤　好　男（　〃　）

田　所　光　男（　〃　）

伊　藤　政　臣（　〃　）

高校女子

監督　菅　野　悦　正（新庄南高）

選手　柿　崎　きち子（　〃　）

早　坂　昭　代（　〃　）

名　和　和　子（　〃　）

S 44年　第24回　諫早市

一般男子

監督　板　垣　隆　房（板垣商店）

選手　郷　野　隆　弘（錦武道具店）

沼　沢　利　一（オビサン）

安　達　敏　一（山形市役所）

高校女子

監督　菅　野　悦　正（新庄南高）

選手　名　和　和　子（　〃　）

岡　村　るり子（　〃　）

甲　州　　香（　〃　）

S 45年　第25回　釜石市

一般男子

監督　板　垣　隆　房（板垣商店）

選手　郷　野　隆　弘（錦武道具店）

沼　沢　利　一（オビサン）

安　達　敏　一（山形市役所）

教員男子

監督　黒　木　武　彦（山形北高）

選手　永　井　　司（竹田女子高）

鹿　野　昭　男（米沢工業高）

高　山　昌　三（新庄南高）

S 46年　第26回　湯浅町

一般男子

監督　板　垣　隆　房（板垣商店）

選手　郷　野　隆　弘（錦武道具店）

沼　沢　利　一（オビサン）

安　達　敏　一（山形市役所）

一般女子
監督　本堂親愛（新庄市役所）
選手　遠藤幹子（自営）
　　岡村るり子（〃）
　　尾上由美子（新庄市役所）
高校男子
監督　桔梗喜一（日大山形高）
選手　米山正和（〃）
　　中島良治（〃）
　　大場和博（山形工業高）

S47年　第27回　鹿児島市
一般男子
監督　斉藤慎一郎（自営）
選手　郷野隆弘（錦武道具店）
　　沼沢利一（オビサン）
　　安達敏一（山形市役所）
教員男子
監督　黒木武彦（山形北高）
選手　鹿野昭男（米沢工業高）
　　永井　司（竹田女子高）
　　高山昌三（新庄南）
高校女子
監督　菅野悦正（新庄南高）
選手　矢口洋子（〃）
　　今田真知子（〃）
　　本間浩子（〃）

S48年　第28回　茂原市
一般男子
監督　渡部二雄（山形大学）
選手　沼沢利一（オビサン）
　　鈴木国夫（日本製乳）
　　吉住　彰（自営）
教員男子
監督　清水秀裕（城北女子高）
選手　高山昌三（新庄南高）
　　永井　司（竹田女子高）
　　斉藤和夫（大蔵小）
高校女子
監督　真室順一（新庄農業高）
選手　堀田正子（新庄南高）
　　清水礼子（〃）
　　福原友子（真室川高）

S49年　第29回　石岡市
一般男子
監督　郷野隆弘（錦武道具店）
選手　沼沢利一（オビサン）
　　鈴木国夫（日本製乳）
　　岡田寿紀（酒田統制無線中継所）
一般女子
監督　村岡義男（真室川高）
選手　里見節子（労働金庫）
　　早川典子（新友土木）
　　小野玲子（新庄市役所）
高校男子
監督　桔梗喜一（日大山形高）
選手　米山孝二（〃）
　　加藤信之（〃）
　　中島俊彦（〃）
高校女子
監督　高山昌三（新庄南校）
　　沢内真由美（〃）
　　門脇ルリ子（〃）
　　今田トシ子（真室川高）

S50年　第30回　松坂市
成年男子
監督　郷野隆弘（錦武道具店）
選手　高橋信一（国鉄）
　　吉住　彰（吉住クリーニング店）
　　吾妻正幸（平吹設計）
少年女子
監督　高山昌三（新庄南高）
選手　松田優子（〃）
　　小松澄子（〃）
　　遠藤幸子（〃）

S51年　第31回　牛津町
成年男子
監督　村岡義男（真室川高）
選手　斉藤和夫（自営）
　　涌井保夫（〃）
　　橋本則之（橋本鋳工）
少年女子
監督　高山昌三（新庄南高）
選手　福原まり子（新庄南高）
　　近藤恵美子（〃）
　　東海林文子（城北女子高）

S 52年　第32回　浪岡市

成年男子

監督	郷野隆弘	（錦武道具店）
選手	橋本則之	（橋本鋳工）
	菅原好見	（県　庁）
	秋葉一生	（鶴岡市役所）

成年女子

監督	永井　司	（竹田女子高）
選手	早川典子	（新友土木）
	佐藤友美	（山形女短幼稚園）
	神保恵子	（ワボー山形支店）

少年女子

監督	高山昌三	（新庄南高）
選手	近藤恵美子	（　〃　）
	山崎由美子	（　〃　）
	丸山弘美	（鶴岡家政高）

S 53年　第33回　塩尻市

成年男子

監督	丸山勝美	（荘内病院）
選手	秋庭一生	（鶴岡市役所）
	三浦一則	（丸果青果）
	佐藤重好	（みつます）

少年男子

監督	坂野清弥	（日大山形高）
選手	富塚　充	（　〃　）
	五十嵐正弘	（　〃　）
	須貝英徳	（　〃　）

S 54年　第34回　西都市

成年男子

監督	薄衣健治	（鶴岡市農協）
選手	秋庭一生	（鶴岡市役所）
	丸山勝美	（荘内病院）
	岡田寿紀	（酒田統制無線中継所）

教員男子

監督	武田藤一郎	（山形市役所）
選手	永井　司	（竹田女子高）
	横山　正	（鶴岡工業高）
	鹿野昭男	（米沢工業高）

少年女子

監督	清水秀裕	（城北女子高）
選手	佐藤栄美子	（　〃　）
	阿部礼子	（　〃　）
	庄司ひろみ	（新庄南高）

S 55年　第35回　真岡市

少年女子

監督	真室順一	（新庄南高）
選手	金田尚美	（　〃　）
	東海林美紀	（　〃　）
	中村恵子	（山形北高）

成年女子

監督	永井　司	（竹田女子高）
選手	佐藤栄美子	（でん六）
	田中ゆり子	（　〃　）
	丸山昌子	（パークホテル）

S 56年　第36回　大津市

少年男子

監督	郷野隆弘	（錦武道具店）
選手	早坂　隆	（山形商業高）
	鈴木敬幸	（　〃　）
	鈴木明弘	（日大山形高）

S 57年　第37回　大東町

少年女子

監督	清水秀裕	（城北女子高）
選手	中鉢はる美	（　〃　）
	丹野弘美	（　〃　）
	田口真由美	（　〃　）

少年男子

監督	桔梗喜一	（日大山形高）
選手	鈴木敬幸	（山形商業高）
	鈴木明弘	（日大山形高）
	加藤安史	（　〃　）

第 4 章

協 会 記 録

1　山形県バドミントン協会規約

(昭和44．4．1)

第1章　名　　称

第1条　本会は山形県バドミントン協会と称する。

第2章　目　　的

第2条　本会は、県内のバドミントン団体の中枢機関として、バドミントンの健全な発展、普及および啓蒙を図ることを目的とする。

第3章　事　　業

第3条　本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

(1)　バドミントン競技の指導、普及、啓蒙
(2)　県内各種大会の開催
(3)　その他必要事項

第4章　組　　織

第4条　大会は、次の団体をもって組織する。

(1)　各地区協会
(2)　高体連バドミントン部
(3)　中体連バドミントン部
(4)　実業団バドミントン連盟
(5)　教職員バドミントン連盟
(6)　婦人バドミントン連盟

第5章　加盟および登録

第5条　加盟団体は負担金を納付しなければならない。

2　加盟団体に所属する者は、別紙様式第1号により登録しなければならない。

第6条　前条第1項の負担金は、年額2,000円とする

2　前条第2項の登録料は次のとおりとする。

(1)　一　般　年額　1,000円
(2)　高校生　年額　700円
(3)　団　体　年額　10,000円(一　般　10名
高校生　15名まで)

第6章　機　　関

第7条　本会に次の機関を置く。

(1)　総　　会
(2)　理　事　会
(3)　常務理事会
(4)　専門委員会
　①　競技委員会
　②　審判委員会
　③　指導普及委員会
　④　事業委員会
　⑤　財務委員会
　⑥　強化委員会
(5)　国体強化推進本部

第8条　総会は、会長、副会長、理事、監事をもって構成し、次の事項を審議する。

(1)　事業および収支決算の報告ならびに承認
(2)　予算および事業計画の承認
(3)　規約の改廃
(4)　役員の改選
(5)　加盟団体の入会、脱退の承認
(6)　加盟分担金および登録料の決定
(7)　その他重要事項

第9条　理事会は、会長、副会長、理事をもって構成し総会により委任された事項の審議および執行を分掌する。

第9条の2　常務理事会は、常務理事で構成され、理事会の委任事項を執行する。

第10条　専門委員会は、専門委員をもって構成し、専門事項を協議し、意見を理事会に提出する。

また、理事会の委任を受けた事項を執行する。

第10条の2　国体強化推進本部は、本部員をもって構成し、選手の強化、指導者の育成等強化指導に関する事項を執行する。

第11条　各専門委員会の分掌事項は次のとおりとする。

(1)　競技委員会
　①　競技会の企画、開催、運営、組合せ
　②　その競技に関する事項
(2)　審判委員会
　①　審判員の育成
　②　競技会の審判
　③その他審判に関する事項
(3)　指導普及委員会
　①　ジュニア、実業団、ママさんスポーツ等の普及育成
　②　その他普及指導に関する事項
(4)　事業委員会
　①　日本リーグ、交流試合等の開催
　②　その他協会の事業に関する事項
(5)　財務委員会
　①　県協会の自主財源の充実確保対策
　②　その他財務に関する事項
(6)　強化委員会
　①　指導者の育成指導および選手の強化
　②　強化合宿の開催
　③　その他強化指導に関する指導

第7章　会　　議

第12条　総会は毎年１回会長が招集する。また、必要に応じ臨時総会を招集することができる。
第13条　理事会は必要に応じ会長が招集する。
第13条の２　常務理事会は必要に応じ理事長が招集する。
第14条　専門委員会は専門委員長が必要に応じて招集する。
第14条の２　国体強化推進本部は本部長が必要に応じて招集する。

第８章　役　　員

第15条　本会に次の役員を置く
(1) 会　長　１　名
(2) 副会長　若干名
(3) 理　事　25名以内
（理事長１名、副理事長１名、常務理事若干名）
(4) 監　事　３　名
第16条　会長および副会長は総会にて推薦する。
２　会長は、本会を代表し、副会長は会長を補佐し会長事故あるときはその職務を代理する。
第17条　理事は、各地区協会および各加盟団体より１名選出した者および総会の推薦により会長が委嘱した者とする。
２　理事長、副理事長および常務理事は理事の互選により会長が委嘱する。
３　理事長は会長の命をうけ、会務を掌握する。
４　副理事長は理事長を補佐し、理事長事故あるときは、その職務を代理する。
５　常務理事は、会務を分掌する。
第17条の２　国体強化推進本部長は、理事会の議を経て会長が委嘱する。
２　国体強化推進本部員は、本部長が委嘱する。
第18条　監事は、総会の議を経て会長が委嘱する。
２　監事は、会務を監査する。
第19条　専門委員は、各地区より２名～１名ずつ選出する。（高体連は１名）
２　専門委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は常務理事をもって充てる。
第20条　本会は、必要に応じ総会の議を経て顧問および参与を置くことができる。
２　顧門及び参与は総会に出席することができる。
第21条　役員の任期は２ヶ年とし、再任を妨げない。

第９章　経費および会計

第22条　本会の経費は、分担金、登録料、寄附金、補助金およびその他の収入をもって運営する。
第23条　本会の会計年度は４月１日に始まり翌年３月31日をもって終る。

附　　則

この規約は、昭和58年４月１日より施行する。

2　山形県バドミントン協会役員名簿（昭和60・61年度）

役職名	担当・選出	氏名	勤務先	〒	住所	電話(勤務先)	電話(自宅)
顧問		小関三郎	ジャワ商会会長	990	山形市六日町7—28	0236(33)0333	
		熊谷重四郎		990	山形市宮町4—5—28		0236(23)2465
		押切朝吉		996	新庄市常葉町3—4		0233(22)4181
		鈴木伝四郎	㈱でん六社長	990	山形市春日町11—5	0236(44)4422	0236(45)2338
会長		板垣隆房	板垣商店	990	山形市木の実町9—15		0236(22)1551
副会長	山形	猪股義朗	油圧精工	990	山形市伊達城3—4—11	0236(86)2116	0236(87)4631
	最北	佐藤幸吉	新庄体育館	996	新庄市北町1—8	0233(22)4222	0233(22)5648
	置賜	伊藤勉	米沢女子高校	992	米沢市通町3—8—77—4	0238(22)0091	0238(21)0680
	鶴岡	毛呂千鶴夫	手呂歯科医院	997	鶴岡市泉町8—14	0235(22)1117	0235(24)0990
	酒田	弦巻作治	弦巻商店	998	酒田市東大町	0234(22)5441	0234(22)1367
	高体連	高橋良之助	新庄南高校	996	新庄市城南町5—5	0233(22)1546	0236(22)2284
理事長		金森義弘	県庁（財政課）	990	山形市桜町2—31	0236(30)2048	0236(23)7687
副理事長		渡部二雄	山形大学	990	山形市七日町5—7—21	0236(31)1421	0236(32)0576
常務理事	競技委員長	深瀬長太郎	山辺高校	990	山形市印役町3—9—27	0236(64)5462	0236(41)8714
	審判委員長	入間照雄	山形南高校	990	山形市印役町2—3—40	0236(22)3502	0236(23)1721
	指導普及委員長	深瀬悦男	山形市議会議員	990	山形市六日町6—53	0236(41)1212	0236(32)8057
	財務委員長	早坂周助	山建	990	山形市西田町4—15—28	0236(33)3000	0236(45)0737
	事業委員長	山口良典	㈱でん六	990	山形市蔵王桜田41—12	0236(44)4422	0236(41)5038
	強化委員長	郷野隆弘	錦武道具店	990	山形市旅籠町1—1—30		0236(22)1550
	事務局長	武田藤一郎	山形市役所	990	山形市沼の辺町6—3	0236(41)1212	0236(42)6881
理事	山形	桔梗喜一	日大山形高校	990	山形市薬師町2—13—18	0236(41)6632	0236(31)5916
	最北	斎藤慎一郎	製菓業	996	新庄市大町3—39		0233(22)0698
	置賜	新国治	浜田ワイン	992	米沢市矢来2—7—38	0238(37)4204	0238(2)4374
	鶴岡	横山正	鶴岡工業高校	997	鶴岡市道田町4—1	0235(34)3111	0235(22)2753
	酒田	渋谷吉章	酒田工業高校	998	酒田市中町2—4—30	0234(29)2111	0234(23)3045
	高体連	鹿野昭男	米沢工業高校	992	米沢市本町2—6—25	0238(23)5072	0238(23)4775
	中体連	佐藤実	鶴岡第一中学校	997	鶴岡市青柳町4—19	0235(22)0530	
	実業団	西村俊夫	山形新聞	990	山形市荒楯町1—19—2	0236(22)5271 内線(317)	0236(41)1811
	婦人連盟	高橋トシ子	主婦	990	山形市六日町6—30		0236(22)4066
	会長推薦	小柴悦三	東邦商事	998	酒田市本町2—5—19	0234(23)3444	0234(22)1636
	同	黒木武彦	山形南高校	990	山形市緑町2—12—30	0236(24)0929	0236(23)7003
	同	永井司	竹田女子高校	990	山形市木の実町7—39	0236(43)0323	0236(41)3851
	同(事務局次長)	遠藤宏一	山形工業高校	994	天童市高擶北2121	0236(22)4934	0236(55)4123
	同(事務局次長)	渋谷忠雄	県体育館	990	山形市七日町1—1—6	0236(44)5656	0236(32)0537
監事		本堂親愛	新庄市役所	996	新庄市上金沢1—14	0233(22)2111	0233(22)5445
		小林保夫	鶴岡市役所	997	鶴岡市砂田町21—8	0235(25)2111	0235(23)9684
		太田和男	西村山地方事務所	991	寒河江市大字高屋字北江67—12	0237(86)8111	0237(86)9255
県体協　評議員		渡部二雄	山形大学	990	山形市七日町5—7—21	0236(31)1421	0236(32)0576

事務局　990 山形市旅籠町2—3—25　山形市役所　べにばな国体対策室内　武田藤一郎
（電話）0236（41）1212　（内線）636

同　990　同　山形市役所　公園緑地課内　斉藤則行
（電話）0236（41）1212　（内線）529

国体強化推進本部

本部長	郷野隆弘	(山形)
副本部長	永井　司	(〃)
〃	菅原好見	(〃)
事務担当	武田藤一郎	(〃)
部員 1.	岡田寿紀	(鶴岡)
2.	横山　正	(〃)
3.	斉藤　司	(酒田)
4.	桔梗喜一	(山形)
5.	鹿野昭男	(米沢)
6.	高橋恵吾	(新庄)
7.	清水秀裕	(山形)
8.	高山昌三	(真室川)
9.	秋庭一生	(鶴岡)
10.	橋本則之	(山形)
11.	近藤健二	(米沢)
12.	佐藤　実	(鶴岡)
13.	吉住　彰	(〃)
14.	丸山勝美	(〃)
15.	斉藤仁志	(〃)
16.	剱持　誠	(〃)
17.	斉藤慎一郎	(新庄)
18.	情野宏幸	(米沢)

3　各地区バドミントン協会役員名簿

(1)　山形地区バドミントン協会役員名簿

昭和60年７月24日現在

役職名	選出別	担当	氏名	勤務先	電話	郵便番号	住所	電話
顧問			熊谷重四郎		(23)2465	990	山形市宮町４―５―28	(23)2465
			小関　三郎	ジャワ商会	(33)0333	〃	〃　六日町７―28	(33)0333
			板垣　隆房	板垣商店	(22)1551	〃	〃　木の実町９	(22)1551
			鈴木伝四郎	㈱でん六	(44)4422	〃	〃　春日町11―５	(45)2388
会長			猪股　義朗	㈱油圧精工	(86)2116	990-21	〃　伊達城３―４―11	(87)4631
副会長			深瀬　悦男	市議会議員	(32)8057	990	〃　六日町６―53	(32)8057
理事長			桔梗　喜一	日大山形高校	(41)6631	〃	〃　薬師町２―13―18	(31)5916
常任理事	専門部	審判委員長	阿部　英典	阿部クリーニング	(44)3107	〃	〃　城南町３―６―19	(44)3107
		副委員長	鈴木　国夫	日本製乳	(45)4594	990-21	〃　伊達城３―６―８	(86)4643
		副委員長	伊藤　政巨	伊藤電設工業	(33)0640	990	〃　東原町４―11―19	(22)1672
		強化委員長	清水　秀裕	城北女子高	(45)3377	〃	〃　あかねヶ丘３―８―14	(45)2871
		副委員長（ジュニア強化）	橋本　則之	㈲森金属	(55)5085	〃	〃　下条町１―２―６	(45)1123
		副委員長	三浦　一則	丸果青果	(86)3535	〃	〃　鈴川町３―８―14 鈴川県営アパート345	(31)5019
		競技委員長	東海林正則	山形商業高校	(43)4115	990-23	〃　大字谷柏27―５	(88)4525
		副委員長	渡辺　勝利	山形銀行本店	(23)1221	990	〃　小白川町５―７―32	(24)0501
		副委員長	山田　幹夫	小笠原商店	(22)5718	〃	〃　印役町４―５―３	(23)7158
		指導委員長	伊藤　則久	漆山駅	(84)8020	〃	〃　岩波123	(42)0704
		副委員長	伊藤　洋一	㈱でん六	(44)4422	〃	〃　白山４―７　山口ハイツ	(41)5192
		副委員長	五十嵐正弘	㈲新栄スポーツ	(43)4431	〃	〃　柳原41―２	(43)5355
		少年団育成	安達　敏一	山形市役所下水道	(41)1212	990-21	〃　大字渋江９―１	(84)7650
		家庭婦人連盟	髙橋トシ子	主婦	(22)4066	990	〃　六日町６―30	(22)4066
	中体連	指導強化	小関　徳雄	山形一中	(22)0124	〃	〃　北町４―２―14	(84)1793
	実業団		早坂　周助	ヤマケン空調㈱（実業団事務局長）	(44)1236	〃	〃　西田４―15―28	(45)0737
	事務局	事務局長	坂野　清弥	日大山形高校	(41)6631	990-04	中山町岡28―１	(62)2418
		次長	太田　和男	西村山地方事務所	0237(86)8111内207	991	寒河江市大字高屋字北江67―12	0237(86)9255
理事			加藤　秀実	山形学院高校	(42)6809	999-22	南陽市二色根258―27	0238(40)2722
			柴田　惇一	県野球場	(62)5361	990	山形市小立９―８	(31)9082
			佐藤　秀昭	皿屋うちわ店	(22)5315	〃	〃　本町２―１―11	(22)5315
			菖蒲　清一	東海山形高校	(88)3022	990-06	寒河江市大字白岩76	0237(87)3612
			矢萩真喜子	渡辺歯科医院	(33)1717	990	山形市千歳１―17―９	(84)4650
			芝田　敦子	山形銀行鈴川支店	(22)9196	〃	〃　高原町青野縄903―６	(24)0446
	地域代表	上山地区	村山　英十	丸正食料品店	(72)0365	999-31	上山市十日町875	(72)0365
		天童地区	立里　精二	自営業	(53)4896	994	天童市天童乙150―24	(53)2860
		中山地区	穂積　和夫	自営業	(62)5142	990-04	中山町大字土橋22―33	(62)5142
		寒河江地区	佐藤　薫	自営業	0237(86)0034	991	寒河江市大字高屋字西浦216―２	0237(86)0034
		〃	鈴木　常治	寒河江市役所	0237(86)2111	990-04	中山町長崎3167―10	(62)2070
		河北町地区	布川　成美	磐田電工㈱	0237(72)3211	999-35	河北町谷地乙15	0237(72)5423
		西川町地区	阿部　光雄	山形食糧事務所	(22)7231	990-07	西川町大字吉川592	0237(74)3819
		朝日町地区	鈴木　俊一	自営業	0237(67)2217	990-14	朝日町宮宿1026	0237(67)2217

役職名	選出別	担当	氏名	勤務先	電話	郵便番号	住所	電話
理事	実業団	審判	高橋 溥	県庁 管財課	(30)3002	990-23	山形市南松原1－9－1－201	(88)5579
		〃	会田 久夫	山形建設事務所	(21)8100	990	〃 大字滑川312	(29)2162
		〃	浦山 潔	浦山洋服店	(41)1753	〃	〃 七日町4－3－8	(41)1753
		〃	林 健二	自衛隊	0237(48) 1151内292	〃	〃 八日町2－5－1	(41)3330
		〃	月田 充律	山形農協北部	(84)0869	〃	〃 東原町4－5－28	(31)4965
		〃	小野 明広	小野魚店	(22)3360	〃	〃 本町2－1－48	(22)3360
		〃	村山 四郎	村山工機	(56)2030	994		
		強化	尾形 一男	ヤマケン空調㈱	(44)1236	990	山形市蔵王桜田320 元木アパートB－308号	(23)7639
		〃	伊藤 恵子	東陶機器	(42)4316	〃	〃 白山4－7 山口ハイツ	(41)5192
		〃	佐藤栄美子	㈱でん六	(44)4422	〃	〃 久保田3－1－29	(45)2199
		〃	片山 二朗	片山商店	(22)5727	〃	〃 宮町1－12－16	(22)5727
		〃	吉田 貞義	新山丸商事	(44)8608	〃	〃 城西町3－7－32	(44)4267
		〃	加藤 信之	県工業振興協会	(42)6971	〃	〃 東青田1－8－79－5	(23)1541
		〃	松田 勝俊	日立化成	(44)9222	〃	〃 宮町3－10－21	(23)4149
	社会人	競技	朝倉 保昭	市役所（清掃事務所）	(41)1212	〃	〃 印役町3－8－5	(32)8173
		〃	中川 善雄	中川設計事務所	(45)5503	〃	〃 西田1－1－30	(45)5503
		〃	金子 喜一	浜井電子	(44)8119	〃	〃 印役町1－12－16	(32)8255
		〃	松田 淳一	ダリーンまつだ	(42)0260	〃	〃 緑町3－2－54	(42)0260
	クラブ	〃	三井 尚浩	三井豆腐店	(22)0078	〃	〃 鉄砲町1－5－10	(22)0078
		〃	武田 良明	山形中央水産	(86)3611	〃	〃 若葉町7－5	(31)3928
	OB代表	指導	渋谷 忠雄	県体育館	(44)5656	〃	〃 七日町1－1－6	(32)0537
		〃	吾妻 正幸	自営業	(23)1753	〃	〃 銅町1－5－20	(23)1753
		〃	荒木 愼一	国鉄山形駅	(22)3068	〃	〃 香澄町1－16－28	(32)5980
		〃	富塚 充	出羽薬品	(33)2882	〃	〃 上町5－2－7	(44)1869
		〃	丹 輝子	主婦	(22)5663	〃	〃 旅籠町3－3－17	(22)5663
		〃	那須 カノ	主婦	(22)5628	〃	〃 円応寺町4－12	(22)5628
		〃	桜井 雅人	山形三中	(44)3903	999-31	上山市四ッ谷2－3－45	(72)7776
	高体連	審判	入間 照雄	山形南高校	(22)3502	990	山形市印役町2－3－40	(23)1721
		競技	深瀬長太郎	山辺高校	(64)5462	〃	〃 印役町3－9－27	(41)8714
		指導	遠藤 宏一	山形工業高校	(22)4934	994	天童市大字高擶北2121	(55)4123
		強化	永井 司	竹田女子高校	(43)0323	990	山形市木の実町7－39	(41)3851
		審判	佐藤 正彦	山形西高校	(41)3504	991	寒河江市六供町1－5－18	0237 (86)2396
		強化	渡辺 正紘	山形東高校	(31)7579	〃	〃 西根1－8－7	0237 (86)4023
		競技	須田 晃雄	天童高校	(53)6121	990	山形市飯塚1353－19	(43)1615
		〃	児玉 好之	山形北高校	(32)0427	991	寒河江市寒河江字越井坂 51－11－2	0237 (86)8975
		〃	津野尾 厳	山形中央高校	(41)7312	990	山形市末広町3－18	(42)6740
監査			黒木 武彦	高体連事務局	(24)0929	〃	〃 緑町2－12－30	(23)7003
			荒井 謙治	山形銀行	(24)1220	〃	〃 南二番町14－10	(23)3382
県協会担当理事			金森 義弘	県庁 財政課	(30)2048	〃	〃 桜町2－31	(23)7687
			渡部 二雄	山形大学	(31)1421	〃	〃 七日町5－7－21	(32)0576
			山口 良典	㈱でん六	(44)4422	990-23	〃 蔵王桜田41－12	(41)5038
			郷野 隆弘	錦武道具店	(22)1550	990	〃 旅籠町1－1－30	(22)1550
			武田藤一郎	山形市役所	(41)1212	〃	〃 沼の辺町6－3	(42)6881

事務局所在地 〒990 山形市鳥居ヶ丘4－55 日本大学山形高等学校内 坂野清弥 ☎41－6631

(2) 新庄地区バドミントン協会役員名簿

職職名	氏名	住所	TEL
名誉会長	加藤健	新庄市住吉町2－3	(22)7466
会長	押切朝吉	〃 常葉町3－4	(22)4181
副会長	佐藤幸吉	〃 北町1－8	(22)5648
〃	荒川芳雄	〃 小田嶋3－66	(22)0464
顧問	楠岡三郎	〃 城西町2－16	(22)4464
理事長	斉藤慎一郎	〃 大町3－39	(22)0698
副理事長	高山昌三（高体連）	〃 十日町2754－4	(23)1008
〃	真室順一	〃 城西町5－37	(23)3192
事務局長	本堂親愛	〃 上金沢町1－14	(22)5445

(3) 置賜地区バドミントン協会役員名簿

役職名	選出体・担当名	氏名	勤務先	自宅住所	勤務先電話	自宅電話
顧問	置高体連バドミントン部長	佐々木三男	米沢商業高校長		(22)8055	
会長		伊藤勉	米沢女子高校	米沢市通町3丁目8－77－4	(22)0091	(21)0680
副会長		近藤健二	寝装プラザ麻屋	〃 門東町1丁目2－64	(23)1196	(23)1196
〃	南陽	須貝富夫	宮内郵便局	南陽市宮内2224－1		(47)2985
〃	川西	高橋明夫	自営	川西町時田1005		(42)5713
〃	長井	伊藤猛	マルコン電子	長井市中道2丁目4－16	0238(84)1936	0238(84)5455
〃	白鷹	白岩隆	山形新聞荒砥専売所	白鷹町荒砥乙578－12	0238(85)0047	0238(85)0047
理事長		新国治	浜田ワイン	米沢市矢来2丁目7－33	(37)4024	(21)4374
副理事長	事務局	水沼充	山大工学部	〃 城南5丁目3－42	(22)5181	(22)9168
常務理事	競技委員長	鹿野昭男	米沢工業高校	〃 本町2丁目6－25	(23)5072	(23)4775
〃	強化〃	情野宏幸	山形ダンロップ	川西町洲島1420	(22)5050	(44)2428
〃	審判〃	種部寛彰	米沢興譲館高校	米沢市東大通3丁目5－27	(23)4741	(22)3914
〃	指導〃	小関勝也	自営	〃 城南2丁目1－23		(23)1388
〃	社会人〃	松本正	遠藤書店	〃 太田町4丁目1－102－23	(23)0893	(38)3201
〃	高体連〃	神尾慶蔵	米沢女子高校	〃 赤芝町147	(22)0091	(32)2128
〃	事務局	伊藤輝雄	米沢平野土地改良区組合	〃 太田町2丁目1－41	(23)0015	(22)2555
〃	〃	小沢正志	NEC高畠工場	〃 下花沢3丁目9－71	(57)2211	(23)9749
理事	競技副委員長	白幡広司	最北精機㈲	〃 芳泉町1693－2	(37)3190	(38)5225
〃	強化〃	高橋清数	南陽市役所	南陽市宮内2333－17	(40)3211	(47)7216
〃	審判〃	笹木幸一	自営	川西町尾長島1019		(44)2589
〃	指導〃	竹田敏明	米沢駅 車掌区	〃 中小松2858	(22)1138	(42)4218
〃	社会人〃	大坂国栄	NEC高畠工場	高畠町大字福沢525－5	(57)2211	(57)4079
〃	〃〃	遠藤晶	田村電機	米沢市福田町1丁目		(21)0771
〃	米沢	山口晃人	長井駅	〃 泉町2丁目1－43	0238(84)1529	(38)4684

役職名	選出体・担当名	氏名	勤務先	自宅住所	勤務先電話	自宅電話
理事	南陽	高橋貞一	米沢税務所	南陽市宮内3539	(22)6320	(47)3687
〃	川西	島貫伝左エ門	川西測量設計	川西町吉田3577	(46)2240	(44)2035
〃	長井	鈴木一則	長井市役所	長井市泉850	0238(84)2111	0238(88)3315
〃	白鷹	保科久一	菅沼タイプ	白鷹町荒砥甲1005	0238(85)5253	0238(85)5246
〃	中体連	福田道子	米沢第二中学校		(22)3455	
〃	会長推薦	佐竹和夫	学校給食共同調理所	長井市あら町4—12	0238(84)2019	0238(84)3466
〃	〃	鈴木要一郎	長井市役所	〃 河井27	0238(84)2111	0238(88)9313
〃	〃	熊谷伸一郎	西置賜地方事務所			
〃	〃	佐藤正則	自営			
〃	〃	高橋清次	米沢NEC	〃 東町2—20	(22)3333	0238(84)2942
〃	〃	斎藤隆	NEC高畠工場		(57)2211	
〃	〃	手塚昇一	網代土建㈱	米沢市大字上新田1074—5	(28)2775	(37)3486
〃	〃	重野勝美	米沢駅 保線区	〃 吾妻町7—2	(22)1139	(38)3084
〃	〃	小林俊巳	シールド維織	〃 関根北館14316—10	(28)7515	(35)2463
〃	〃	小野田信子	宮内小学校	南陽市中ノ目1414—1	(42)2640	(40)3535
〃	〃	石山頼子	米沢市立病院	米沢市赤芝町158	(22)2450	(32)2349
〃	〃	佐々順子	東北パイオニア	〃 東大通3丁目11—4	(28)1211	(23)7932
〃	〃	吉田昌代	山形テレビ置賜支局	〃 大字竹井2303	(23)9060	(28)0105
〃	〃	皆川淳子	ワボー	〃 城西4丁目2—37	(23)9111	(23)8231
〃	〃	内藤直美	米沢NEC	〃 窪田町窪田2212	(22)3333	(37)3286
〃	〃	情野小百合	〃	〃 大字芳泉町2561	〃	(38)2149
〃	〃	後藤久美	城南小児科医院	〃 下花沢1丁目15—12	(23)6100	(23)8281
〃	〃	鈴木幸子	玉井眼科	南陽市宮崎591—1	(43)3464	(43)5709
〃	〃	鈴木美紀子		〃 宮内2244		(47)5598
〃	〃	関清隆	石沢製作所	長井市清水町1丁目13—24	0238(85)2574	0238(84)0134
監事		船山実	県中央信組本店	川西町上小松1136	0238(84)2187	(42)3017
〃		伊藤隆一	東南置賜地方事務所	南陽市赤湯242	(22)2100	(43)4482

(4) 鶴岡地区バドミントン協会役員名簿

役職名	氏名	住所	自宅電話	勤務先	勤務先電話
名誉会長	金井勝助	鶴岡市家中新町6－2	(22)0304		
顧問	日向文吾	鶴岡市陽光町1－6	(23)8042		
〃	谷口晴敏	鶴岡市上畑町9－11	(22)7764		
〃	三浦経夫	鶴岡市昭和町11－11	(22)3237	鶴岡印刷㈱	(22)3087
〃	大川健市郎	鶴岡市三和町9－19	(22)3923	第一学区コミュニティ防災センター	(25)1615
〃	本間喜雄	鶴岡市山王町8－14	(22)0467	㈲ホンマスポーツ	(22)0467
〃	土屋功位	鶴岡市東新斎町7－9	(23)7555	山形大学農学部	(23)1521
〃	富塚玄太郎	鶴岡市陽光町12－52	(24)3331	東北ラケット工業㈱	(22)3267
参与	秋保親文	鶴岡市上畑町3－3	(22)4098	鶴岡南高等学校	(22)0061
〃	柴田康也	鶴岡市朝暘町4－12	(22)0784	鶴岡工業高等専門学校	(22)3030
〃	三浦昌奐	鶴岡市大東町7－20	(22)6637		
会長	毛呂千鶴夫	鶴岡市泉町8－14	(24)0990	毛呂歯科医院	(22)1117
副会長	宮川清	鶴岡市千石町8－28	(22)0153	宮川洋品店	(22)1351
〃	窪田寛士	鶴岡市睦町10－21	(24)2888	鶴岡市役所	(25)2111
〃	中鉢喜八郎	鶴岡市錦町18－2	(22)5822	鶴岡市役所	(22)0411
〃	高体連 中村昭太郎	鶴岡市若葉町14－4	(22)2667	鶴岡家政高等学校	(22)1200
〃	中体連 渡部俊一郎	鶴岡市上畑町6－19	(24)7401	福栄中学校	(47)2114
理事長	横山正	鶴岡市道田町4－1	(22)2753	鶴岡工業高等学校	(22)5505
副理事長	大川利男	鶴岡市本町3丁目4－17	(22)7150	鶴岡市役所（清掃事業所）	(22)2848
常任理事	佐藤実	鶴岡市青柳町4－19	(23)8051	鶴岡第一中学校	(22)0530
〃	大川雅弘	鶴岡市長者町6－23	(24)2197	荘内銀行本店	(22)5211
〃	剱持誠	鶴岡市上畑町8－55	(22)3487	荘内銀行三瀬支店	(73)3021
〃	島貫洋一	鶴岡市上畑町9－18	(22)3848	羽黒工業高等学校	(62)2105
〃	村田潤一	鶴岡市砂田町4－14	(23)5329	日産火災海上保険㈱	(22)0917
〃	真田昭良	鶴岡市大字関根乙47	(35)3469	鶴岡市役所	(25)2111
〃	岡田寿紀	鶴岡市泉町1－14	(24)2028	酒田ＮＴＴ	(22)8500
〃	吉住彰	鶴岡市文園町7－43	(24)3200	両国屋	(23)1211
〃	高体連 稲垣聡一	鶴岡市上畑町9－36	(24)2063	鶴岡南高等学校	(22)0061
〃	丸山勝美	鶴岡市美原町2－43	(22)2634	サンハイツ山本 荘内病院	(22)1515
〃	秋庭一生	鶴岡市家中新町13－41	(23)0290	鶴岡市役所	(25)2111
〃	高橋克彦	鶴岡市新形字上鳥の巣8－20	(24)6830	鶴岡工業高等学校	(22)5505
事務局	小林保夫	鶴岡市砂田町21－8	(23)9684	鶴岡市役所	(25)2111
〃	上原正明	鶴岡市稲生町18－24	(24)9161	鶴岡市役所	(25)2111
理事	会長推薦 新橋武	鶴岡市馬場町12－57	(22)1615	酒田商業高等学校	(22)0444
〃	会長推薦 原田友昭	三川町大字押切新田字	(66)2375	鶴岡南高等学校	(22)0061

役職名	近　　名	住　　所	自宅電話	勤　　務　　先	勤務先電話
理　事	会長推薦 田中稔一	鶴岡市家中新町12—14	(23)5552	鶴岡工業高等学校（定時制）	(22)5505
〃	会長推薦 工藤勝男	鶴岡市大字平京田字東深2—10	(25)1265	ダイハツ販売㈱	(22)8831
〃	会長推薦 吉住昭	鶴岡市文園町4—48	(24)5386	山形銀行	(22)5530
〃	会長推薦 近野信一	鶴岡市泉町8—18	(22)3274	太平興業㈱	(31)3381
〃	二中 荒井正人	鶴岡市大宝寺町5—32 富樫アパート5号室	(24)3083	鶴岡第二中学校	(22)8323
〃	三中 小林和男	鶴岡市稲生町22—40	(23)4613	鶴岡第三中学校	(22)2793
〃	四中 佐藤健吾	鶴岡市千石町4—24	(22)6946	鶴岡第四中学校	(24)7330
〃	大山中 高橋昭夫	羽黒町大字荒川字西田65		大山中学校	(33)2222
〃	羽黒中 長南征子	朝日村大字上田沢字東ノ内		羽黒中学校	(62)2100
〃	鶴北高 石井亮	鶴岡市双葉町13—38	(23)5444	鶴岡北高等学校	(22)2262
〃	山添高 板垣宏	鶴岡市長者町18—13	(23)9367	鶴岡山添高等学校	(57)2100
〃	鶴南高 板垣隆	鶴岡市若葉町14—6	(22)2666	鶴商学園高等学校	(22)0223
〃	鶴家政 植松芳平	鶴岡市新形町20—5	(23)7728	鶴岡家政高等学校	(22)1200
〃	鶴西高 門野健治	鶴岡市若葉町20—21	(24)7244	鶴岡西高等学校	(33)2374
〃	鶴工専 田辺光夫	鶴岡市双葉町3—10	(23)9544	鶴岡工業高等専門学校	(22)3030
〃	エーコンズ 水尾昭	鶴岡市睦町3—52	(22)7156		
〃	ラブオール 阿部秀春	鶴岡市日出町17—19	(24)8063	庄内支庁	(66)2111
〃	大山バド 海藤甚一	鶴岡市大山一丁目11—1	(33)3889	秋山鉄工㈱	(22)1850
〃	婦人 成沢松子	鶴岡市長者町16—16	(23)8367		
〃	鶴羽 佐藤俊子	鶴岡市大字新斎部字砂田64—5	(23)3100		
〃	シャトル 阿部協子	鶴岡市大字日枝字海老島272—11	(23)8034		
〃	ウィングス 松浦蓮	鶴岡市美原町9—22	(23)4912	㈱大洋モータース	(22)2593
〃	かもめの会 神林久	羽黒町大字手向院主南65	(62)3128	佐藤歯科医院	(62)2164
〃	櫛引 佐藤正幸	櫛引町大字黒川字小在家268	(57)2255		
〃	市役所 佐藤茂	鶴岡市新海町15—5	(22)7345	鶴岡市役所	(25)2111
〃	高専 伊藤健一	鶴岡市日出町6—3	(22)8466	鶴岡工業高等専門学校	(22)3030
〃	まどか 遠藤一良	鶴岡市みどり町2—21	(23)1007	庄内菱農㈱	(24)5161
〃	聖火 佐藤正博	鶴岡市朝暘町6—5—103	(24)4818		
監　事	尾形勝也	鶴岡市三和町1—25	(22)8476	鶴岡市役所	(25)2111
〃	東野彰	三川町大字押切新田字早稲田77	(66)2376	鶴岡北高等学校	(22)2262

(5) 酒田地区バドミントン協会役員名簿

役職名	氏名	所属	市体協役員	住所	自宅電話	勤務先	勤務先電話
会長	弦巻作治		副会長	酒田市大町1－9－7	(22)1367	㈱弦巻	(22)5441
副会長	小柴悦三		総務委員長	〃 本町2－5－19	(22)1636	㈱東邦商事	(23)3441
理事長	渋谷吉章		総務委員 理事	〃 中町2－4－30	(23)3045	酒田工高	(34)3111
副理事長	齋藤司		強化委員 評議員	遊佐町上長橋21－3	(72)3467	齋藤工芸	(52)3255
事務局長 理事	高橋藤蔵	東北東ソー		酒田市北新橋1－6－24松の寮	(24)7833	東北東ソー化学㈱	(33)6111
理事	金谷弘三	酒工		〃 東中の口町8－18	(23)0827	酒田工高	(34)3111
〃	菅原伸一	〃		〃 上本町1－27	(26)1505	〃	〃
〃	菅原利勝	酒田バド愛好	施設委員	〃 北新橋2－6－22	(24)2073	サン機材	(24)2321
〃	林敏和	前田製管		鶴岡市湯野浜1－12－11	02357 (5)2075	前田製管	(23)5111
〃	和島豊志	酒田市役所		酒田市北新橋1－3－11	(24)8964	酒田市役所教委	(22)5111
〃	伊藤秀明	余目バド		余目町大字南口	(43)3015		
〃	佐々木健夫	市民バド	普及委員	酒田市山居町2－8－26	(26)0337	酒田市浄水場	(22)1019
〃	富樫淳	酒田バド愛好		〃 北千日町3－13	(34)3014	㈱酒井組	(24)3242
〃	児玉光二	〃		〃 新橋4－13－27	(24)6260	酒田市役所税務課	(22)5111
〃	佐藤弥	八幡バド		八幡町新出村下37－8	(64)3159	八幡町役場	(64)3111
〃	田沢嘉治	酒田共火		酒田市亀ヶ崎6－10－1 233号	(23)3453	酒田共同火力発電	(34)2321
〃	新館和弘	松山バド		松山町南新屋敷52	(62)3222	ソニーサービスステーション酒田	(24)1135
〃	中鉢一人	アルム		酒田市緑町18－7	(23)9273	酒田駅車掌区	(22)0801
監事	平方孝夫	ファスト		酒田市緑町13－3	(23)2316	㈱吉宮	(24)1411
〃	阿部直義	遊佐バド		遊佐町北目菅野谷地37－1	(77)2656	㈱庄内クボタ	(22)4644

4　山形県バドミントン協会30周年記念事業の概要

(1) 式典　昭和56年４月12日（日）

PM　1：30　　山形グランドホテル

山形県バドミントン協会創立30周年記念祝賀会次第

開会のことば	県バドミントン協会副会長	猪股義朗	
会長あいさつ	県バドミントン協会会長	鈴木伝四郎	（株式会社でん六社長）
祝辞	山形県知事	板垣清一郎殿	（〔財〕県体育協会会長）
	日本バドミントン協会会長	本田弘敏殿	
	衆議院議員	鹿野道彦殿	
	山形放送副社長	服部利康殿	
感謝状・表彰状贈呈	（別紙のとおり）		
謝辞	前バドミントン協会会長	押切朝吉殿	（新庄市長）
乾杯	県議会議員	吉村和夫殿	
お祝のことば	県体育保健課長	鈴木静夫殿	（〔財〕県体協専務理事）
	前県バドミントン協会理事長	熊谷重四郎殿	
	県体協評議員	小柴悦三殿	
	電々東京バドミントン部監督	鈴木健二殿	
万歳三唱	県バドミントン協会理事	豊岡昭蔵	（天童高校教頭）
閉会のことば	県バドミントン協会副理事長	金森義弘	
司会　山形県バドミントン協会常務理事		郷野隆弘	

(2)　山形県バドミントン協会長　鈴木伝四郎あいさつ

本日は山形県バドミントン協会創立30周年記念式にあたり板垣県体育協会長、日本バドミントン協会、鹿野道彦代議士、服部山形放送副社長様はじめ300名近い多勢の方々のご参加を得ましたことを厚く御礼申し上げます。

当協会は私達の先輩の皆様が戦後の混乱期に色々な困難を克服して創立され、以来歴代会長及び諸役員先生方が、国民体位向上という大きな使命を担い、団結を強め強固な組織をもってバドミントンの普及と発展に並々ならぬ努力を傾けてまいられました。

私達はこれまでの30年を一区切とし、そして新たな第一歩を踏み出すために、ここに記念式を挙行させていただきました。

この30年を振りかえり大きく分けてみますと、協会創立の昭和25年～30年までを創設期とすれば、30年からは特に昭和32年、33年、34年、35年までインターハイ四連勝がさんぜんと輝いております

また個人優勝及び国体での優勝も数多くございます。「47インターハイ」を加えての黄金時代、その後現在まで全国のリーダー県として各種の全国大会や国際舞台でも大活躍、幾多の名選手を輩出いたしました。一方では一般高校生の強化は勿論底辺拡大のための普及努力のおけげで、ママさんクラブ、職場、各地区のクラブ、中学校、少年団等の組織も年を追うごとに拡大強化され確固たる協会に成長することができました。当協会の30年の歩みはまさに栄光の足跡でもあります。

これもひとえに本日感謝状及び表彰状を受領される方をはじめ、会員の皆様のご努力の賜であり、かつ本式典に御参列賜りました御来賓の皆様、バドミントン、スポーツ業者の各社様、いつも多大な御協賛をお願いしておりますスポンサーの皆様の格別なる御引立と御援助のおかげでございます。ここに重ねて厚く御礼を申し上げる次第でございます。なお、本席をお借り致しまして皆様にご報告を申し上げます。

去る3月8日、県協会総会におかれまして、ジャワ商会社長小関三郎様個人より金100万円という多大な金額を「中・高校生の競技育成強化のため」と言うことでお贈り賜わりました。小関様の変わらぬバドミントンへの愛情と情熱には頭の下がる思いでございます。小関様本当にありがとうございました。

30年と言うすばらしい礎ができ参加者の皆様の御理解と、バドミントン競技に対するご尽力に答えるため、当協会は今後も益々強化していかねばなりません。

昭和67年の「山形県国体」は県知事はじめ、県議会、スポーツ団体を中心に県民あげての誘致努力のおかげで、去る1月9日に決定したしました。地元国体はスポーツ界関係者及び指導者達をいやがうえにも燃え上げさせるものであります。当協会としても年度ごとの目標と10年後の国体までの指導目標と同時に立案し、この計画を実行していかねばなりません。

県協会では、これからの課題の第一としてトップレベルの指導体制はできている半面、中学生への強化指導は従来は単発的でありましたが、今年度からは強化指定を決め、重点的に定期的に指定して行きたいと考えておりますし、また芽ばえてきた各地区のスポーツ少年団結成の動きを大事に

し、かつ現在山形市では少年バドミントン教室も生れております。

これらの芽を大切に花開かせ、一カ年一カ年拡大し、小・中・高と一貫した指導体制を確立したいと思います。

第二の課題として指導者の育成とその確保の問題であります。ややもすると行政依存になり「県や市で何とかならないか」とする頼りがちになりますが、民間レベルに於いて特に地元の各企業の御理解とご協力を求める努力をもっともっとやるべきであります。

当協会では率先して実行しておりますが、他のスポーツ協会まで波及されようとしていることは喜びにたえません。

優秀選手の県外流出を食いとめ、地元に戻って指導して頂けるように、行政依存ばかりでなく企業での受け入れ体制づくりに努力して参りたいと思います。これこそ「地方の時代と言われるスポーツ」のあり方ではないでしょうか。

記念すべき30年を節目として、栄光の伝統を再現すべく県協会あげて努力することを誓うものであります。

最後に本日の記念式典にたずさわって頂きました実行委員の皆様の熱意に対し心から感謝申し上げますとともに、本日の30周年記念式を開催出きましたことを皆様と共に喜びを分かちあいたいと思います。

誠に有りがとうございました。

昭和56年4月12日

山形県バドミントン協会
会長　鈴　木　伝四郎

(3)　日本バドミントン協会長　本田弘敏あいさつ

山形県バドミントン協会の創立30周年を心からお慶び申しあげます。

日本のバドミントンが戦後の細(ささや)かな基盤からスタートして国際的には、ユーバー杯の4回優勝をはじめ、数々の国際競技大会において輝しい戦績を挙げ、また国内に在りましては、全日本総合大会を中心とした各種国内大会においての大きな成果等、内外に亘っての今日のめざましい発展を見るに到りましたことは、偏に貴県協会ならびに全国の各県協会の揺ぎない基盤に支えられてのことであります。

このように日本バドミントン協会の業績が、全国各地域の力の集積によって形成されておりますように山形県バドミントン協会の今日(こんにち)ある姿も、この30年の歴史の中にあって、役員として選手として、また愛好者として、県内の多くの方々の有形・無形のご努力・ご協力により築きあげられたものであり本競技の普及発展に尽くされた、これら多くの県内のバドミントン関係各位に対し、私はここに深甚の敬意と感謝の意を表する次第であります。

貴県協会におかれてはこれまでにインターハイを3回も開催される等、次代を担う若い力の育成に尽くされ、幾多の名選手を輩出されました。この中にあって男子の板垣隆房現理事長兄弟、女子における高橋トモ子選手を生み出したことは貴県協会の誇るべき特筆事項でありましょう。

本年は第9回ユーバー杯大会が開催されますが、ユーバー杯大会における板垣監督、高橋選手のめざましい活躍を更めて強く想起されるのであります。

このような光輝ある歴史をもつ貴県協会のますますのご発展と会員各位のご繁栄、ご健勝を祈念して、30周年に当ってのお祝いの辞としたします。

昭和56年4月12日

日本バドミントン協会
会長　本　田　弘　敏

(4) 受賞者一覧

感謝状

・押切朝吉殿　(新庄)
・熊谷重四郎殿　(山形)
・小関三郎殿　(山形)
・田中達殿　(山形)
・榎森浩一殿　(山形)
・桔梗喜一殿　(山形)
・豊岡昭蔵殿　(山形)
・弦巻作治殿　(酒田)
・小柴悦三殿　(酒田)
・渋谷吉章殿　(酒田)
・加藤健殿　(新庄)
・渋江実殿　(新庄)
・片野広殿　(米沢)
・伊藤勉殿　(米沢)
・金井勝助殿　(鶴岡)
・日向文吾殿　(鶴岡)
・宮川清殿　(鶴岡)
・有限会社ジャワ商会殿　(山形)
・ヨネックススポーツ株式会社殿　(東京)
・カワサキラケット株式会社殿　(東京)
・株式会社諸江製作所殿　(東京)

表彰状

・板垣隆房　(43才)　山商卒、立教大卒
現在、㈱板垣商店
オールジャパン　単　優勝
トーマス杯、ユーバー杯、全英選手権、ワールドカップ、各監督
日本コーチとして海外派遣（数回）
県高体連、県教委、県体協より表彰
現在、日本バドミントン協会常務理事（強化副委員長）

・板垣善憲殿　(40才)　山南卒、立教大卒
現在、トヨタ自工勤務
第13回国体優勝
全日本実業団及全日本社会人　単・復　優勝
トーマス杯代表選手
国際招待大会（インドネシア）団体優勝
県教委、県体協より表彰

・鈴木健二殿　(36才)　山形一高卒、法政卒、現在、電々東京勤務
インカレ　複　優勝
オールジャパン　複　優勝
国際招待大会（インドネシア）団体優勝
県体協より表彰

・味蓼とも子殿　(35才)　城北高卒、日女体大卒
(旧姓高橋)
インカレ　単　三連勝、複　2回優勝
ユーバー杯2回優勝
アジア大会団体優勝
山形新聞3P賞受賞、県教委、県体協表彰

特別感謝状

・小関三郎殿　(有限会社ジャワ商会社長)
本協会創立より県バドミントン競技の振興に尽され、今年度の総会において選手強化育成（高校生・中学生）費として100万円をたまわりました。

(5)　日本リーグ山形大会を終って

実行委員会事務局長　郷　野　隆　弘

前日とはうって変り、体育館の外は一面の銀世界。観客の出足が非常に心配された山形大会。しかし、私達の予想に反し、吹雪の中、開館を待ちきれない長蛇の列。その熱意が声援が、選手の闘志を奮いたたせ、随所に好プレーが見られ、3,500 名のファンは、日本を代表する一流選手のパワー、スピードに充分満足していただけたと思います。

山形大会開催の大きな目的は三つありました。

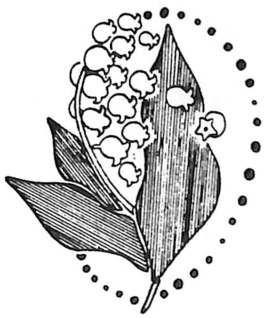
第１は、バドミントン競技への理解と協力をいかに進めていくか――

今回は特にマスコミ各社の絶大なるご協力をいただくことができました。例えば、ＮＨＫでは始めて、テレビ、ラジオ20日間連続、大会の告知をしていただき、山形新聞紙面は５回、ＹＢＣは大会関連ＰＲも含めラジオテレビで実に９回も放送願い、更にＹＴＳは報道番組を主に３回、県内スポーツファンには、いずれかの方法で伝達されたことと思い、観客数から判断いたしましても、競技の普及、底辺拡大も含めて当初の目標は達成されたと思います。

第二は選手強化（ジュニア）です。山形大会前日、板垣県協会理事長、永井強化委員長、ユーバー杯優勝選手（徳田、近藤、高田、米倉）、県出身選手（田所、赤塚、遠藤、米山）をはじめ25名の一流講師陣を招き「県バドミントン教室」を開催、小学生からママさんまで450名、日本を代表する選手に直接指導していただけたことは、今後、大きな自信となり、又、目標となったことと思います。山形大会に於ても優秀選手のプレーをコートサイドから自分の目で直接見ることも大変勉強になり、広い意味の普及、強化になったことと考えます。

第三は自主財源の確保であります。３年前に開催したユ杯優勝選手山形大会の経験と自信が大きくものを言い、実行委員が一丸となり、特に、入場券発売に全力投入できましたことが、多額の剰余金を残す要因と考え、今後、国内大会はもとより、国際大会迄開催できる組織・運営力ができたものと確信いたしております。勿論今後残された課題もありますが、短期間にこれほど成功裡に無事終えることができましたのも、鈴木会長を中心に実行委員各位、そして、多勢の皆様のご協力、ご支援の賜と深く感謝申しあげ、心から厚く御礼申しあげます。

山形大会開催を機会に〝67山形国体成功〟の大目標にむかい、指導強化も含めて、更に大きく躍進できるよう頑張りましょう！



(6) 記　念　事　業

(1) 式　　典



(2) ユーバー杯山形大会



(3)　日本リーグバドミントン山形大会





5. 日本バドミントン協会公認審判員名薄

1級公認審判員

番号	氏名	所属	取得年月日
1	板垣隆房	山形	53. 1. 9
2	金森義弘	〃	〃
3	安達敏一	〃	〃
4	入間照雄	〃	〃
5	桔梗喜一	〃	〃
6	黒木武彦	〃	〃
7	郷野隆弘	〃	〃
8	永井司	〃	〃
9	渡部二雄	〃	〃
10	鹿野昭雄	置賜	〃
11	斉藤慎一郎	新庄	〃
12	田中稔一	鶴岡	〃

2級公認審判員

1	林健二	山形	53. 1. 9
2	武田藤一郎	〃	〃
3	深瀬長太郎	〃	〃
4	三澤清美	〃	〃
5	尾関喜久	〃	〃
6	伊藤則久	〃	〃
7	遠藤宏一	〃	〃
8	東海林正則	〃	〃
9	渋谷忠雄	〃	〃
10	丸子邦夫	〃	〃
11	清水秀裕	〃	〃
12	鈴木国夫	〃	〃
13	阿部英典	〃	〃
14	斎藤敏彦	〃	〃
15	沼沢利一	〃	〃
16	渡辺正紘	〃	〃
17	村山英十	〃	〃
18	小嶋富弥	新庄	〃
19	本堂親愛	〃	〃
20	高山昌三	〃	〃
21	真室順一	〃	〃
22	田宮護夫	〃	〃
23	村岡義男	〃	〃
24	須田喜一	〃	〃
25	佐藤幸吉	〃	〃
26	千葉義秋	〃	〃
27	種部寛彰	置賜	〃
28	伊藤勉	置賜	53. 1. 9
29	近藤健二	〃	〃
30	須貝富夫	〃	〃
31	小川栄一	〃	〃
32	新国治	〃	〃
33	神尾慶蔵	〃	〃

3級公認審判員

1	会田久夫	山形	54. 1. 27
2	高橋溥	〃	〃
3	柴田惇一	〃	〃
4	多田信治	〃	〃
5	村山俊一	〃	〃
6	曳地由和	〃	〃
7	小関和夫	〃	〃
8	尾形昇	〃	〃
9	高橋信一	〃	〃
10	白田恵子	〃	〃
11	飯野あい	〃	〃
12	里見節子	〃	〃
13	栗野広美	〃	〃
14	松橋章吾	置賜	〃
15	高橋正明	〃	〃
16	大武淳子	〃	〃
17	色摩典子	〃	〃
18	横沢郁子	〃	〃
19	石山頼子	〃	〃
20	日下部勉	〃	〃
21	五十嵐史	〃	〃
22	豊原重典	〃	〃
23	渡辺記美子	〃	〃
24	鈴木博美	〃	〃
25	鈴木進	〃	〃
26	高橋貞一	〃	〃
27	渡部彰	〃	〃
28	大坂国栄	〃	〃
29	笹木幸一	〃	〃
30	情野宏幸	〃	〃
31	高橋明夫	〃	〃
32	阿部健一	新庄	
33	井上昌夫	〃	〃
34	柴田敏	村山	〃
35	阿部義光	〃	〃
36	五十嵐久仁男	新庄	〃

37	鈴木太加司	尾花沢	58．5．15
38	荒川芳雄	新庄	〃
39	中村朝明	最上	〃
40	成田誠	〃	〃
41	佐藤利平	真室川	〃
42	梅津賢一	新庄	〃
43	佐藤敬士	真室川	〃
44	土屋信雄	新庄	〃
45	大場英一	〃	〃
46	増川豊	山形	〃
47	須藤敏彦	〃	〃
48	内藤久助	〃	〃
49	荒井久義	〃	〃
50	河井昭	〃	〃
51	佐藤正	〃	〃
52	高橋トシ子	〃	〃
53	那須かの	〃	〃
54	樋口育子	〃	〃
55	長岡友子	〃	〃
56	鎌田恵子	〃	〃
57	佐々木キヨ	〃	〃
58	小松恭子	〃	〃
59	新関保子	〃	〃
60	斎藤澄子	〃	〃
61	須藤貴久子	〃	〃
62	高橋美智子	鮭川	〃
63	福原まり子	新庄	〃
64	小松利喜	真室川	〃
65	舟生君子	〃	〃
66	長山成子	新庄	〃

6.日本バドミントン協会公認指導員

1級公認指導員

番号	氏　名	所　属	取得年月日
1	桔梗喜一	山　形	53．1．19
2	斎藤慎一郎	〃	〃
3	渡部二雄	〃	〃
4	黒木武彦	〃	〃
5	郷野隆弘	〃	〃
6	永井　司	〃	〃
7	鹿野昭男	〃	〃
8	安達敏一	〃	〃
9	入間照雄	〃	〃

2級公認指導員

1	高山昌三	新　庄	53．1．19
2	真室順一	〃	〃
3	田宮護夫	〃	〃
4	村岡義男	〃	〃
5	小島富弥	〃	〃
6	本堂親愛	〃	〃
7	須田喜一	〃	〃
8	千葉義秋	〃	〃
9	佐藤幸吉	〃	〃
10	深瀬長太郎	山　形	〃
11	阿部英典	〃	〃
12	林　健二	〃	〃
13	三沢清美	〃	〃
14	丸子邦夫	〃	〃
15	東海林正則	〃	〃
16	遠藤宏一	〃	〃
17	伊藤則久	〃	〃
18	鈴木国夫	〃	〃
19	武田藤一郎	〃	〃
20	渋谷忠雄	〃	〃
21	尾関喜久	〃	〃
22	清水秀裕	〃	〃
23	近藤健二	置　賜	〃
24	種部寛彰	〃	〃
25	小川栄一	〃	〃
26	新国　治	〃	〃
27	神尾慶蔵	〃	〃
28	須貝富夫	〃	〃

あ と が き

昭和56年に基本構想が示されました「山形県バドミントン協会30周年記念誌」が約4年経過したこともありましてこのたび「山形県バドミントン協会史」として構想を練り直し発行することといたしました。編集委員会では特に「思い出の記」を協会史の中心にと考えできる限り多くの人にと原稿をお願いしたところ本当に御多忙にもかかわらず数多くの方々から原稿と貴重な写真をお寄せいただき誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

このたび過去の記録を整理しながら、今日の山形県バドミントン界の隆盛を見る時、いかに先輩諸氏が苦労し数々の困難を克服し、今日の組織の盛況の礎を築いてくださいましたがその熱情には頭の低くなる思いがしました。

この協会史をひとつの区切りとして、新たにバドミントン界における目標をうちたて精進していかなければならないものと覚悟しておりますので関係各位におかれては、今後ともよろしく御指導、御鞭撻下さいますようよろしくお願い申し上げます。「協会史」の刊行が大変遅れまして多方面に御迷惑をお掛けしましたこと、資料収集不足から、内容の不備な点につきましては重ねてお詫び申し上げます。

昭和60年10月

金森義弘　記

編集委員長　板垣隆房

編集委員　桔梗喜一　黒木武彦
入間照雄　深瀬長太郎
渡部二雄　山口良典
郷野隆弘　武田藤一郎
遠藤宏一　渋谷忠雄
金森義弘

山形県バドミントン協会史

昭和60年11月11日印刷
昭和60年11月16日発行

編集
発行　山形県バドミントン協会

印刷　豊　田　太　印　刷　所

協　賛　各　社

うちわ・せんす・カレンダー

新しいアイデアの贈答品

記念品・名入贈答品

有限会社 皿　屋

〒990 山形市本町２丁目１番(東北電力隣)
ＴＥＬ（０２３６）22―5315

新鮮な魚と青果物、おいしいお惣菜

お買物は当店で

さしみ、料理仕出し
いたします。
お電話下さい。

新鮮なものをより安く
フードショップ 丸正
上山市十日町　TEL2―0365

山形コンクリートサービス株式会社

山形市穂積75番の１

取締役社長　佐　藤　勝　彦

総合建設業　“ビル建築から
住宅建築まで”地域社会の発展に貢献する

株式会社 深瀬組

代表取締役　深　瀬　守　巨

本　社　山形市六日町６番54号　ＴＥＬ山形0236(31)3277(代)

設計監理　一級建築士事務所

中川建築設計事務所

所長 中川善雄（ゴールドクラブ）　伊藤　貢（ゴールドクラブ）
鈴木修一（〃）　奥山俊美（〃）
柴崎浩一（〃）　鈴木眞由美（〃）

事務所　山形市西田1丁目1—30　TEL0236（45）5503






あなただけのパーソナルカラー・シールを作っちゃおう！

★原稿はお手元の
カラー・プリント写真でO.K.！
★1セット（120Pie）で1,800円！

世界であなたしか持っていないカラーシールを作る新しいサービス・システムです。原稿は、カラー・プリント写真でも、手描きのイラストでもシール・サイズならO.Kです。あなたは、どんなシールを作ってみる。

各種印刷，版下製作，ホットスタンプ，スクリーン印刷



アキラプリントショップ
木口　顕
山形市旅篭町一丁目3—19
電話　0236（31）2802番

婚礼家具
〜
カーテン工事まで

皆様の豊かなライフスタイルづくりにお手伝いすべく
お客様の身になって楽しみながらお買求め出来る店づくりに心がけるつもりです。

中央高向い（インテリアショップ）

家具のコトブキ

山形市南原町1丁目19—34　☎（0236）32—2950（代表）
営業時間／AM9：00〜PM6：00

文具。事務用品。ミノルタ複写機。
ウチダスチール家具。紙工品　卸商

株式会社　カトー

山形市流通センター二丁目5-5
TEL(0236) 33~2345(代)



躍進する YTS

山形テレビ
〒990山形市城西町5－4－1TEL(45)1211

スポーツの殿堂 SHINEI スポーツマンの広場

新栄スポーツ

本　店　山形市やよい1丁目1番13号　TEL43—4431㈹
駅前店　TEL31—5041

一枚のキップから海外旅行まで

よりいっそう便利になった
ツーリストひまわり窓口

近畿日本ツーリスト 山形営業所 山形市香澄町2—2—39
(大正生命山形支社ビル1階)
運輸大臣登録一般旅行業第20号
一般旅行業取扱主任者　伊佐公孝
☎0236(32)3221㈹

やまびさ
山形市花小路
電(31)六二七〇番



山菜料理
磯料理

季節折々の味覚を
ぜひご賞味下さい

空気と水で社会に奉仕する

黒澤建設工業株式会社

代表取締役　黒　澤　　茂

本店／山形市花楯二丁目62番１号・ＴＥＬ0236(23)4222
支店／仙台・東京・営業所／天童・庄内

創ることが
楽しみな男達!!

有限会社 企画ハイスタッフ
address　山形市十日町三丁目９の３６
phone　(0236) 32－６０３０（代）

"旅"のプロフェッショナル……交通公社

交通公社ではあらゆる「きっぷ」のお世話をいたします。



ルック
海外向行は……トップブランドルックを！
今年も世界の国へ794コース

日本交通公社　山形支店
運輸大臣登録一般旅行業第64号
日本旅行業協会会員
山形市十日町（十日町本局前）
電話23—6631・6632

明るい豊かな社会を創造する

中村勝義一級建築事務所

所長　中　村　勝　義
〔山形工業高校ＯＢ副会長〕
山形市大野目二丁目４の６　ＴＥＬ42—5223

豊富な種類……
コクヨアルバム

◉プラチナデジタルシャープ!!
ライティングウォッチ

呉竹精昇堂 変わらぬ品質
くれ竹 筆ぺん

メロディーが弾ける電卓
カシオ メロディー



お求めは、お近くの
文具店、デパートで
どうぞ。

株式会社 吉田

本店：山形市旅篭町1丁目12—34☎32—1611㈹
支店：仙台市卸町2丁目11—9　☎92—0491㈹
営業所／酒田(庄内営業所)：郡山(福島営業所)

NEC

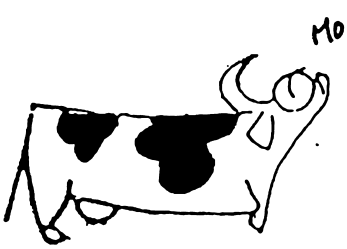
お米の郷土で、
「産業の米」をつくっている。

通信やコンピュータ、テレビ、カメラ、時計などに使われているトランジスタ、IC、LSIは
「産業の米」といわれ、これからの新しい時代を担います。

山形日本電気株式会社

創立／昭和39年　従業員数／2500名
本社・山形工場／〒990山形市北町4—12—12☎(0236)84—1311㈹
高畠工場／〒992-03高畠1863☎(02385)7—2211㈹
鶴岡工場／〒997鶴岡市大字道形字宝田6—1☎(0235)24—1911㈹

健康と美しさは
毎朝の牛乳からまず1本



自然の栄養
豊かなコク！
森永 MORINAGA 牛乳

日本製乳株式会社
山形市南館梨ノ木654の1
☎(0236) 45—4591㈹

紙、紙製品、文具、事務機、包装資材

オビサン株式会社

山形市流通センター1丁目9—2
☎(0236) 33—3331㈹

仙台支店　仙台市卸町2丁目15—5　☎0222(92)4771
庄内支店　酒田市東町1丁目17—5　☎0234(24)5344
秋田オビサン㈱　秋田市卸町4—3　☎0188(63)2511

バドミントン王国・山形を再び築く……

市立山形商業高等学校
バドミントン部同窓会



会　長　榎森浩一
副会長　阿部博
副会長　市川進
事務局長　阿部英典

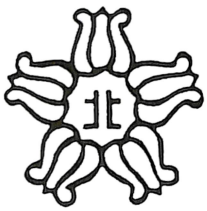
連続18年不敗を築き、尚・・・・
頂点をめざして歩み続ける・・・・



日本大学山形高等学校
バドミントン部ＯＢ会

会　長　赤塚健一
副会長　鈴木健二

めざせ’67国体優勝!!



山形県立山形北高等学校
バドミントン部OB会一同



県立 山形東高バドミントン部OB会

会　長　中田達
副会長　松下弘
〃　奥平康博

理事長　坂田多喜雄
事務局長　黒木武彦
会計幹長　志田裕史

県協会役員　県体協議評員兼副理事長　渡部二雄・審判委員長入間照雄

県立山形南高等学校
バドミントン部O・B会

会長	斉藤敏彦
副会長	永井清
副会長	猪股義朗
事務局長	佐藤秀昭

全日本武道具連合会加盟店

剣道具、柔道衣、弓道具、空手衣

錦武道具店

〒990 山形市旅篭町1丁目1—30 TEL(22)1550

〝未来を築く誠意のこもった良い製品〟

コンクリート製品の総合メーカー

前田製管株式會社

取締役社長 前田 巖

本社 山形県酒田市上本町6—7 TEL酒田㉓5111（大代表）
本社工場 東田川郡余目町大字余目字沢田15 TEL余目②3322㈹
東京支店 東京都江東区東陽三丁目23—21（東陽ビル5F） TEL03(649)7021㈹
仙台支店 仙台市錦町一丁目12—15 TEL仙台㊸2626㈹
営業所 酒田・新潟・秋田・盛岡・郡山・千葉・宇都宮・水戸
工場 本社・水沢・村上・栃木・水戸・馬頭・宇都宮・八郎潟角館・郡山・秋田・天童・宮城



地域との対話から生まれる

明日への信頼……。

これが私たちのめざす、コミュニケーションです。

庄内交通・庄交商事・庄交トラベルサービス
庄交サービス・庄交ハウジングシステム・庄交学園
庄交ハイヤー・羽越観光バス・庄交クリーン
庄交開発（第一イン鶴岡）・庄交フーズ（ピザハット）

庄内交通グループ

繊維製品綜合卸

株式會社 弦巻

代表取締役　弦　巻　作　治

酒田市卸町１―１　ＴＥＬ0234―22―5441㈹

紳士服のトップ・メーカーとして発展する

荘内スーツ株式会社

代表取締役　弦　巻　作　治

山形県飽海郡八幡町市条字樋掛１
電話　八幡023464―2311㈹

日立　ホイスト・エレベーター・発電機・電線・照明器具・ソーラーシステム・空調機器

東邦商事株式会社

代表取締役　高　橋　啓一郎
〃　小　柴　悦　三

本　社	酒田市大宮流通団地	電話　23―3444(代)
営業所	山形市立谷川工業団地	86―4571
〃	鶴田市道形７号線沿	22--0605



食料品のマート総合食料品

有限会社 小野商品

寿町店　酒田市寿町５―30　☎24―6556㈹
千石町店　酒田市千石町二丁目７―16　☎24―6557

木材の産地直送・工事の直営・住まい造りの

㈱栄材ハウス

本　社　酒田市四ツ興野５―４　ＴＥＬ㉔5260
工　場　酒田市大浜一丁目４―70　ＴＥＬ㉓0388

よろこばれる土地・建物をおせわする

㈱栄材ハウス不動産部

本　社　酒田市四ツ興野5―4　ＴＥＬ㉔5260㈹
事務所酒田市四ツ興野5―4　ＴＥＬ㉓0387

花王㈱酒田工場

工場長　三鍋康彦

酒田工場　酒田市大浜２丁目１―18　電話 ㉝ 1231

ナカジマ運動具店

中町プラザビル２Ｆ　Tel 22―0610

とがしスポーツ

酒田・中通り　ＴＥＬ24―7995

酒田市相生町２―１―９

サカタスポーツ

ＴＥＬ．23―6363

運動具“庄司と決める”スポーツマン

スポーツ用品

日本スポーツチェーン酒田の店

庄司

本　店　酒田市中町三丁目５番26号
ＴＥＬ（0234）22―3030・3031



暮しを楽しくするカナヤのリビング用品

ハッピー・リビング

カナヤ

鶴岡市本町一丁目6－7 ☎22－3325(代)

金屋興業株式会社

川建メタルビル建築・ＱＬフロア施工店
川鉄ステンプール・フェンス工事施工店

Ⓐアルハ建設工業株式会社

代表取締役　後　藤　信　男

本　　社　山形市下条町二丁目19番16号ＴＥＬ（0236）45―5123
仙台営業所　仙台市一番町二丁目５番22号ＴＥＬ（0222）27―6761



やまがた生れ・個性派ワイン

モンサン

CHATEAU MONTCIN

米沢市窪田町沖　浜田ワイン株式会社

沖正宗株式会社　米沢市駅前３丁目

まっすぐな酒
沖正宗

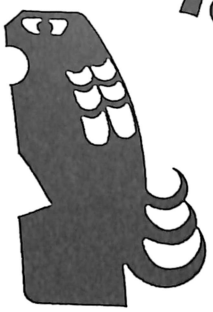


山形信販・JCB・UC・DC・mC・国鉄・警察購売指定店

スポーツハウス

山形店／山形市香澄町１－８－１前田ビル(船場２Ｆ)　☎0236㊷2420
本　店／米沢市門東町３－３－７　☎0238㉓1019

ヨネックス
カワサキ
ゴーセン
ヤマハ
取扱店



なせば成る…チャレンジ
'67 国体

田村電機

米沢営業場　山形県米沢市東1—10—71　TEL0238(22)6111(代)

運動具専門の店

㈲イタガキスポーツ

本店　長井駅前十字路　長井市宮1174　☎02388(3)2134㈹
支店　長井高校前　長井市小出台の前3696—1　☎(8)1515

現代文明の　魁　地域文化に貢献する

山形新聞　荒砥専売所

住所　山形県西置賜郡 白鷹町 大字荒砥乙578—12　TEL　02388—5—0047

所長　白岩　隆
YOKOBA会（米沢興譲館バド部OB会）会長
米沢興譲館体育後援会理事
白鷹町体育振興会常任理事

養命の湯　旅館　招湯苑

俗に米沢温泉と呼ばれ、ENAラヂウム泉で大手門レスト地内にあり、
どうぞ御宿泊御宴会に御利用下さい

室　数　9室　　大広間　35畳

山形県米沢市門東町1—4—5（奥羽本線入口）
〒992　TEL(0238)21—5066（上杉神社東約300m）

割烹旅館
仕出し
三桝屋
川西町上小松一七六八
☎②三〇六七
赤⑥二八七八

本と文具・スポーツ用品・服装
本との出合い ゆたかな心
伏見屋
川西町上小松　☎6—2255
☎2—3055
駐車場完備
2F コーヒーショップ パーラー　ピステ☎2—5164

給食弁当，折箱，皿盛，寿司，
仕出し，慶弔料理，旅行娯楽用給食等
株式会社 福徳軒
上山給食センター
上山市二日町栗川稲荷神社前☎0236(73)3355(代)
長井給食センター
長井市栄町1の405—1　02388(4)4115
置賜総合給食センター
高畠町大字福沢字桜檀　☎02385(7)3453

一般測量設計
建設大臣登録測量業(1)—9619号
有限会社 川西測量設計
代表取締役　山田仁一
事務所　東置賜郡川西町大字中小松2236—5
TEL(02384) 6—2240

スポーツ用品全般・体育器具・施設
マルゼンスポーツ
南陽市宮内新町
宮内店　TEL (47) 2362
赤湯店　TEL (43) 3477

何才になってもバドミントンはやりたいものです。
ママさんバドミントンを続けよう
㈲四釜商店
家庭金物、荒物、雑貨、建材まで
一軒でそろう、みなさまのお店
南陽市宮内1029
TEL 0238(47)4052　(47)2271

現在(いま)、品質本位の時期(とき)。
豊文社
皆様の繁栄を願って、あすを拓く
豊田太印刷所
〒990－22　山形市立谷川二丁目938－8
山形印刷団地☎山形(0236)86-2518(大代表)

ラケットショップ山形

山形市城西町二丁目７番48の１
ＴＥＬ0236(43) ６２３８



シャトルづくり35年
バドの歴史と共に歩む…

県バドの大いなる飛躍を
祈ります

日本バドミントン協会検定合格
（全国大会使用球）
ファスト印シャトルコック製造発売元

ファストゴールド	4,200円
ファストシルバー	3,500円
ファストグリーン	3,000円
ファストレッド	2,400円
ファストイエロー	2,000円

㈱ジャワ商会

山形市六日町７―28
ＴＥＬ0236(33)0333



“べんり„ おつまみ

でんた

ミニパック新鮮

●いつでも出来たて、新鮮パック
●便利で、ムダのない小袋パック
●ニーズに応えた、個装パック
●会合やアウトドアにも
便利な個分けパック

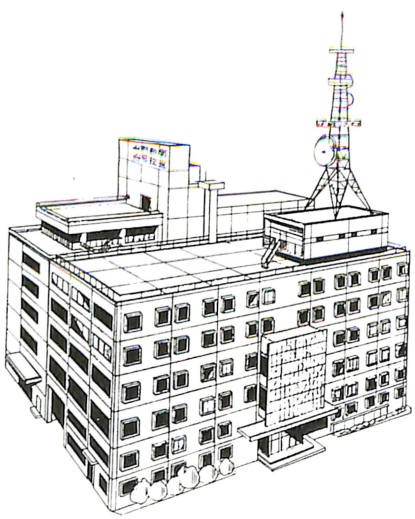
〈小袋6パック〉
●¥300ミックスパック ●¥300柿ピーパック
●¥300わさび柿ピーパック ●¥300グリーンピースパック
●¥300ピーあられパック ●¥500バタピーパック
●¥500味付けピーパック

おいしさ いきいき
豆はでんた

〒990 山形市清住町３―２―45

より早く より詳しい

スポーツ情報は…



山形新聞

山形放送

山形市旅篭町二丁目5 山形新聞放送会館 ☎0236―22―5271㈹／22―6161㈹

